

調布市子ども・子育て支援に関する
ニーズ調査結果報告書

平成31年3月

調 布 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象及び調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	1
(1)	数値の基本的な取り扱いについて	1
II	調査結果	3
1	就学前児童	5
1	地域について	7
(1)	居住地区	7
(2)	居住学区域	7
2	家族の状況について	8
(1)	子どもの年齢	8
(2)	きょうだい及び末子の年齢	8
(3)	回答者と子どもの関係	9
(4)	回答者の配偶関係	9
(5)	配偶者がいない理由	9
(6)	母子・父子家庭になった時の年齢	10
(7)	母子・父子家庭になる前の働き方・現在の働き方	10
(8)	主に子育てをしている人	11
(9)	日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無	11
(10)	日頃子どもをみてもらえる主な親族・知人と交通手段	12
(11)	世帯の年収（税込）	13
3	子どもの育ちをめぐる環境について	13
(1)	子育てに関する相談先の有無	13
(2)	相談先	14
4	子どもを妊娠・出産した状況について	14
(1)	出産前後に離職したか	14
(2)	離職した理由	15
(3)	どのような環境なら就業継続できたか	15
5	子どもの保護者の就労状況	16
(1)	就労状況	16
(2)	フルタイムへの転換希望	19
(3)	就労希望について	20
6	子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	22
(1)	「定期的な教育・保育の事業」の利用の有無	22

(2) 定期的に利用している教育・保育の事業.....	23
(3) 無償となった場合に利用変更したい事業.....	24
(4) 平日に定期的に利用している教育・保育の事業.....	25
(5) 利用している教育・保育事業の実施場所.....	27
(6) 教育・保育事業を利用している理由.....	28
(7) 教育・保育事業を利用していない理由.....	29
(8) 今後定期的に利用したい教育・保育事業.....	30
(9) 事業を希望する上で重視する条件.....	31
(10) 幼稚園を利用していない理由.....	32
(11) 幼稚園を利用する場合の希望利用時間.....	32
7 地域の子育て支援事業の利用状況.....	34
(1) 現在利用している地域子育て支援拠点事業.....	34
(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向.....	35
(3) 子育てに関する情報の入手先.....	36
(4) 子育てに関する情報で欲しいと思うこと.....	37
(5) 子育てに関する情報をどこから入手したいか.....	37
(6) これまでに利用したことがある事業、今後利用したいと思う事業.....	38
8 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望.....	41
(1) 土曜日と日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望.....	41
(2) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望.....	43
9 子どもの病気の際の対応について.....	44
(1) 病気等で利用できなかったこと.....	44
(2) この1年間の対処方法.....	44
(3) 病児・病後児保育施設等を利用したかったか.....	48
(4) 望ましい病児・病後児保育施設等の事業形態.....	49
10 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況.....	50
(1) 不定期に利用している事業.....	50
(2) 不定期の事業を利用する必要性.....	53
(3) 宿泊を伴って預ける必要があったか.....	55
(4) 親族・知人にみてもらった際の困難度.....	58
11 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	59
(1) 放課後の時間を過ごさせたい場所.....	59
(2) 学童クラブを利用したい理由.....	66
(3) 学童クラブの利用希望学年と利用希望時期.....	66
12 職場の両立支援制度について.....	69
(1) 育児休業について.....	69
(2) 育児休業取得後の職場復帰.....	73
(3) 職場復帰のときの子どもの年齢について.....	74
13 児童虐待について.....	76
(1) 児童虐待について知っていること.....	76
(2) 虐待発見時に連絡しようと思う機関.....	76

(3) 児童虐待に関する通告義務について.....	77
14 子育て環境や支援について.....	78
(1) 行政や関係機関の取組として必要だと思うこと.....	78
(2) 市における子育て環境や支援への満足度.....	79
(3) 子育ての環境や支援、教育・保育環境の拡充などに関する自由意見.....	79
2 就学児童.....	83
1 地域について.....	85
(1) 居住学区域.....	85
2 家族の状況について.....	86
(1) 子どもの学年.....	86
(2) きょうだい及び末子の年齢.....	86
(3) 回答者と子どもの関係.....	87
(4) 回答者の配偶関係.....	87
(5) 配偶者がいない理由.....	88
(6) 母子・父子家庭になった時の年齢.....	88
(7) 母子・父子家庭になる前の働き方・現在の働き方.....	89
(8) 主に子育てをしている人.....	90
(9) 世帯の年収（税込）.....	90
3 子どもの育ちと教育環境について.....	91
(1) 保護者不在時の子どもの過ごし方.....	91
(2) 学習支援のために利用していること.....	91
(3) 地域の教育環境に対する満足度.....	92
4 子どもの保護者の就労状況.....	93
(1) 就労状況.....	93
(2) 仕事と子育ての両立で大変だと感じていること.....	98
(3) フルタイムへの転換希望.....	99
(4) 就労希望について.....	100
5 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	104
(1) 各施設やサービスの認知状況・利用経験・今後の利用意向.....	104
6 子どもの病気の際の対応について.....	107
(1) 病気やケガで学校を休まなければならなかったこと.....	107
(2) この1年間の対処方法.....	107
(3) 病児・病後児保育施設等を利用したかったか.....	111
(4) 望ましい病児・病後児保育施設等の事業形態.....	112
7 不定期な一時預かり等の利用について.....	113
(1) 不定期に利用している事業.....	113
(2) 利用していない理由.....	115
(3) 不定期の事業を利用する必要性.....	116
(4) 宿泊を伴って預ける必要があったか.....	118
8 放課後の過ごし方について.....	121
(1) 放課後に過ごしている場所.....	121

(2) 放課後に過ごさせたい場所（低学年）	125
(3) 放課後に過ごさせたい場所（高学年）	132
(4) 高学年での学童クラブの利用希望学年と利用希望時期	136
(5) 学童クラブを利用していない理由	137
(6) 学童クラブを利用したい理由	138
(7) ユーフォーの登録・利用状況	138
(8) ユーフォーの利用頻度	139
(9) ユーフォーを利用している理由	139
(10) ユーフォーを利用した感想	140
(11) ユーフォーに登録・利用していない理由	140
(12) つまらないと感じる理由	141
(13) ユーフォーの開設時間帯について	141
(14) 延長を希望する開設時間帯	142
9 児童虐待について	143
(1) 児童虐待について知っていること	143
(2) 虐待発見時に連絡しようと思う機関	144
(3) 児童虐待の通告義務などについて	144
10 子どもをとりまく環境について	145
(1) 防犯、防災について	145
11 子育て環境や支援について	148
(1) 市における子育て環境や支援への満足度	148
(2) 子育ての環境や支援、教育・保育環境の拡充などに関する自由意見	148
3 子ども・若者意識調査	151
1 回答者の属性	153
(1) 居住地区	153
(2) 年齢	153
(3) 性別	154
(4) 世帯構成	154
2 家族の状況について	154
(1) 同居家族の人数	154
(2) 婚姻歴	155
(3) 子どもの有無	155
(4) 最終学歴	155
3 これまでの経験や日常生活の状況等	156
(1) 中学・高校でのクラブ活動参加歴	156
(2) 中学・高校の頃の学校以外でのクラブ活動参加歴	156
(3) 学校で経験したこと	157
(4) 家庭で経験したこと	158
(5) 学校生活について	159
(6) 平日の放課後や仕事の後に一緒に過ごす人	159
(7) 平日の放課後や仕事の後で過ごす場所	160

(8) 休日一緒に過ごす人.....	160
(9) 休日に過ごす場所.....	161
(10) 最もほっとできる場所.....	161
(11) 気軽に相談できる人.....	162
(12) 悩みごとの相談先として認知している機関.....	163
(13) 自分自身にどれくらいあてはまるか.....	164
(14) 自身の家族について.....	165
(15) ふだん自宅でよくしていること.....	165
(16) ふだんのインターネット利用の有無.....	166
(17) 授業や仕事以外でインターネットの利用時間.....	166
(18) ふだん利用するソーシャルメディア・通信手段.....	167
4 外出の状況について.....	168
(1) ふだんの外出状況.....	168
(2) ほとんど家にいる状態が続いている期間.....	168
(3) ほとんど家にいる状態になったきっかけ.....	169
(4) 現在の状態について誰かに相談したいと思うか.....	170
(5) 相談を希望する相手先の条件.....	170
(6) 相談したくないと思う理由.....	171
(7) 相談経験.....	171
(8) 相談経験のある人・機関.....	172
(9) 相談した結果について.....	173
(10) 市が特に取り組むべきこと.....	173

I 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、「次期調布市子ども・子育て支援事業計画」（平成 32 年度～平成 36 年度）策定のための基礎資料として、対象となるお子さんの保護者の就労状況、サービス利用の実態、子育てに関する意識・意見を把握することを目的に実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	就学前児童	就学児童	子ども・若者意識調査
調査対象	市内の就学前児童のいる世帯	小学生のいる世帯	13歳から39歳までの市民
配布数	2,000	2,000	2,000
抽出法	無作為抽出	無作為抽出	無作為抽出
調査方法	郵送法	郵送法	郵送法
調査時期	平成30年10月～11月	平成30年10月～11月	平成31年2月～3月
調査地域	調布市全域	調布市全域	調布市全域

(3) 配布数及び回収結果

項目	就学前児童	就学児童	子ども・若者意識調査
有効配布数	1,995	1,998	1,981
有効回収数	1,187	1,206	552
有効回収率	59.5%	60.4%	27.9%

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- ② 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- ③ 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って各回答の合計比率は100%を超える場合がある。
- ④ 配布数については居住地区ごと(p7(1))の人口比率を考慮している。

II 調査結果

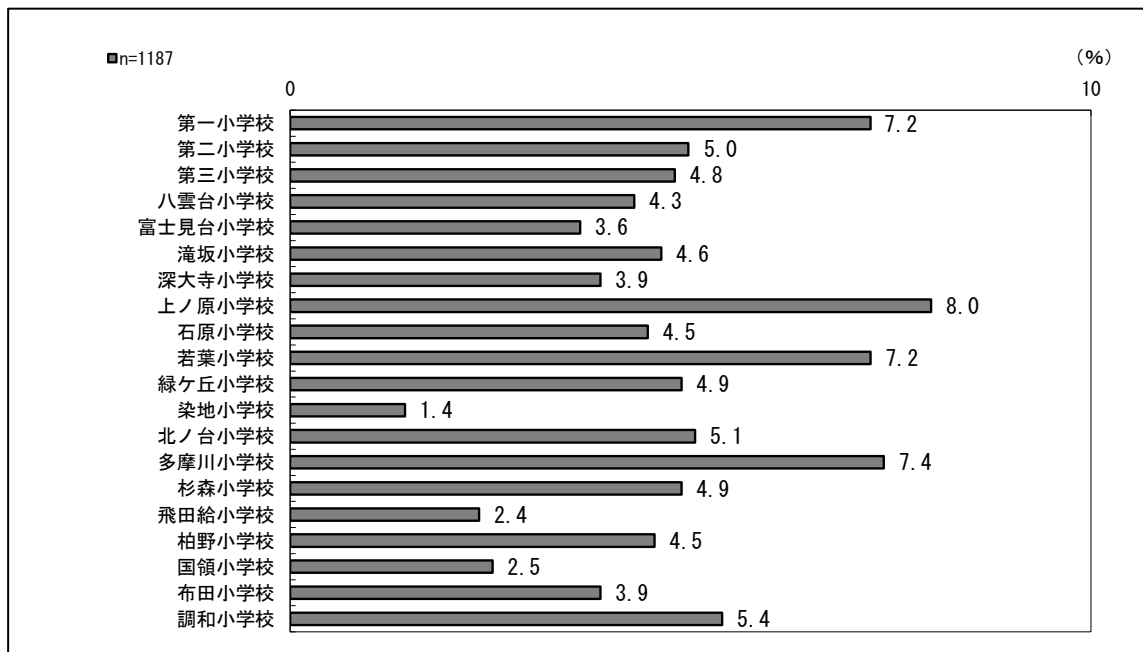
1 就学前児童

1 地域について

(1) 居住地区

No.	カテゴリ名	n	%
1	仙川町 2~3 丁目、緑ヶ丘 1~2 丁目	65	5.5
2	菊野台 2~3 丁目、入間町 1~3 丁目、東つつじヶ丘 2~3 丁目、仙川町 1 丁目、西つつじヶ丘 4 丁目、若葉町 1~3 丁目	176	14.8
3	柴崎 1~2 丁目、東つつじヶ丘 1 丁目、菊野台 1 丁目、西つつじヶ丘 1~3 丁目、深大寺東町 3~4 丁目	117	9.9
4	佐須町 1~2 丁目、4~5 丁目、深大寺元町 2~5 丁目、深大寺東町 1~2 丁目、深大寺南町 1~5 丁目	94	7.9
5	深大寺北町 1~7 丁目、深大寺東町 5~8 丁目、	60	5.1
6	小島町 1 丁目、佐須町 3 丁目、国領町 1~2 丁目、布田 1~2 丁目、調布ヶ丘 1~4 丁目、深大寺元町 1 丁目、八雲台 1~2 丁目	148	12.5
7	国領町 3~8 丁目、染地 2~3 丁目	160	13.5
8	小島町 2~3 丁目、布田 3~6 丁目、染地 1 丁目、多摩川 3~7 丁目	130	11.0
9	飛田給 2~3 丁目、上石原 2~3 丁目、下石原 2~3 丁目、多摩川 1~2 丁目	137	11.5
10	飛田給 1 丁目、富士見町 1~4 丁目、上石原 1 丁目、野水 1~2 丁目、下石原 1 丁目、西町	83	7.0
	無回答	17	1.4
	全体	1187	100.0

(2) 居住学区域

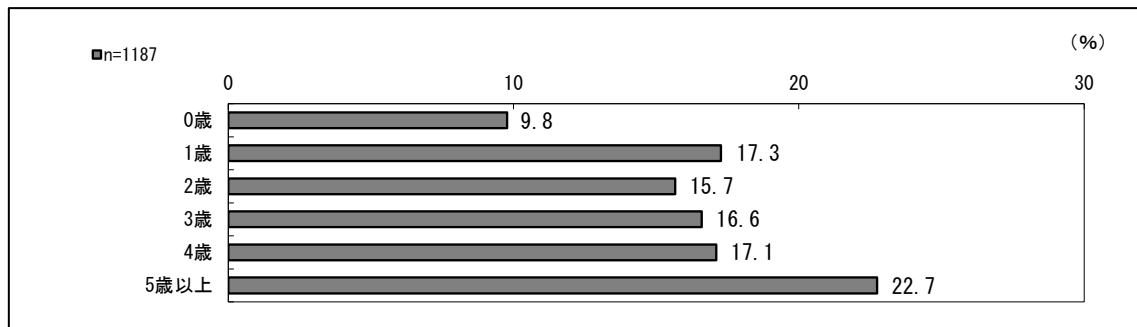


2 家族の状況について

(1) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの年齢をご記入ください。

子どもの年齢は、「5歳以上」(22.7%)、「1歳」(17.3%)、「4歳」(17.1%)、「3歳」(16.6%)、「2歳」(15.7%)、「0歳」(9.8%)となっています。

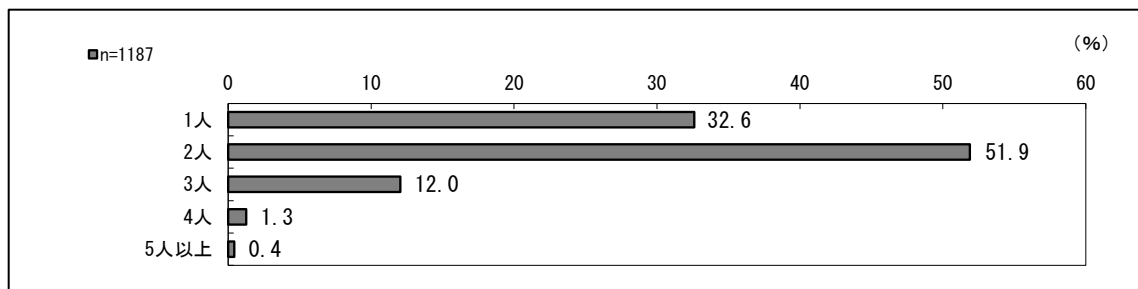


(2) きょうだい及び末子の年齢

問3 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の年齢をご記入ください。

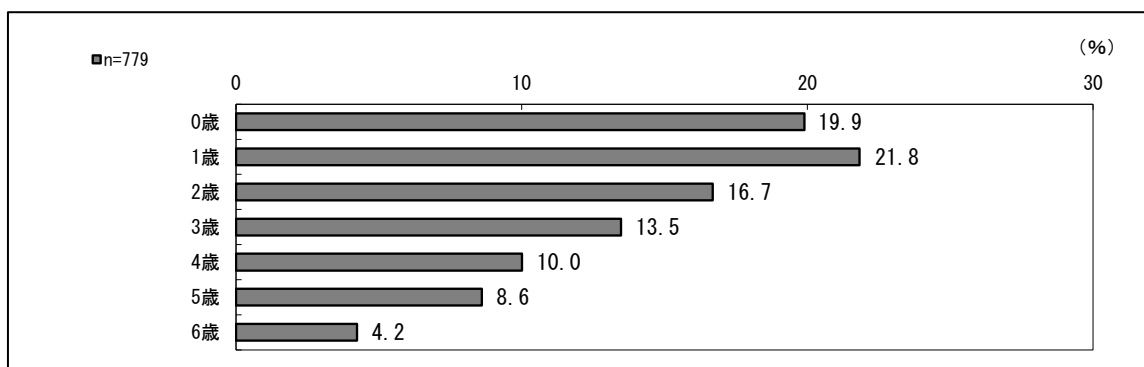
① きょうだい数

きょうだい数は、「2人」(51.9%)、「1人」(32.6%)、「3人」(12.0%)、「4人」(1.3%)、「5人以上」(0.4%)となっています。



② 末子の年齢

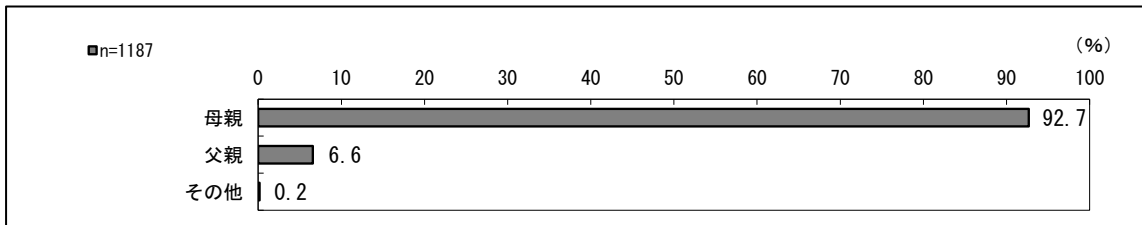
末子の年齢については「1歳」(21.8%)、「0歳」(19.9%)、「2歳」(16.7%)、「3歳」(13.5%)、「4歳」(10.0%)などの順となっています。



(3) 回答者と子どもの関係

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

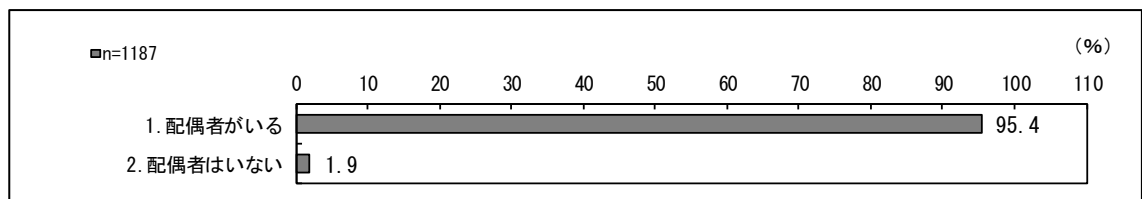
回答者と子どもの関係については、「母親」(92.7%)、「父親」(6.6%)、「その他」(0.2%)となっています。



(4) 回答者の配偶関係

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

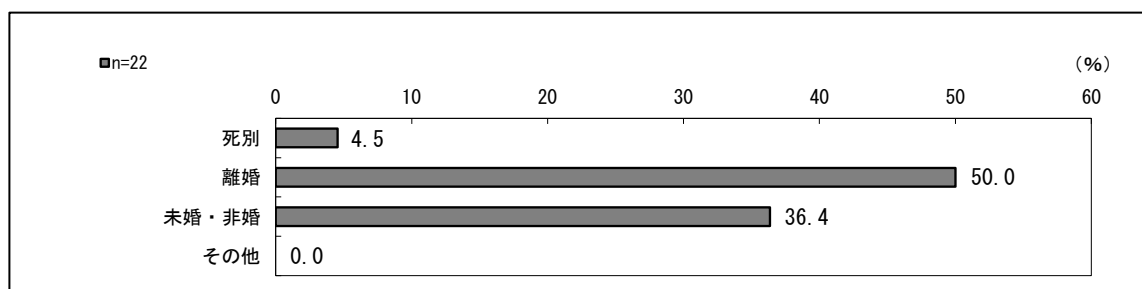
「配偶者がいる」は95.4%、「配偶者はいない」は1.9%となっています。



(5) 配偶者がいない理由

問5-1 問5で「2. 配偶者はいない」に○をつけた方にうかがいます。配偶者がいない(母子家庭・父子家庭)理由はどのような理由ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

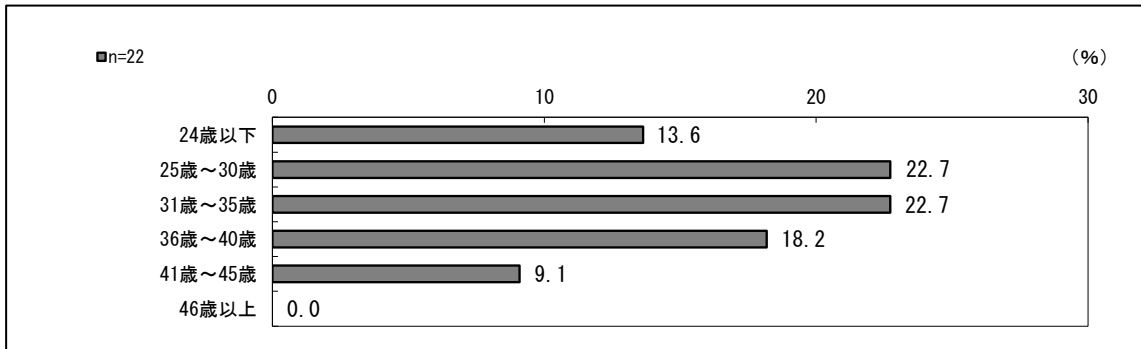
配偶者がいない理由については、「離婚」(50.0%)、「未婚・非婚」(36.4%)、「死別」(4.5%)となっています。



(6) 母子・父子家庭になった時の年齢

問 5-2 問5で「2. 配偶者はいない」に○をつけた方にうかがいます。母子家庭・父子家庭になった時の年齢についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母子・父子家庭になった時の年齢については、「25歳～30歳」・「31歳～35歳」（同率22.7%）、「36歳～40歳」（18.2%）、「24歳以下」（13.6%）、「41歳～45歳」（9.1%）となっています。

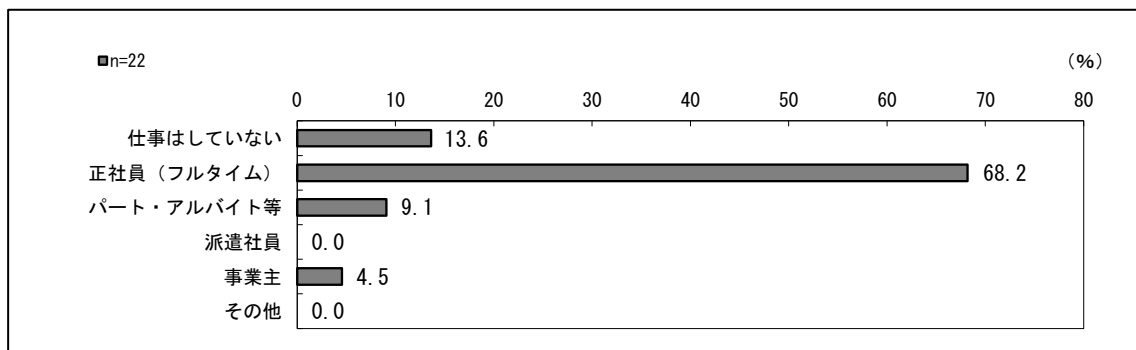


(7) 母子・父子家庭になる前の働き方・現在の働き方

問 5-3 問5で「2. 配偶者はいない」に○をつけた方にうかがいます。母子・父子家庭等になる前後の状況について、それぞれお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

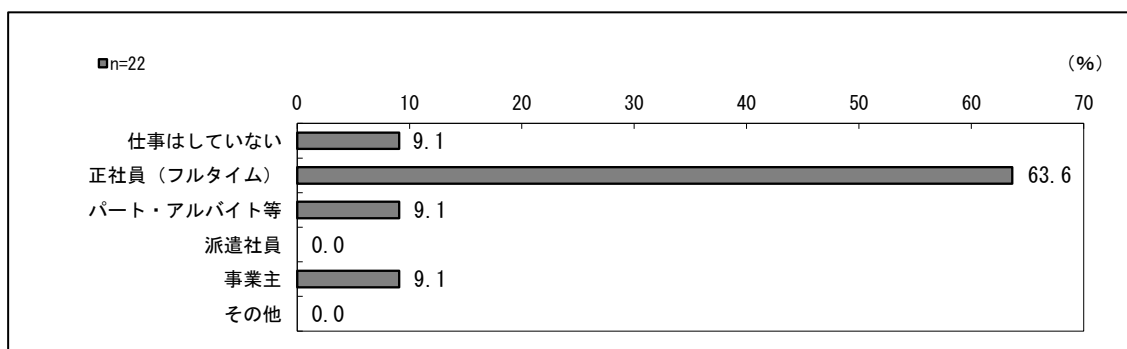
① 母子・父子家庭になる前の働き方

母子・父子家庭になる前の働き方については、「正社員（フルタイム）」（68.2%）、「仕事はしていない」（13.6%）、「パート・アルバイト等」（9.1%）、「事業主」（4.5%）となっています。



② 現在の働き方

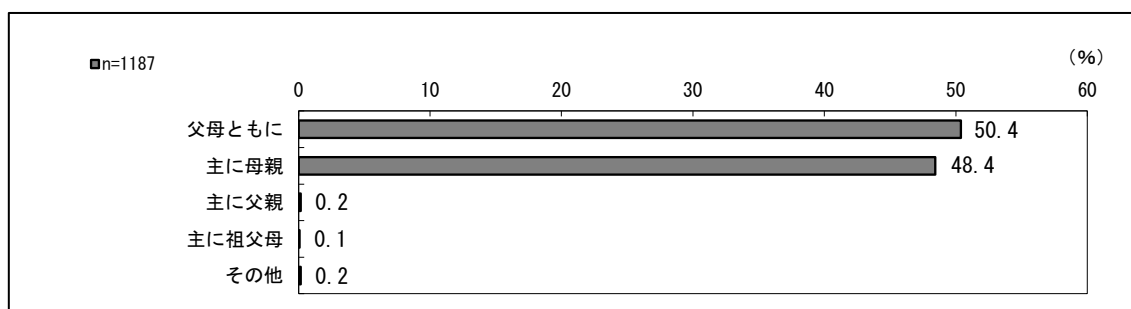
現在の働き方については、「正社員（フルタイム）」(63.6%)、「仕事はしていない」(9.1%)、「パート・アルバイト等」(9.1%)、「事業主」(9.1%) となっています。



(8) 主に子育てをしている人

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

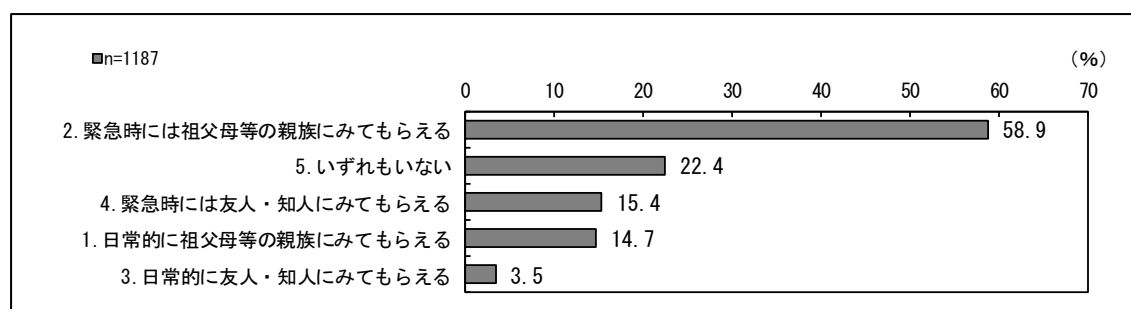
主に子育てをしている人については、「父母ともに」(50.4%)、「主に母親」(48.4%)、「主に父親」(0.2%)、「主に祖父母」(0.1%) となっています。



(9) 日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時には祖父母等の親族にみてもらえる」(58.9%)、「緊急時には友人・知人にみてもらえる」(15.4%)、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(14.7%)、「日常的に友人・知人にみてもらえる」(3.5%) となっています。なお、「いずれもない」は22.4%となっています。



(10) 日頃子どもをみてもらえる主な親族・知人と交通手段

問8 問7で、「1.」～「4.」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんをみてもらえる親族・友人について、主な方3人までについてお答えください。親族・友人の別について、また、その人がご自宅まで来てくれる際の主な交通手段についても、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

① 日頃子どもをみてもらえる主な親族・知人

日頃子どもをみてもらえる主な親族・知人については、「第1にみてもらえる人（みてもらえる人(1)）」については、「親族」（90.4%）が9割を超えて圧倒的多数となっています。

(%)	親族	友人・知人	無回答	n
みてもらえる人(1)	90.4	5.1	4.5	906
みてもらえる人(2)	47.4	13.4	39.3	906
みてもらえる人(3)	16.6	13.6	69.9	906

② 主な交通手段

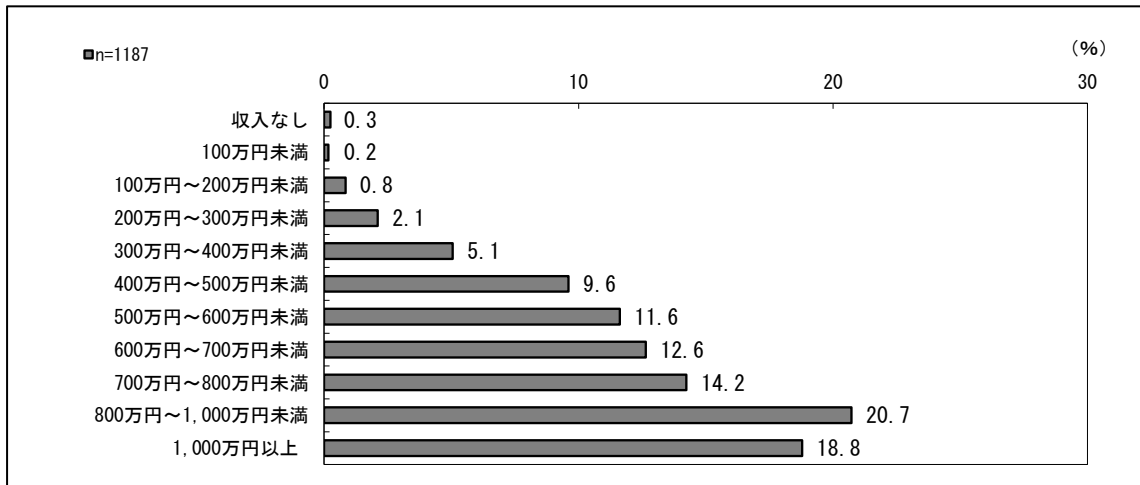
交通手段については、「第1にみてもらえる人の交通手段（交通手段(1)）」については「電車・路線バス」（40.3%）が4割を超えています。

(%)	徒歩	自転車	車（オートバイ含む）	電車・路線バス	無回答	n
交通手段(1)	21.2	11.3	24.7	40.3	2.4	865
交通手段(2)	23.3	14.2	26.4	34.4	1.8	550
交通手段(3)	26.4	24.5	24.5	24.5	0.0	273

(11) 世帯の年収（税込）

問9 世帯の年収（税込）は次のうちどれにあたりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

世帯の年収（税込）については、「800万円～1,000万円未満」（20.7%）、「1,000万円以上」（18.8%）、「700万円～800万円未満」（14.2%）、「600万円～700万円未満」（12.6%）、「500万円～600万円未満」（11.6%）、「400万円～500万円未満」（9.6%）、「300万円～400万円未満」（5.1%）、「200万円～300万円未満」（2.1%）、「100万円～200万円未満」（0.8%）、「収入なし」（0.3%）、「100万円未満」（0.2%）となっています。

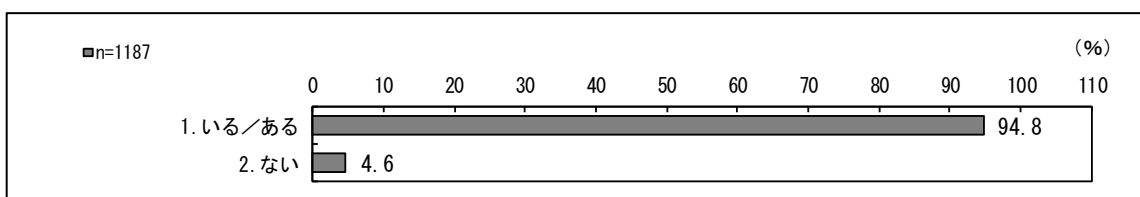


3 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに関する相談先の有無

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（場所）はいますか。（ありますか。）当てはまる番号1つに○をつけてください。

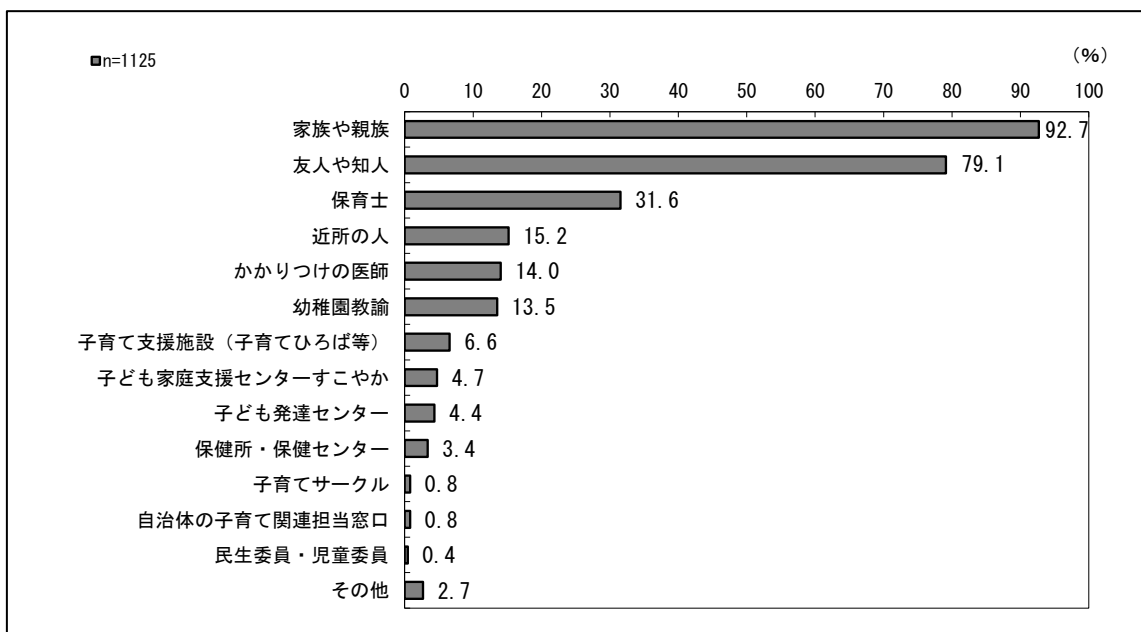
子育てに関する相談先の有無については、「いる／ある」（94.8%）、「ない」（4.6%）となっています。



(2) 相談先

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

相談先については、「家族や親族」(92.7%)が最も多く、次いで、「友人や知人」(79.1%)、「保育士」(31.6%)、「近所の人」(15.2%)、「かかりつけの医師」(14.0%)、「幼稚園教諭」(13.5%)、「子育て支援施設（子育てひろば等）」(6.6%)、「子ども家庭支援センターすこやか」(4.7%)、「子ども発達センター」(4.4%)、「保健所・保健センター」(3.4%)、「子育てサークル」(0.8%)、「自治体の子育て関連担当窓口」(0.8%)、「民生委員・児童委員」(0.4%)などの順となっています。「その他」には、職場の同僚、幼児教室や習い事の先生、ファミリー・サポート・センターの人などがあげられました。

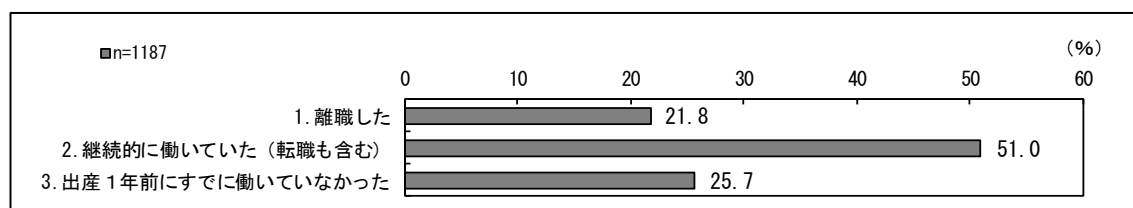


4 子どもを妊娠・出産した状況について

(1) 出産前後に離職したか

問 11 宛名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

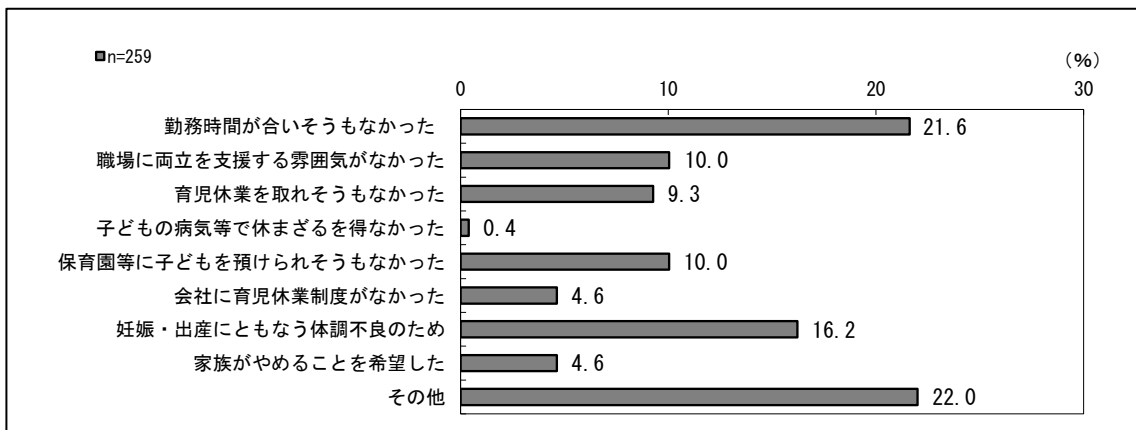
出産前後に離職したかどうかについては、「継続的に働いていた（転職も含む）」(51.0%)、「出産1年前にすでに働いていなかった」(25.7%)、「離職した」(21.8%)となっています。



(2) 離職した理由

問 11-1 問 11 で「1. 離職した」に○をつけた方にうかがいます。離職した主な理由は何ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

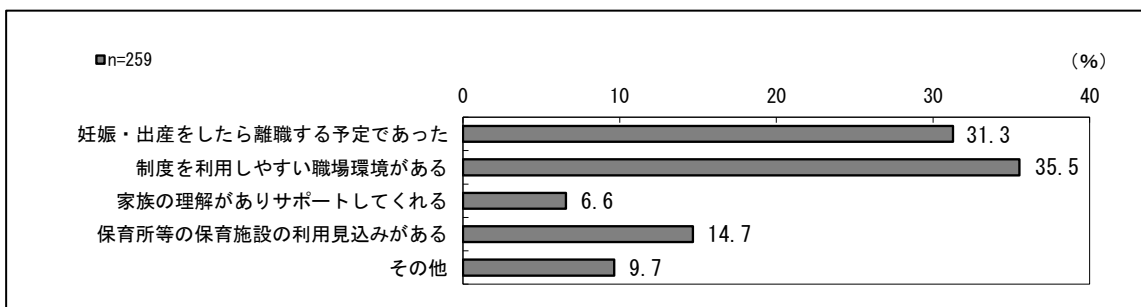
離職した理由については、「勤務時間が合いそうもなかった」(21.6%)、「妊娠・出産にともなう体調不良のため」(16.2%)、「職場に両立を支援する雰囲気になかった」・「保育園等に子どもを預けられそうもなかった」(同率 10.0%)、「育児休業を取れそうもなかった」(9.3%)、「会社に育児休業制度がなかった」・「家族がやめることを希望した」(同率 4.6%)、「子どもの病気等で休まざるを得なかった」(0.4%)となっています。「その他」には、「子育てに専念したかった」、「転居した」、「自宅から職場が遠かった」、「不妊治療のため」などがあげられました。



(3) どのような環境なら就業継続できたか

問 11-2 問 11 で「1. 離職した」に○をつけた方にうかがいます。どのような環境が整っていたら、就労を継続しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

どのような環境なら就業継続できたかについては、「制度を利用しやすい職場環境がある」(35.5%)、「妊娠・出産をしたら離職する予定であった」(31.3%)、「保育所等の保育施設の利用見込みがある」(14.7%)、「家族の理解がありサポートしてくれる」(6.6%)となっています。「その他」には、「祖父母など親族が近くにおいてサポートしてもらえれば」、「職場から自宅までの距離が近ければ」などがあげられました。



5 子どもの保護者の就労状況

(1) 就労状況

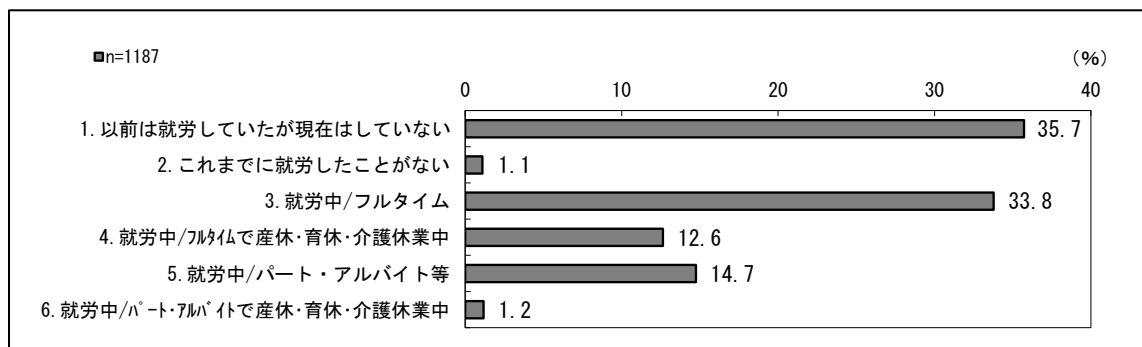
① 母親

(1) 就労状況

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、農業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

母親の就労状況は、「以前は就労していたが現在はしていない」(35.7%)、「就労中/フルタイム」(33.8%)、「就労中/パート・アルバイト等」(14.7%)、「就労中/フルタイムで産休・育休・介護休業中」(12.6%)、「就労中/パート・アルバイトで産休・育休・介護休業中」(1.2%)、「これまでに就労したことがない」(1.1%)となっています。

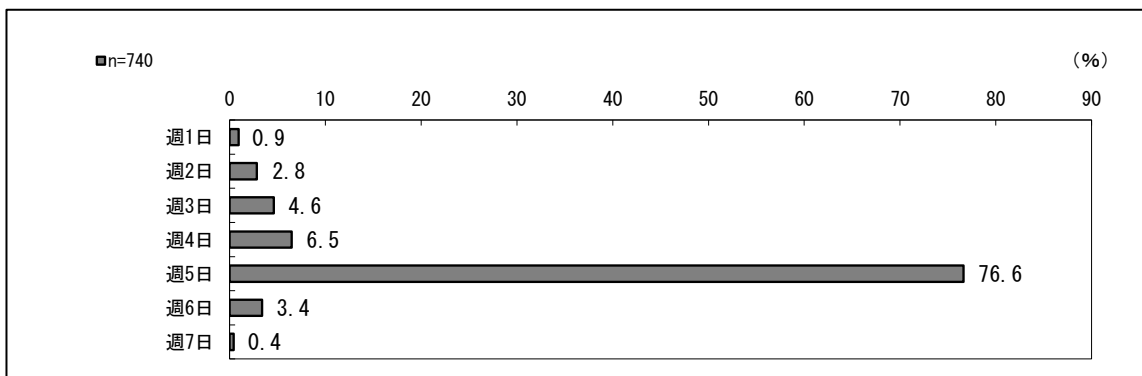


(2) 就労日数・就労時間

(1) -1 (1)で「3.」～「6.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください

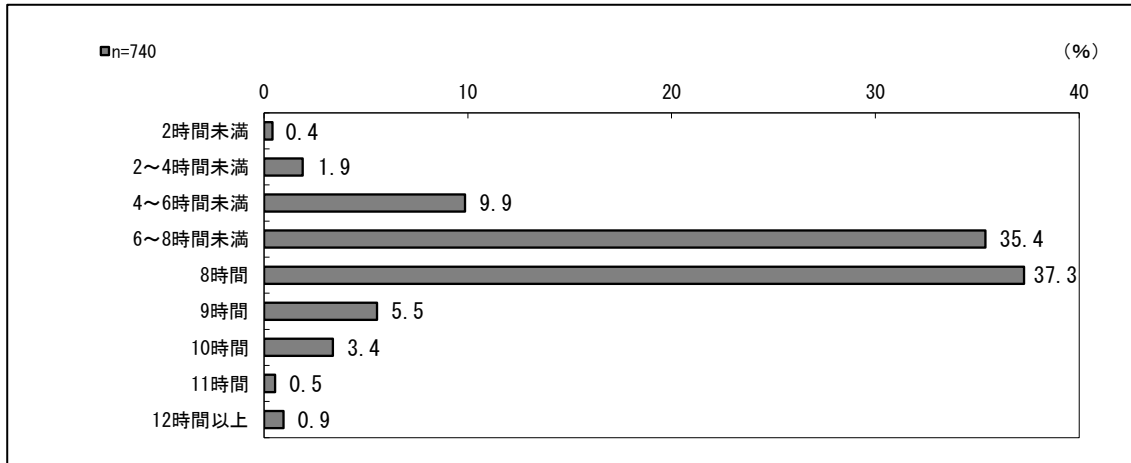
1 週当たり就労日数

母親の就労日数は「週5日」が76.6%を占めています。



1 日当たり就労時間

1日当たり就労時間は、「8時間」(37.3%)が最も多く、次いで「6～8時間未満」(35.4%)が続き、以下、「4～6時間未満」(9.9%)、「9時間」(5.5%)、「10時間」(3.4%)、「2～4時間未満」(1.9%)、「12時間以上」(0.9%)、「11時間」(0.5%)、「2時間未満」(0.4%)となっています。



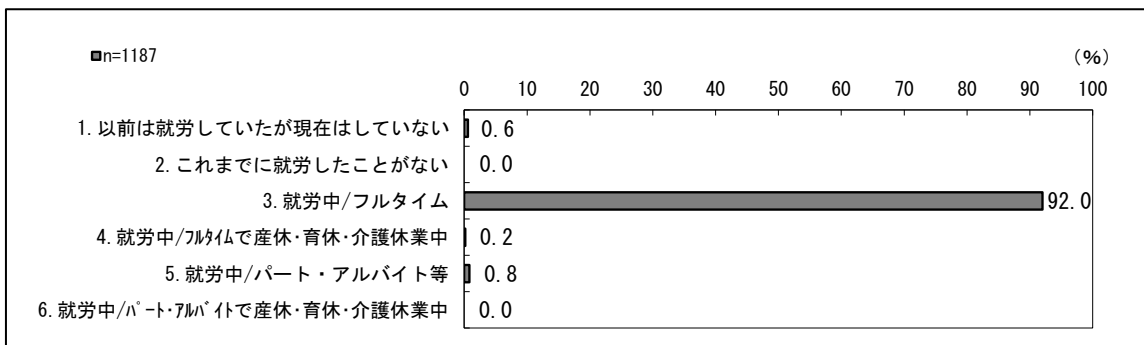
② 父親

(1) 就労状況

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、農業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(2) 父親

父親の就労状況は、「就労中/フルタイム」(92.0%)、「就労中/パート・アルバイト等」(0.8%)、「以前は就労していたが現在はしていない」(0.6%)、「就労中/フルタイムで産休・育休・介護休業中」(0.2%)となっています。

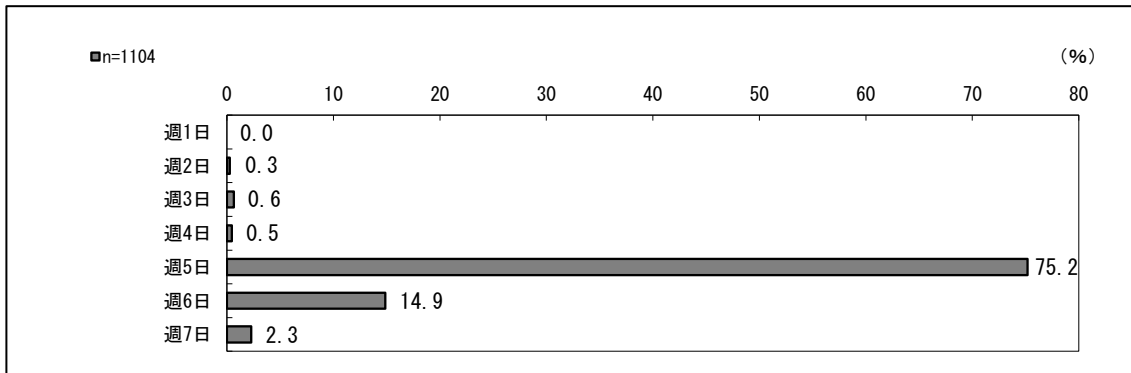


(2) 就労日数・就労時間

(2) -1 (2)で「3.」～「6.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

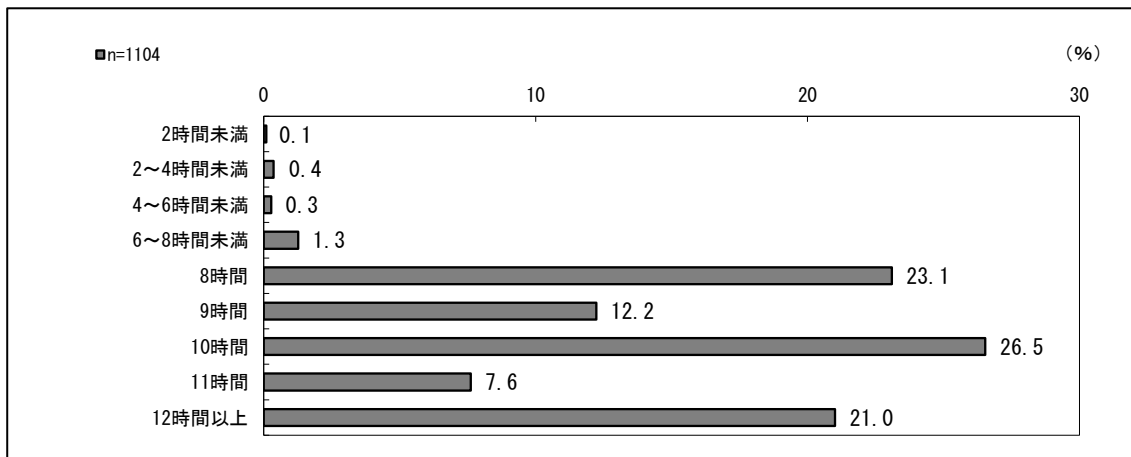
1週当たり就労日数

父親の就労日数は「週5日」(75.2%)、「週6日」(14.9%)となっています。



1日当たり就労時間

1日当たり就労時間は、「10時間」(26.5%)が最も多く、次いで「8時間」(23.1%)が続き、以下、「12時間以上」(21.0%)、「9時間」(12.2%)、「11時間」(7.6%)、「6～8時間未満」(1.3%)、「2～4時間未満」(0.4%)、「4～6時間未満」(0.3%)、「2時間未満」(0.1%)となっています。

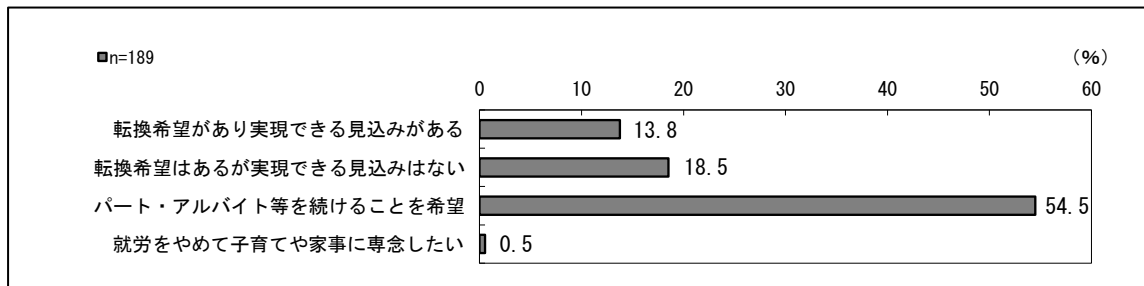


(2) フルタイムへの転換希望

① 母親

問 13 問 12 の (1) または (2) で「5.」「6.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。
フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) への転換希望はありますか。
(1) 母親

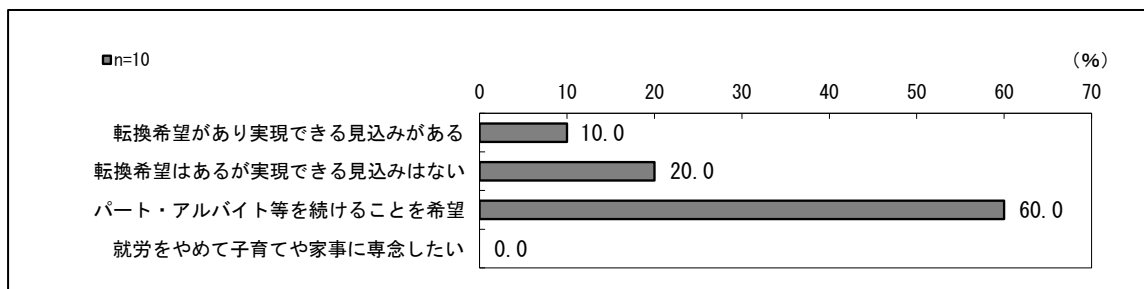
母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等続けることを希望」(54.5%)、「転換希望はあるが実現できる見込みはない」(18.5%)、「転換希望があり実現できる見込みがある」(13.8%)、「就労をやめて子育てや家事に専念したい」(0.5%)となっています。



② 父親

問 13 問 12 の (1) または (2) で「5.」「6.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。
フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) への転換希望はありますか。
(2) 父親

父親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等続けることを希望」(60.0%)、「転換希望はあるが実現できる見込みはない」(20.0%)、「転換希望があり実現できる見込みがある」(10.0%)となっています。



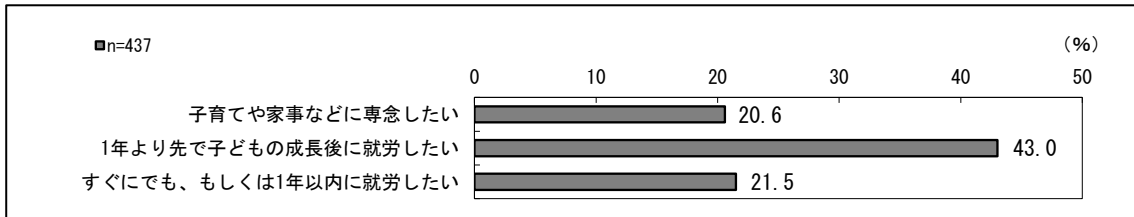
(3) 就労希望について

① 母親

問 14 問 12 の (1) または (2) で「1. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「2. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。
 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

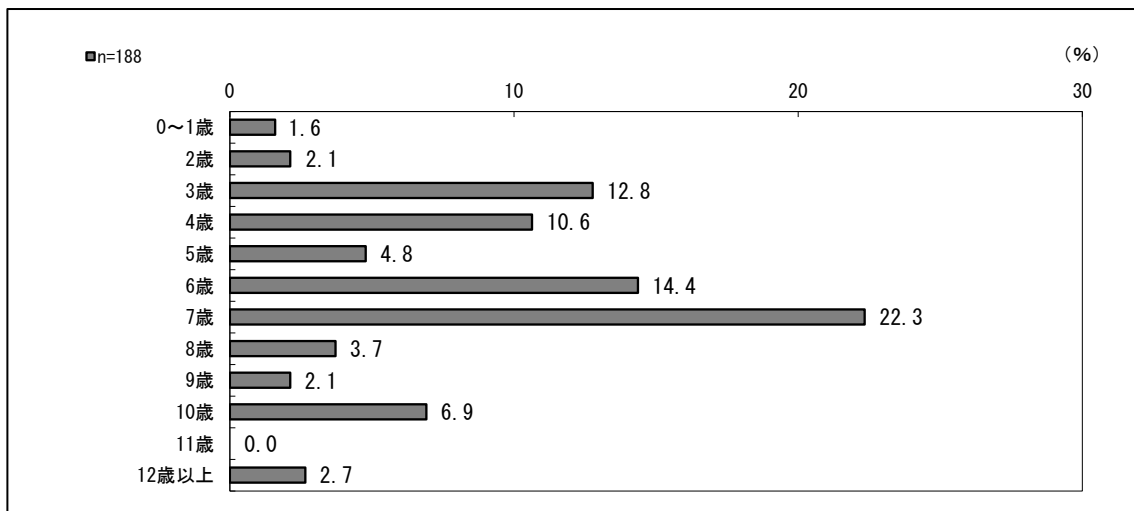
(1) 就労希望

就労していない母親の就労希望については、「1年より先で子どもの成長後に就労したい」(43.0%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(21.5%)、「子育てや家事などに専念したい」(20.6%) となっています。



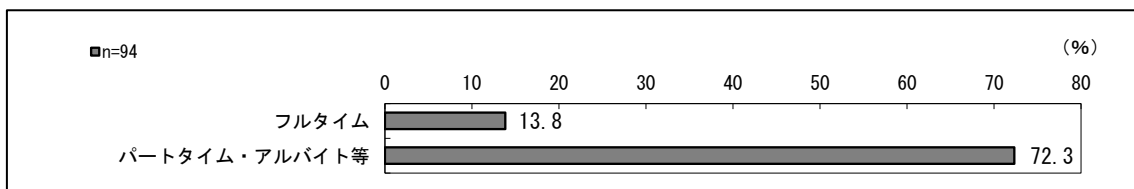
(2) 就労希望時期（末子の年齢）

「1年より先で、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」と希望した方の、就労を希望する末子の年齢は、「7歳」(22.3%)が最も多く、次いで「6歳」(14.4%)が続き、以下、「3歳」(12.8%)、「4歳」(10.6%)、「10歳」(6.9%)、「5歳」(4.8%)、「8歳」(3.7%)、「12歳以上」(2.7%)、「2歳」(2.1%)、「9歳」(2.1%)、「0～1歳」(1.6%) となっています。



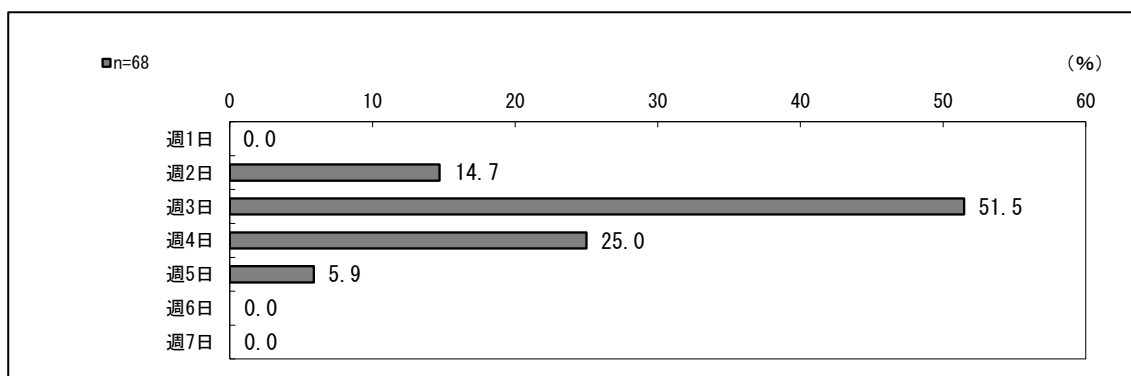
(3) 希望就労形態

希望就労形態については「パートタイム・アルバイト等」(72.3%)、「フルタイム」(13.8%) となっています。



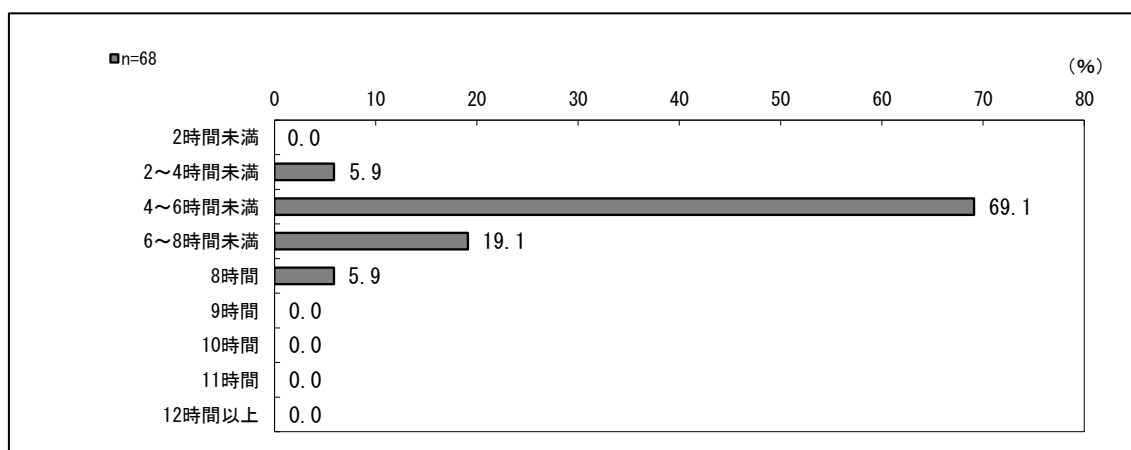
(4) アルバイト等希望就労日数

アルバイト等を希望する方の1週当たりの希望就労日数は、「週3日」(51.5%)、「週4日」(25.0%)、「週2日」(14.7%)、「週5日」(5.9%)となっています。



(5) アルバイト等希望就労時間/日

アルバイト等を希望する方の1日当たりの希望就労時間は、「4～6時間未満」(69.1%)が最も多く7割弱を占めています。次いで「6～8時間未満」(19.1%)、「2～4時間未満」・「8時間」(同率5.9%)となっています。

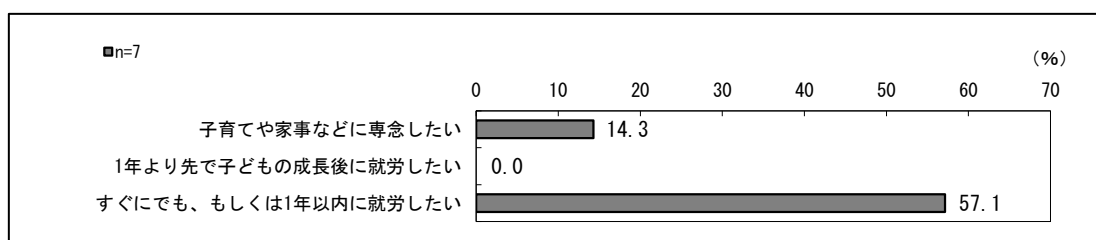


② 父親

問14 問12の(1)または(2)で「1. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「2. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

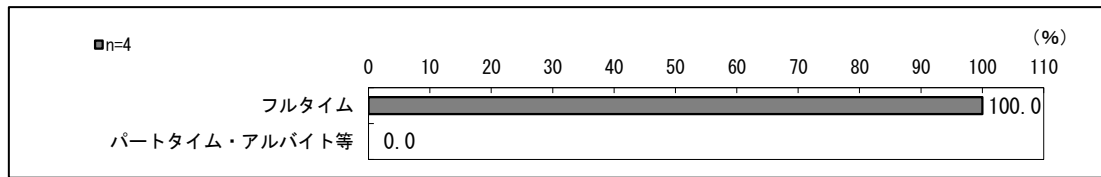
(1) 就労希望

就労していない父親の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(57.1%)、「子育てや家事などに専念したい」(14.3%)となっています。



(2) 希望就労形態

希望就労形態については「フルタイム」が100%となっています。

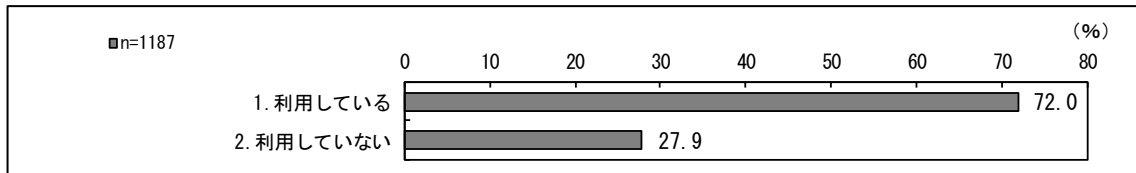


6 子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

(1) 「定期的な教育・保育の事業」の利用の有無

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

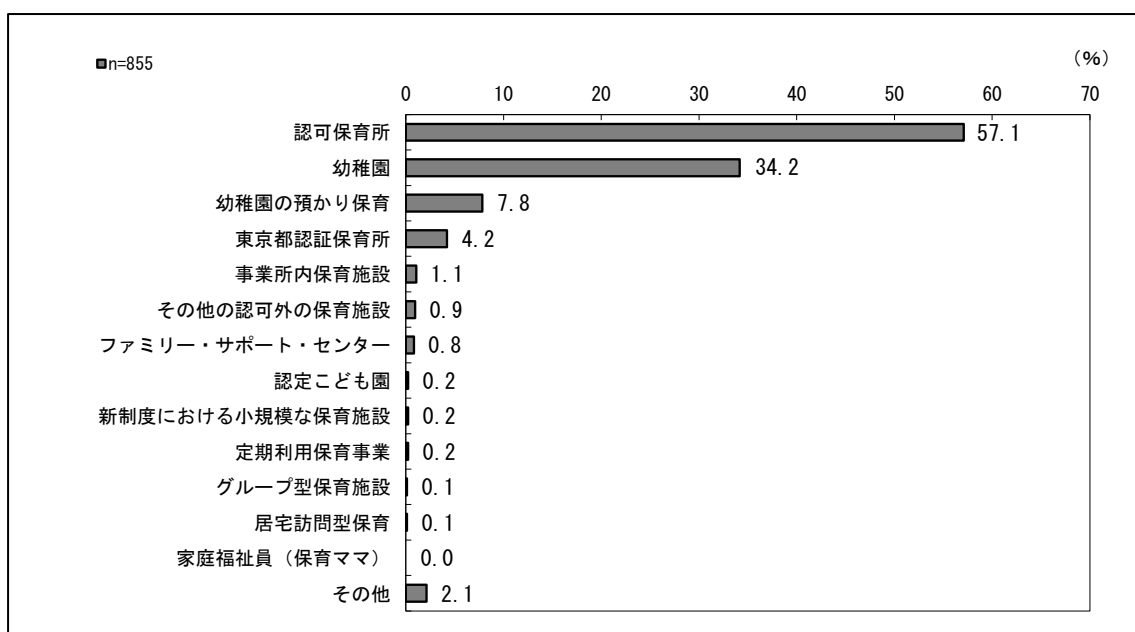
「定期的な教育・保育の事業」の利用の有無については、「利用している」(72.0%)、「利用していない」(27.9%)となっています。



(2) 定期的に利用している教育・保育の事業

問 15-1 問 15-1～問 15-5 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

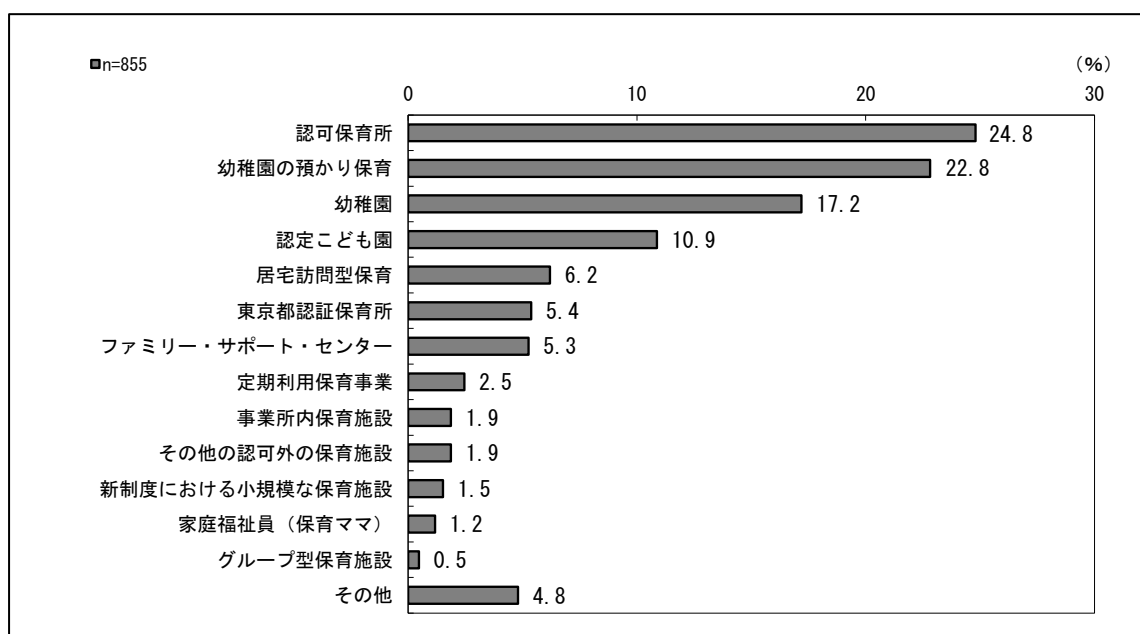
定期的に利用している教育・保育の事業は、「認可保育所」(57.1%)、「幼稚園」(34.2%)、「幼稚園の預かり保育」(7.8%)、「東京都認証保育所」(4.2%)、「事業所内保育施設」(1.1%)、「その他の認可外の保育施設」(0.9%)、「ファミリー・サポート・センター」(0.8%)、「認定こども園」・「新制度における小規模な保育施設」・「定期利用保育事業」(同率 0.2%)、「グループ型保育施設」・「居宅訪問型保育」(同率 0.1%) となっています。「その他」には、「調布市子ども発達センター通園事業」、「子ども家庭支援センターすこやか」などがあげられました。



(3) 無償となった場合に利用変更したい事業

問 15-2 教育・保育にかかる負担が無償（または上限ありの補助）となった場合、現在利用しているものから利用変更したいと思うものはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

教育・保育にかかる負担が無償となった場合に利用変更したい事業については、「認可保育所」(24.8%)、「幼稚園の預かり保育」(22.8%)、「幼稚園」(17.2%)、「認定こども園」(10.9%)、「居宅訪問型保育」(6.2%)、「東京都認証保育所」(5.4%)、「ファミリー・サポート・センター」(5.3%)、「定期利用保育事業」(2.5%)、「事業所内保育施設」(1.9%)、「その他の認可外の保育施設」(同率 1.9%)、「新制度における小規模な保育施設」(1.5%)、「家庭福祉員（保育ママ）」(1.2%)、「グループ型保育施設」(0.5%)の順となっています。「その他」には、「現在のままで良い」などがあげられました。



(4) 平日に定期的に利用している教育・保育の事業

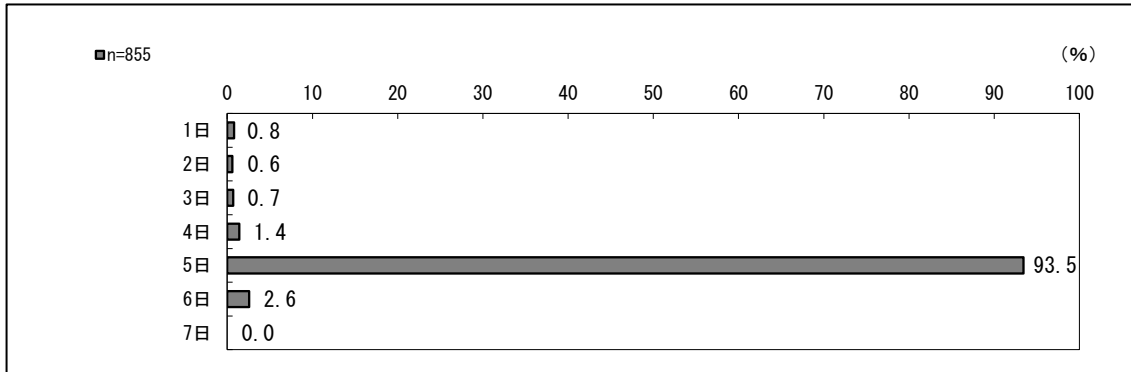
問 15-3 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。

また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

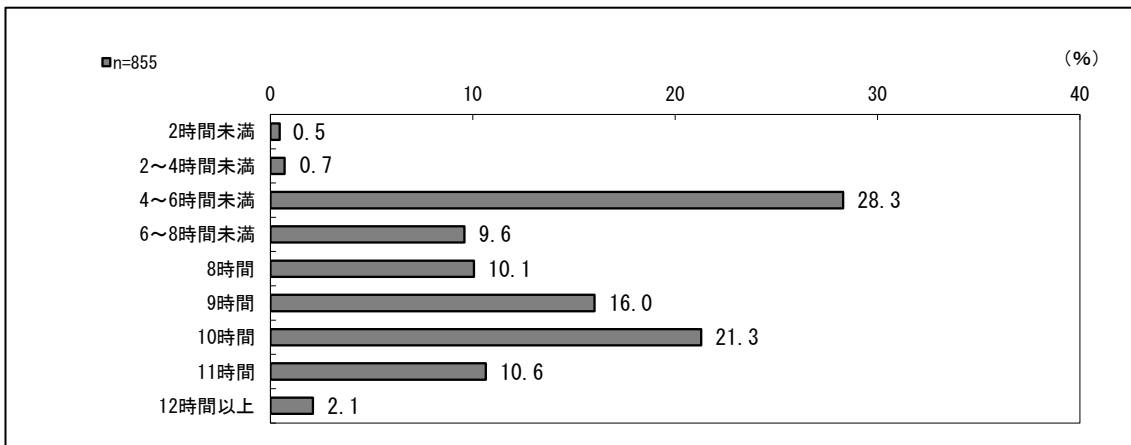
① 利用日数/週

利用日数は、「週5日」が93.5%を占めています。



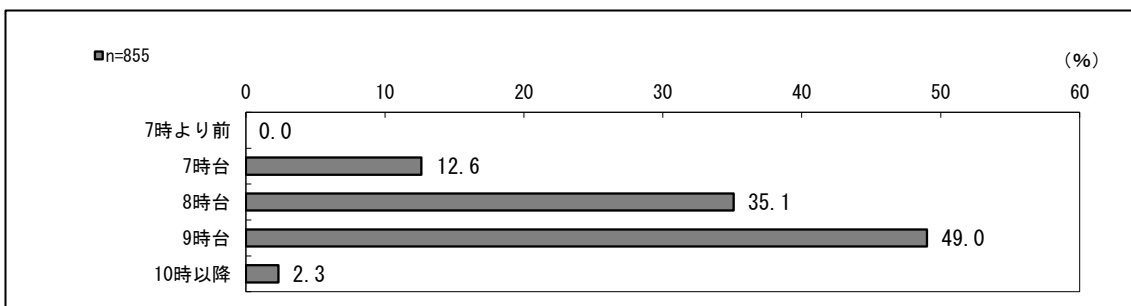
② 利用時間/日

現在の利用時間は、「4～6時間未満」(28.3%)が最も多く、次いで「10時間」(21.3%)が続き、以下、「9時間」(16.0%)、「11時間」(10.6%)、「8時間」(10.1%)、「6～8時間未満」(9.6%)、「12時間以上」(2.1%)、「2～4時間未満」(0.7%)、「2時間未満」(0.5%)となっています。



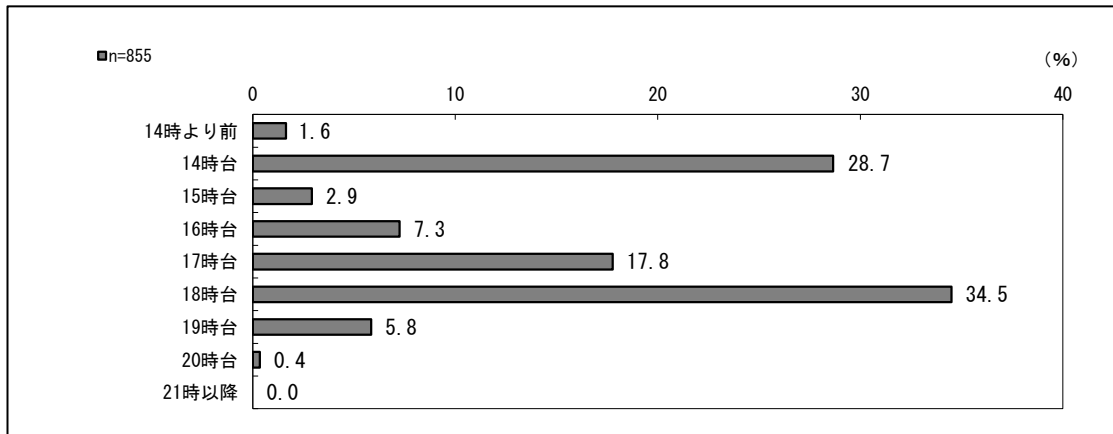
③ 開始時刻

現在の開始時刻は、「9時台」(49.0%)が最も多く、5割弱を占めています。



④ 終了時刻

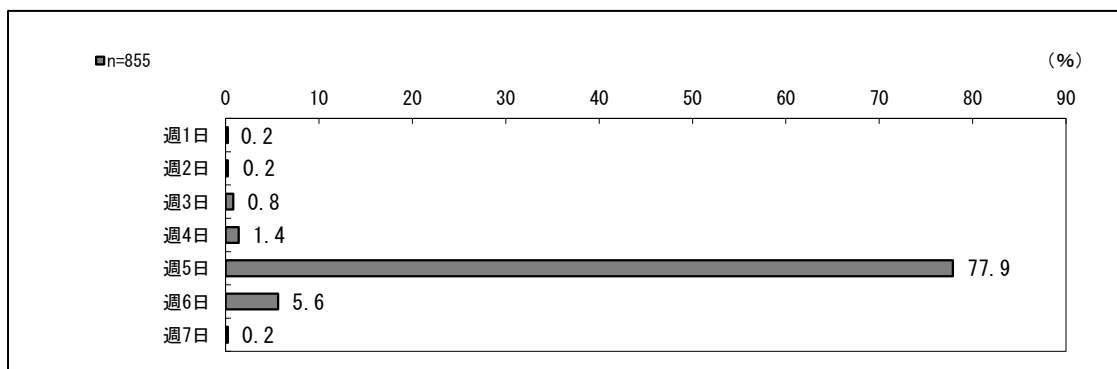
現在の終了時刻は、「18 時台」(34.5%) が最も多く、次いで「14 時台」(28.7%) が続き、以下、「17 時台」(17.8%)、「16 時台」(7.3%)、「19 時台」(5.8%)、「15 時台」(2.9%)、「14 時より前」(1.6%) となっています。



(2) 希望

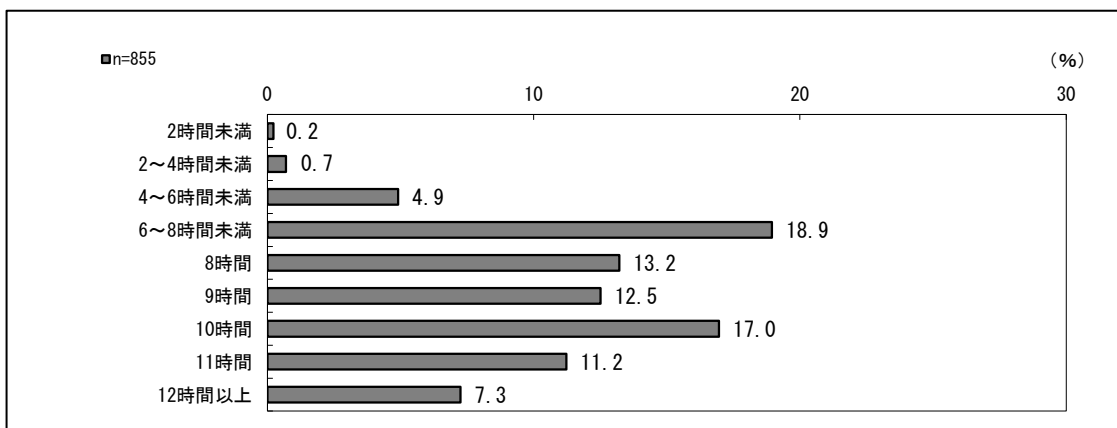
① 利用日数/週

希望する日数は、「週 5 日」が 77.9% となっています。



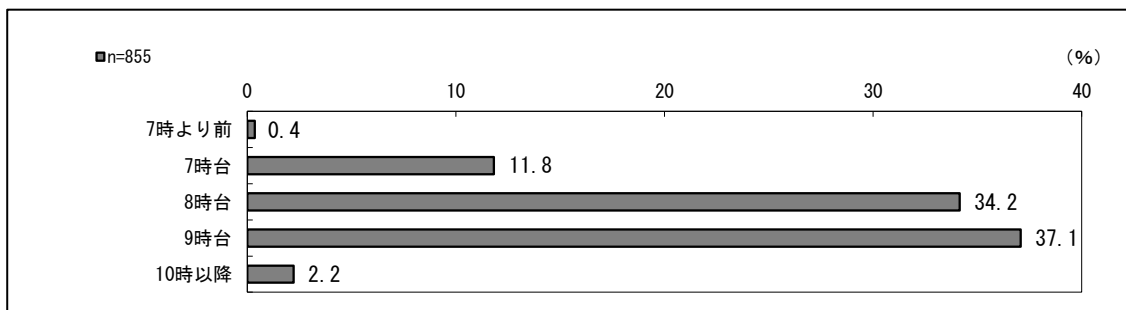
② 利用時間/日

希望の利用時間は、「6～8 時間未満」(18.9%) が最も多く、次いで「10 時間」(17.0%) が続き、以下、「8 時間」(13.2%)、「9 時間」(12.5%)、「11 時間」(11.2%)、「12 時間以上」(7.3%)、「4～6 時間未満」(4.9%)、「2～4 時間未満」(0.7%)、「2 時間未満」(0.2%) となっています。



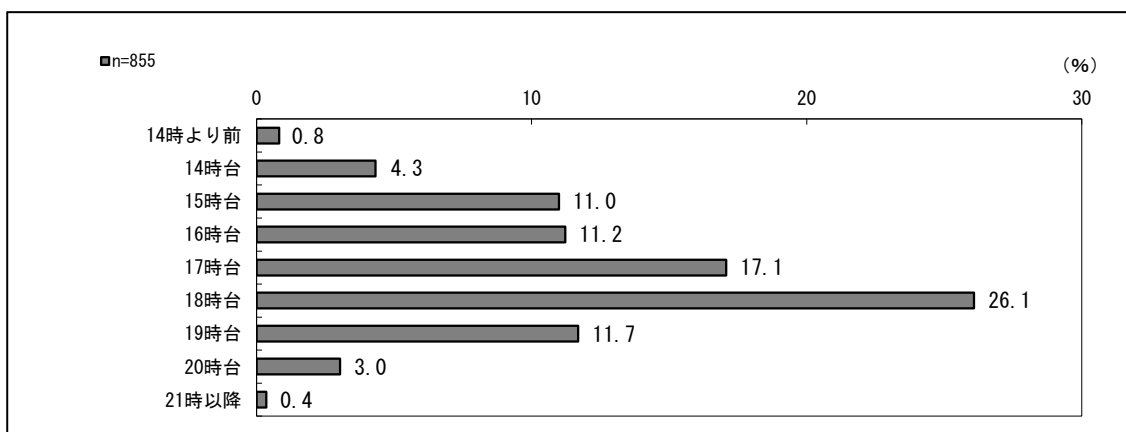
③ 希望開始時刻

希望の開始時刻は、「9時台」(37.1%)が最も多く、次いで「8時台」(34.2%)が続き、以下、「7時台」(11.8%)、「10時以降」(2.2%)、「7時より前」(0.4%)となっています。



④ 希望終了時刻

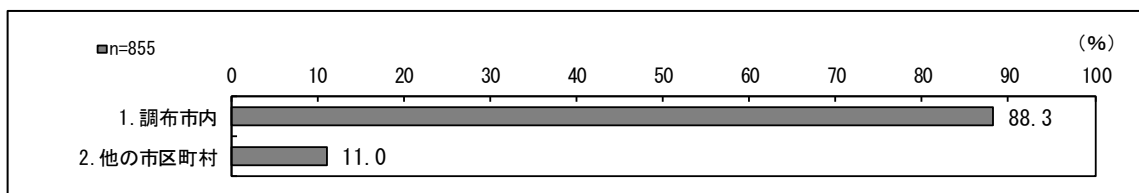
希望の終了時刻は、「18時台」(26.1%)が最も多く、次いで「17時台」(17.1%)が続き、以下、「19時台」(11.7%)、「16時台」(11.2%)、「15時台」(11.0%)、「14時台」(4.3%)、「20時台」(3.0%)、「14時より前」(0.8%)、「21時以降」(0.4%)となっています。



(5) 利用している教育・保育事業の実施場所

問 15-4 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1」、「2」のいずれかに○をつけてください。

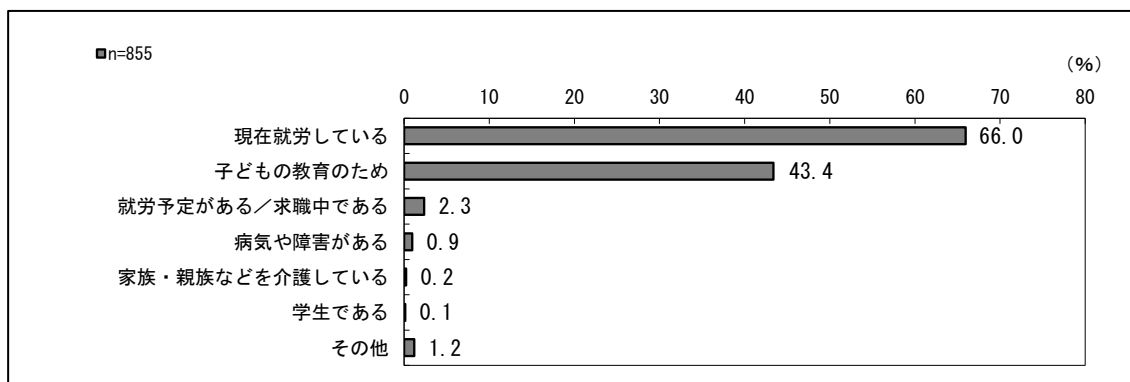
利用している教育・保育事業の実施場所については、「調布市内」(88.3%)、「他の市区町村」(11.0%)となっています。



(6) 教育・保育事業を利用している理由

問 15-5 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。
主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

教育・保育事業を利用している理由については、「現在就労している」(66.0%)、「子どもの教育のため」(43.4%)、「就労予定がある／求職中である」(2.3%)、「病気や障害がある」(0.9%)、「家族・親族などを介護している」(0.2%)、「学生である」(0.1%)の順となっています。



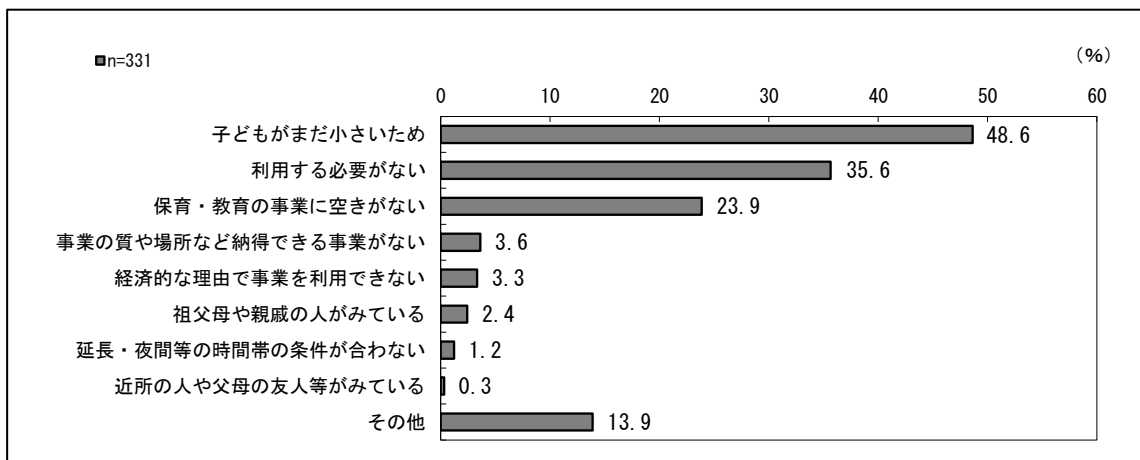
○「その他」の記載内容例

- ・産休復帰をスムーズにするため。子供を2人同時に認可保育園に入園できない可能性があるため。
- ・1人っ子なので、年上、年下の子とふれあう機会があるため。
- ・育休中のため。

(7) 教育・保育事業を利用していない理由

問 15-6 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。【複数回答】

教育・保育事業を利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため」(48.6%)、「利用する必要がない」(35.6%)、「保育・教育の事業に空きがない」(23.9%)、「事業の質や場所など納得できる事業がない」(3.6%)、「経済的な理由で事業を利用できない」(3.3%)、「祖父母や親戚の人がみている」(2.4%)、「延長・夜間等の時間帯の条件が合わない」(1.2%)、「近所の人や父母の友人等がみている」(0.3%) の順となっています。「その他」には、「母親が育児休業中のため」、「4月に申し込む予定」などがあげられました。

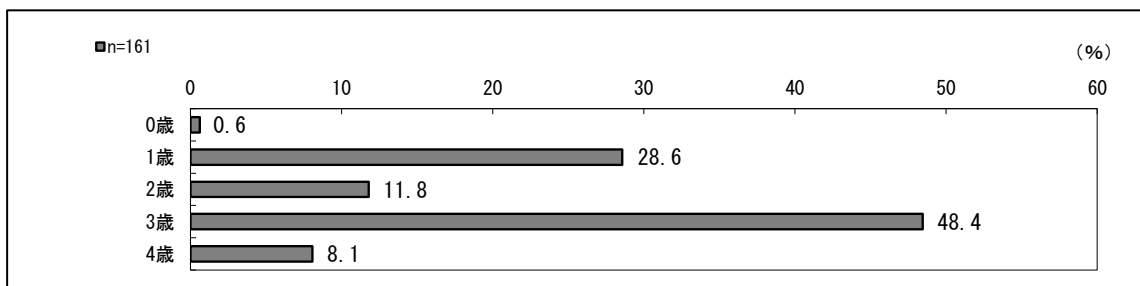


○「その他」の記載内容例

- ・ 3歳なので、来年幼稚園入園予定。
- ・ 病気療養のため利用できない。
- ・ 育休中のため。
- ・ まずは仕事を探さなければならず、現実的に難しい。

① 利用開始時期(子どもの年齢)

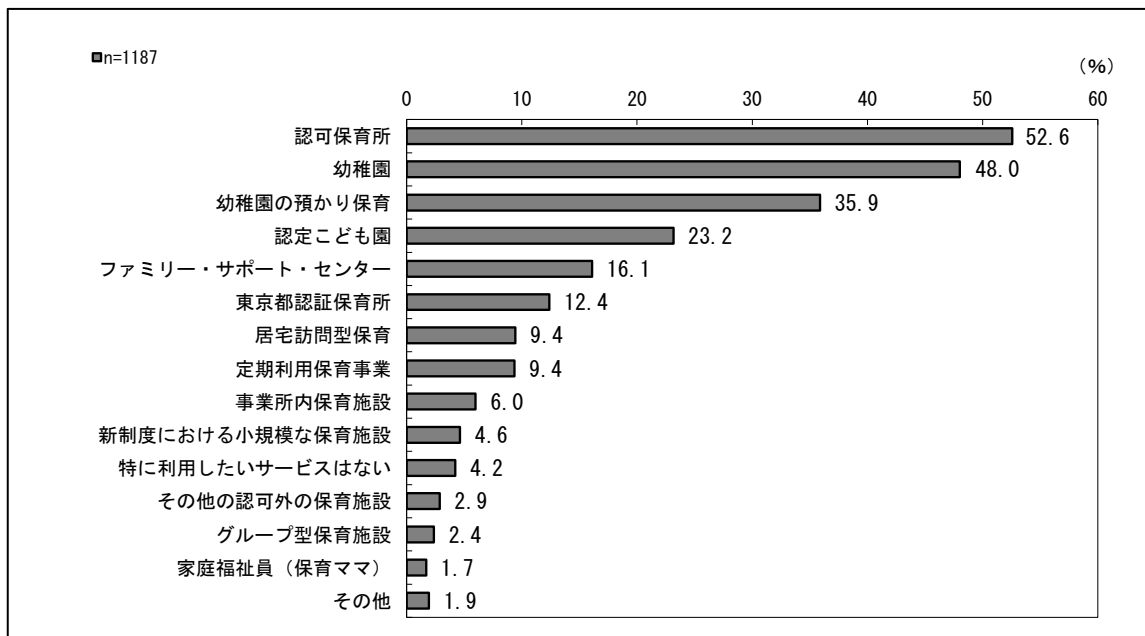
「子どもがまだ小さいため」と答えた人の、希望の利用開始時期(子どもの年齢)は、「3歳」(48.4%)、「1歳」(28.6%)、「2歳」(11.8%)、「4歳」(8.1%)、「0歳」(0.6%) となっています。



(8) 今後定期的に利用したい教育・保育事業

問 16 すべての方にかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。【複数回答】

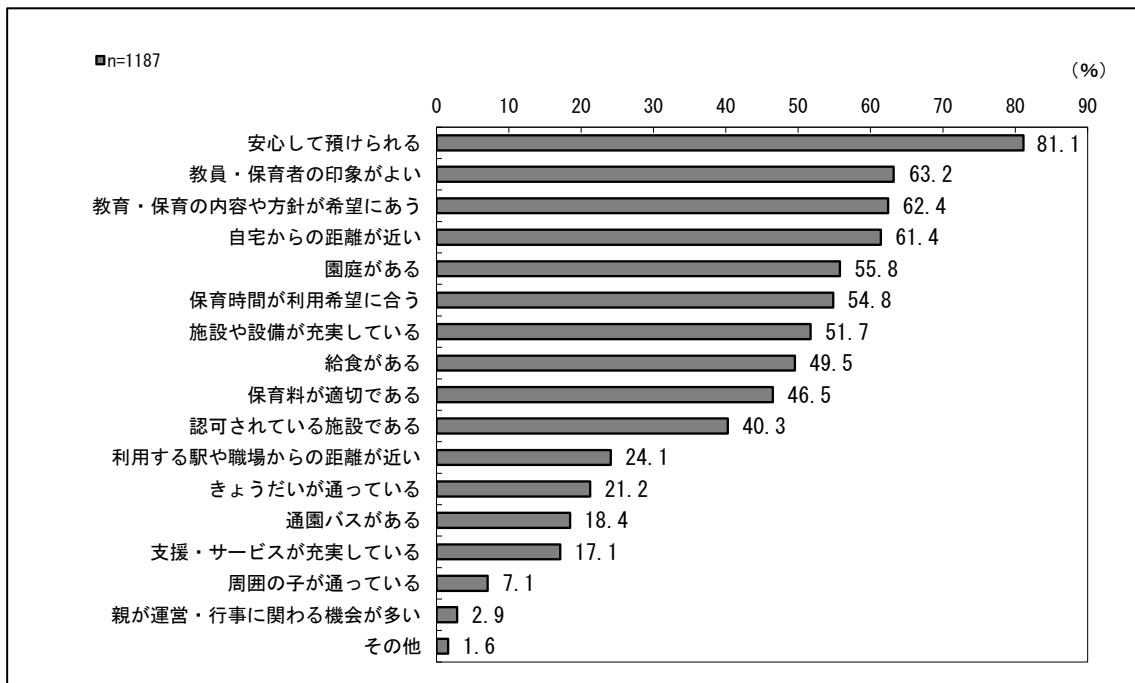
今後定期的に利用したい教育・保育事業については、「認可保育所」(52.6%)、「幼稚園」(48.0%)、「幼稚園の預かり保育」(35.9%)、「認定こども園」(23.2%)、「ファミリー・サポート・センター」(16.1%)、「東京都認証保育所」(12.4%)、「居宅訪問型保育」(9.4%)、「定期利用保育事業」(9.4%)、「事業所内保育施設」(6.0%)、「新制度における小規模な保育施設」(4.6%)、「特に利用したいサービスはない」(4.2%)、「その他の認可外の保育施設」(2.9%)、「グループ型保育施設」(2.4%)、「家庭福祉員(保育ママ)」(1.7%)などの順となっています。



(9) 事業を希望する上で重視する条件

問 16-1 問 16 で選んだ事業を希望する上で重視する条件についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

事業を希望する上で重視する条件については、「安心して預けられる」(81.1%)、「教員・保育者の印象がよい」(63.2%)、「教育・保育の内容や方針が希望にあう」(62.4%)、「自宅からの距離が近い」(61.4%)、「園庭がある」(55.8%)、「保育時間が利用希望に合う」(54.8%)、「施設や設備が充実している」(51.7%)、「給食がある」(49.5%)、「保育料が適切である」(46.5%)、「認可されている施設である」(40.3%)、「利用する駅や職場からの距離が近い」(24.1%)、「きょうだいが通っている」(21.2%)、「通園バスがある」(18.4%)、「支援・サービスが充実している」(17.1%)、「周囲の子が通っている」(7.1%)、「親が運営・行事に関わる機会が多い」(2.9%)などの順となっています。「その他」には、「発達障害について理解がある」、「保護者の雰囲気が良い」などがあげられました。



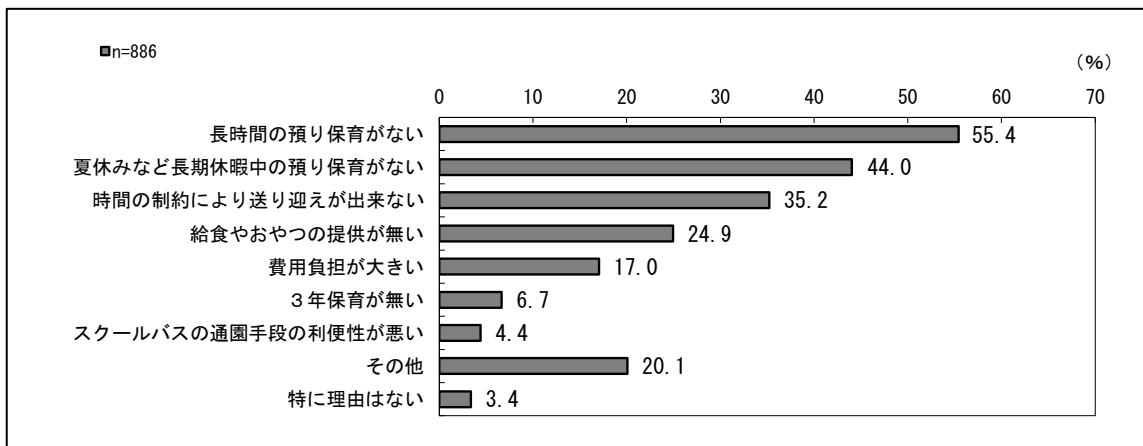
○「その他」の記載内容例

- ・発達障害について理解がある。
- ・保護者の雰囲気がよい。
- ・食物アレルギー、アナフィラキシー対応の体制が整っているところ。
- ・安全である。
- ・適切な医療ケアが受けられる。
- ・自宅から距離が近い。
- ・利用料の安さ。

(10) 幼稚園を利用していない理由

問 16-2 「幼稚園」を利用されていない方にうかがいます。幼稚園を利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

幼稚園を利用していない理由については、「長時間の預り保育がない」(55.4%)、「夏休みなど長期休暇中の預り保育がない」(44.0%)、「時間の制約により送り迎えが出来ない」(35.2%)、「給食やおやつの提供が無い」(24.9%)、「費用負担が大きい」(17.0%)、「3年保育が無い」(6.7%)、「スクールバスの通園手段の利便性が悪い」(4.4%)などの順となっています。「その他」には、「子どもが利用できる年齢に達していない」、「保護者が就労している家庭には向かない」などがあげられました。



○「その他」の記載内容例

- ・まだ小さいため。
- ・突発的な休みが多いときくので、働く家庭向けではないと思うので。
- ・認可保育園に比べ、一学年の人数が多い。
- ・平日行事が多い。
- ・医療ケアが受けられない。

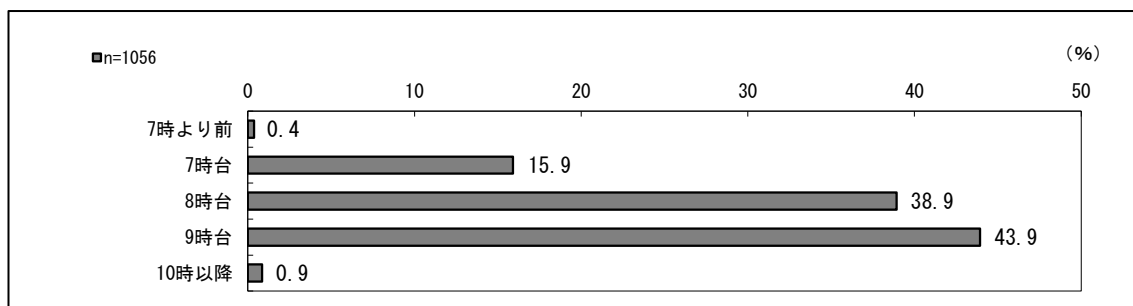
(11) 幼稚園を利用する場合の希望利用時間

問 16-3 宛名のお子さんについて、「幼稚園」を利用するとした場合、利用したい時間帯を、平日・休日ごとに(例)09時~18時のように24時間制でご記入ください。

① 平日

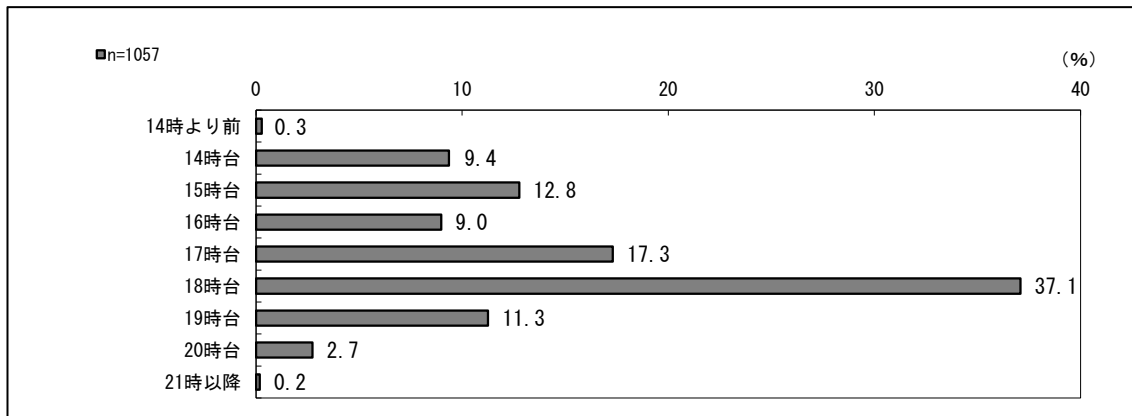
開始時刻

平日の希望開始時刻は、「9時台」(43.9%)、「8時台」(38.9%)、「7時台」(15.9%)、「10時以降」(0.9%)、「7時より前」(0.4%)となっています。



終了時刻

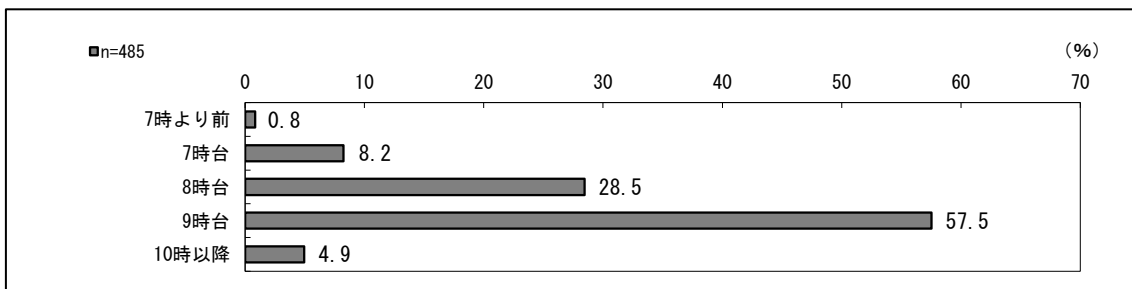
平日の希望終了時刻は、「18時台」(37.1%)が最も多く、次いで、「17時台」(17.3%)が続き、「15時台」(12.8%)、「19時台」(11.3%)、「14時台」(9.4%)、「16時台」(9.0%)、「20時台」(2.7%)、「14時より前」(0.3%)、「21時以降」(0.2%)となっています。



② 休日

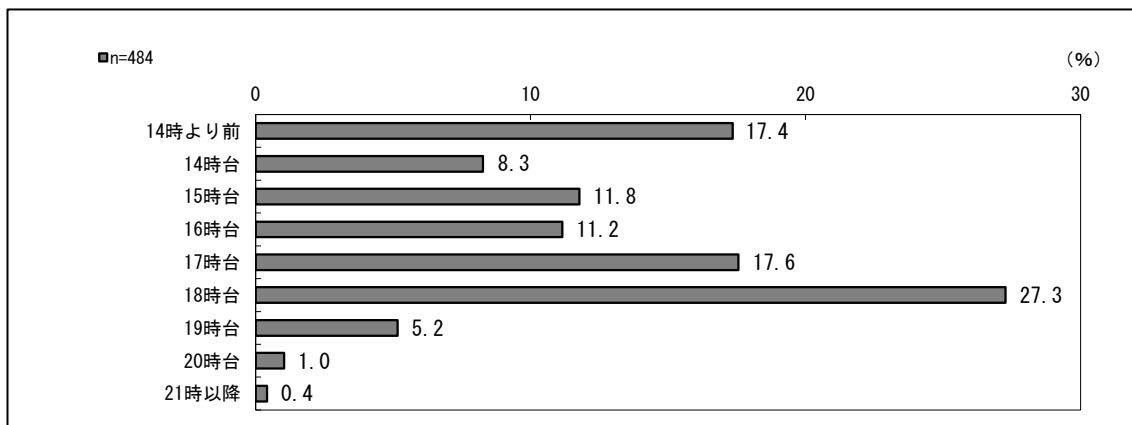
開始時刻

休日の希望開始時刻は、「9時台」(57.5%)、「8時台」(28.5%)、「7時台」(8.2%)、「10時以降」(4.9%)、「7時より前」(0.8%)となっています。



終了時刻

休日の希望終了時刻は、「18時台」(27.3%)が最も多く、次いで「17時台」(17.6%)が続き、以下、「14時より前」(17.4%)、「15時台」(11.8%)、「16時台」(11.2%)、「14時台」(8.3%)、「19時台」(5.2%)、「20時台」(1.0%)、「21時以降」(0.4%)となっています。

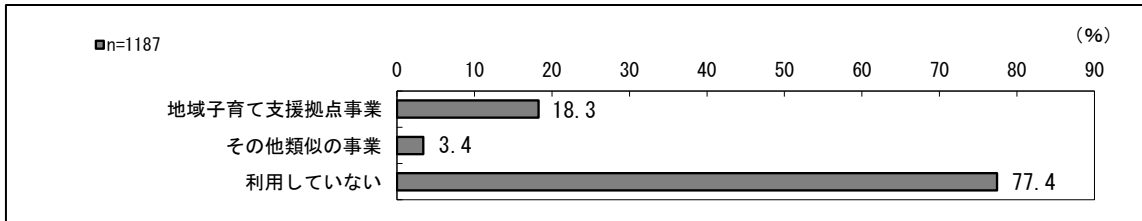


7 地域の子育て支援事業の利用状況

(1) 現在利用している地域子育て支援拠点事業

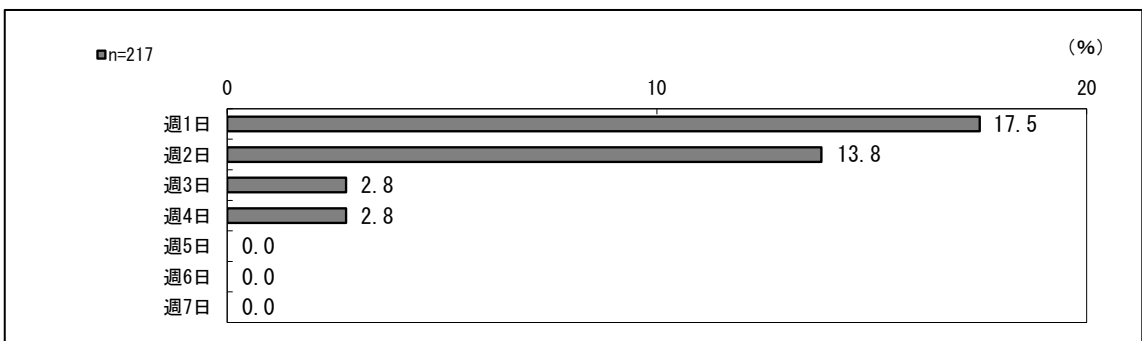
問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育てひろば」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。
【複数回答】

現在利用している地域子育て支援拠点事業については、「利用していない」が 77.4%、「地域子育て支援事業を利用している」が 18.3%となっています。



① 地域子育て支援拠点事業の利用頻度

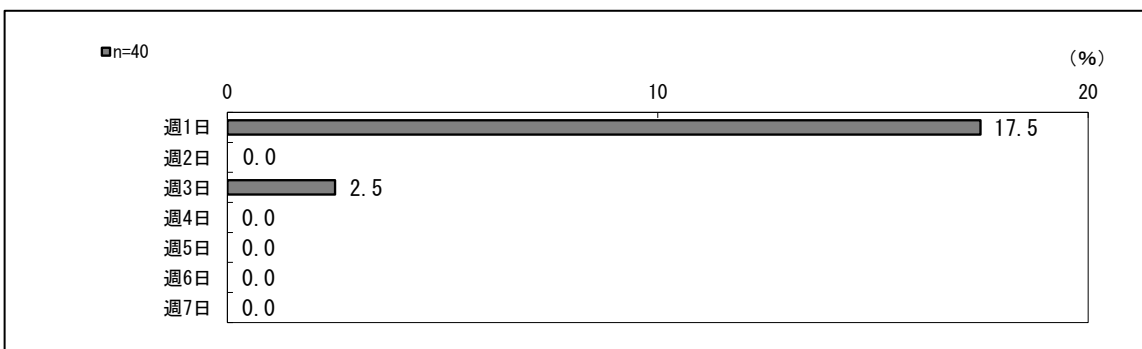
地域子育て支援事業の利用頻度は「週 1 日」(17.5%)、「週 2 日」(13.8%)、「週 3 日」(2.8%)、「週 4 日」(2.8%) となっています。



② その他類似の事業の利用頻度

その他類似の事業の利用頻度は、「週 1 日」が 17.5%となっています。

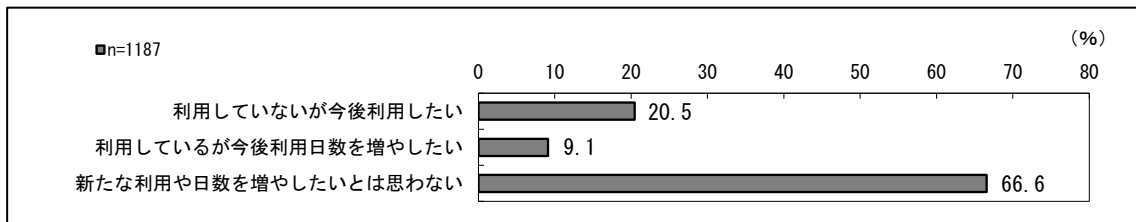
また、事業の具体名には、「すこやか」、「プレイセンターちょうふ」、「調布市子ども発達センター」などがあげられました。



(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

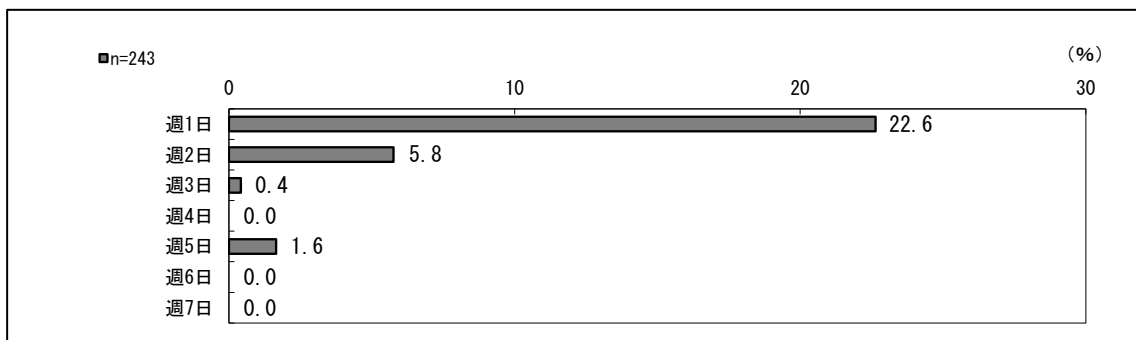
問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向については、「新たな利用や日数を増やしたいとは思わない」が66.6%を占めています。



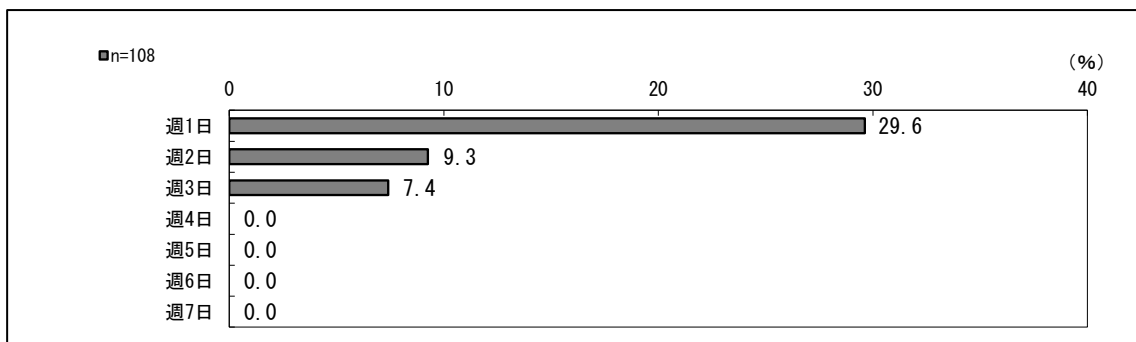
① 新たに利用したい希望利用頻度

新たに利用したい希望利用頻度は「週1回」が22.6%となっています。



② 今後増やしたい希望利用頻度

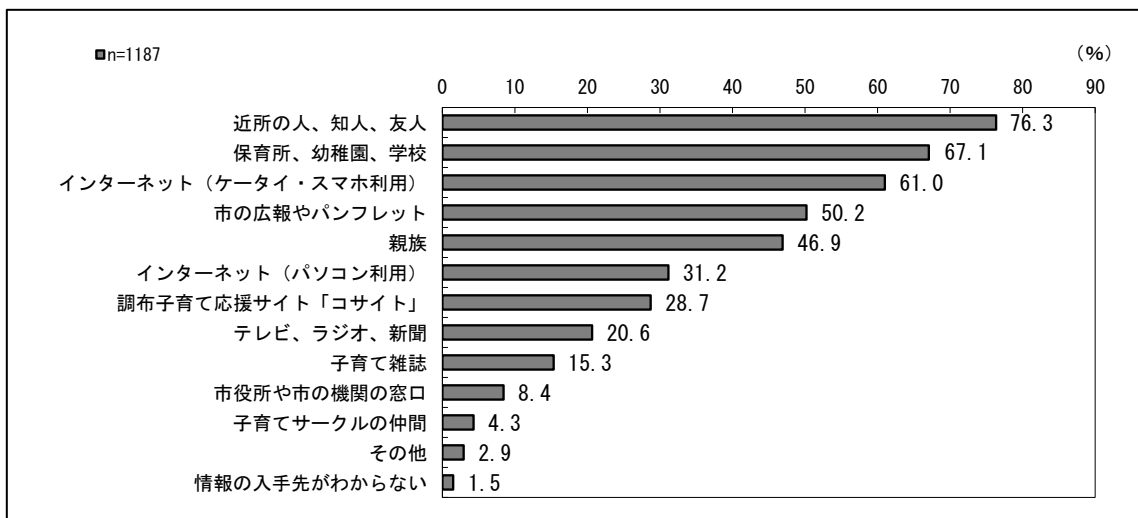
今後増やしたい希望利用頻度も、「週1回」が29.6%で最も多くなっています。



(3) 子育てに関する情報の入手先

問 19 あなたは、子育てに関する情報をどこ（誰・何）から入手しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

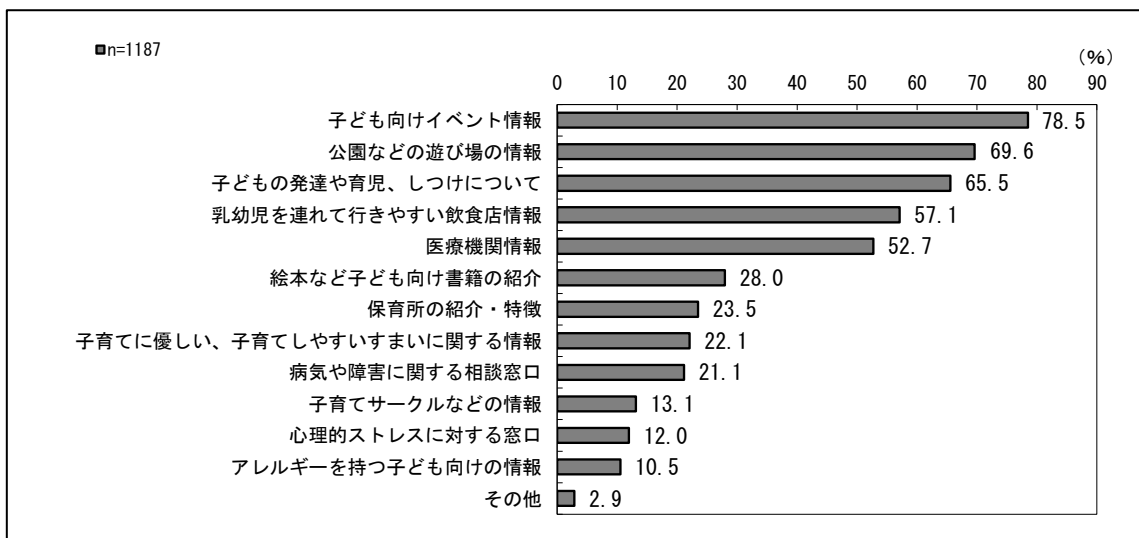
子育てに関する情報の入手先については、「近所の人、知人、友人」(76.3%)、「保育所、幼稚園、学校」(67.1%)、「インターネット（ケータイ・スマホ利用）」(61.0%)、「市の広報やパンフレット」(50.2%)、「親族」(46.9%)、「インターネット（パソコン利用）」(31.2%)、「調布子育て応援サイト「コサイト」」(28.7%)、「テレビ、ラジオ、新聞」(20.6%)、「子育て雑誌」(15.3%)、「市役所や市の機関の窓口」(8.4%)、「子育てサークルの仲間」(4.3%)などの順となっています。「その他」には、「本」、「子どもの通信教育」、「職場」などがあげられました。



(4) 子育てに関する情報で欲しいと思うこと

問 19-1 あなたは、子育てに関するどのような情報が欲しいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

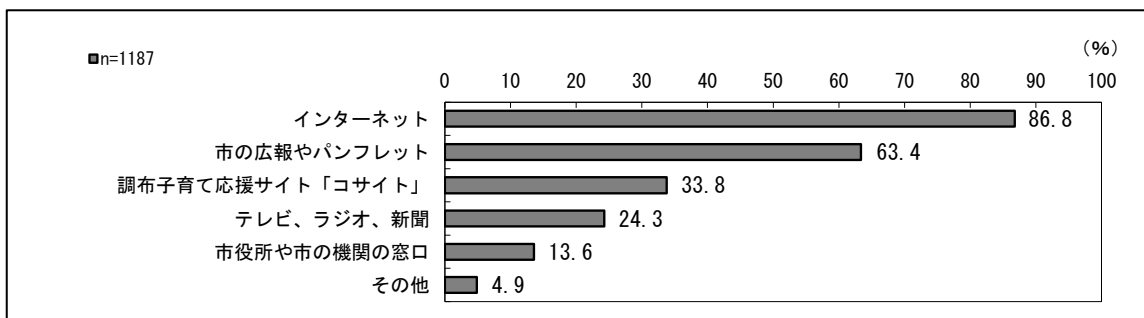
子育てに関する情報で欲しいと思うことについては、「子ども向けイベント情報」(78.5%)、「公園などの遊び場の情報」(69.6%)、「子どもの発達や育児、しつけについて」(65.5%)、「乳幼児を連れて行きやすい飲食店情報」(57.1%)、「医療機関情報」(52.7%)、「絵本など子ども向け書籍の紹介」(28.0%)、「保育所の紹介・特徴」(23.5%)、「子育てに優しい、子育てしやすいすまいに関する情報」(22.1%)、「病気や障害に関する相談窓口」(21.1%)、「子育てサークルなどの情報」(13.1%)、「心理的ストレスに対する窓口」(12.0%)、「アレルギーを持つ子ども向けの情報」(10.5%)などの順となっています。「その他」には、「習い事等の情報」、「小学校に関すること」などがあげられました。



(5) 子育てに関する情報をどこから入手したいか

問 19-2 あなたは、子育てに関する情報をどこから入手したいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

子育てに関する情報をどこから入手したいかについては、「インターネット」(86.8%)、「市の広報やパンフレット」(63.4%)、「調布子育て応援サイト「コサイト」」(33.8%)、「テレビ、ラジオ、新聞」(24.3%)、「市役所や市の機関の窓口」(13.6%)の順となっています。「その他」には、「ママ友」、「保育園」、「幼稚園」などがあげられました。



(6) これまでに利用したことがある事業、今後利用したいと思う事業

① 認知状況

問 20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑪の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「1. はい」「2. いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

A 認知状況

事業の認知状況について、「1. はい」（知っている）の率が高いものを見ると、「子ども家庭支援センターすこやか」（88.5%）、「赤ちゃん訪問事業」（87.9%）、「母親・両親学級」（86.6%）、「児童館等の子育てひろば」（86.2%）、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」（84.0%）、「子育てカフェ aona」（79.8%）などとなっています。

(%)	はい	いいえ	無回答	n
①-1 赤ちゃん訪問事業	87.9	5.7	6.4	1187
①-2 母親・両親学級	86.6	7.7	5.7	1187
①-3 スキンケア・わくわく育児教室・こどもの相談室	51.3	43.8	4.9	1187
①-4 こども歯科相談室	72.1	22.1	5.8	1187
②児童館等の子育てひろば	86.2	7.8	6.1	1187
③プレイセンターちょうふ	59.4	35.9	4.7	1187
④教育相談所の相談事業	31.7	63.7	4.6	1187
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	84.0	12.0	4.0	1187
⑥保育所の育児相談	50.5	45.7	3.7	1187
⑦子ども発達センター	57.5	38.3	4.1	1187
⑧子ども家庭支援センターすこやか	88.5	4.9	6.6	1187
⑨子育て支援情報誌「元気に育て!!調布っ子」	74.8	21.0	4.2	1187
⑩調布子育て応援サイト「コサイト」	74.1	21.5	4.4	1187
⑪子育てカフェ aona	79.8	14.9	5.3	1187

② 利用経験

問 20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑪の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「1.はい」「2.いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

B 利用経験

これまでに利用したことがある事業について、「1.はい」（利用したことがある）の率が高いものをみると、「赤ちゃん訪問事業」（79.4%）、「子ども家庭支援センターすこやか」（76.3%）、「児童館等の子育てひろば」（66.6%）、「子育てカフェ aona」（61.1%）、「調布子育て応援サイト「コサイト」」（59.7%）、「子育て支援情報誌「元気に育て!!調布っ子」」（57.9%）などとなっています。

(%)	はい	いいえ	無回答	n
①-1 赤ちゃん訪問事業	79.4	16.3	4.4	1187
①-2 母親・両親学級	54.7	39.7	5.6	1187
①-3 スキンケア・わくわく育児教室・こどもの相談室	23.3	68.3	8.3	1187
①-4 こども歯科相談室	42.1	51.2	6.7	1187
②児童館等の子育てひろば	66.6	28.2	5.1	1187
③プレイセンターちょうふ	38.4	54.0	7.6	1187
④教育相談所の相談事業	5.5	83.8	10.7	1187
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	36.7	56.3	7.0	1187
⑥保育所の育児相談	7.2	83.1	9.8	1187
⑦子ども発達センター	11.7	79.2	9.1	1187
⑧子ども家庭支援センターすこやか	76.3	19.9	3.8	1187
⑨子育て支援情報誌「元気に育て!!調布っ子」	57.9	35.1	7.0	1187
⑩調布子育て応援サイト「コサイト」	59.7	33.5	6.7	1187
⑪子育てカフェ aona	60.1	35.3	4.6	1187

③ 利用希望

問 20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑪の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「1. はい」「2. いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

C 利用希望

今後の利用希望について、「1. はい」（今後利用したい）の率が高いものをみると、「子育てカフェ aona」（69.8%）、「調布子育て応援サイト「コサイト」」（67.9%）、「子ども家庭支援センターすこやか」（67.5%）、「子育て支援情報誌「元気に育て!!調布っ子」」（63.4%）、「児童館等の子育てひろば」（59.3%）、「こども歯科相談室」（57.5%）などとなっています。

	(%)			n
	はい	いいえ	無回答	
①-1 赤ちゃん訪問事業	45.2	40.7	14.2	1187
①-2 母親・両親学級	33.2	53.2	13.6	1187
①-3 ステップ・わくわく育児教室・こどもの相談室	40.0	47.4	12.6	1187
①-4 こども歯科相談室	57.5	31.7	10.9	1187
②児童館等の子育てひろば	59.3	29.4	11.3	1187
③プレイセンターちょうふ	54.3	34.0	11.6	1187
④教育相談所の相談事業	37.7	50.0	12.2	1187
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	52.1	36.6	11.2	1187
⑥保育所の育児相談	34.3	53.9	11.8	1187
⑦子ども発達センター	33.0	55.1	11.9	1187
⑧子ども家庭支援センターすこやか	67.5	21.1	11.4	1187
⑨子育て支援情報誌「元気に育て!!調布っ子」	63.4	25.4	11.2	1187
⑩調布子育て応援サイト「コサイト」	67.9	20.9	11.2	1187
⑪子育てカフェ aona	69.8	20.3	9.9	1187

8 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望

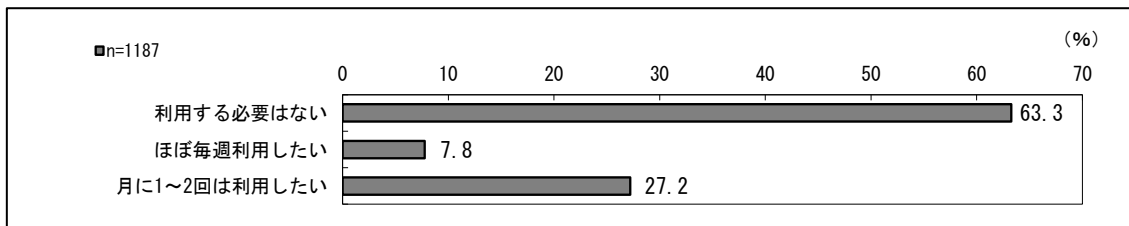
(1) 土曜日と日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望

問 21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生することもあります。

① 土曜日

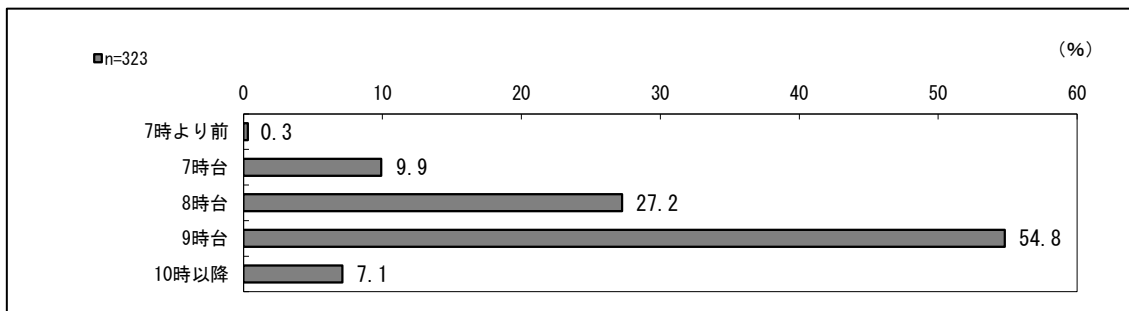
(1) 利用希望

土曜日の利用希望は、「利用する必要はない」(63.3%)、「月に1～2回は利用したい」(27.2%)、「ほぼ毎週利用したい」(7.8%)となっています。



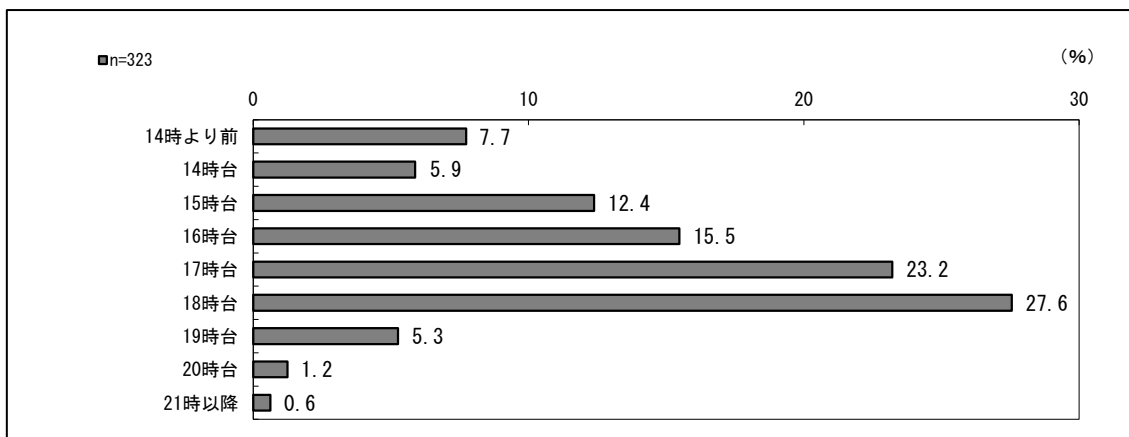
(2) 開始時刻

希望がある場合の希望開始時刻は、「9時台」(54.8%)、「8時台」(27.2%)、「7時台」(9.9%)、「10時以降」(7.1%)、「7時より前」(0.3%)となっています。



(3) 終了時刻

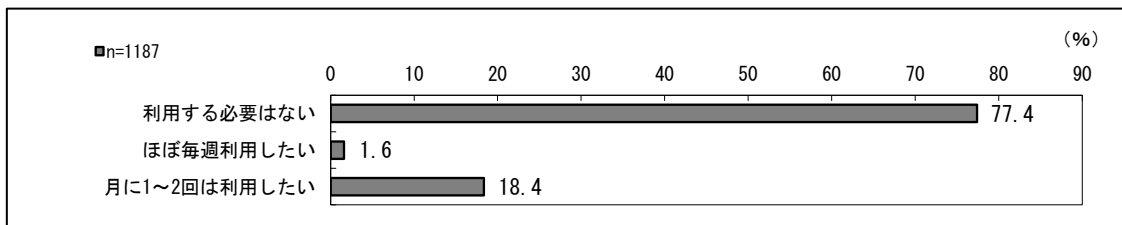
希望終了時刻は、「18時台」(27.6%)、「17時台」(23.2%)、「16時台」(15.5%)、「15時台」(12.4%)、「14時より前」(7.7%)、「14時台」(5.9%)、「19時台」(5.3%)、「20時台」(1.2%)、「21時以降」(0.6%)となっています。



② 日曜日・祝日

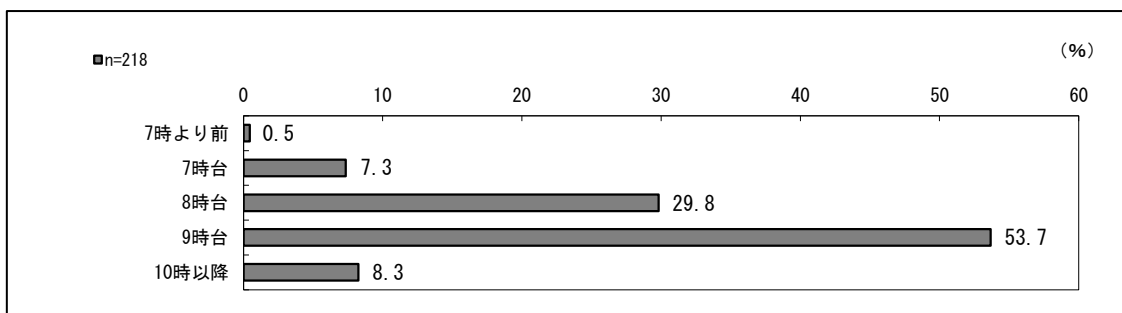
(1) 利用希望

日曜日・祝日の利用希望は、「利用する必要はない」(77.4%)、「月に1~2回は利用したい」(18.4%)、「ほぼ毎週利用したい」(1.6%)となっています。



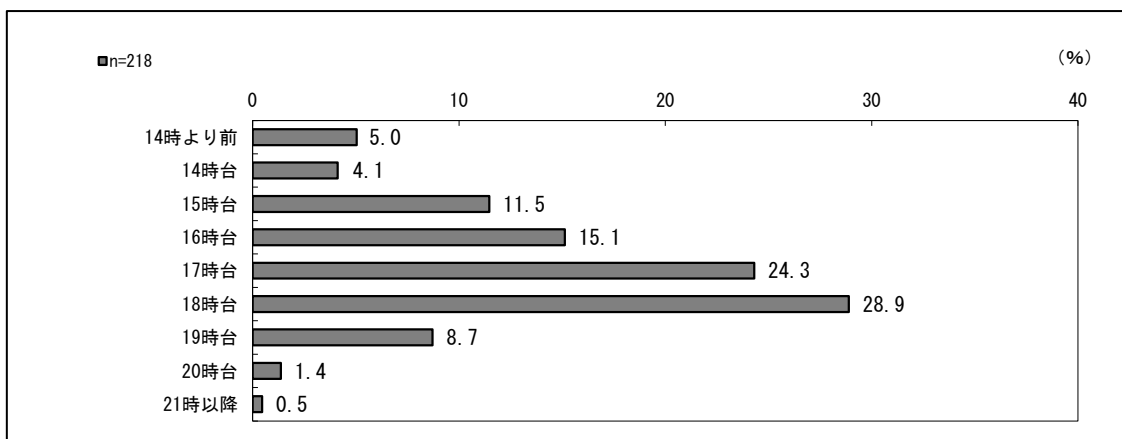
(2) 開始時刻

希望がある場合の希望開始時刻は、「9時台」(53.7%)、「8時台」(29.8%)、「10時以降」(8.3%)、「7時台」(7.3%)、「7時より前」(0.5%)となっています。



(3) 終了時刻

希望終了時刻は、「18時台」(28.9%)、「17時台」(24.3%)、「16時台」(15.1%)、「15時台」(11.5%)、「19時台」(8.7%)、「14時より前」(5.0%)、「14時台」(4.1%)、「20時台」(1.4%)、「21時以降」(0.5%)となっています。

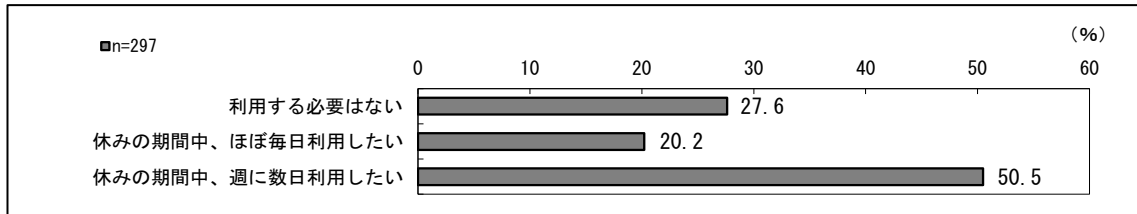


(2) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

問 22 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

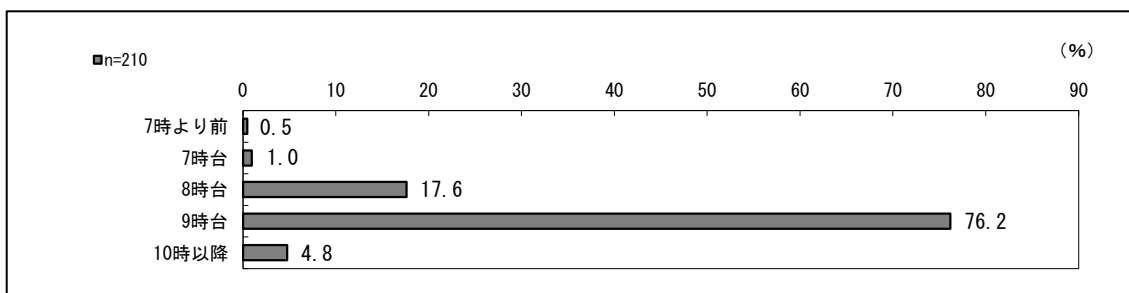
(1) 利用希望

長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望については、「休みの期間中、週に数日利用したい」(50.5%)、「利用する必要はない」(27.6%)、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(20.2%)となっています。



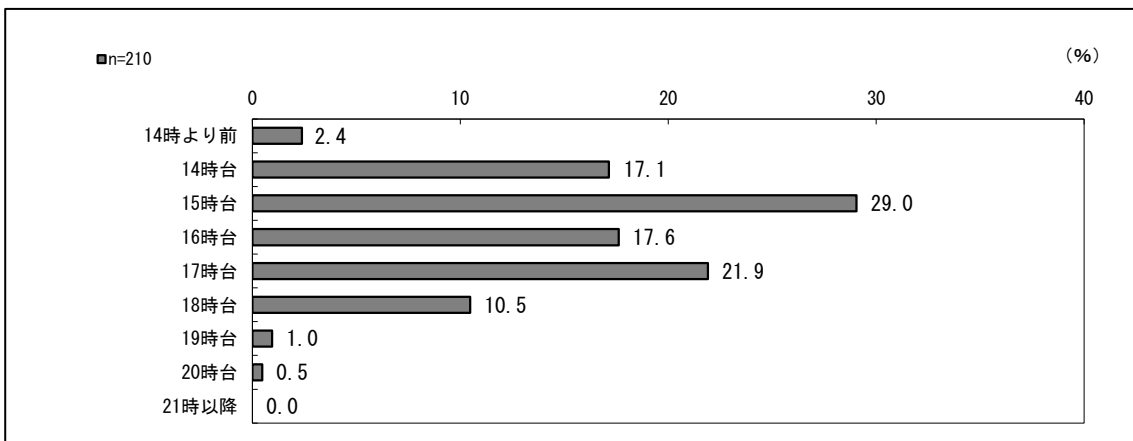
(2) 開始時刻

希望がある場合の希望開始時刻は、「9時台」(76.2%)、「8時台」(17.6%)、「10時以降」(4.8%)、「7時台」(1.0%)、「7時より前」(0.5%)となっています。



(3) 終了時刻

希望終了時刻は、「15時台」(29.0%)、「17時台」(21.9%)、「16時台」(17.6%)、「14時台」(17.1%)、「18時台」(10.5%)、「14時より前」(2.4%)、「19時台」(1.0%)、「20時台」(0.5%)、「21時以降」(0.0%)となっています。

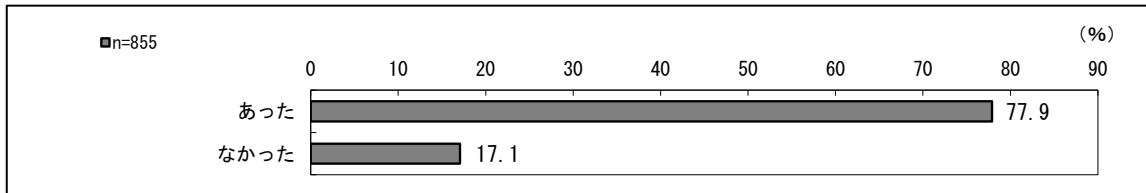


9 子どもの病気の際の対応について

(1) 病気等で利用できなかったこと

問 23 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で1に○をつけた方）にうかがいます。利用していない方は、問 24 にお進みください。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

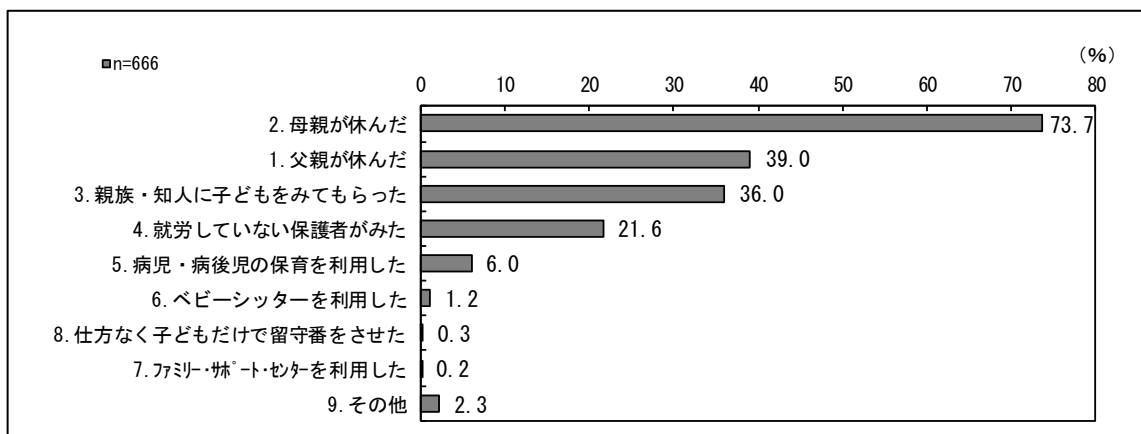
病気等で利用できなかったことは、「あった」(77.9%)、「なかった」(17.1%)となっています。



(2) この1年間の対処方法

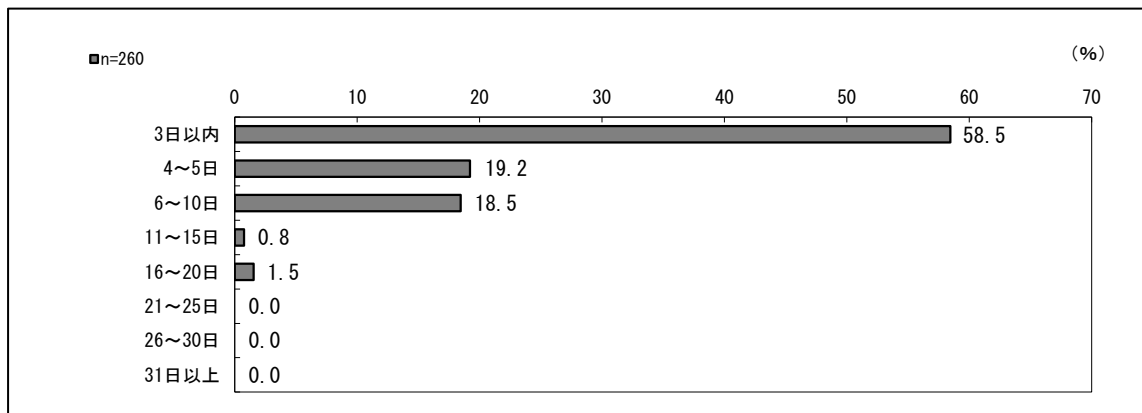
問 23-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)。【複数回答】

この1年間の対処法については、「母親が休んだ」(73.7%)、「父親が休んだ」(39.0%)、「親族・知人に子どもをみてもらった」(36.0%)、「就労していない保護者がみた」(21.6%)、「病児・病後児の保育を利用した」(6.0%)、「ベビーシッターを利用した」(1.2%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(0.3%)、「ファミリー・サポート・センターを利用した」(0.2%)などの順となっています。「その他」には、「在宅勤務で対応した」、「育休中のため母親がみていた」などがあげられました。



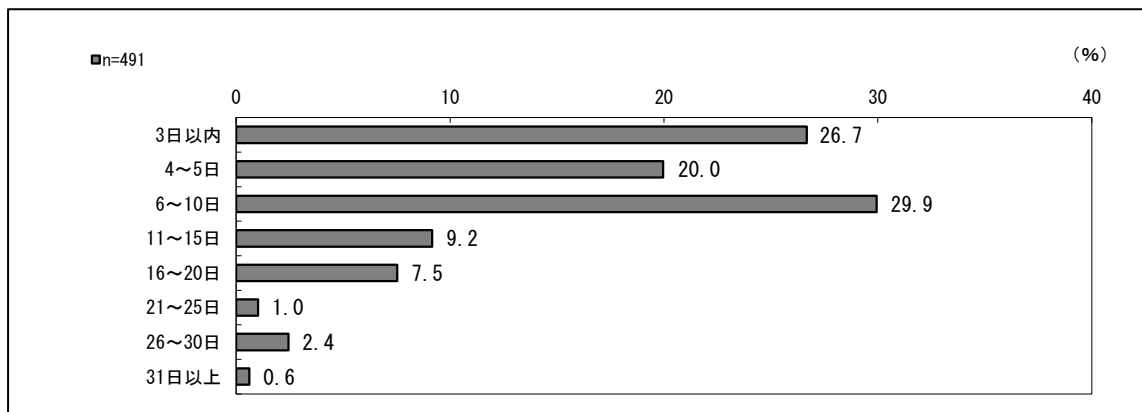
日数：父親が休んだ

父親が休んだ日数は、「3日以内」(58.5%)、「4～5日」(19.2%)、「6～10日」(18.5%)、「16～20日」(1.5%)、「11～15日」(0.8%) となっています。



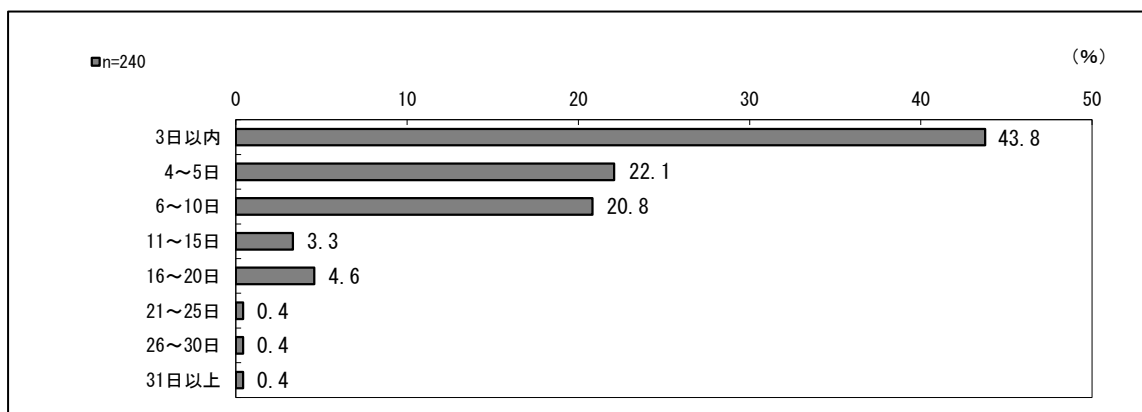
日数：母親が休んだ

母親が休んだ日数は、「6～10日」(29.9%)、「3日以内」(26.7%)、「4～5日」(20.0%)、「11～15日」(9.2%)、「16～20日」(7.5%)、「26～30日」(2.4%)、「21～25日」(1.0%)、「31日以上」(0.6%) となっています。



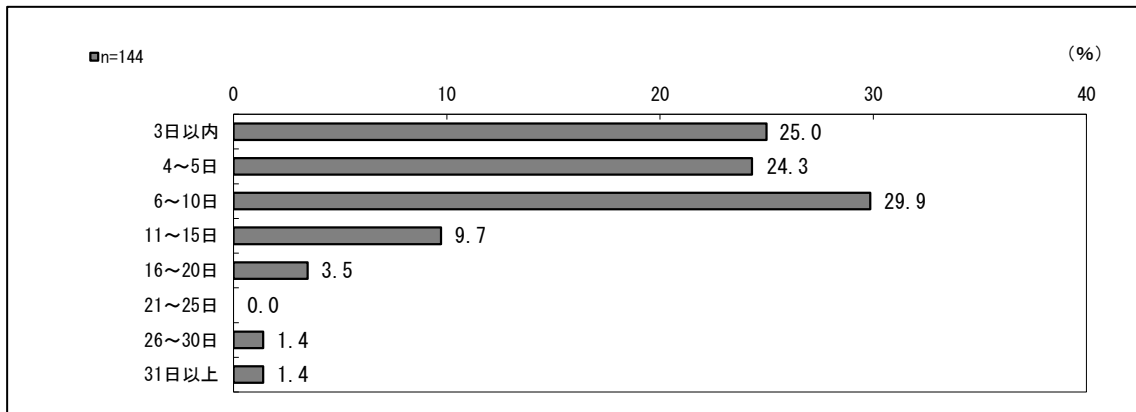
日数：親族・知人に子どもをみてもらった

親族・知人に子どもをみてもらった日数は、「3日以内」(43.8%)、「4～5日」(22.1%)、「6～10日」(20.8%)、「16～20日」(4.6%)、「11～15日」(3.3%)、「21～25日」・「26～30日」・「31日以上」(同率0.4%) となっています。



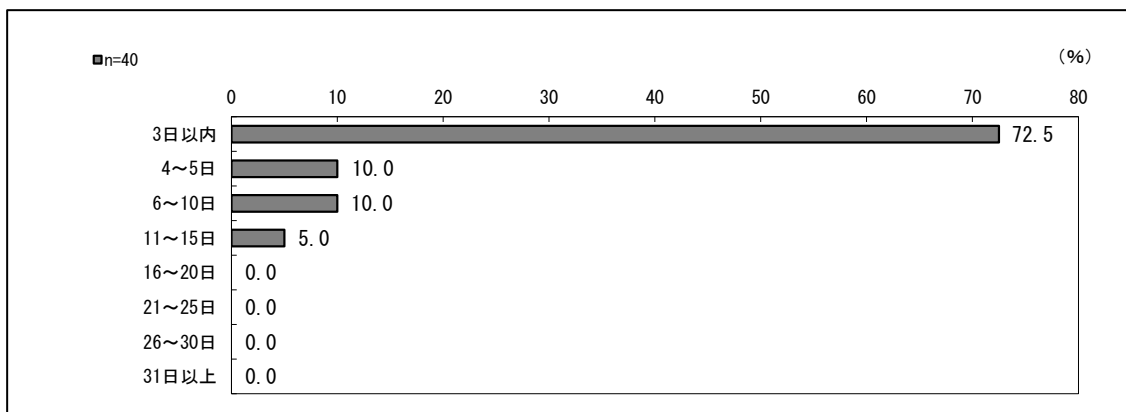
日数：就労していない保護者がみた

就労していない保護者がみた日数は、「6～10日」(29.9%)、「3日以内」(25.0%)、「4～5日」(24.3%)、「11～15日」(9.7%)、「16～20日」(3.5%)、「26～30日」・「31日以上」(同率1.4%)となっています。



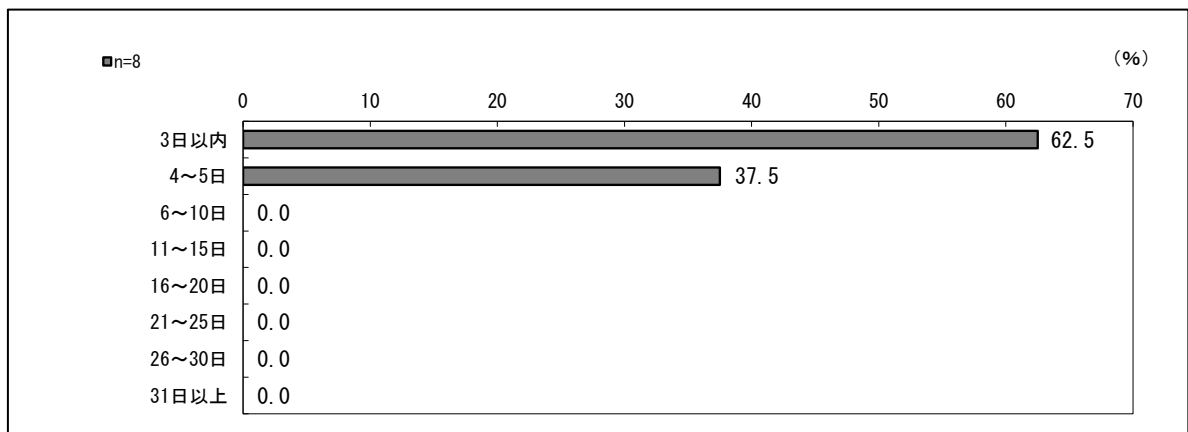
日数：病児・病後児の保育を利用した

病児・病後児の保育を利用した日数は、「3日以内」(72.5%)、「4～5日」(10.0%)、「6～10日」(10.0%)、「11～15日」(5.0%)となっています。



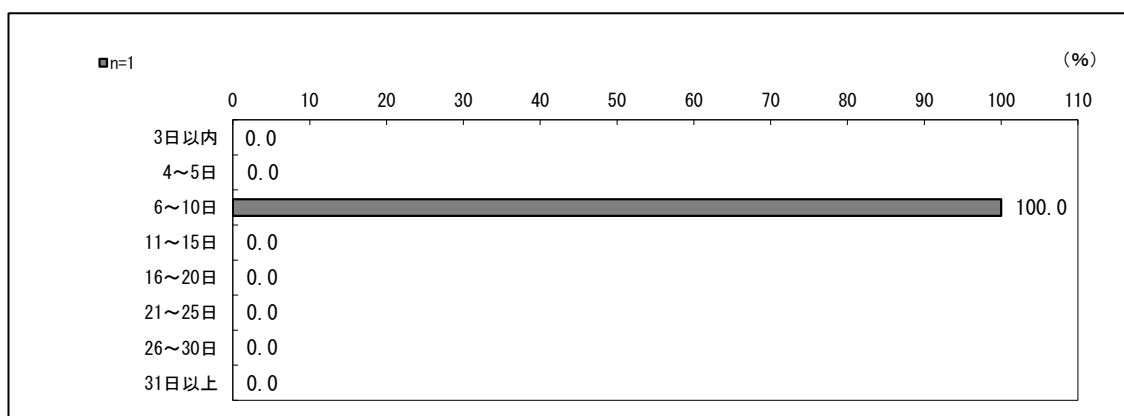
日数：ベビーシッターを利用した

ベビーシッターを利用した日数は、「3日以内」(62.5%)、「4～5日」(37.5%)となっています。



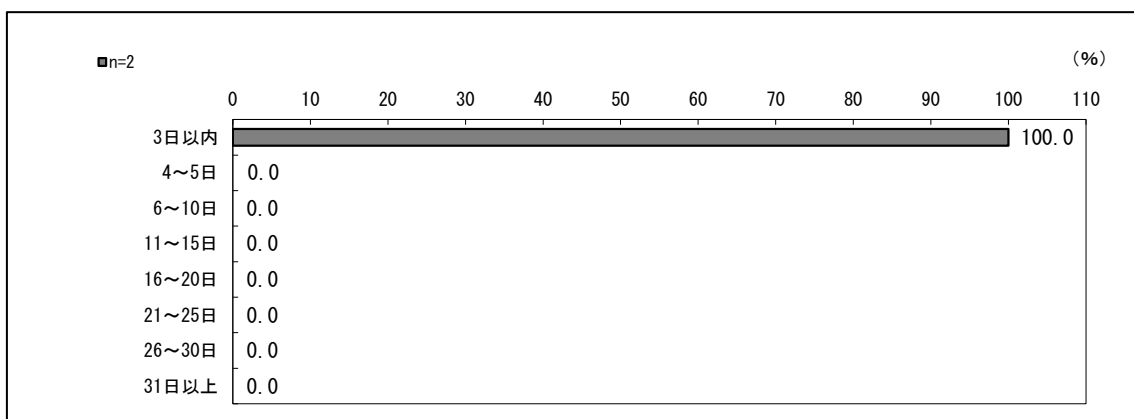
日数：ファミリー・サポート・センターを利用した

ファミリー・サポート・センターを利用した日数は、「6～10日」(100.0%) となっています。



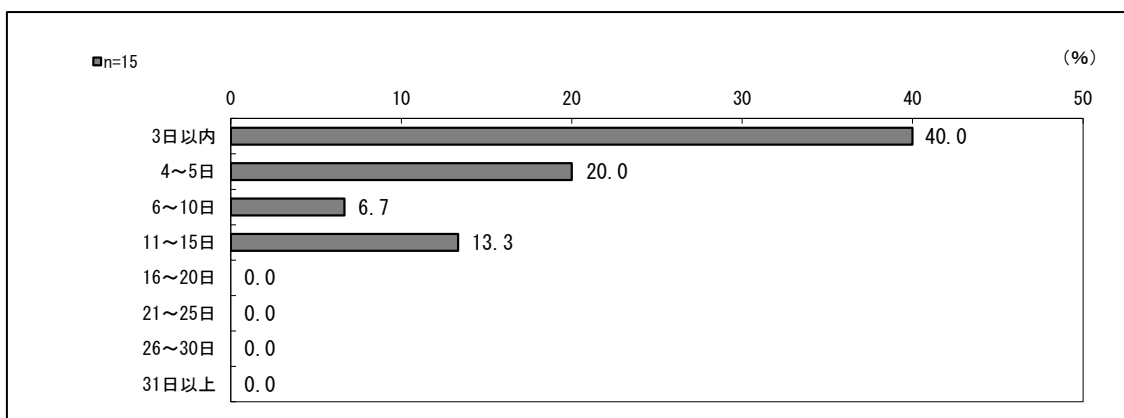
日数：仕方なく子どもだけで留守番をさせた

仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数は、「3日以内」(100.0%) となっています。



日数：その他

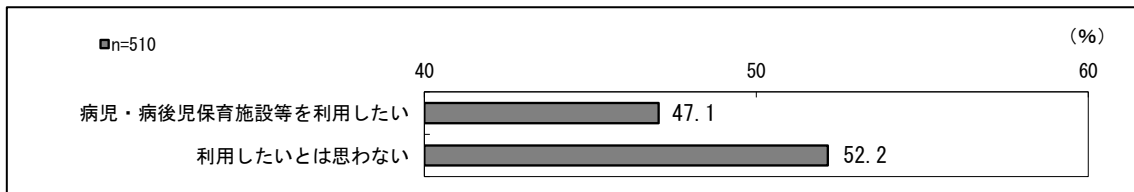
その他の日数は、「3日以内」(40.0%)、「4～5日」(20.0%)、「11～15日」(13.3%)、「6～10日」(6.7%) となっています。



(3) 病児・病後児保育施設等を利用したかったか

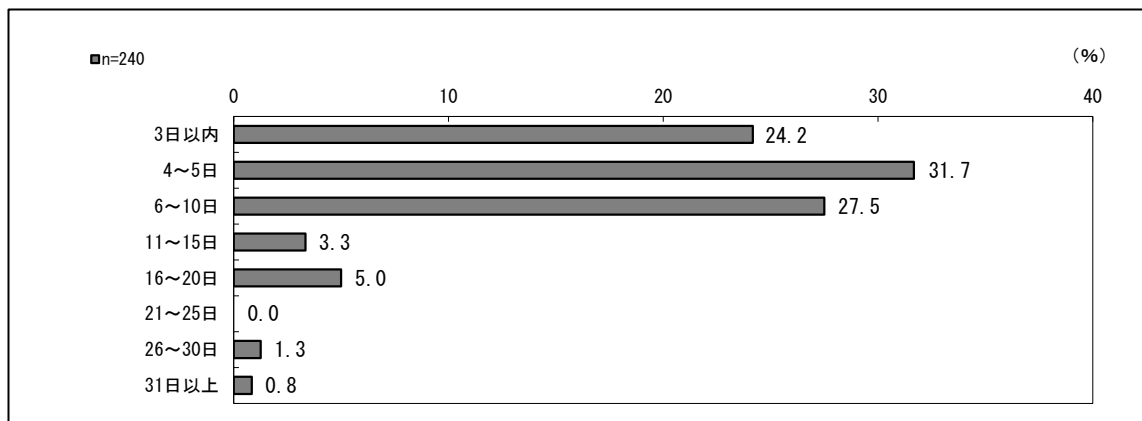
問 23-2 問 23-1で「1」、「2」のいずれかに回答した方にかがいます。その際、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料（2,500円/日）がかかり、利用前に指導医の受診が必要となります。

病児・病後児保育施設等の利用については、「利用したいとは思わない」（52.2%）、「病児・病後児保育施設等を利用したい」（47.1%）となっています。



① 利用したかった日数／年

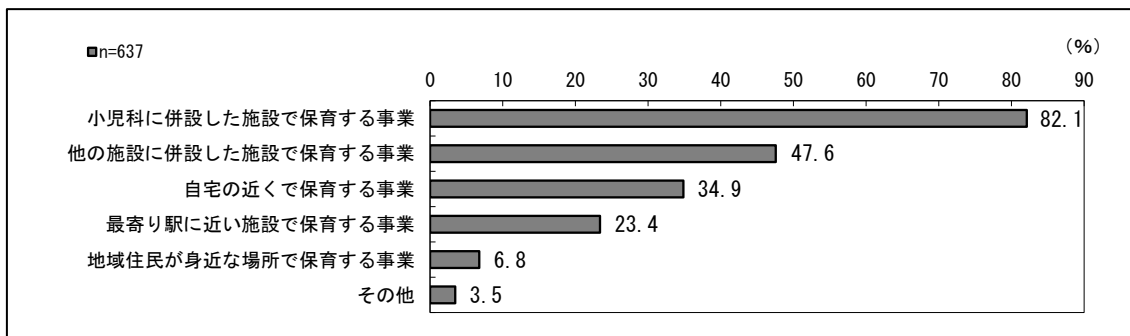
利用したかった日数は、「4～5日」（31.7%）、「6～10日」（27.5%）、「3日以内」（24.2%）、「16～20日」（5.0%）、「11～15日」（3.3%）、「26～30日」（1.3%）、「31日以上」（0.8%）となっています。



(4) 望ましい病児・病後児保育施設等の事業形態

問 23-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

望ましい病児・病後児保育施設等の事業形態については、「小児科に併設した施設で保育する事業」(82.1%)、「他の施設に併設した施設で保育する事業」(47.6%)、「自宅の近くで保育する事業」(34.9%)、「最寄り駅に近い施設で保育する事業」(23.4%)、「地域住民が身近な場所で保育する事業」(6.8%)の順となっています。「その他」には、「自宅で在宅ワーク中に保育をお願いできるとよい」、「在宅勤務が出来る環境」、「子どもが病気の際は休める職場」などがあげられました。

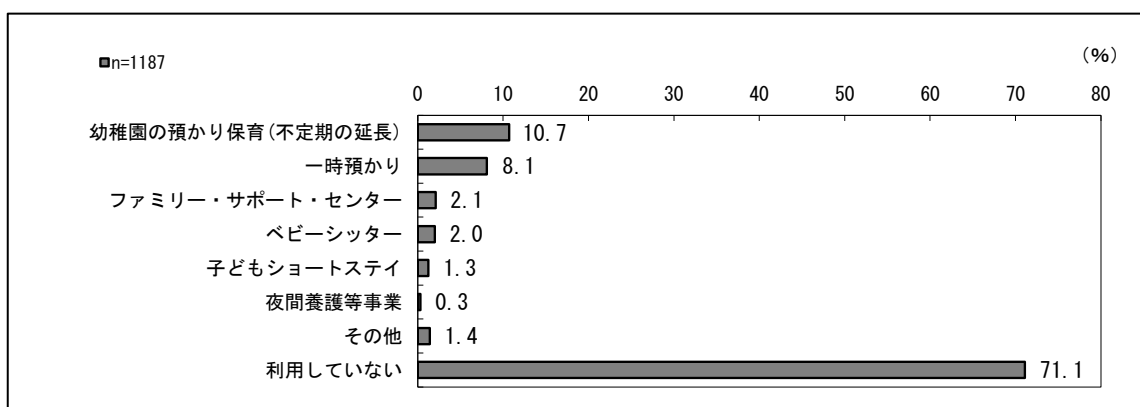


10 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況

(1) 不定期に利用している事業

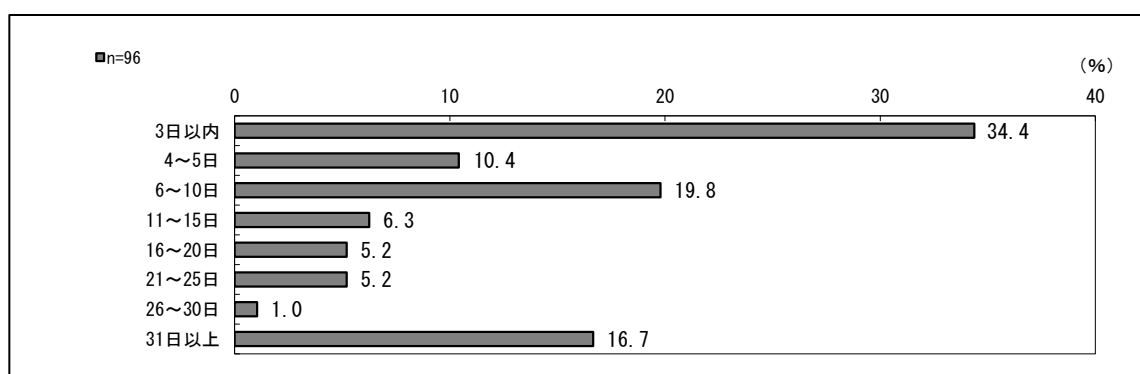
問 24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。【複数回答】

不定期に利用している事業については、「幼稚園の預かり保育(不定期の延長)」(10.7%)、「一時預かり」(8.1%)、「ファミリー・サポート・センター」(2.1%)、「ベビーシッター」(2.0%)、「子どもショートステイ」(1.3%)の順となっています。なお、「利用していない」は71.1%となっています。「その他」には、「認可保育園の日曜・祝日保育」、「発達センター内預かり」などがあげられました。



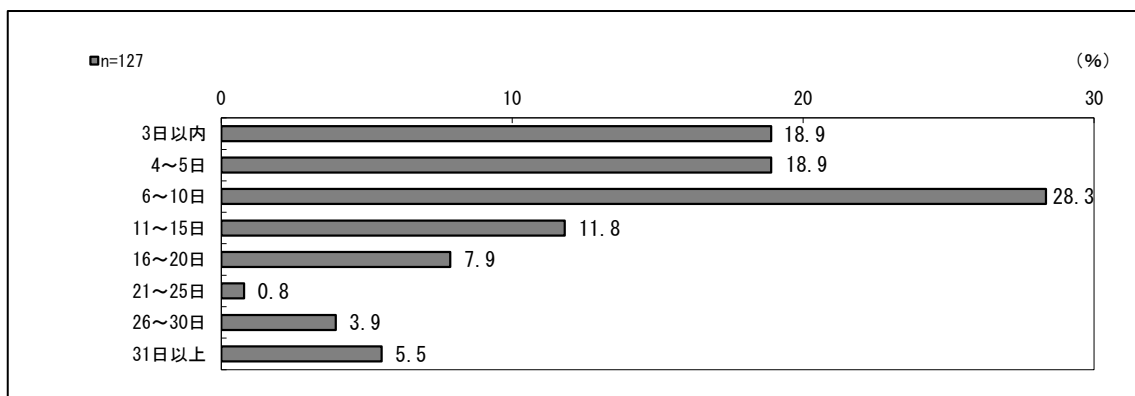
日数：一時預かり

一時預かりを利用した日数は、「3日以内」(34.4%)、「6～10日」(19.8%)、「31日以上」(16.7%)、「4～5日」(10.4%)、「11～15日」(6.3%)、「16～20日」(5.2%)・「21～25日」(同率5.2%)、「26～30日」(1.0%)となっています。



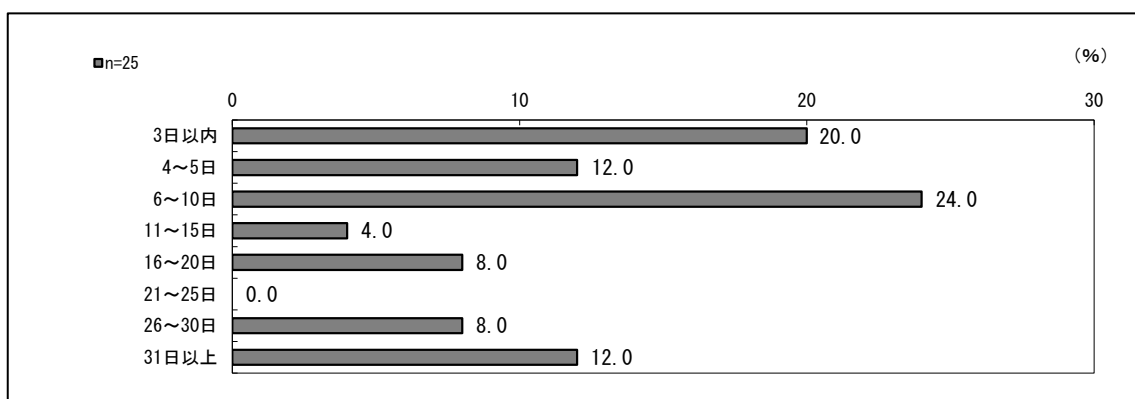
日数：幼稚園の預かり保育

幼稚園の預かり保育を利用した日数は、「6～10日」(28.3%)、「3日以内」・「4～5日」(同率18.9%)、「11～15日」(11.8%)、「16～20日」(7.9%)、「31日以上」(5.5%)、「26～30日」(3.9%)、「21～25日」(0.8%)となっています。



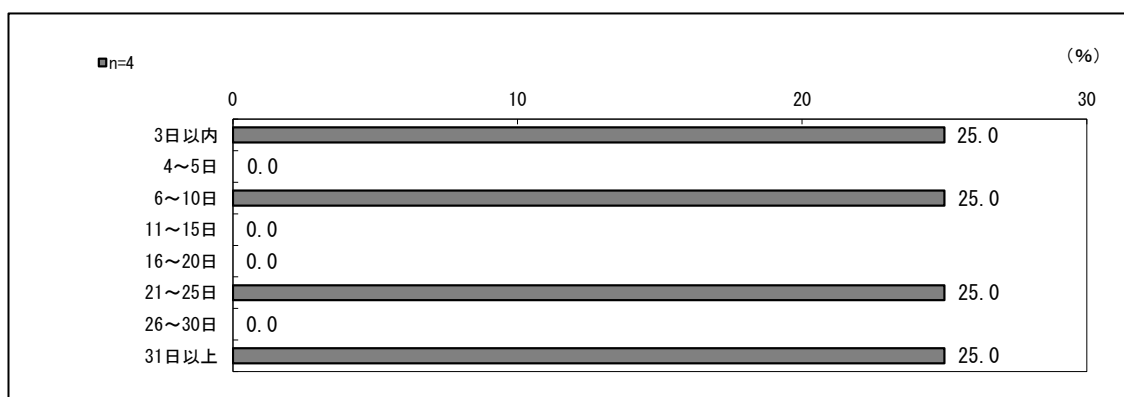
日数：ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターを利用した日数は、「6～10日」(24.0%)、「3日以内」(20.0%)、「4～5日」・「31日以上」(同率12.0%)、「16～20日」・「26～30日」(同率8.0%)、「11～15日」(4.0%)となっています。



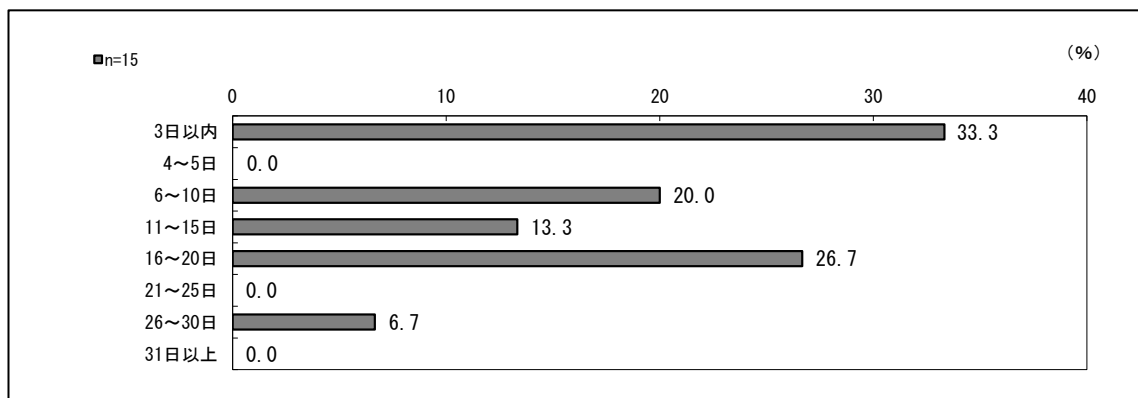
日数：夜間養護等事業：トワイライトステイ

夜間養護等事業：トワイライトステイを利用した日数は、「3日以内」・「6～10日」・「21～25日」・「31日以上」(同率25.0%・各1名)となっています。



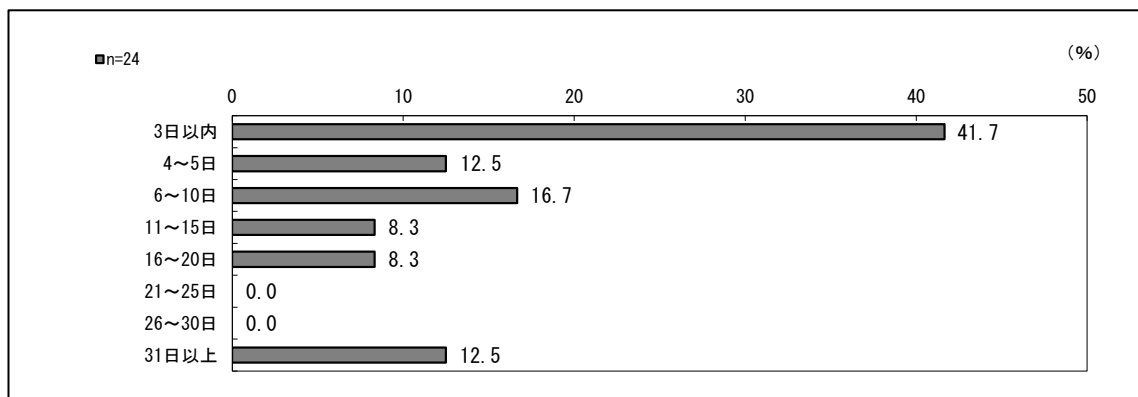
日数：子どもショートステイ

子どもショートステイを利用した日数は、「3日以内」(33.3%)、「16～20日」(26.7%)、「6～10日」(20.0%)、「11～15日」(13.3%)、「26～30日」(6.7%)となっています。



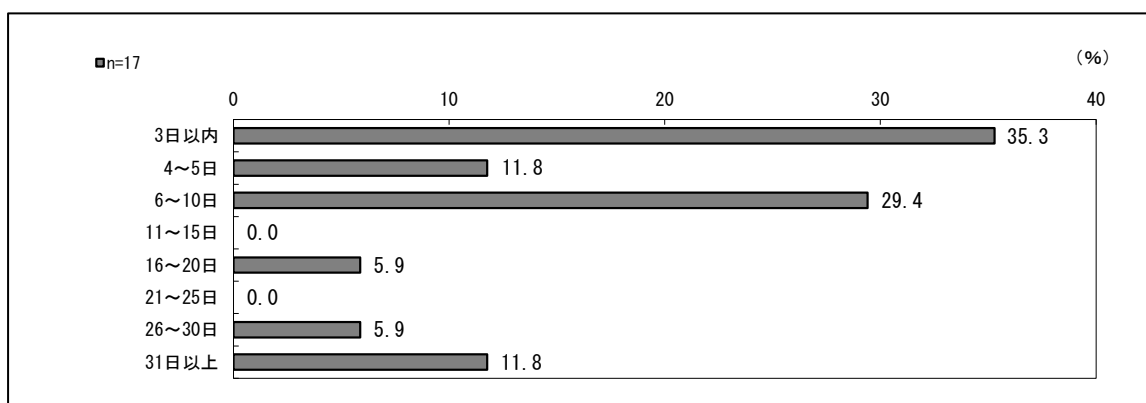
日数：ベビーシッター

ベビーシッターを利用した日数は、「3日以内」(41.7%)、「6～10日」(16.7%)、「4～5日」(12.5%)、「31日以上」(12.5%)、「11～15日」(8.3%)、「16～20日」(8.3%)となっています。



日数：その他

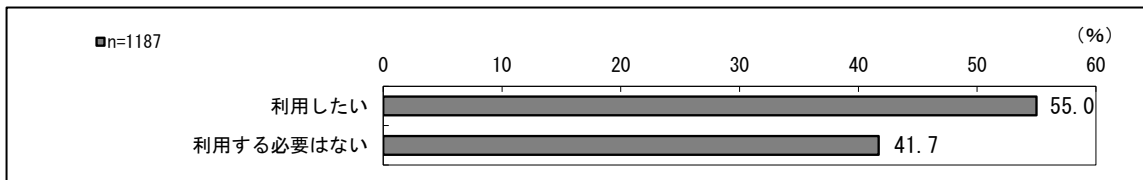
その他の日数は、「3日以内」(35.3%)、「6～10日」(29.4%)、「4～5日」・「31日以上」(同率 11.8%)、「16～20日」・「26～30日」(同率 5.9%)となっています。



(2) 不定期の事業を利用する必要性

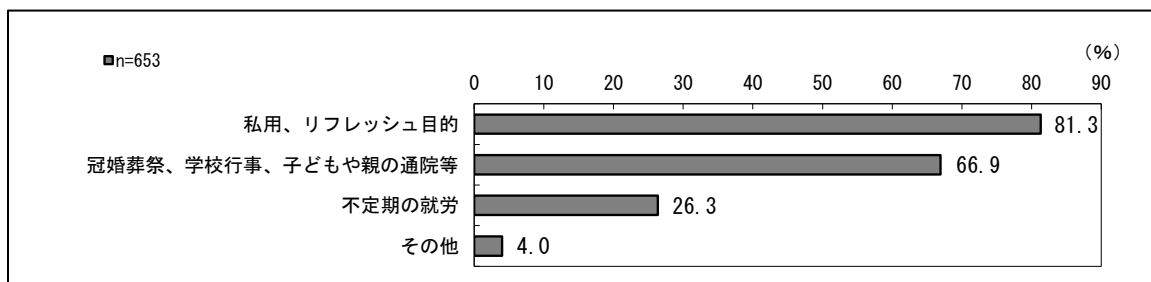
問 25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。【複数回答】

不定期の事業を利用する必要性については、「利用したい」（55.0%）、「利用する必要はない」（41.7%）となっています。



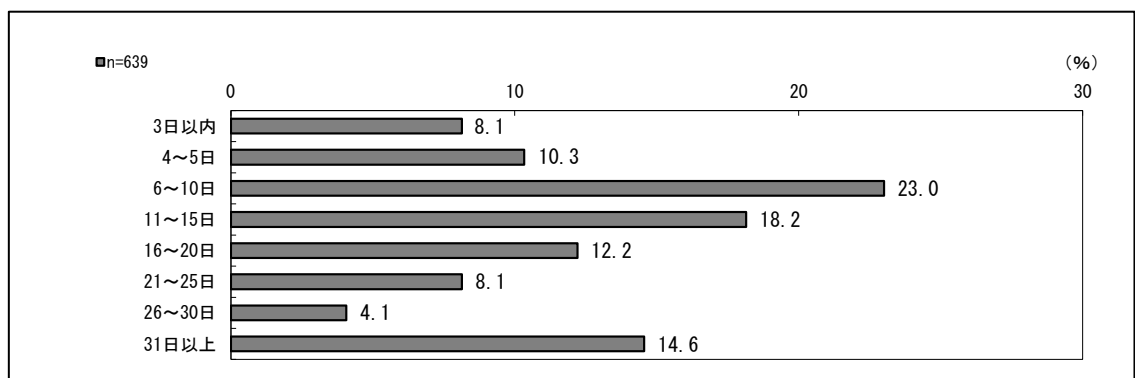
① 利用したい理由

利用したい理由は、「私用、リフレッシュ目的」（81.3%）、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（66.9%）、「不定期の就労」（26.3%）の順となっています。「その他」には、「学童クラブやPTA行事のお伝いのため」、「学校見学」、「親の介護」などがあげられました。



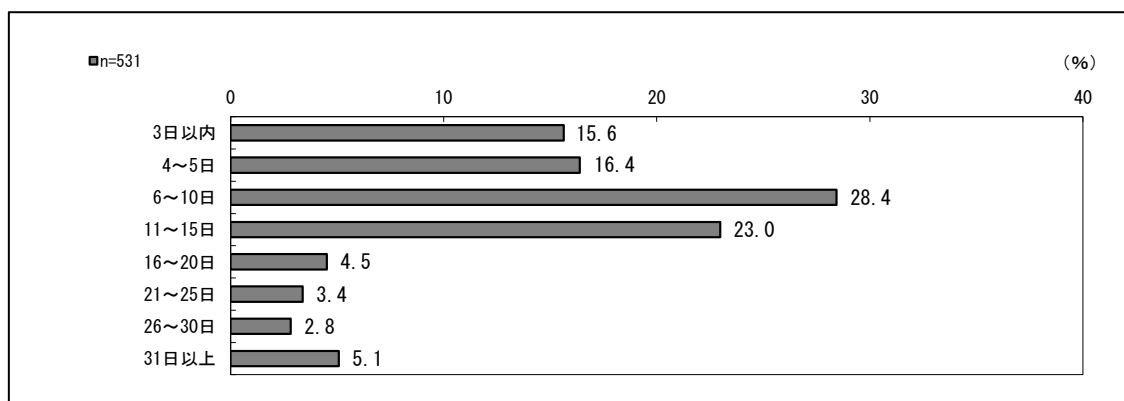
利用したい合計日数

利用したい日数の合計は、「6～10日」（23.0%）、「11～15日」（18.2%）、「31日以上」（14.6%）、「16～20日」（12.2%）、「4～5日」（10.3%）、「3日以内」（8.1%）、「21～25日」（8.1%）、「26～30日」（4.1%）となっています。



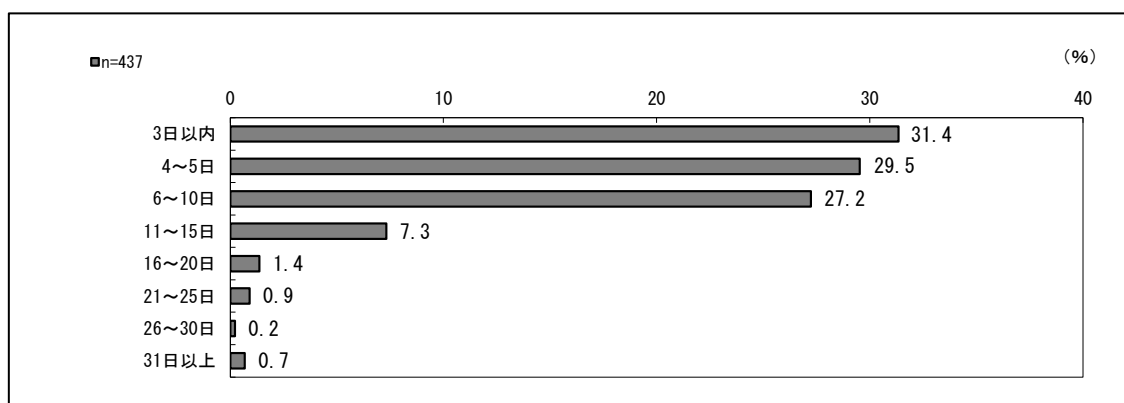
利用したい日数:私用、リフレッシュ目的

私用、リフレッシュ目的で利用したい日数は、「6～10日」(28.4%)、「11～15日」(23.0%)、「4～5日」(16.4%)、「3日以内」(15.6%)、「31日以上」(5.1%)、「16～20日」(4.5%)、「21～25日」(3.4%)、「26～30日」(2.8%)となっています。



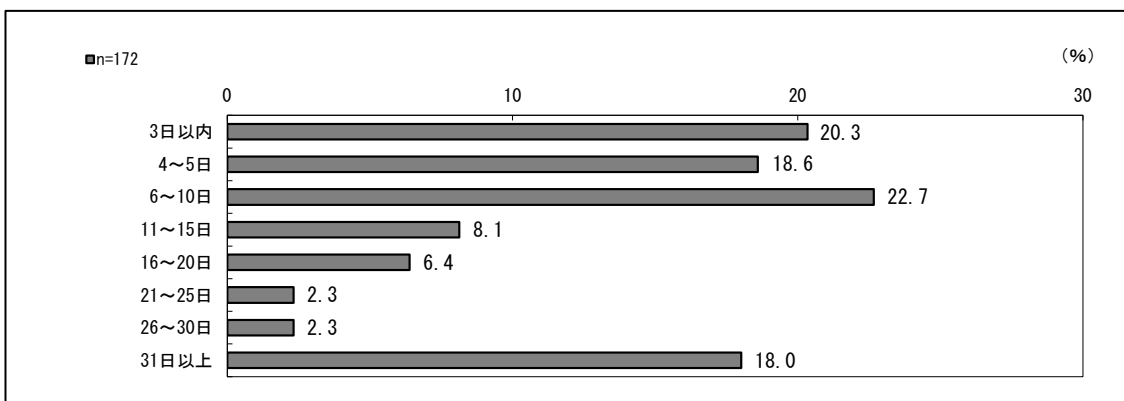
利用したい日数:冠婚葬祭、学校行事、通院等

冠婚葬祭、学校行事、通院等で利用したい日数は、「3日以内」(31.4%)、「4～5日」(29.5%)、「6～10日」(27.2%)、「11～15日」(7.3%)、「16～20日」(1.4%)、「21～25日」(0.9%)、「31日以上」(0.7%)、「26～30日」(0.2%)となっています。



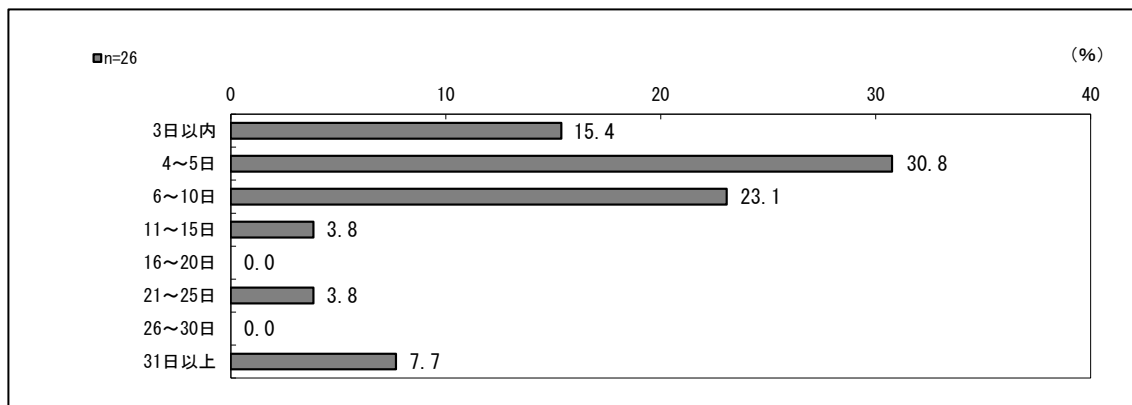
利用したい日数:不定期の就労

不定期の就労で利用したい日数は、「6～10日」(22.7%)、「3日以内」(20.3%)、「4～5日」(18.6%)、「31日以上」(18.0%)、「11～15日」(8.1%)、「16～20日」(6.4%)、「21～25日」(2.3%)、「26～30日」(2.3%)となっています。



利用したい日数:その他

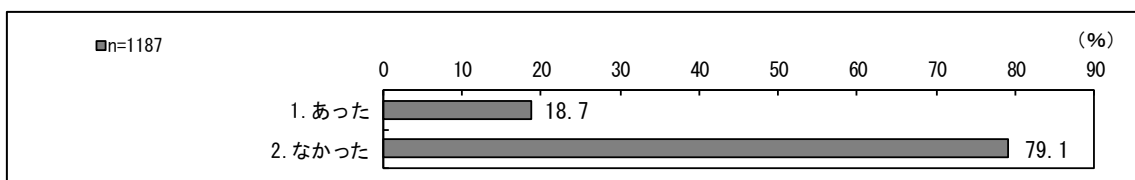
その他の理由で利用したい日数は、「4～5日」(30.8%)、「6～10日」(23.1%)、「3日以内」(15.4%)、「31日以上」(7.7%)、「11～15日」・「21～25日」(同率3.8%)となっています。



(3) 宿泊を伴って預ける必要があったか

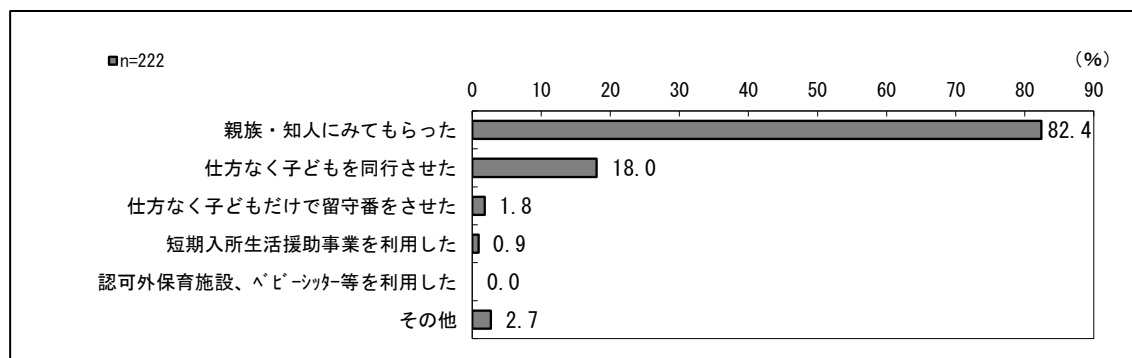
問 26 この1年間に、保護者の用事 (冠婚葬祭、保護者・家族の病気など) により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか (預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。
【複数回答】

宿泊を伴って預ける必要があったかどうかについては、「なかった」(79.1%)、「あった」(18.7%)となっています。



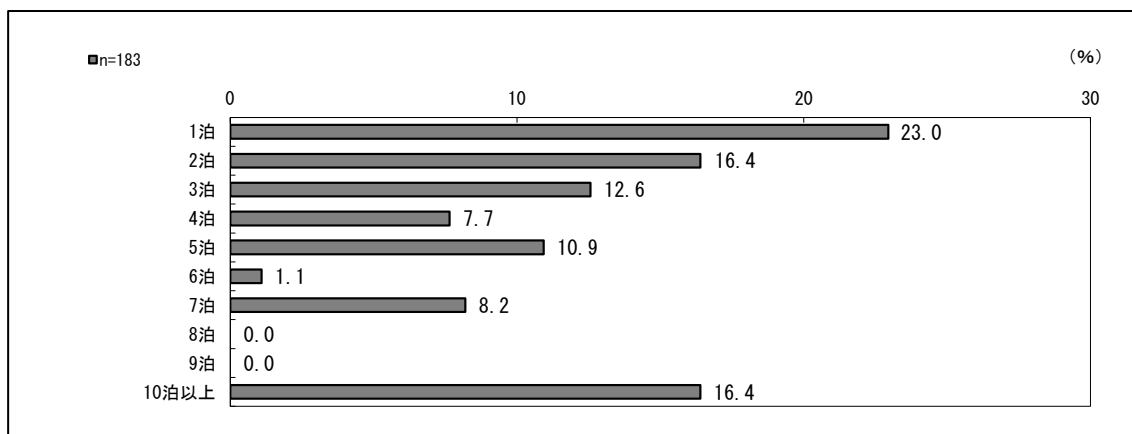
① この1年間の対処法

この1年間の対処法は、「親族・知人にみてもらった」(82.4%)、「仕方なく子どもを同行させた」(18.0%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(1.8%)、「短期入所生活援助事業を利用した」(0.9%)の順となっています。



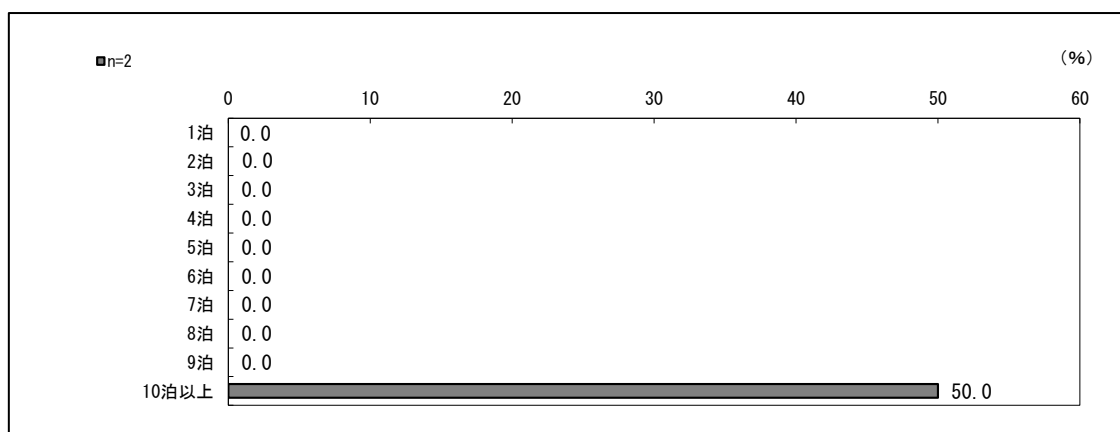
泊数:親族・知人にみてもらった

親族・知人にみてもらった泊数は、「1泊」(23.0%)、「2泊」・「10泊以上」(同率16.4%)、「3泊」(12.6%)、「5泊」(10.9%)、「7泊」(8.2%)、「4泊」(7.7%)、「6泊」(1.1%)となっています。



泊数:子どもショートステイを利用した

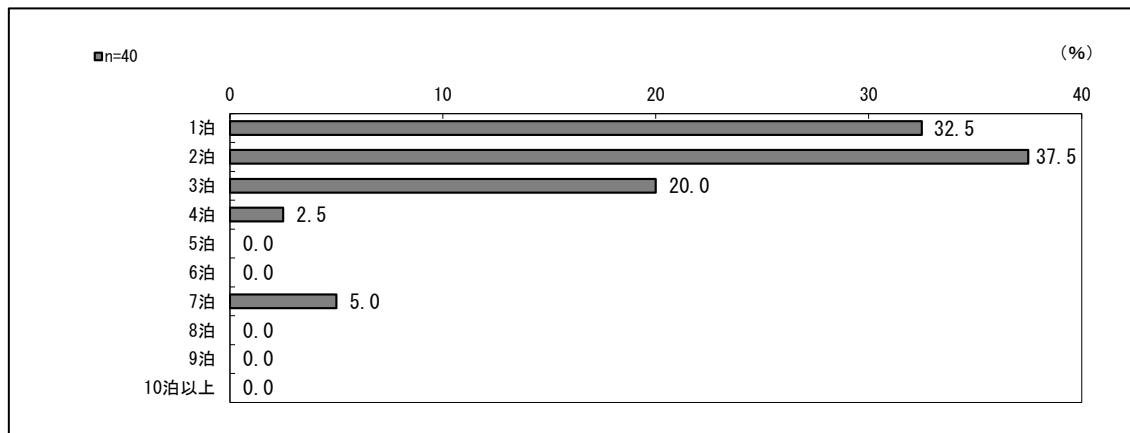
子どもショートステイを利用した泊数は、「10泊以上」(50.0%・1名)となっています。



※「ベビーシッター等を利用した」という回答は0でした。

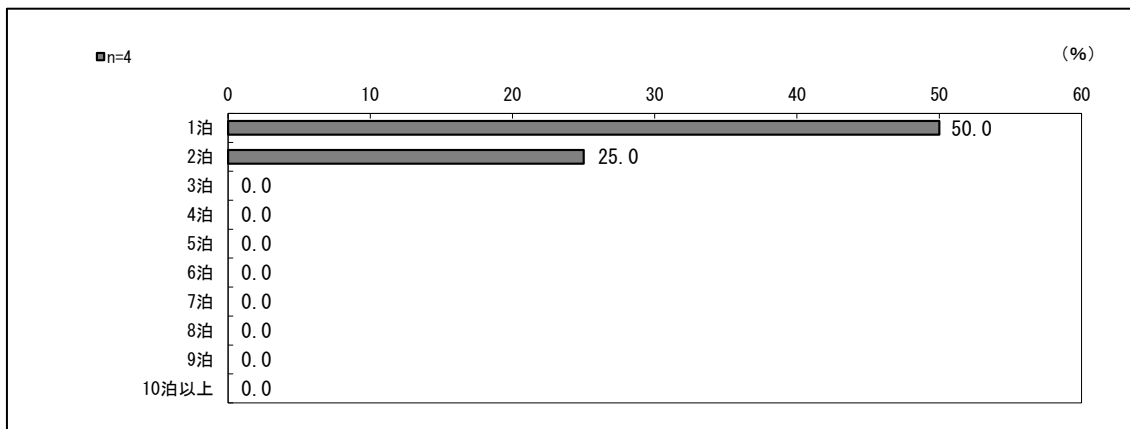
泊数:仕方なく子どもを同行させた

仕方なく子どもを同行させた泊数は、「2泊」(37.5%)、「1泊」(32.5%)、「3泊」(20.0%)、「7泊」(5.0%)、「4泊」(2.5%)となっています。



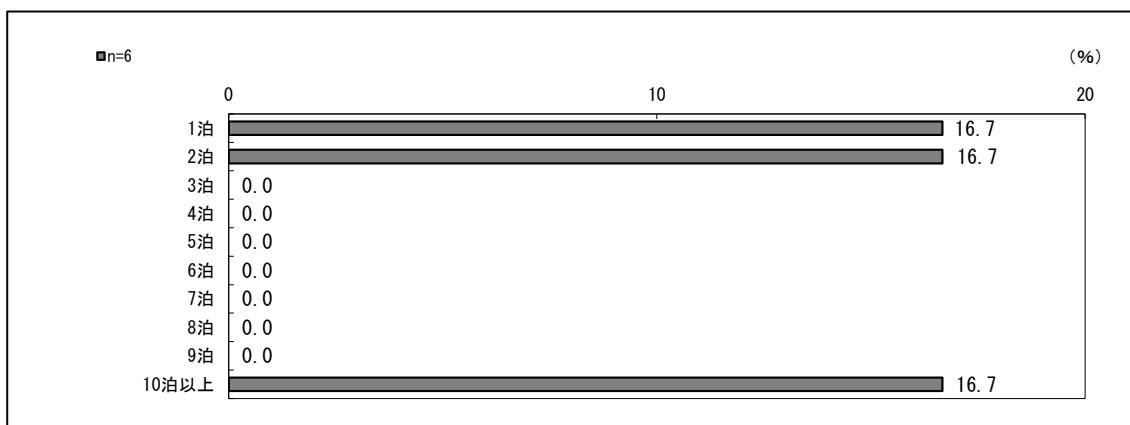
泊数:仕方なく子どもだけで留守番をさせた

仕方なく子どもだけで留守番をさせた泊数は、「1泊」(50.0%)、「2泊」(25.0%)となっています。



泊数:その他

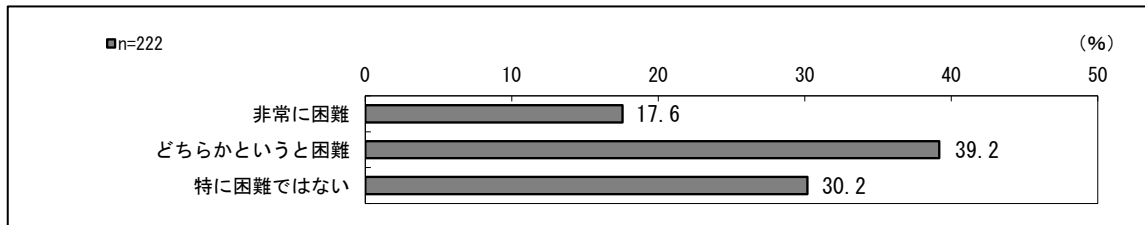
その他の方法で対処した泊数は、「1泊」・「2泊」・「10泊以上」(同率 16.7%・各1名)となっています。



(4) 親族・知人にみてもらった際の困難度

問 26-1 問 26 で「1. あった(1) (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

親族・知人にみてもらった際の困難度については、「どちらかという困難」(39.2%)、「特に困難ではない」(30.2%)、「非常に困難」(17.6%) となっています。



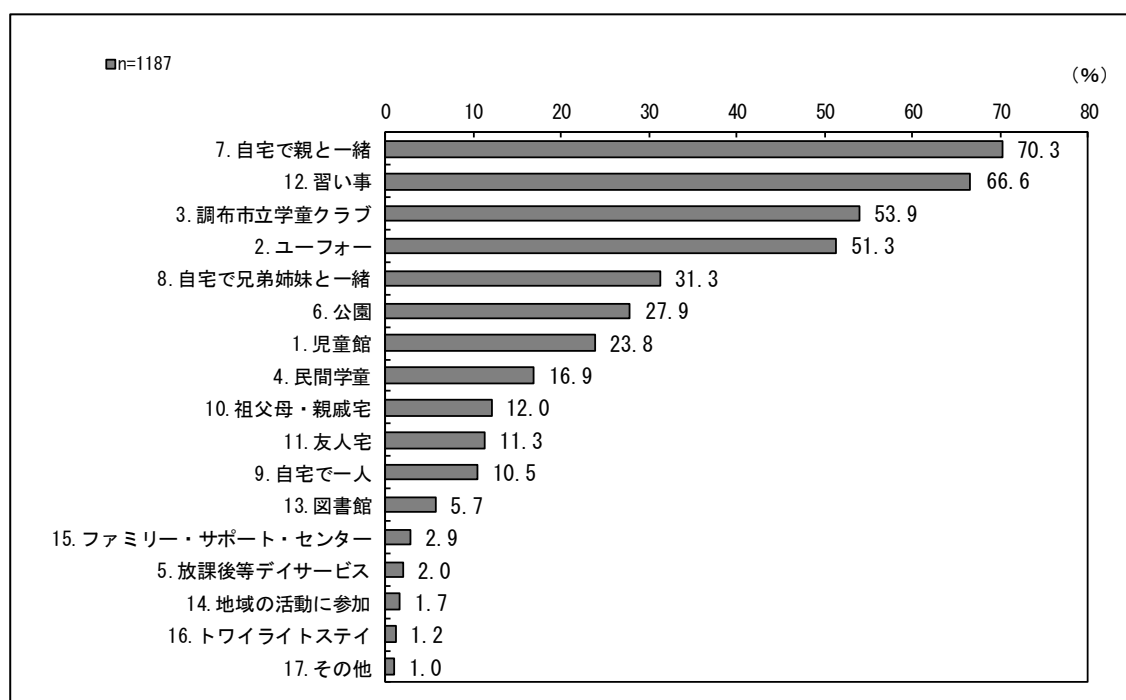
11 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 放課後の時間を過ごさせたい場所

① 全体

問 27 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年（1～3年生）の場合と小学校高学年（4～6年生）になった場合について、下記（1）～（3）の時間帯ごとに、当てはまる番号3つまでに○をつけてください。先のことになりますが、現在お持ちの考えでお答えください。【複数回答】

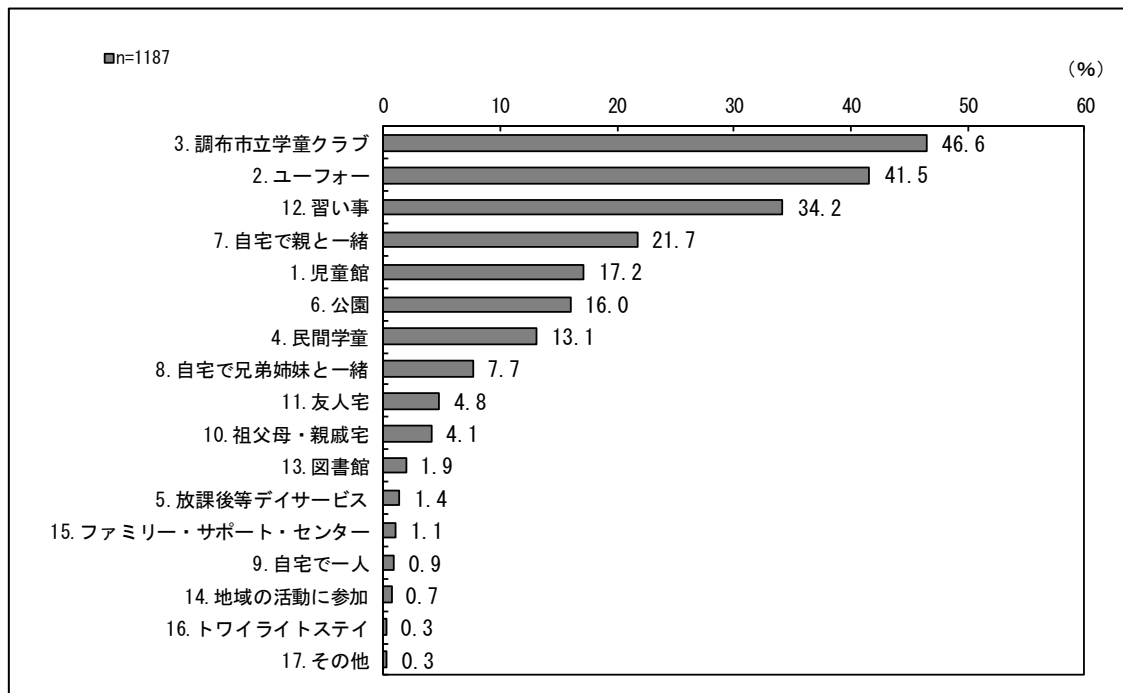
放課後の時間を過ごさせたい場所は、「自宅で親と一緒に」（70.3%）が最も多く、次いで「習い事」（66.6%）が続き、以下、「調布市立学童クラブ」（53.9%）、「ユーフォー」（51.3%）、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」（31.3%）、「公園」（27.9%）、「児童館」（23.8%）、「民間学童」（16.9%）、「祖父母・親戚宅」（12.0%）、「友人宅」（11.3%）、「自宅で一人」（10.5%）、「図書館」（5.7%）、「ファミリー・サポート・センター」（2.9%）、「放課後等デイサービス」（2.0%）、「地域の活動に参加」（1.7%）、「トワイライトステイ」（1.2%）の順となっています。



② 低学年

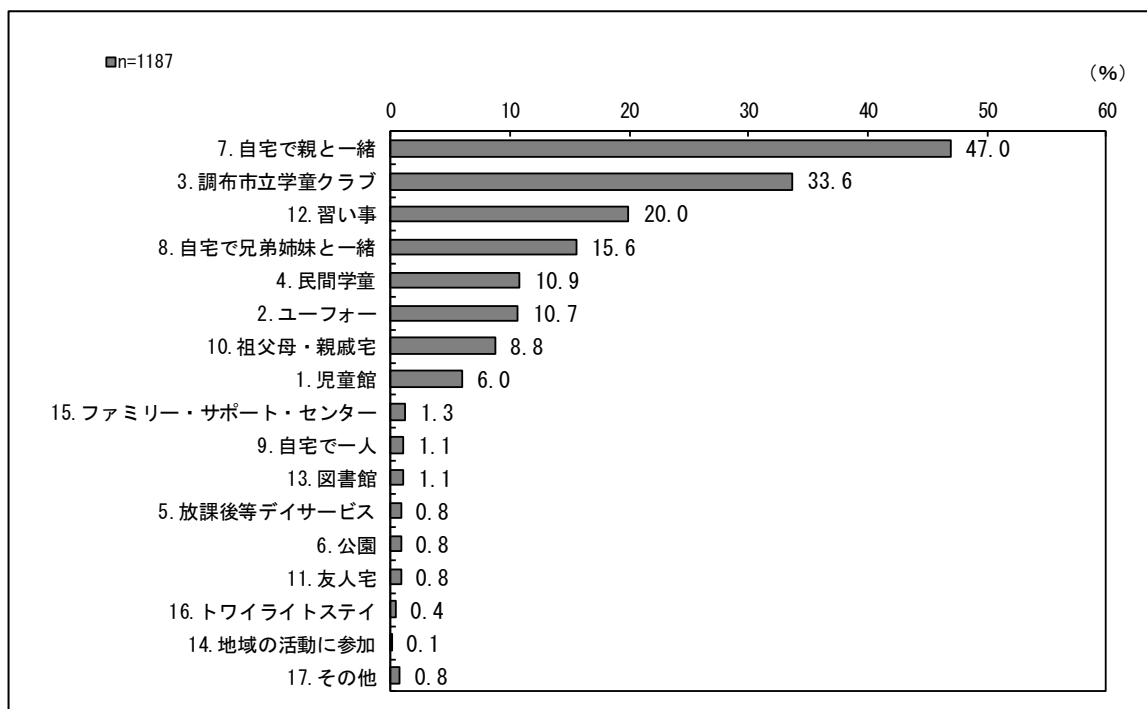
(1) ~17:00

低学年の間、授業終了後から17時までを過ごさせたい場所は、「調布市立学童クラブ」(46.6%)、「ユーフォー」(41.5%)、「習い事」(34.2%)、「自宅で親と一緒に」(21.7%)、「児童館」(17.2%)、「公園」(16.0%)、「民間学童」(13.1%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(7.7%)、「友人宅」(4.8%)、「祖父母・親戚宅」(4.1%)、「図書館」(1.9%)、「放課後等デイサービス」(1.4%)、「ファミリー・サポート・センター」(1.1%)、「自宅で一人」(0.9%)、「地域の活動に参加」(0.7%)、「トワイライトステイ」(0.3%)の順となっています。



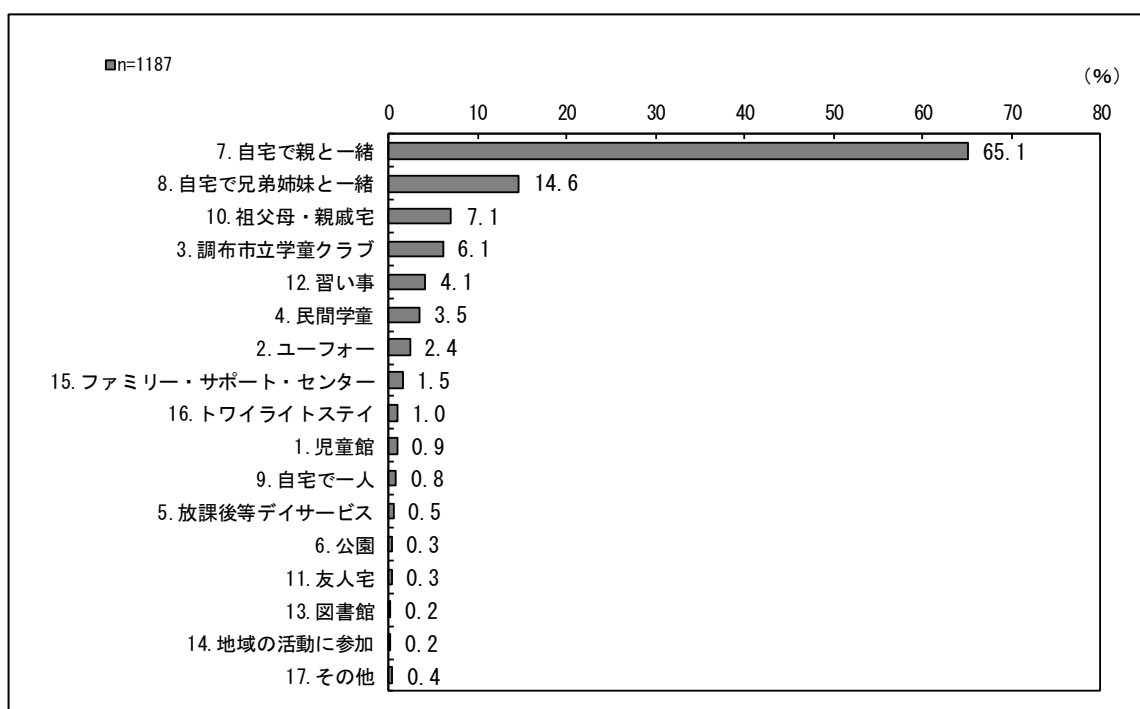
(2) 17:00~19:00

低学年の間、17時から19時までを過ごさせたい場所は、「自宅で親と一緒に」(47.0%)が最も多く、次いで「調布市立学童クラブ」(33.6%)が続き、以下、「習い事」(20.0%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(15.6%)、「民間学童」(10.9%)、「ユーフォー」(10.7%)、「祖父母・親戚宅」(8.8%)、「児童館」(6.0%)、「ファミリー・サポート・センター」(1.3%)、「自宅で一人」・「図書館」(同率1.1%)、「放課後等デイサービス」・「公園」・「友人宅」(同率0.8%)、「トワイライトステイ」(0.4%)、「地域の活動に参加」(0.1%)の順となっています。



(3) 19:00～

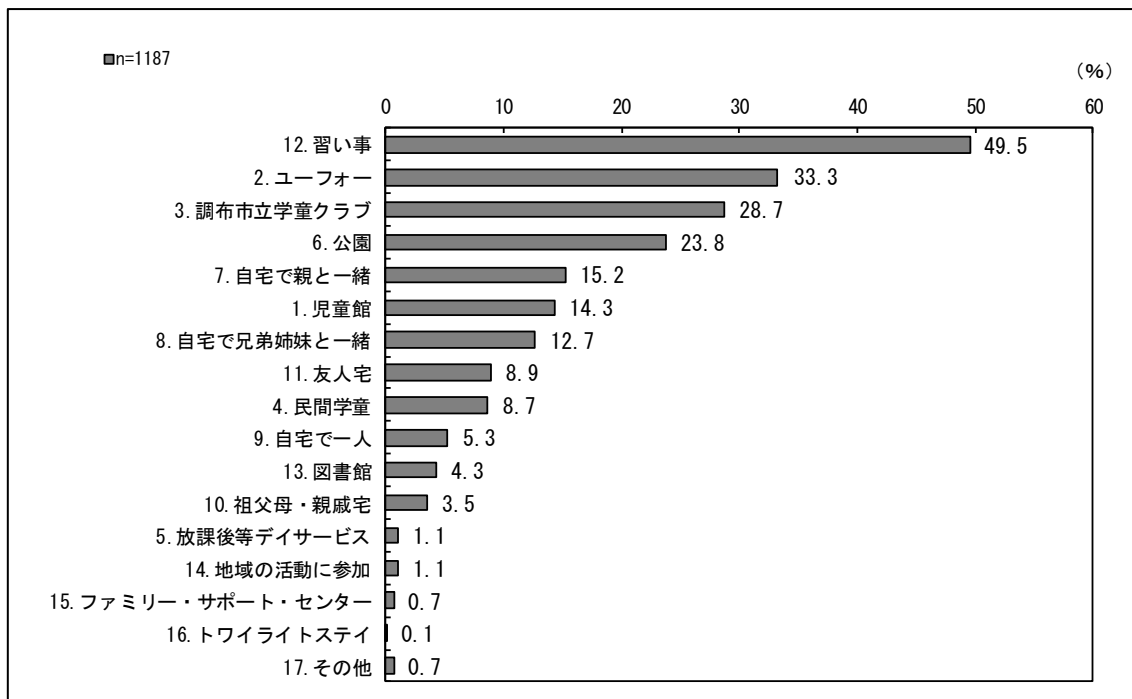
低学年の間、19時以降の時間を過ごさせたい場所は、「自宅で親と一緒に」(65.1%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(14.6%)、「祖父母・親戚宅」(7.1%)、「調布市立学童クラブ」(6.1%)、「習い事」(4.1%)、「民間学童」(3.5%)、「ユーフォー」(2.4%)、「ファミリー・サポート・センター」(1.5%)、「トワイライトステイ」(1.0%)、「児童館」(0.9%)、「自宅で一人」(0.8%)、「放課後等デイサービス」(0.5%)、「公園」・「友人宅」(同率0.3%)、「図書館」・「地域の活動に参加」(同率0.2%)の順となっています。



③ 高学年

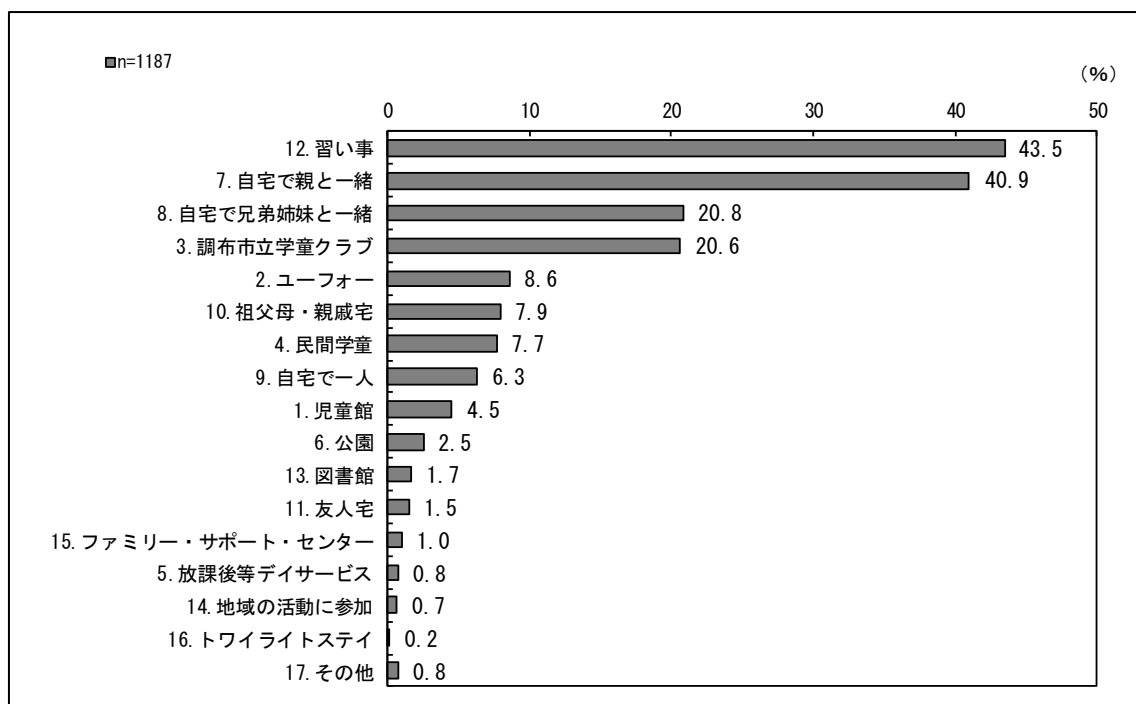
(1) ~17:00

高学年になってから、授業終了後から 17 時までを過ごさせたい場所は、「習い事」(49.5%)、「ユーフォー」(33.3%)、「調布市立学童クラブ」(28.7%)、「公園」(23.8%)、「自宅で親と一緒に」(15.2%)、「児童館」(14.3%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(12.7%)、「友人宅」(8.9%)、「民間学童」(8.7%)、「自宅で一人」(5.3%)、「図書館」(4.3%)、「祖父母・親戚宅」(3.5%)、「放課後等デイサービス」・「地域の活動に参加」(同率 1.1%)、「ファミリー・サポート・センター」(0.7%)、「トワイライトステイ」(0.1%) の順となっています。



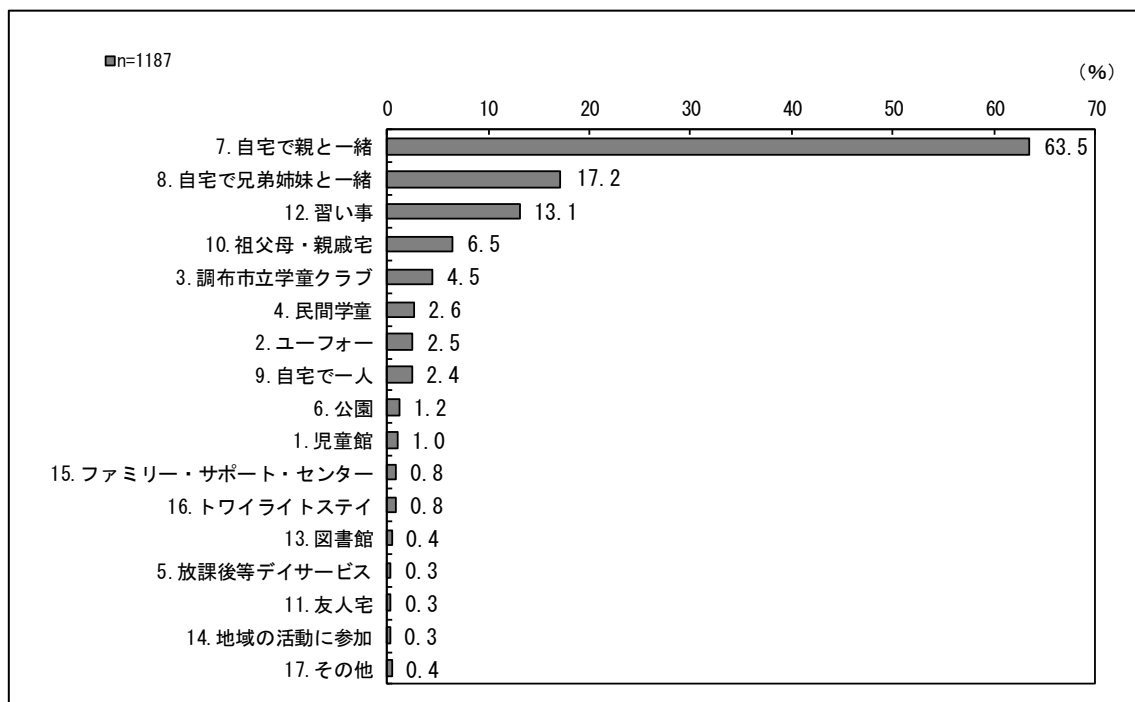
(2) 17:00~19:00

高学年になってから、17時から19時までを過ごさせたい場所は、「習い事」(43.5%)、「自宅で親と一緒に」(40.9%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(20.8%)、「調布市立学童クラブ」(20.6%)、「ユーフォー」(8.6%)、「祖父母・親戚宅」(7.9%)、「民間学童」(7.7%)、「自宅で一人」(6.3%)、「児童館」(4.5%)、「公園」(2.5%)、「図書館」(1.7%)、「友人宅」(1.5%)、「ファミリー・サポート・センター」(1.0%)、「放課後等デイサービス」(0.8%)、「地域の活動に参加」(0.7%)、「トワイライトステイ」(0.2%)の順となっています。



(3) 19:00~

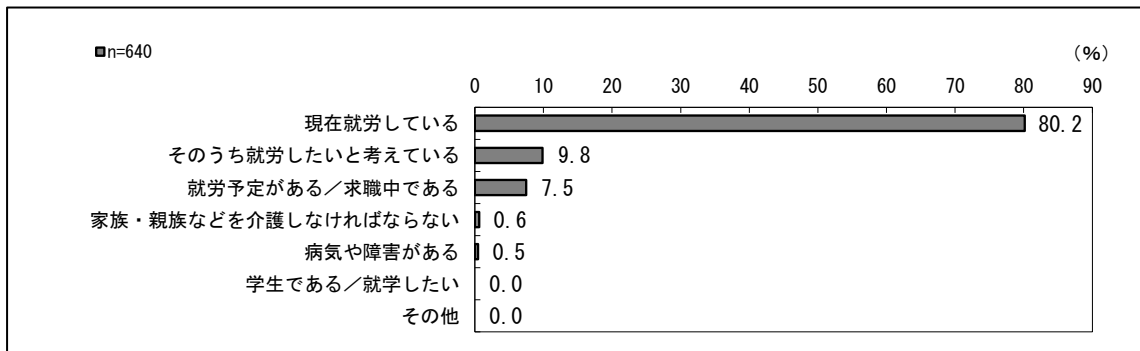
高学年になってから、19時以降の時間を過ごさせたい場所は、「自宅で親と一緒に」(63.5%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(17.2%)、「習い事」(13.1%)、「祖父母・親戚宅」(6.5%)、「調布市立学童クラブ」(4.5%)、「民間学童」(2.6%)、「ユーフォー」(2.5%)、「自宅で一人」(2.4%)、「公園」(1.2%)、「児童館」(1.0%)、「ファミリー・サポート・センター」・「トワイライトステイ」(同率 0.8%)、「図書館」(0.4%)、「放課後等デイサービス」・「友人宅」・「地域の活動に参加」(同率 0.3%)の順となっています。



(2) 学童クラブを利用したい理由

問 28 問 27 で「3. 調布市立学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。利用したい理由について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

学童クラブを利用したい理由は、「現在就労している」(80.2%)、「そのうち就労したいと考えている」(9.8%)、「就労予定がある／求職中である」(7.5%)、「家族・親族などを介護しなければならない」(0.6%)、「病気や障害がある」(0.5%)などの順となっています。

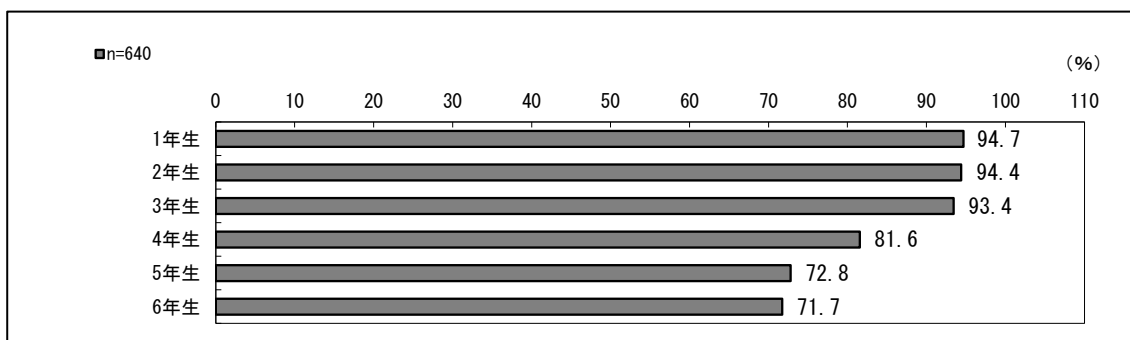


(3) 学童クラブの利用希望学年と利用希望時期

問 29 問 27 で「3. 調布市立学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。(1) 何年生まで学童クラブの利用希望がありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、(1) で利用希望学年に○をつけた方は、学年ごとに(2) 利用希望時期について、当てはまる番号1つに○をつけてください。【複数回答】

① 利用希望学年

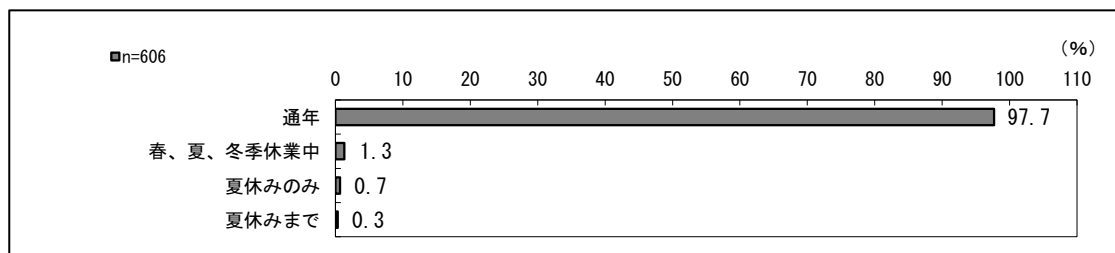
学童クラブの利用希望学年は、「1年生」(94.7%)、「2年生」(94.4%)、「3年生」(93.4%)、「4年生」(81.6%)、「5年生」(72.8%)、「6年生」(71.7%)となっています。



② 利用希望時期

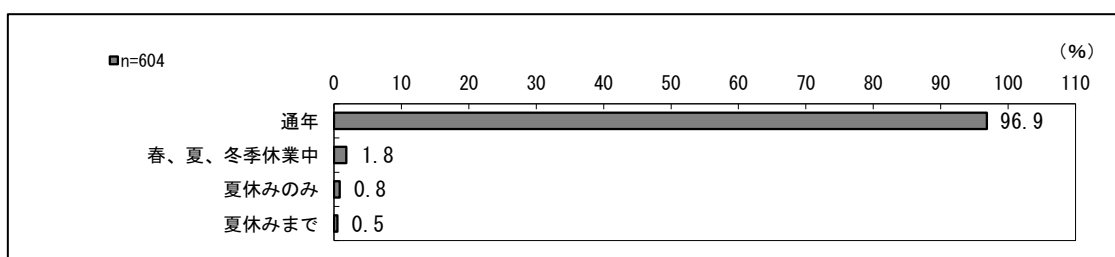
(1) 1年生

1年生の利用希望時期は、「通年」(97.7%)、「春、夏、冬季休業中」(1.3%)、「夏休みのみ」(0.7%)、「夏休みまで」(0.3%)となっています。



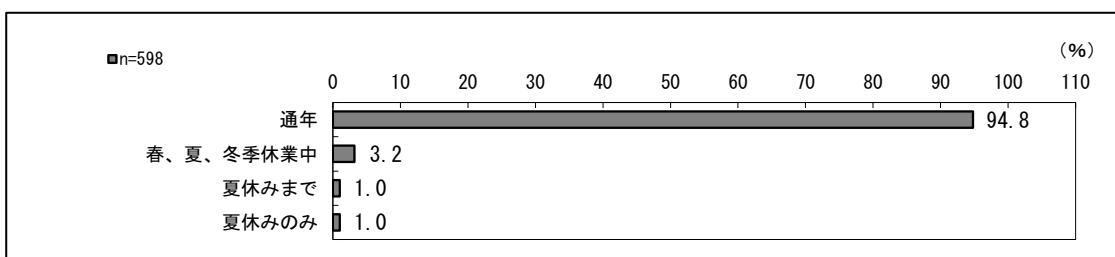
(2) 2年生

2年生の利用希望時期は、「通年」(96.9%)、「春、夏、冬季休業中」(1.8%)、「夏休みのみ」(0.8%)、「夏休みまで」(0.5%)となっています。



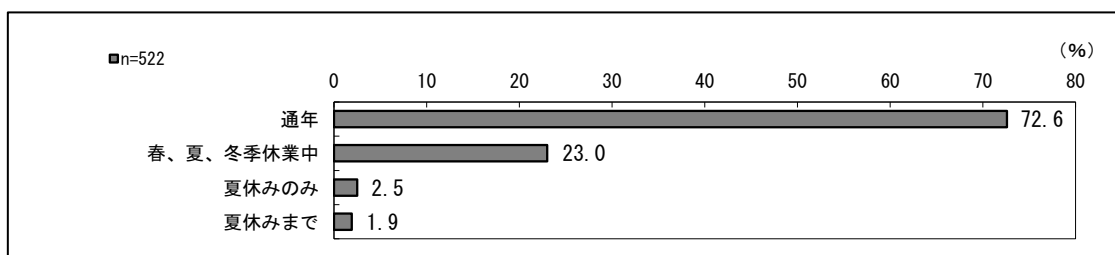
(3) 3年生の利用

3年生の利用希望時期は、「通年」(94.8%)、「春、夏、冬季休業中」(3.2%)、「夏休みまで」・「夏休みのみ」(同率1.0%)となっています。



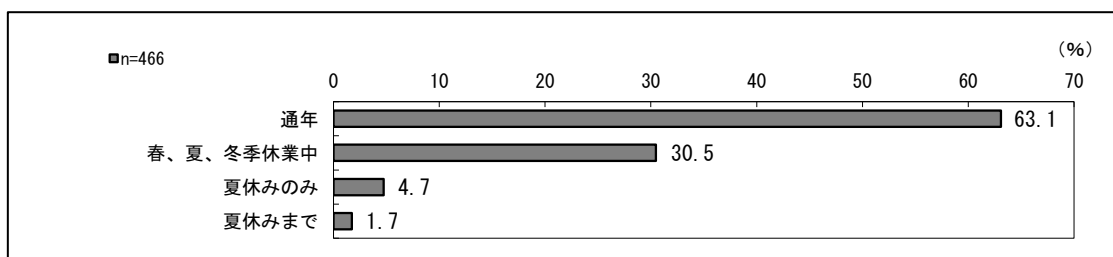
(4) 4年生

4年生の利用希望時期は、「通年」(72.6%)、「春、夏、冬季休業中」(23.0%)、「夏休みのみ」(2.5%)、「夏休みまで」(1.9%)となっています。



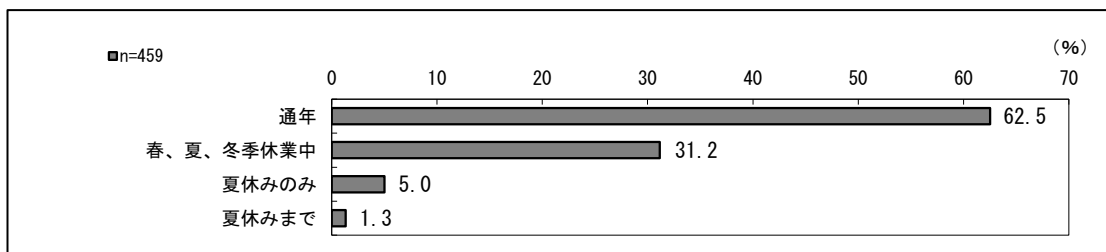
(5) 5年生

5年生の利用希望時期は、「通年」(63.1%)、「春、夏、冬季休業中」(30.5%)、「夏休みのみ」(4.7%)、「夏休みまで」(1.7%)となっています。



(6) 6年生

6年生の利用希望時期は、「通年」(62.5%)、「春、夏、冬季休業中」(31.2%)、「夏休みのみ」(5.0%)、「夏休みまで」(1.3%)となっています。



12 職場の両立支援制度について

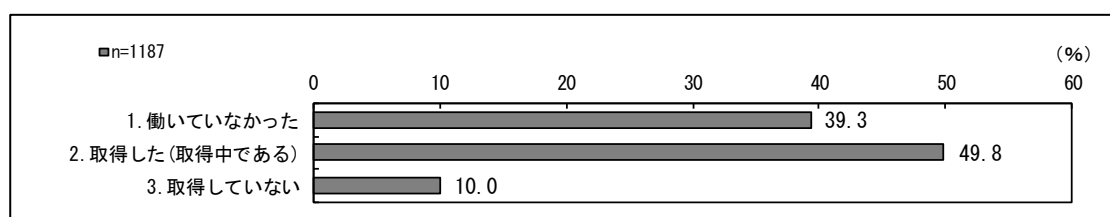
(1) 育児休業について

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1つに○ をつけ、該当する □ 内に 数字 をご記入ください。また、取得していない方はその理由について当てはまる番号 すべてに○ をつけてください。【複数回答】

① 母親

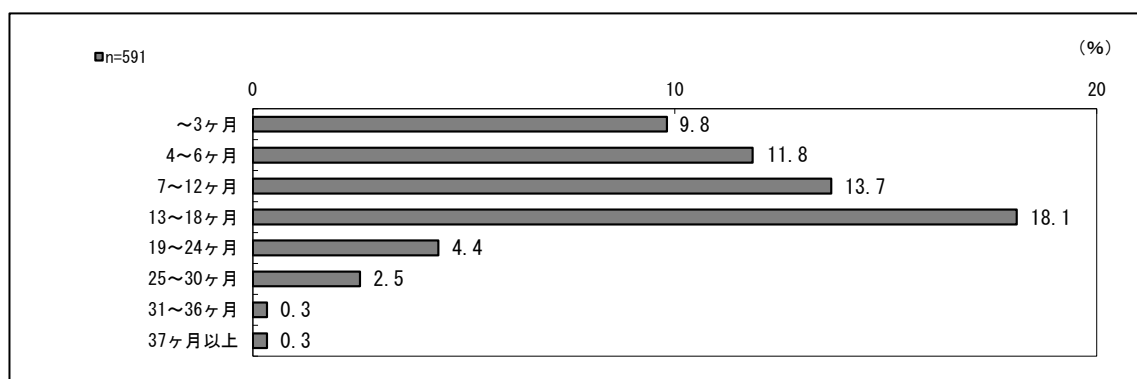
(1) 育児休業の取得状況について

母親の育児休業の取得状況については「取得した(取得中である)」(49.8%)、「働いていなかった」(39.3%)、「取得していない」(10.0%) となっています。



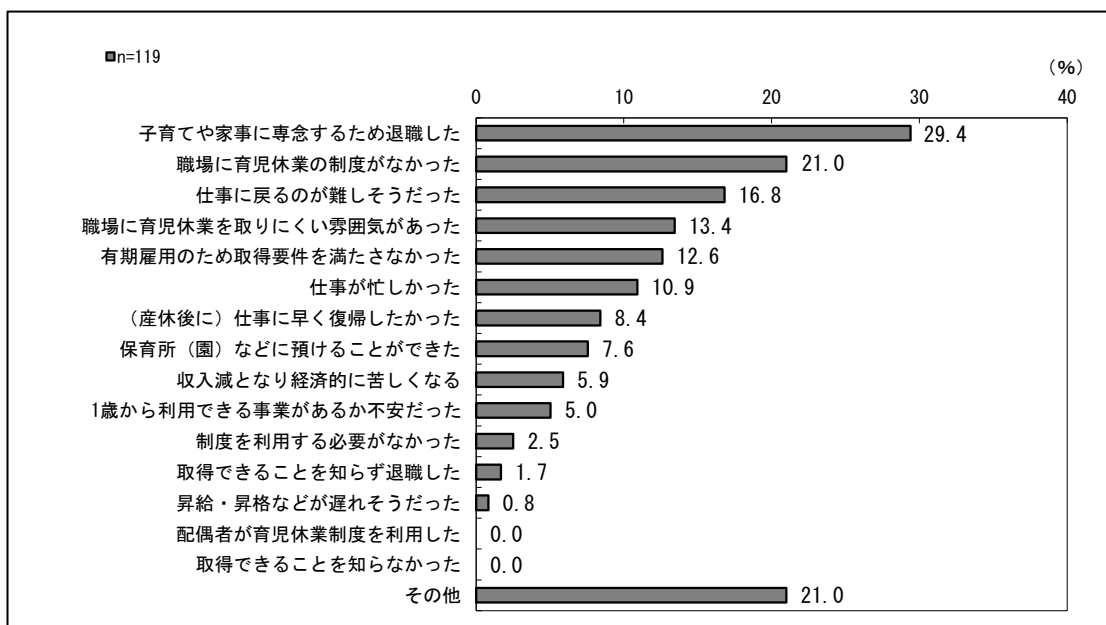
(2) 育児休業取得期間

問 30①(1)で、「2. 取得した(取得中である)」と答えた人に、取得期間をたずねたところ、「13～18ヶ月」(18.1%)、「7～12ヶ月」(13.7%)、「4～6ヶ月」(11.8%)、「～3ヶ月」(9.8%)、「19～24ヶ月」(4.4%)、「25～30ヶ月」(2.5%)、「31～36ヶ月」(0.3%)、「37ヶ月以上」(0.3%) となっています。



(3) 育児休業を取得していない理由

問 30①(1)で、「3. 取得していない」と答えた人に、その理由をたずねたところ、「子育てや家事に専念するため退職した」(29.4%)が最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」(21.0%)が続き、以下、「仕事に戻るのが難しそうだった」(16.8%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(13.4%)、「有期雇用のため取得要件を満たさなかった」(12.6%)、「仕事が忙しかった」(10.9%)、「(産休後に)仕事に早く復帰したかった」(8.4%)、「保育所(園)などに預けることができた」(7.6%)、「収入減となり経済的に苦しくなる」(5.9%)、「1歳から利用できる事業があるか不安だった」(5.0%)、「制度を利用する必要がなかった」(2.5%)、「取得できることを知らず退職した」(1.7%)、「昇給・昇格などが遅れそうだった」(0.8%)などの順となっています。「その他」には、「自営業のため」、「フリーランスのため」などがあげられました。



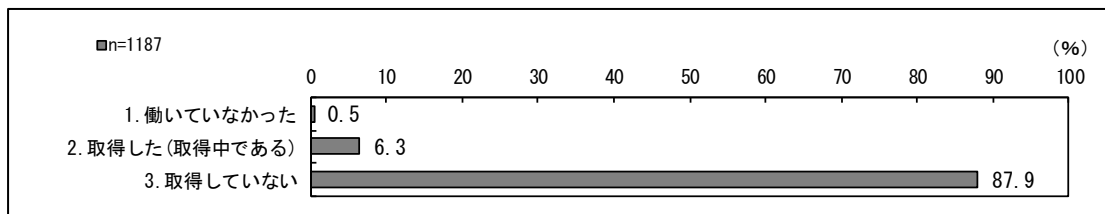
○「その他」の記載内容例

- ・自営業の為時間の都合がつきやすかった。
- ・取得するという考えが夫婦になかった。
- ・母親が専業主婦だから。
- ・立場上休めなかった。
- ・本人が仕事を休む事をのぞまない。

② 父親

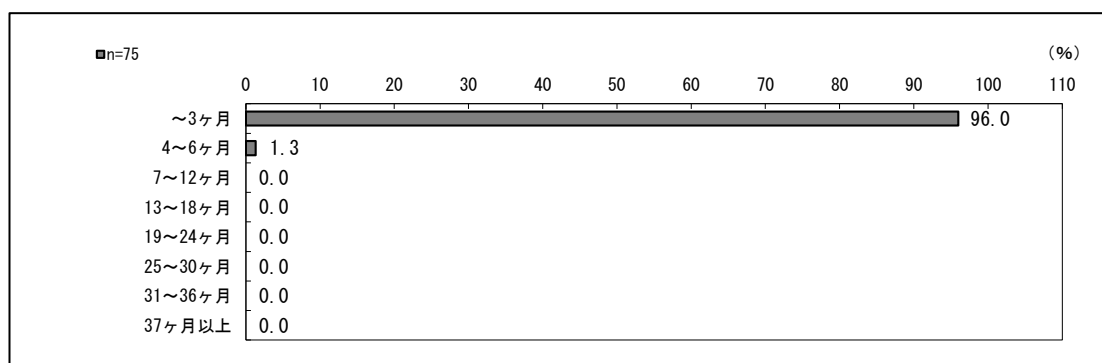
(1) 育児休業の取得状況について

父親の育児休業の取得状況については、「取得していない」(87.9%)、「取得した(取得中である)」(6.3%)、「働いていなかった」(0.5%)となっています。



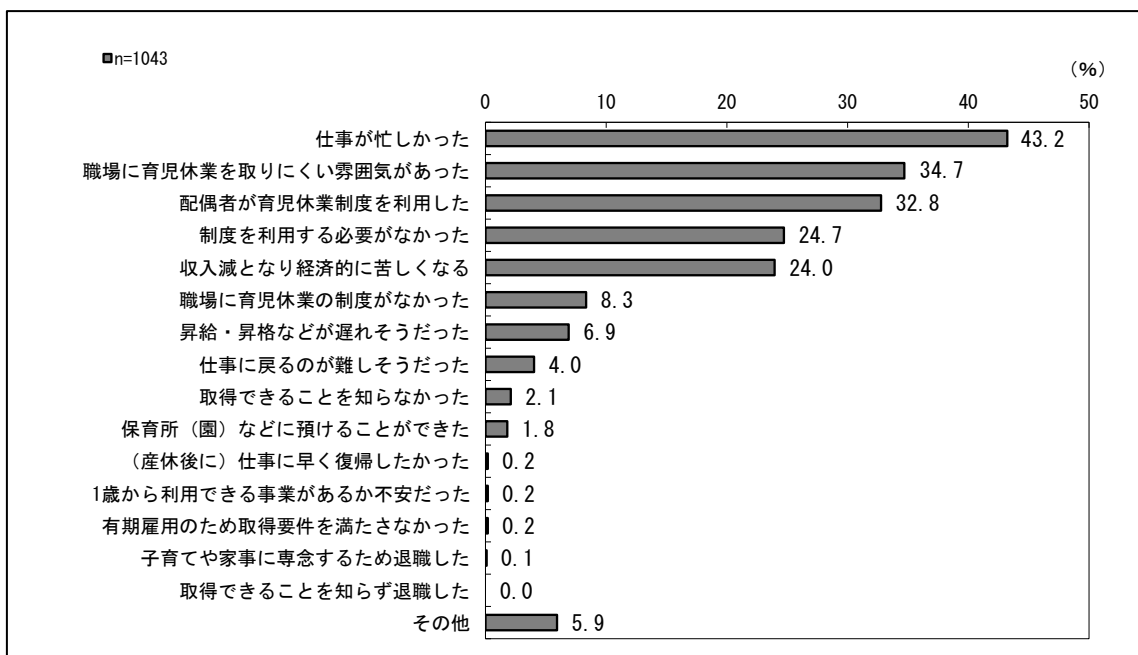
(2) 育児休業取得期間

問30①(2)で、「2. 取得した(取得中である)」と答えた人に、取得期間をたずねたところ、「3ヶ月以内」(96.0%)、「4～6ヶ月」(1.3%)となっています。



(3) 育児休業を取得していない理由

問 30①(2)で、「3. 取得していない」と答えた人に、その理由をたずねたところ、「仕事が忙しかった」(43.2%)が最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(34.7%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(32.8%)が続き、以下、「制度を利用する必要がなかった」(24.7%)、「収入減となり経済的に苦しくなる」(24.0%)、「職場に育児休業の制度がなかった」(8.3%)、「昇給・昇格などが遅れそうだった」(6.9%)、「仕事に戻るのが難しそうだった」(4.0%)、「取得できることを知らなかった」(2.1%)、「保育所(園)などに預けることができた」(1.8%)、「(産休後に)仕事に早く復帰したかった」・「1歳から利用できる事業があるか不安だった」・「有期雇用のため取得要件を満たさなかった」(同率 0.2%)、「子育てや家事に専念するため退職した」(0.1%)などの順となっています。「その他」には、「自営業のため」、「フリーランスのため」、「前例がなかった」などがあげられました。



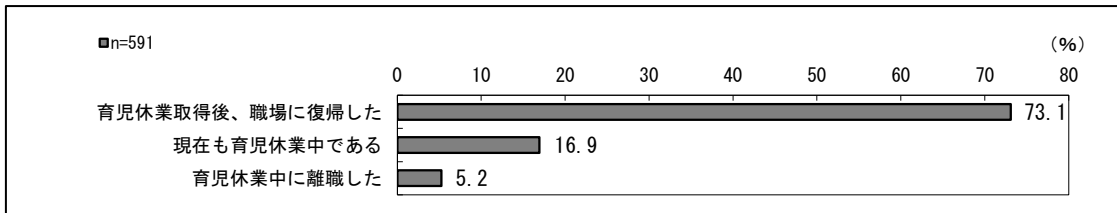
(2) 育児休業取得後の職場復帰

問 30 で母親・父親が「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にかがいます。
問 30-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

① 母親

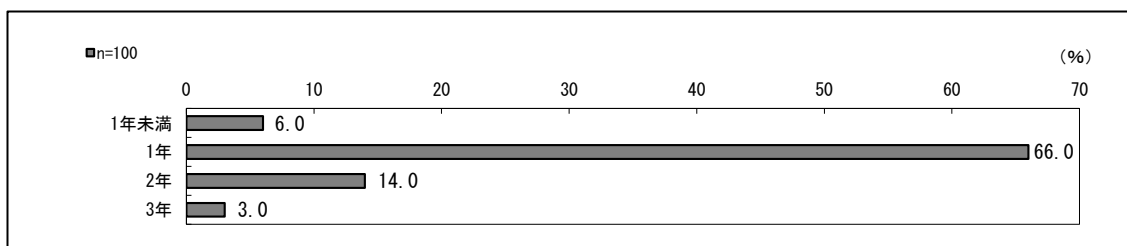
(1) 育児休業取得後の職場復帰の状況

母親の育児休業取得後の職場復帰の状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」(73.1%)、「現在も育児休業中である」(16.9%)、「育児休業中に離職した」(5.2%)となっています。



(2) 育児休業期間

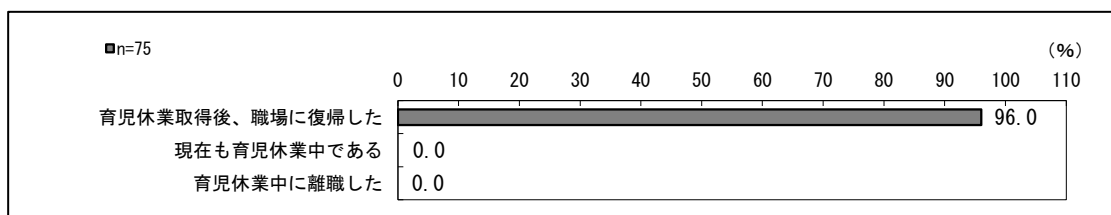
母親の育児休業の期間は、「1年」(66.0%)、「2年」(14.0%)、「1年未満」(6.0%)、「3年」(3.0%)となっています。



② 父親

(1) 育児休業取得後の職場復帰の状況

父親の育児休業取得後の職場復帰の状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」(96.0%)となっています。



※父親は育児休業期間に関する回答は0でした。

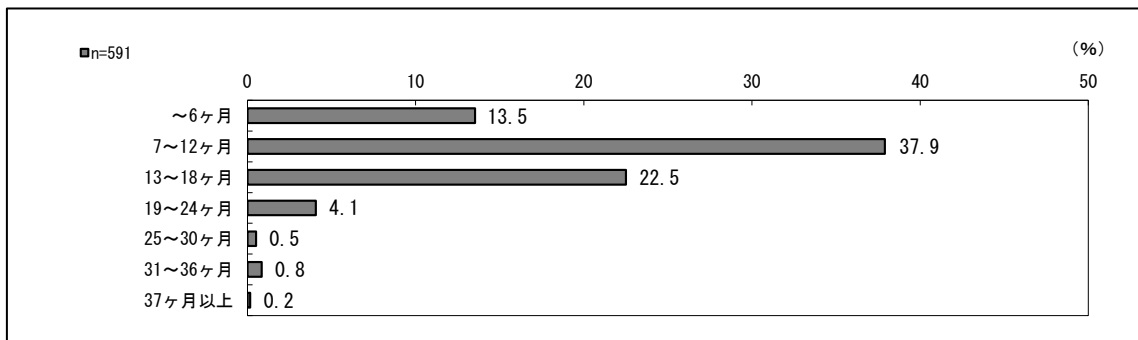
(3) 職場復帰のときの子どもの年齢について

問 30-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

① 母親

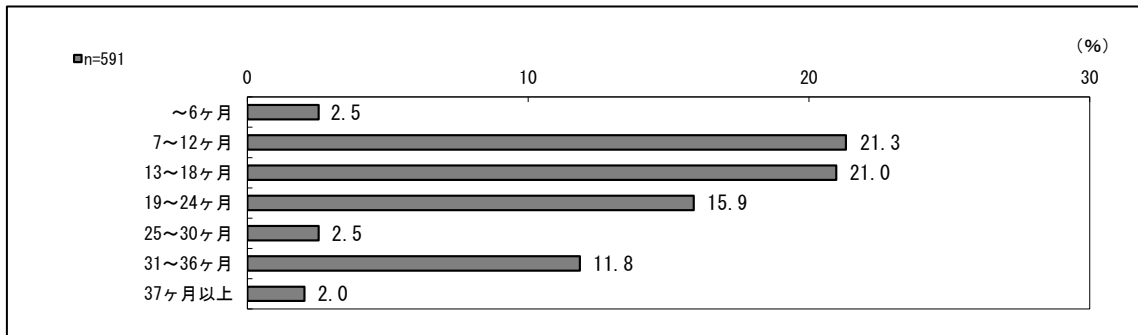
(1) 実際の取得期間の子どもの年齢

育児休業後に職場に復帰した母親に、実際に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したかたずねたところ、「7～12ヶ月」(37.9%)、「13～18ヶ月」(22.5%)、「0～6ヶ月」(13.5%)、「19～24ヶ月」(4.1%)、「31～36ヶ月」(0.8%)、「25～30ヶ月」(0.5%)、「37ヶ月以上」(0.2%) となっています。



(2) 希望する期間の子どもの年齢

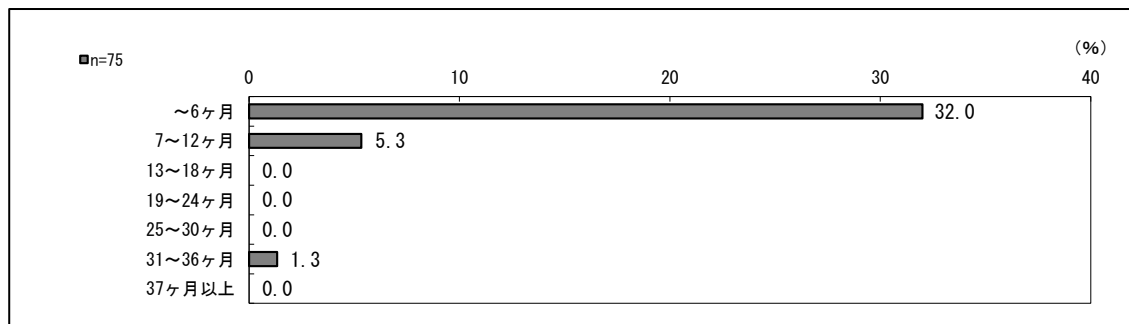
何歳何ヶ月まで育児休業をとりたかったかたずねたところ、「7～12ヶ月」(21.3%)、「13～18ヶ月」(21.0%)、「19～24ヶ月」(15.9%)、「31～36ヶ月」(11.8%)、「0～6ヶ月」・「25～30ヶ月」(同率2.5%)、「37ヶ月以上」(2.0%) となっています。



② 父親

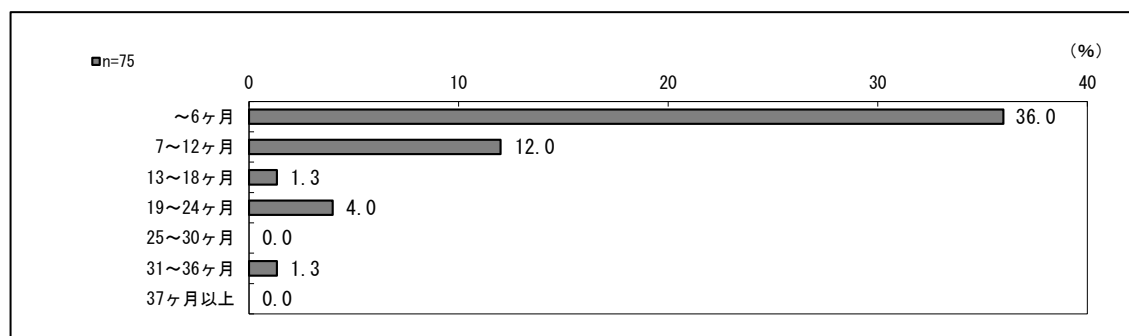
(1) 実際の取得期間の子どもの年齢

育児休業後に職場に復帰した父親に、実際に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したかたずねたところ、「0～6ヶ月」(32.0%)、「7～12ヶ月」(5.3%)となっています。



(2) 希望する期間の子どもの年齢

何歳何ヶ月まで育児休業をとりたかったかたずねたところ、「0～6ヶ月」(36.0%)、「7～12ヶ月」(12.0%)、「19～24ヶ月」(4.0%)、「13～18ヶ月」・「31～36ヶ月」(同率1.3%)となっています。



13 児童虐待について

(1) 児童虐待について知っていること

問 31 児童虐待について次のことをご存知ですか。以下の(1)～(3)の各々について当てはまる番号1つに○をつけてください。

児童虐待について知っていることをたずねたところ、児童虐待防止法については、「はい(知っている)」(64.1%)、「いいえ(知らない)」(34.0%)となっています。

児童虐待発見時の通報先については、「いいえ」(53.4%)、「はい」(44.9%)となっています。

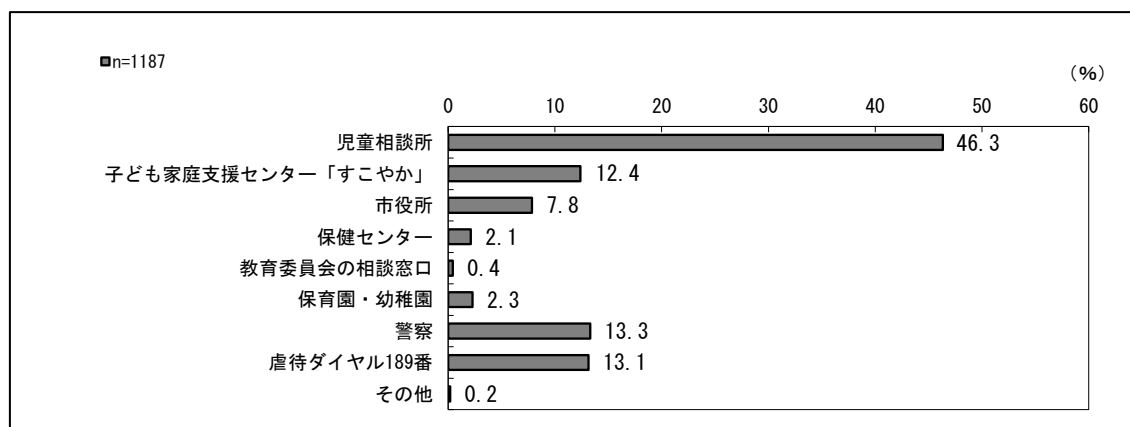
虐待に関する相談機関については、「いいえ」(53.2%)、「はい」(45.2%)となっています。

	(%)	はい	いいえ	無回答	n
児童虐待防止法		64.1	34.0	1.9	1187
児童虐待発見時の通報先		44.9	53.4	1.7	1187
虐待に関する相談機関		45.2	53.2	1.5	1187

(2) 虐待発見時に連絡しようと思う機関

問 31-1 児童虐待を発見した場合には、以下、選択欄のどちらでも通告や通報等ができます。その中でも、あなたは、どちらに連絡しようと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

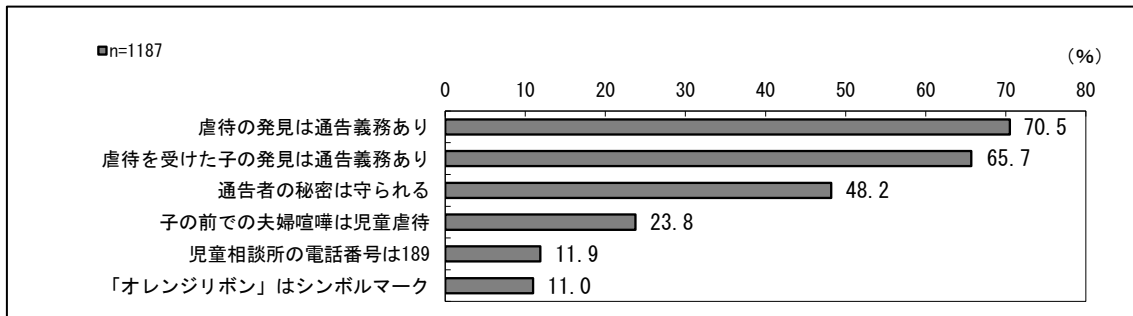
虐待発見時に連絡しようと思う機関は、「児童相談所」(46.3%)、「警察」(13.3%)、「虐待ダイヤル 189 番」(13.1%)、「子ども家庭支援センター「すこやか」」(12.4%)、「市役所」(7.8%)、「保育園・幼稚園」(2.3%)、「保健センター」(2.1%)、「教育委員会の相談窓口」(0.4%)の順となっています。



(3) 児童虐待に関する通告義務について

問 32 児童虐待について、あなたは以下のことをご存知ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

児童虐待に関する通告義務について、知っていることをたずねたところ、「虐待の発見は通告義務あり」(70.5%)、「虐待を受けた子の発見は通告義務あり」(65.7%)、「通告者の秘密は守られる」(48.2%)、「子の前での夫婦喧嘩は児童虐待」(23.8%)、「児童相談所の電話番号は189」(11.9%)、「「オレンジリボン」はシンボルマーク」(11.0%)の順となっています。

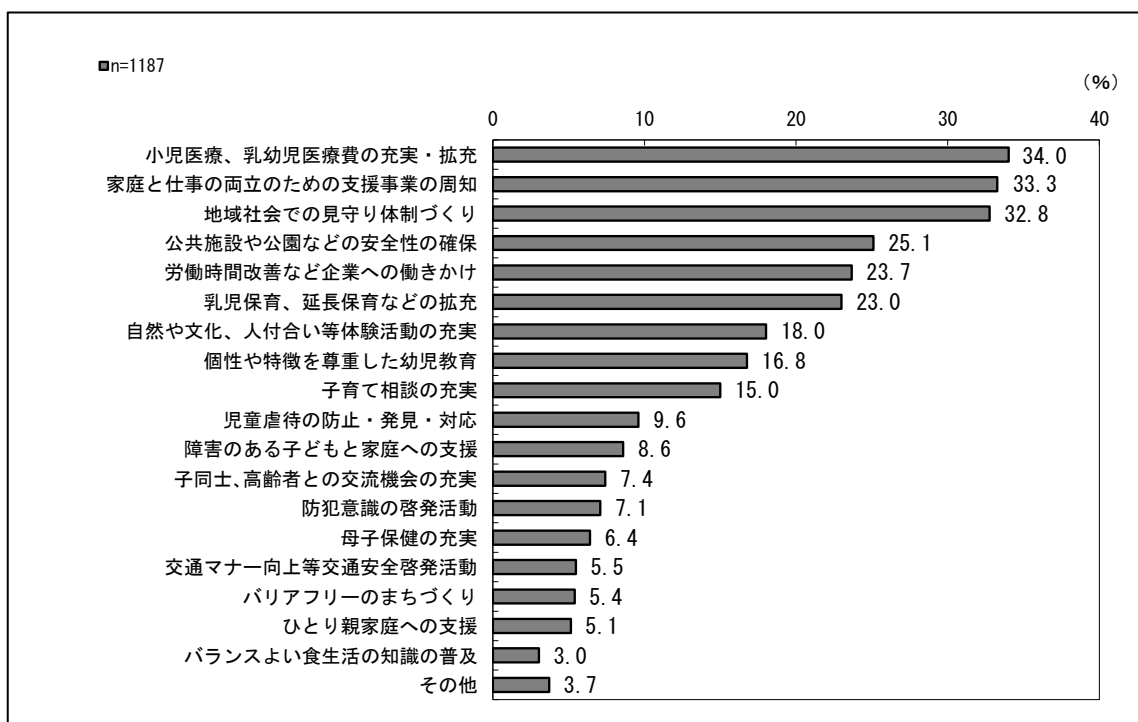


14 子育て環境や支援について

(1) 行政や関係機関の取組として必要だと思うこと

問 33 子育てについて考えたとき、今後、行政や関係機関の取組として必要と思われること、重要と思われることは何だと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。【複数回答】

行政や関係機関の取組として必要だと思うことについては、「小児医療、乳幼児医療費の充実・拡充」(34.0%)、「家庭と仕事の両立のための支援事業の周知」(33.3%)、「地域社会での見守り体制づくり」(32.8%)、「公共施設や公園などの安全性の確保」(25.1%)、「労働時間改善など企業への働きかけ」(23.7%)、「乳児保育、延長保育などの拡充」(23.0%)、「自然や文化、人付き合い等体験活動の充実」(18.0%)、「個性や特徴を尊重した幼児教育」(16.8%)、「子育て相談の充実」(15.0%)、「児童虐待の防止・発見・対応」(9.6%)、「障害のある子どもと家庭への支援」(8.6%)、「子同士、高齢者との交流機会の充実」(7.4%)、「防犯意識の啓発活動」(7.1%)、「母子保健の充実」(6.4%)、「交通マナー向上等交通安全啓発活動」(5.5%)、「バリアフリーのまちづくり」(5.4%)、「ひとり親家庭への支援」(5.1%)、「バランスよい食生活の知識の普及」(3.0%)などの順となっています。「その他」には、「保育園を増やしてほしい」、「遊び場を増やしてほしい」、「高校、大学まで長期的に支援してほしい」などがあげられました。



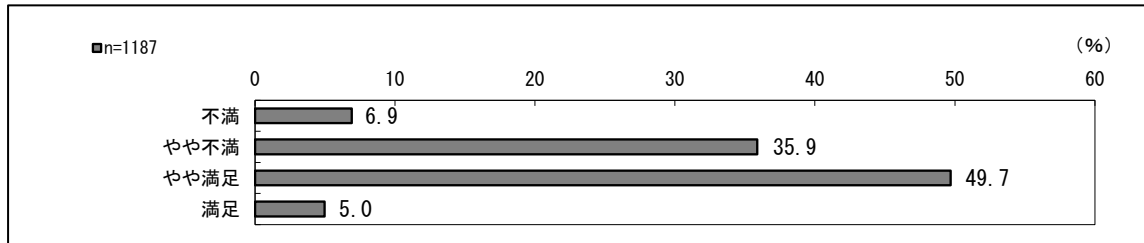
○「その他」の記載内容例

- ・自営業の為時間の都合がつきやすかった。
- ・取得するという考えが夫婦になかった。
- ・母親が専業主婦だから。
- ・立場上休めなかった。
- ・本人が仕事を休む事をのぞまない。

(2) 市における子育て環境や支援への満足度

問 34 調布市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

市における子育て環境や支援への満足度は、「やや満足」(49.7%)、「やや不満」(35.9%)、「不満」(6.9%)、「満足」(5.0%) となっています。



(3) 子育ての環境や支援、教育・保育環境の拡充などに関する自由意見

問 35 最後に、子育ての環境や支援、教育・保育環境の拡充などに関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

自由意見の記述内容は下記のとおりです。(一部抜粋)

【安全・安心に関すること】

自由記述 (課題)	自由記述 (改善・解決策)
公園内にある砂場に犬、猫のフンがあり不衛生。	ネットを常設し、利用者にその都度かけたりはずしたりしてもらい、犬、猫が近寄るのを防ぐ。砂場周りに柵をする。
調布駅前だけが明るく、少し離れると街灯が少ない。(主に通学路)	ポツンポツンと明るいのでは死角が出来るので、街灯プラス店先の電灯を夜も点けてもらったり、街灯を大きくしたり、歩道の夜間点灯ライトを整備したりする。
0歳児の育休中、同じ状況の友人がおらず辛かったため、相談場所ではなく、気兼ねなく話せる友人、サークル等の共同作業するような場所が欲しかった。	サークル、共同作業場習い事もよいが、継続的に会える、要は似たような環境の人で仲良くなれる場を提供してほしい。
交通量が多い道路の歩道が狭く、あまり子どもだけで歩かせたくない場所がある。	歩道の整備。

【遊び場・公園に関すること】

自由記述 (課題)	自由記述 (改善・解決策)
家でも外でもゲームばかりやるようになっていたため、外で思いっきり遊んでほしい。(不審者)	外で安心して遊べるようにしてほしい

が不安、遊具が楽しそうではなく、ボールが使えない公園が多い)	
子ども達が明るく見渡しの良い場所(死角があると不審者が不安)で遊べるよう公園の整備をほしてほしい、ボールも使いたい。	最近ボールで遊べる場所が少なく子ども達がかわいそうなので、安全に遊べるように網を高くする等する。
公園が少ない、汚い、遊具があまりない。	きれいでトイレのある公園を作る。

【経済的支援に関すること】

自由記述 (課題)	自由記述 (改善・解決策)
保育園の補助金の第3子への助成が、第1子が小学3年生までしか対応していないこと。(3人兄弟で、2歳差で産んでいなくては、第3子扱いにならないことがおかしい)	第1子が小学3年生ではなく、中学生までなど、上限を増やしてほしい。または、第3子以降の子ども手当の額を増やしてほしい。
子どもの医療費の負担。	義務教育期間の医療費負担をなくす。
第2子を出産して、頼る親や親戚がいない状況で、「産後ケア」を受けようと思っても、上の子どもは連れて来てはだめとのことで受けることができずに終わってしまった。	きょうだいも一緒に連れて行って見てもらって、母は産後ケアを受けるという形があってほしい。母と赤ちゃんだけでなく、そのきょうだいがいる人でもサービスを受けられるところを増やす。(できれば安く)

【教育・保育サービスに関すること】

自由記述 (課題)	自由記述 (改善・解決策)
保育園でも幼稚園並みの教育をするか、幼稚園でも保育園並みに長時間預けられるようにしてほしい。	保育現場に教育が取り入れられてほしい。
フルタイム以下の就労時間の場合、定期的にご利用できる預け先がない。	保育所の利用枠を広げてほしい。
病児保育施設が少なく、利用便が悪い。	施設数を増やす。1施設で見られる子どもの数を減らしてでも、施設数を改善してほしい。手続きを郵送でスムーズにできるようにしてほしい。
病児保育、休日保育の予約が取れない、面倒	利用者の立場で予約制度を考えてほしい。
待機児童対策	1歳児クラスからの保育園の拡充。(現在0歳からの保育園ばかりなので)

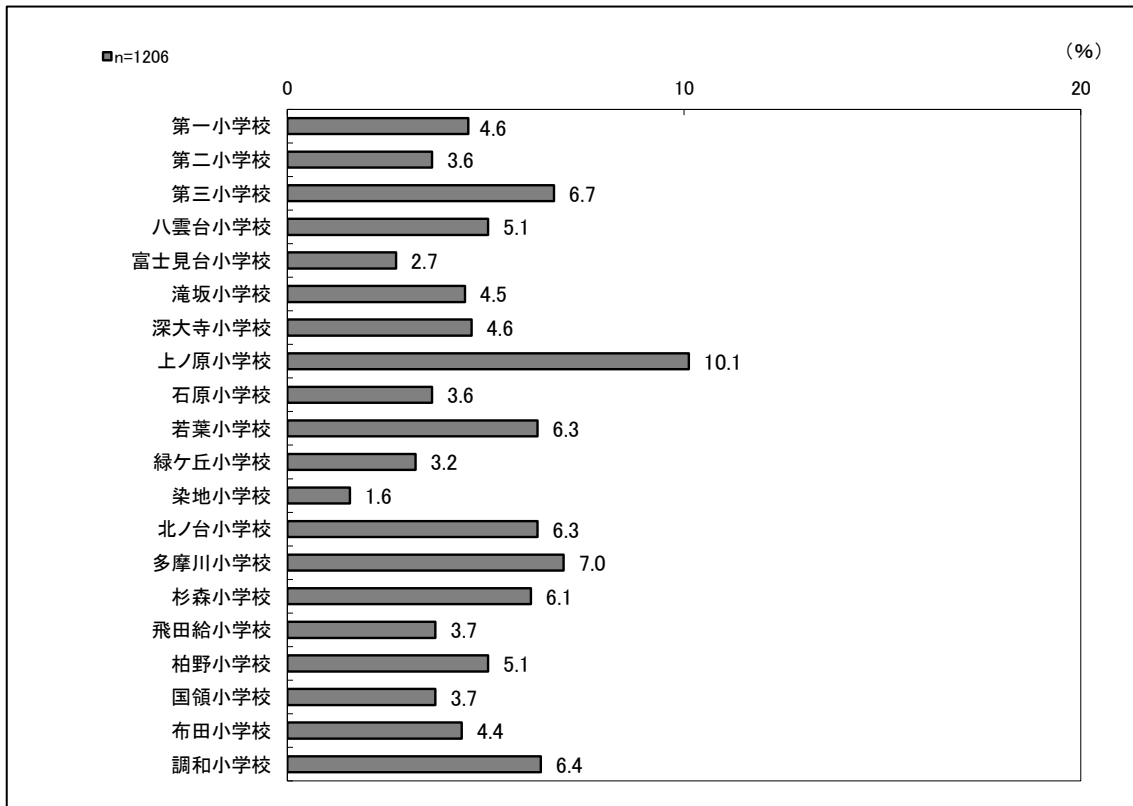
【放課後の過ごし方に関すること】

自由記述（課題）	自由記述（改善・解決策）
私立小学校へ通う子の長期休暇の過ごし方。（親が就労）	休暇期間のみの学童利用を可能にする。（必ず利用できる）
滝坂エリアの学童クラブが少ない。（特に北口の方、南口の方は若葉小でいっぱい）	近所に家が建ってきているので子どもが増える事を考え、学童クラブを設置してほしい
「小学生の壁」問題があるので小学生を持つ親は働きづらい、フルタイムに戻りづらい。	学童時間の拡充。

2 就学児童

1 地域について

(1) 居住学区域

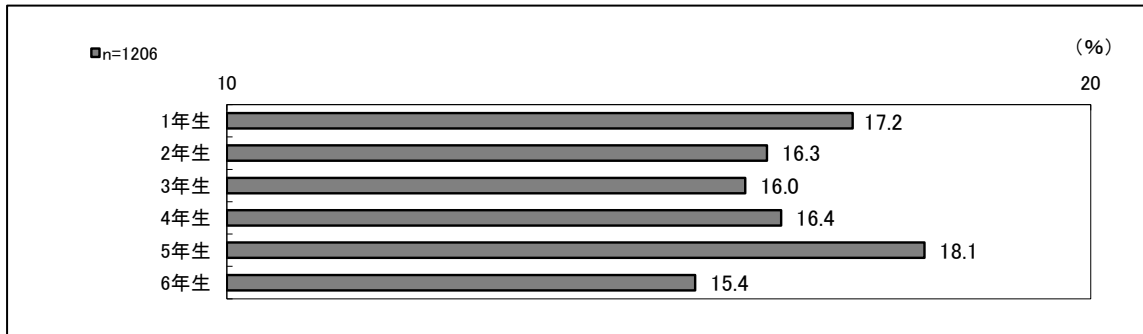


2 家族の状況について

(1) 子どもの学年

問2 宛名のお子さんは、現在何年生ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもの学年は、「5年生」(18.1%)、「1年生」(17.2%)、「4年生」(16.4%)、「2年生」(16.3%)、「3年生」(16.0%)、「6年生」(15.4%)となっています。

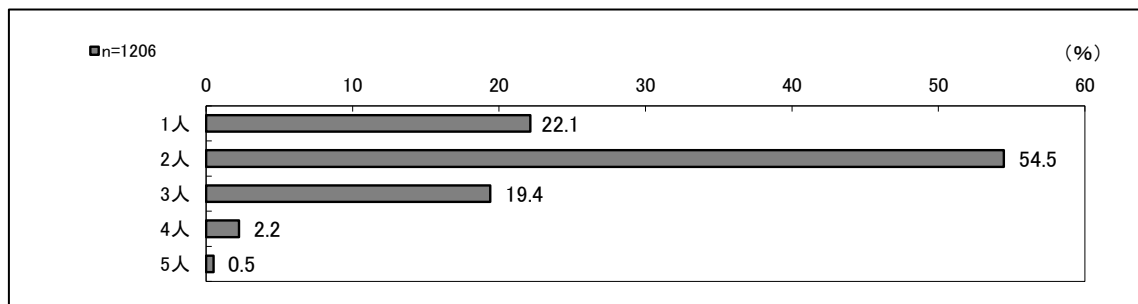


(2) きょうだい及び末子の年齢

問3 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の年齢をご記入ください。

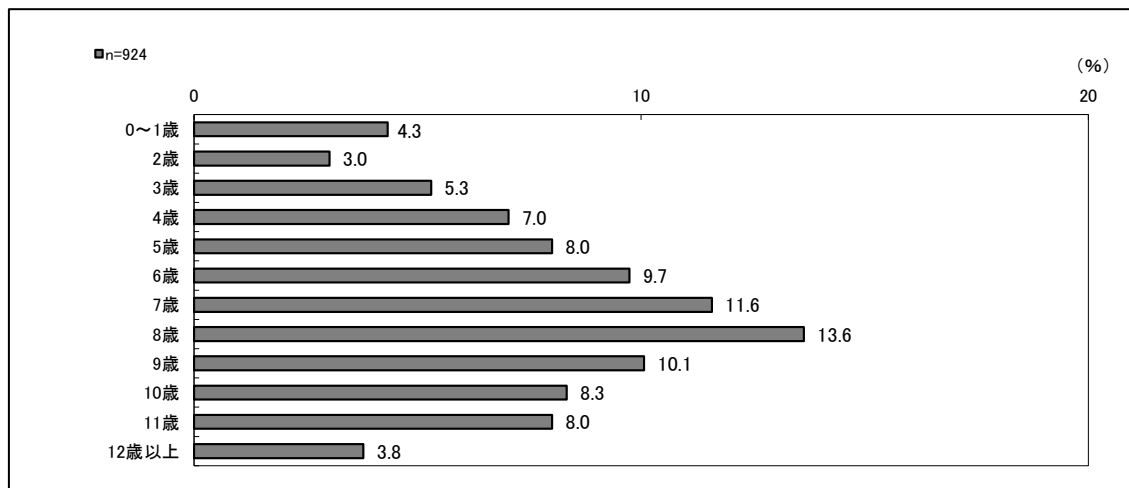
① きょうだい数

きょうだい数は、「2人」(54.5%)、「1人」(22.1%)、「3人」(19.4%)、「4人」(2.2%)、「5人」(0.5%)となっています。



② 末子の年齢

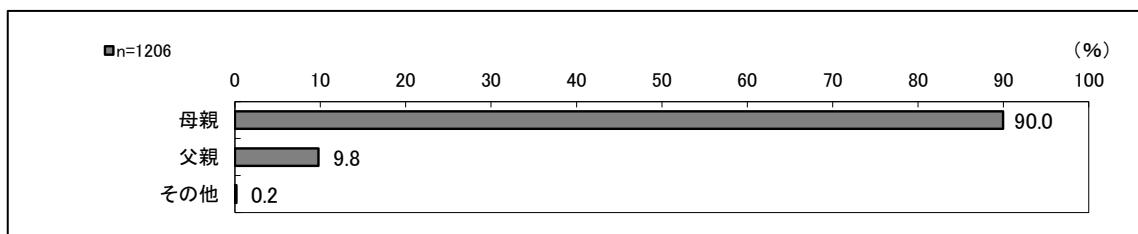
末子の年齢については「8歳」(13.6%)、「7歳」(11.6%)、「9歳」(10.1%)、「6歳」(9.7%)、「10歳」(8.3%)、「5歳」・「11歳」(同率8.0%)、「4歳」(7.0%)、「3歳」(5.3%)、「0～1歳」(4.3%)、「12歳以上」(3.8%)、「2歳」(3.0%)となっています。



(3) 回答者と子どもの関係

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

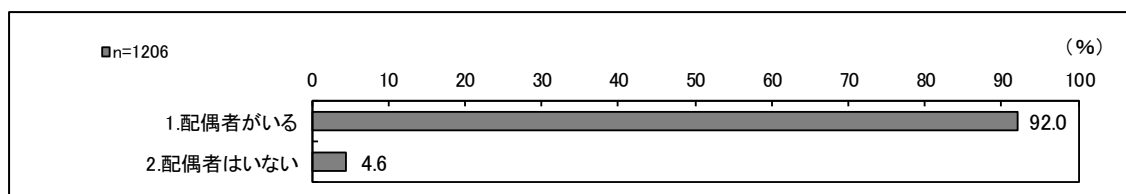
回答者と子どもの関係は、「母親」(90.0%)、「父親」(9.8%)となっています。



(4) 回答者の配偶関係

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

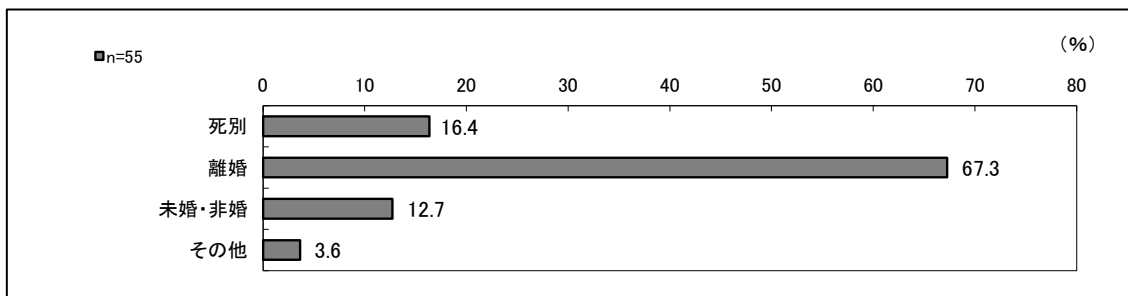
「配偶者がいる」は92.0%、「配偶者はいない」は4.6%となっています。



(5) 配偶者がいない理由

問 5-1 問5で「2. 配偶者はいない」に○をつけた方にうかがいます。配偶者がいない（母子家庭・父子家庭）理由はどのような理由ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

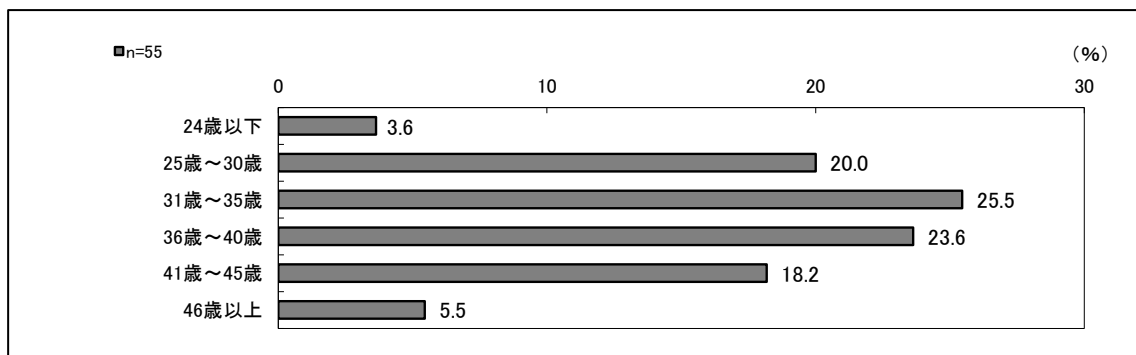
配偶者がいない理由は、「離婚」（67.3%）、「死別」（16.4%）、「未婚・非婚」（12.7%）となっています。



(6) 母子・父子家庭になった時の年齢

問 5-2 問5で「2. 配偶者はいない」に○をつけた方にうかがいます。母子家庭・父子家庭になった時の年齢についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母子・父子家庭になった時の年齢については、「31歳～35歳」（25.5%）、「36歳～40歳」（23.6%）、「25歳～30歳」（20.0%）、「41歳～45歳」（18.2%）、「46歳以上」（5.5%）、「24歳以下」（3.6%）となっています。

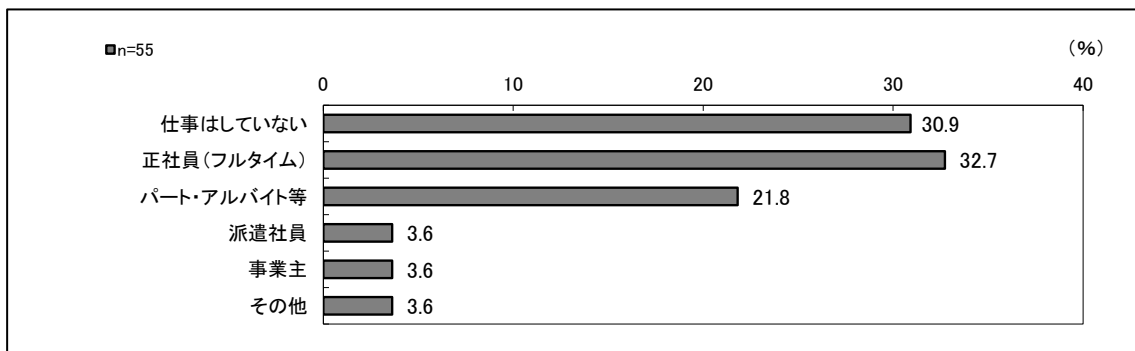


(7) 母子・父子家庭になる前の働き方・現在の働き方

問 5-3 問5で「2. 配偶者はいない」に○をつけた方にかがいます。母子・父子家庭等になる前後の状況について、それぞれお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

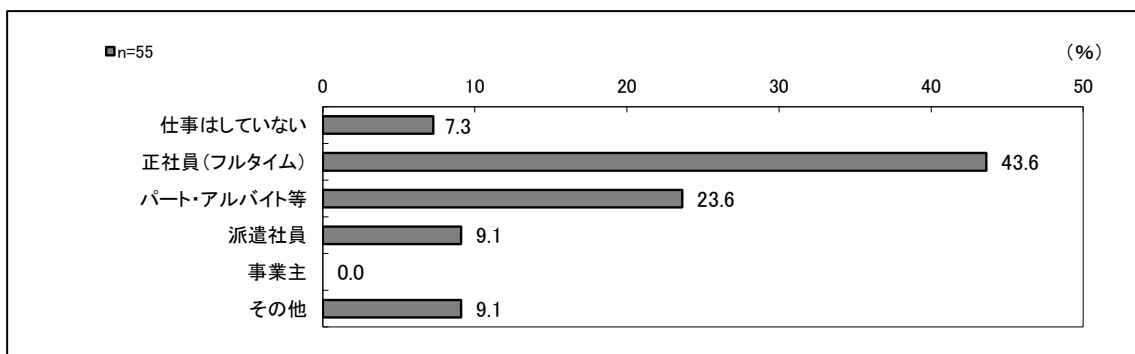
① 母子・父子家庭になる前の働き方

母子・父子家庭になる前の働き方は、「正社員（フルタイム）」(32.7%)、「仕事はしていない」(30.9%)、「パート・アルバイト等」(21.8%)、「派遣社員」・「事業主」(同率 3.6%)となっています。



② 現在の働き方

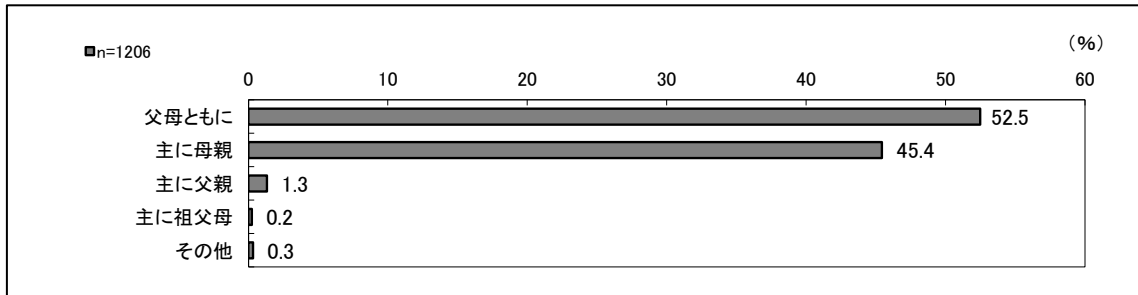
現在の働き方は、「正社員（フルタイム）」(43.6%)、「パート・アルバイト等」(23.6%)、「派遣社員」(9.1%)、「仕事はしていない」(7.3%)となっています。



(8) 主に子育てをしている人

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

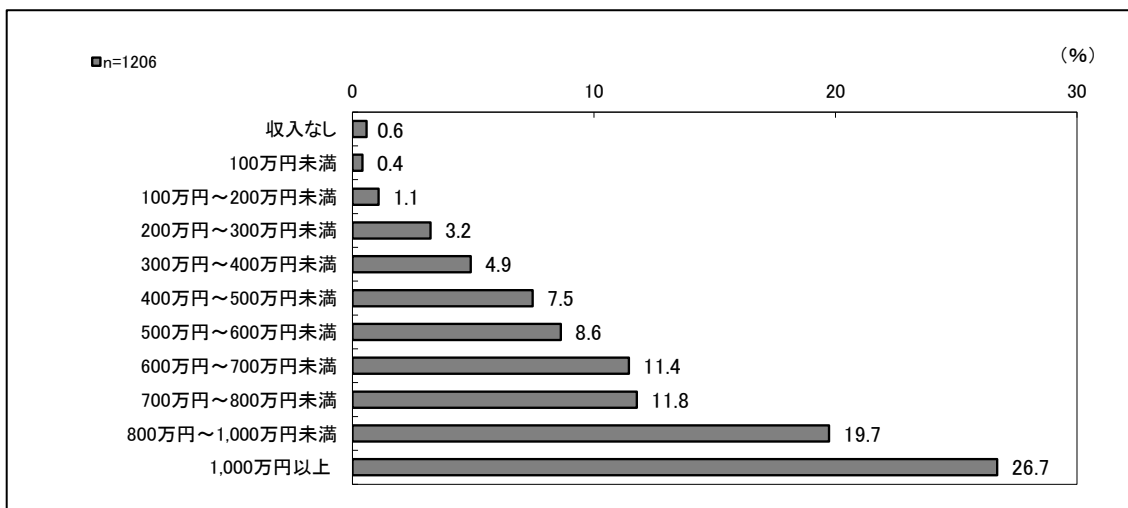
主に子育てをしている人は、「父母ともに」(52.5%)、「主に母親」(45.4%)、「主に父親」(1.3%)となっています。



(9) 世帯の年収 (税込)

問7 世帯の年収 (税込) は次のうちどれにあたりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

世帯の年収は、「1,000万円以上」(26.7%)、「800万円～1,000万円未満」(19.7%)、「700万円～800万円未満」(11.8%)、「600万円～700万円未満」(11.4%)、「500万円～600万円未満」(8.6%)、「400万円～500万円未満」(7.5%)、「300万円～400万円未満」(4.9%)、「200万円～300万円未満」(3.2%)、「100万円～200万円未満」(1.1%)、「収入なし」(0.6%)、「100万円未満」(0.4%)となっています。

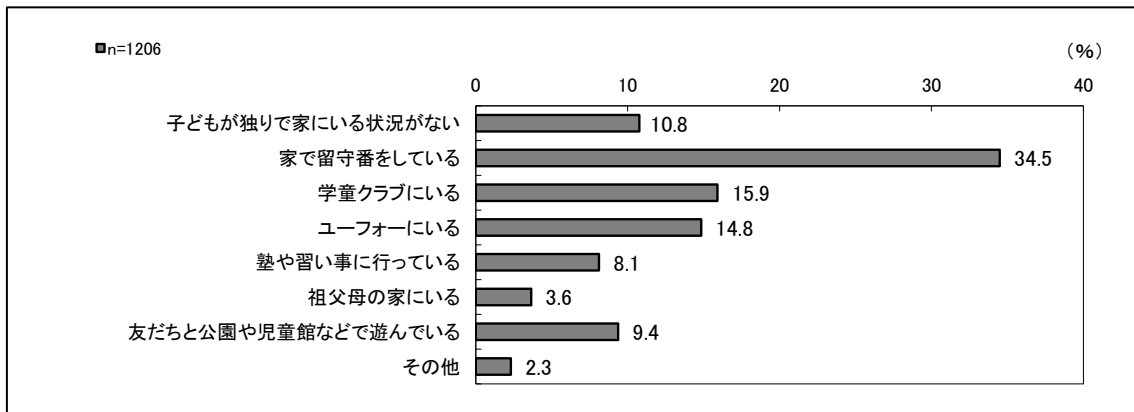


3 子どもの育ちと教育環境について

(1) 保護者不在時の子どもの過ごし方

問8 保護者が就労や用事で家を不在にするとき、小学校以外でお子さんは主にどのように過ごしていますか。最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

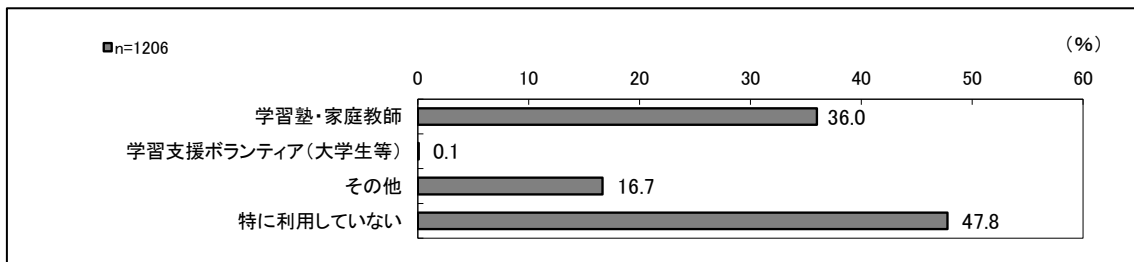
保護者不在時の子どもの過ごし方は、「家で留守番をしている」(34.5%)、「学童クラブにいる」(15.9%)、「ユーフォーにいる」(14.8%)、「子どもが独りで家にいる状況がない」(10.8%)、「友だちと公園や児童館などで遊んでいる」(9.4%)、「塾や習い事に行っている」(8.1%)、「祖父母の家にいる」(3.6%)となっています。



(2) 学習支援のために利用していること

問9 お子さんの学習支援のために何かサービスを利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

子どもの学習支援のために利用しているサービスなどは、「学習塾・家庭教師」(36.0%)、「学習支援ボランティア(大学生等)」(0.1%)となっています。なお、「特に利用していない」は47.8%となっています。



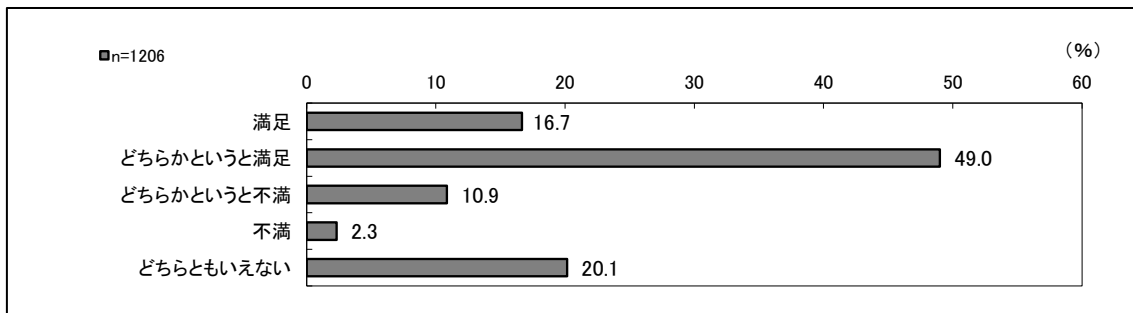
○「その他」の記載内容例

- ・そろばん。
- ・タブレット学習。
- ・通信教育。
- ・習い事。

(3) 地域の教育環境に対する満足度

問 10 お住まいの地域の教育環境に対する満足度について、当てはまる番号 1 つに○をつけて下さい。

地域の教育環境に対する満足度は、「どちらかという満足」(49.0%)、「満足」(16.7%)、「どちらかという不満」(10.9%)、「不満」(2.3%) となっています。なお、「どちらともいえない」は 20.1% となっています。



4 子どもの保護者の就労状況

(1) 就労状況

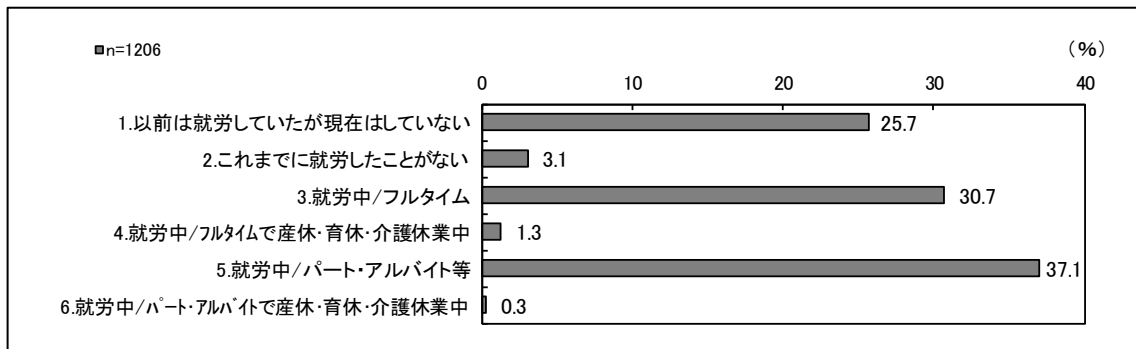
① 母親

(1) 就労状況

問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、農業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

母親の現在の就労状況は、「就労中／パート・アルバイト等」(37.1%)、「就労中／フルタイム」(30.7%)、「以前は就労していたが現在はしていない」(25.7%)、「これまでに就労したことがない」(3.1%)、「就労中／フルタイムで産休・育休・介護休業中」(1.3%)、「就労中／パート・アルバイトで産休・育休・介護休業中」(0.3%) となっています。

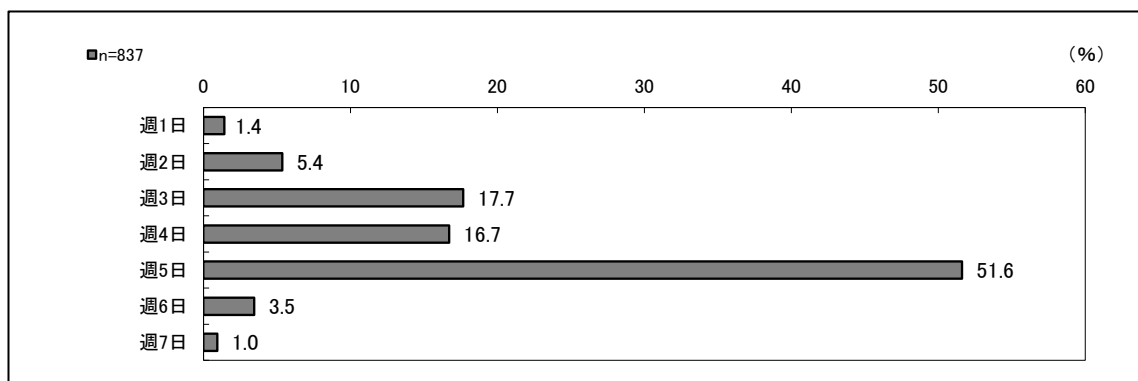


(2) 就労日数・就労時間

(1) -1 (1)で「3.」～「6.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください

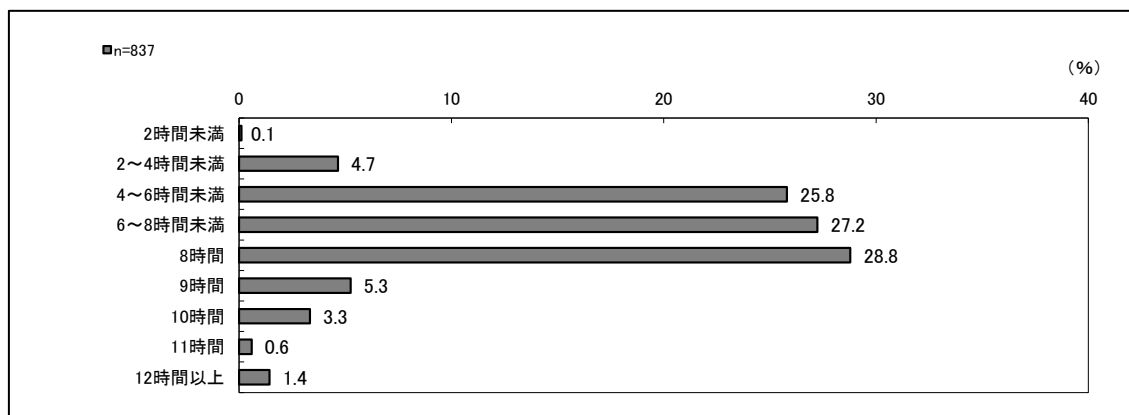
1 週当たり就労日数

母親の現在の1週当たりの就労日数は「週5日」(51.6%)、「週3日」(17.7%)、「週4日」(16.7%)、「週2日」(5.4%)、「週6日」(3.5%)、「週1日」(1.4%)、「週7日」(1.0%) となっています。



1日当たり就労時間

母親の現在の1日当たり就労時間は、「8時間」(28.8%)、「6～8時間未満」(27.2%)、「4～6時間未満」(25.8%)、「9時間」(5.3%)、「2～4時間未満」(4.7%)、「10時間」(3.3%)、「12時間以上」(1.4%)、「11時間」(0.6%)となっています。

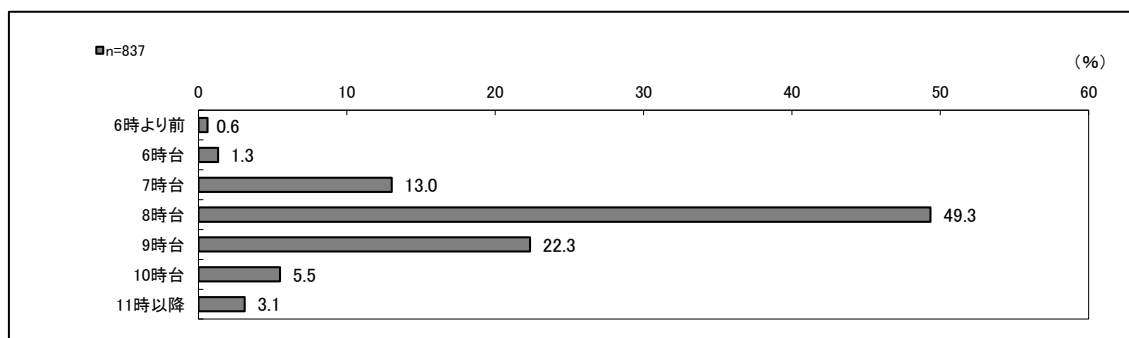


(3) 家を出る時刻・帰宅時刻

(1) -2 (1)で「3.」～「6.」(就労している)に○をつけた方にかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。

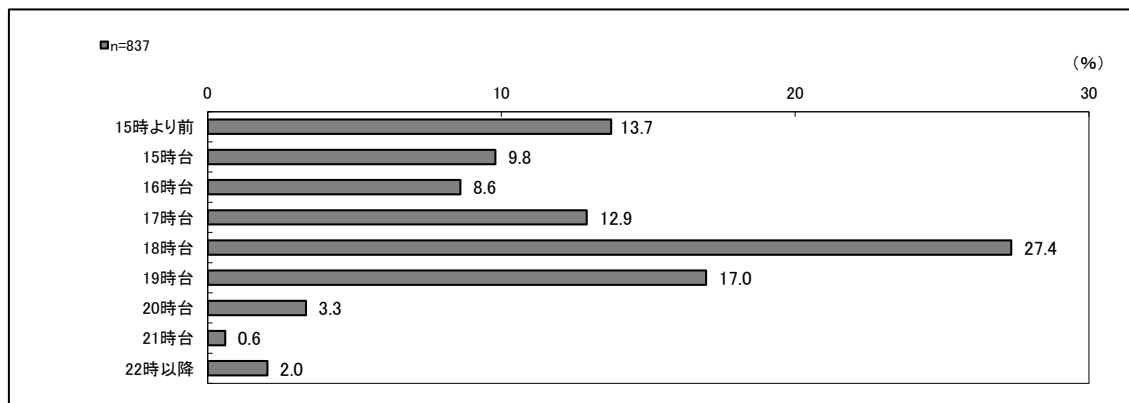
家を出る時刻

母親の家を出る時刻は、「8時台」(49.3%)、「9時台」(22.3%)、「7時台」(13.0%)、「10時台」(5.5%)、「11時以降」(3.1%)、「6時台」(1.3%)、「6時より前」(0.6%)となっています。



帰宅時刻

母親の帰宅時刻は、「18 時台」(27.4%)、「19 時台」(17.0%)、「15 時より前」(13.7%)、「17 時台」(12.9%)、「15 時台」(9.8%)、「16 時台」(8.6%)、「20 時台」(3.3%)、「22 時以降」(2.0%)、「21 時台」(0.6%) となっています。



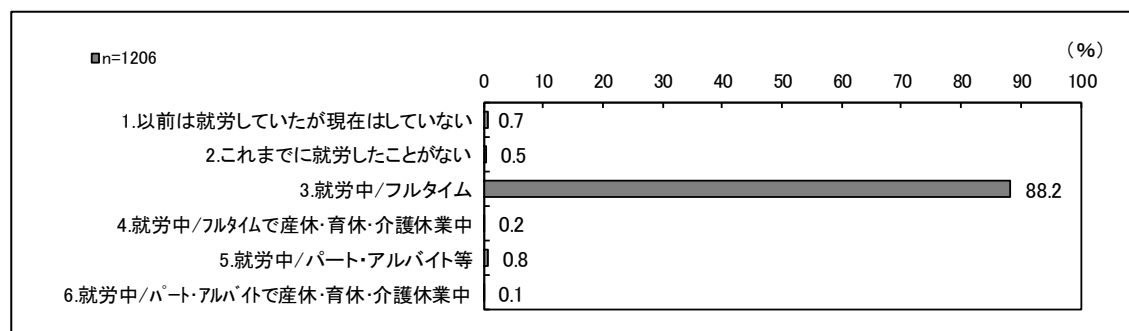
② 父親

(1) 就労状況

問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、農業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(2) 父親

父親の現在の就労状況は、「就労中/フルタイム」(88.2%)、「就労中/パート・アルバイト等」(0.8%)、「以前は就労していたが現在はしていない」(0.7%)、「これまでに就労したことがない」(0.5%)、「就労中/フルタイムで産休・育休・介護休業中」(0.2%)、「就労中/パート・アルバイトで産休・育休・介護休業中」(0.1%) となっています。

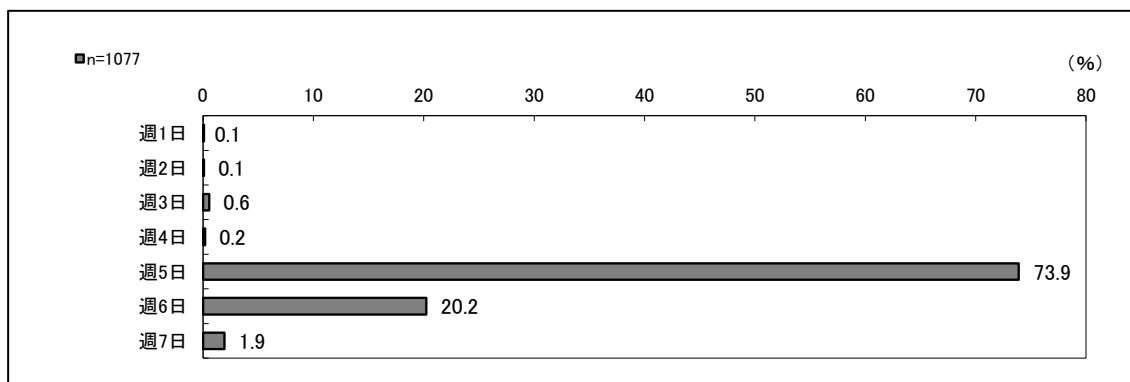


(2) 就労日数・就労時間

(2) -1 (2) で「3.」～「6.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

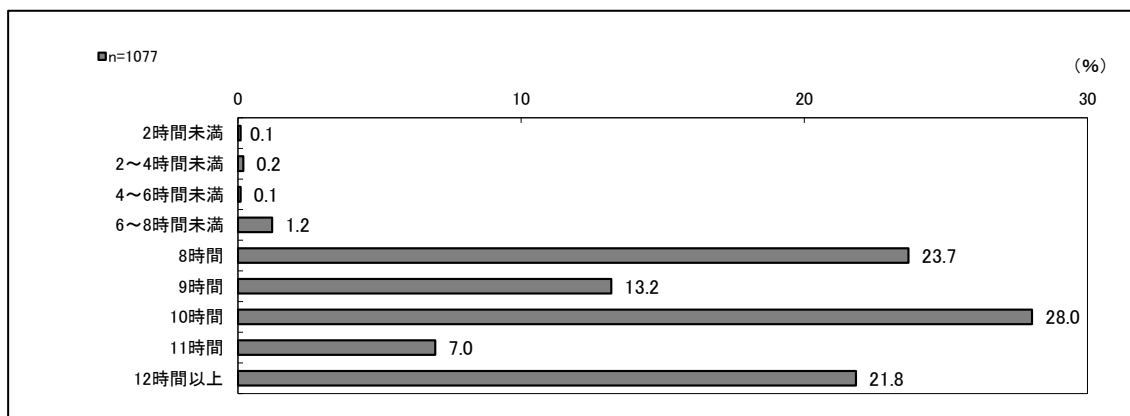
1週当たり就労日数

父親の現在の1週当たりの就労日数は、「週5日」(73.9%)、「週6日」(20.2%)、「週7日」(1.9%)、「週3日」(0.6%)、「週4日」(0.2%)、「週1日」・「週2日」(同率0.1%)となっています。



1日当たり就労時間

父親の現在の1日当たり就労時間は、「10時間」(28.0%)、「8時間」(23.7%)、「12時間以上」(21.8%)、「9時間」(13.2%)、「11時間」(7.0%)、「6～8時間未満」(1.2%)、「2～4時間未満」(0.2%)、「2時間未満」・「4～6時間未満」(同率0.1%)となっています。

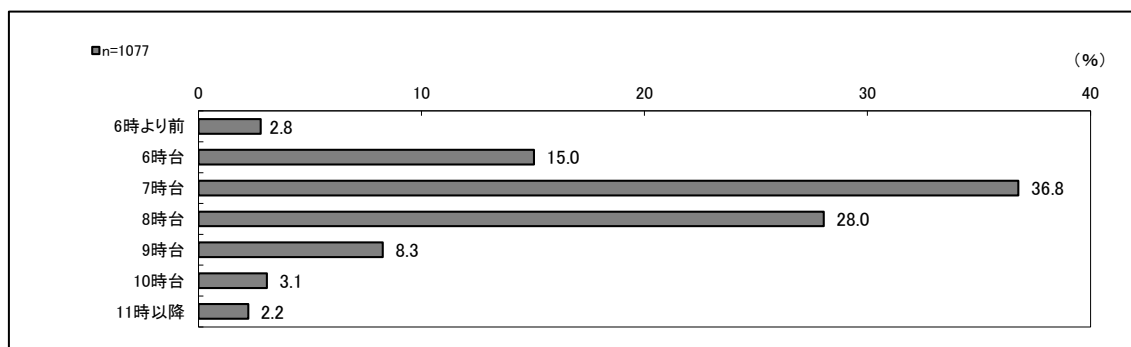


(3) 家を出る時刻・帰宅時刻

(2) -2 (2)で「3.」～「6.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。

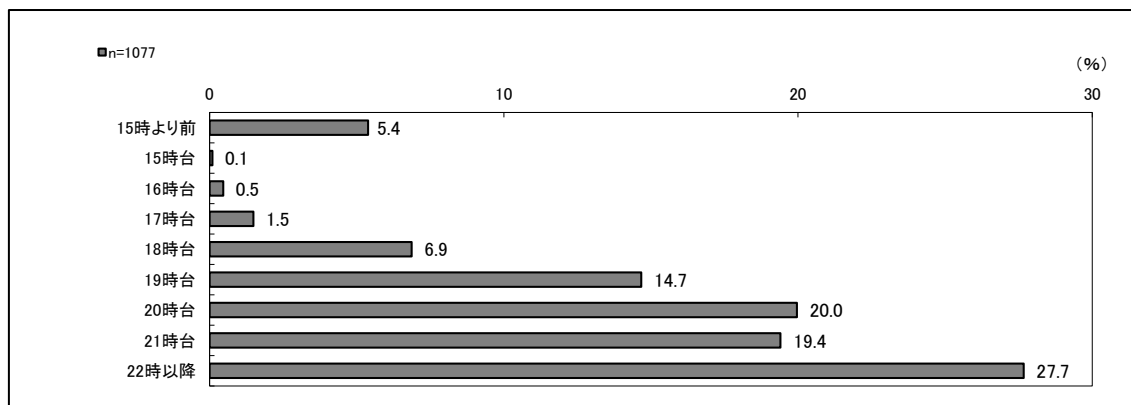
家を出る時刻

父親が家を出る時刻は、「7時台」(36.8%)、「8時台」(28.0%)、「6時台」(15.0%)、「9時台」(8.3%)、「10時台」(3.1%)、「6時より前」(2.8%)、「11時以降」(2.2%)となっています。



帰宅時刻

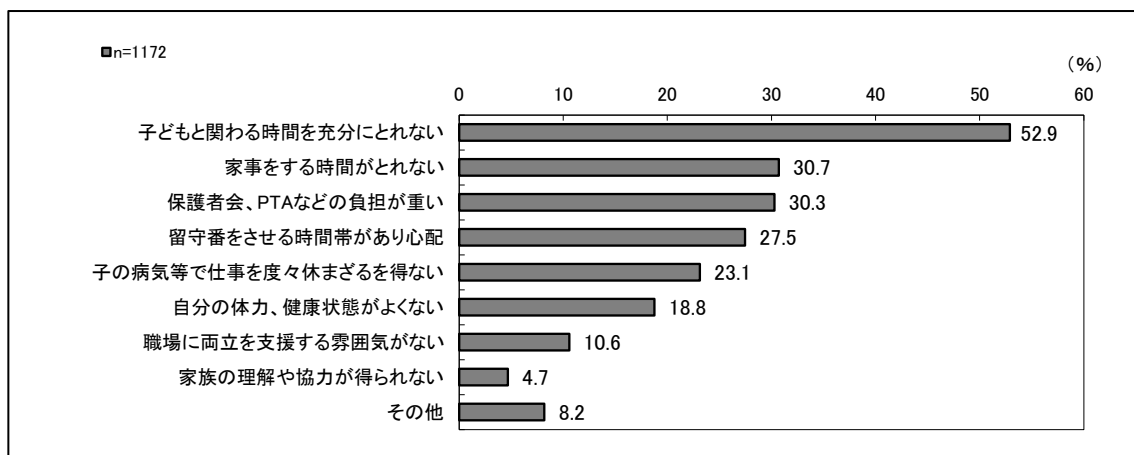
父親の帰宅時刻は、「22時以降」(27.7%)、「20時台」(20.0%)、「21時台」(19.4%)、「19時台」(14.7%)、「18時台」(6.9%)、「15時より前」(5.4%)、「17時台」(1.5%)、「16時台」(0.5%)、「15時台」(0.1%)となっています。



(2) 仕事と子育ての両立で大変だと感じていること

問12 問11の(1)または(2)で「3.」～「6.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。仕事と子育てを両立させるうえで大変だと感じていることは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。【複数回答】

仕事と子育ての両立で大変だと感じていることは、「子どもと関わる時間を充分にとれない」(52.9%)、「家事をする時間がとれない」(30.7%)、「保護者会、PTAなどの負担が重い」(30.3%)、「留守番をさせる時間帯があり心配」(27.5%)、「子の病気等で仕事を度々休まざるを得ない」(23.1%)、「自分の体力、健康状態がよくない」(18.8%)、「職場に両立を支援する雰囲気がない」(10.6%)、「家族の理解や協力が得られない」(4.7%)の順となっています。



○「その他」の記載内容例

- ・子どもの具合が悪くても仕事の休みが取れない。
- ・家族揃っての休日がなかなか取れない。
- ・食事の内容や就寝時間など、子どもの健康管理がおろそかになる。

(3) フルタイムへの転換希望

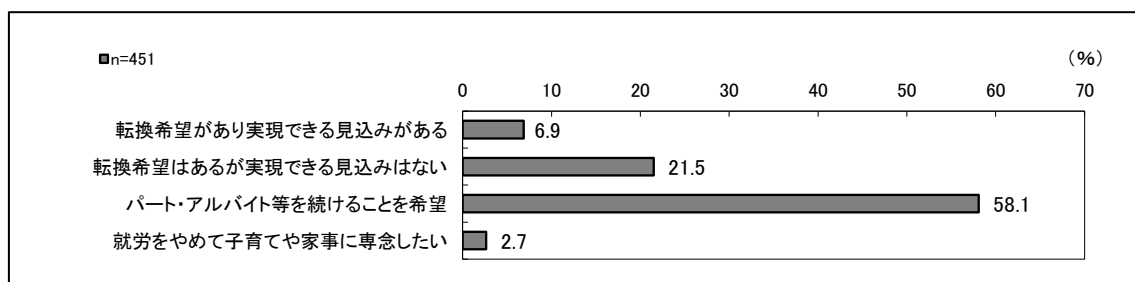
① 母親

問 13 問 11 の (1) または (2) で「5.」「6.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にかがいます。

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はありますか。

(1) 母親

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等続けることを希望」(58.1%)、「転換希望はあるが実現できる見込みはない」(21.5%)、「転換希望があり実現できる見込みがある」(6.9%)、「就労をやめて子育てや家事に専念したい」(2.7%)の順となっています。



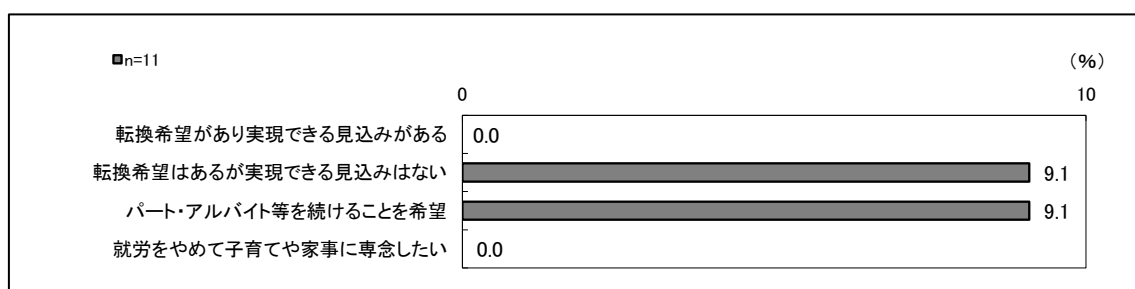
② 父親

問 13 問 11 の (1) または (2) で「5.」「6.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にかがいます。

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はありますか。

(2) 父親

パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望については、「転換希望はあるが実現できる見込みはない」・「パート・アルバイト等続けることを希望」(同率 9.1%)となっています。



(4) 就労希望について

① 母親

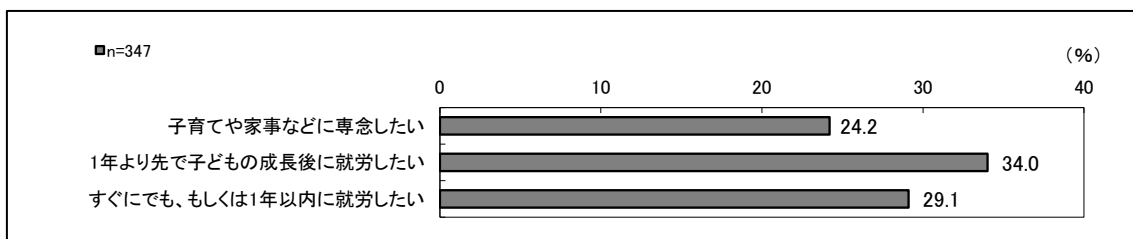
問 14 問 11 の (1) または (2) で「1. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「2. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

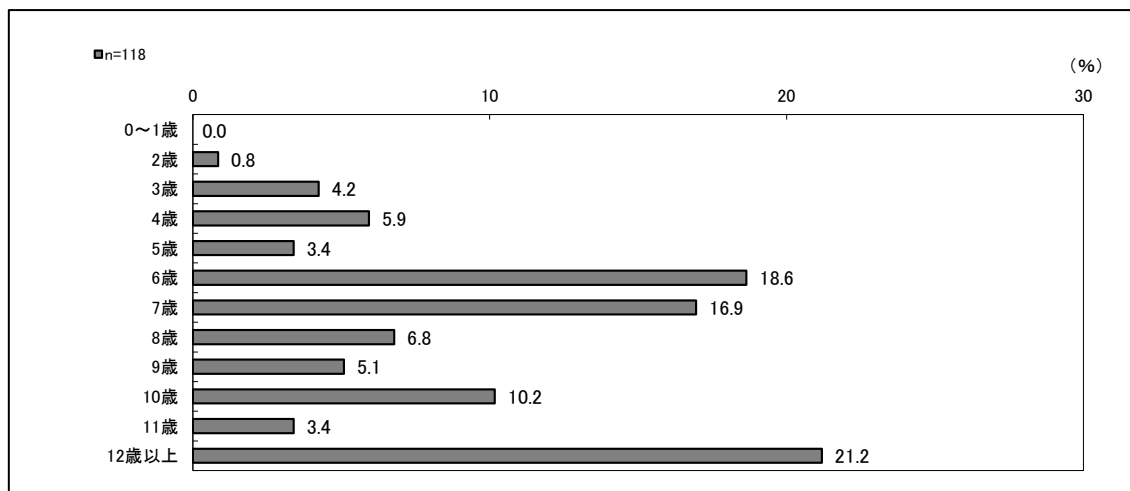
(1) 就労希望

就労していない母親の就労希望については、「1年より先で子どもの成長後に就労したい」(34.0%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(29.1%)、「子育てや家事などに専念したい」(24.2%) となっています。



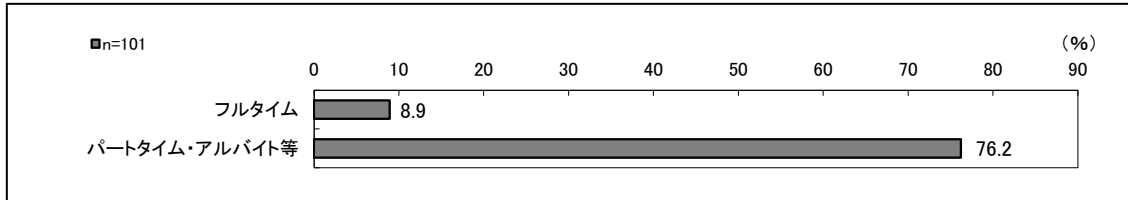
(2) 就労希望時期（末子の年齢）

「1年より先で、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい」と希望した方の、就労を希望する末子の年齢は、「12歳以上」(21.2%)、「6歳」(18.6%)、「7歳」(16.9%)、「10歳」(10.2%)、「8歳」(6.8%)、「4歳」(5.9%)、「9歳」(5.1%)、「3歳」(4.2%)、「5歳」・「11歳」(同率 3.4%)、「2歳」(0.8%) となっています。



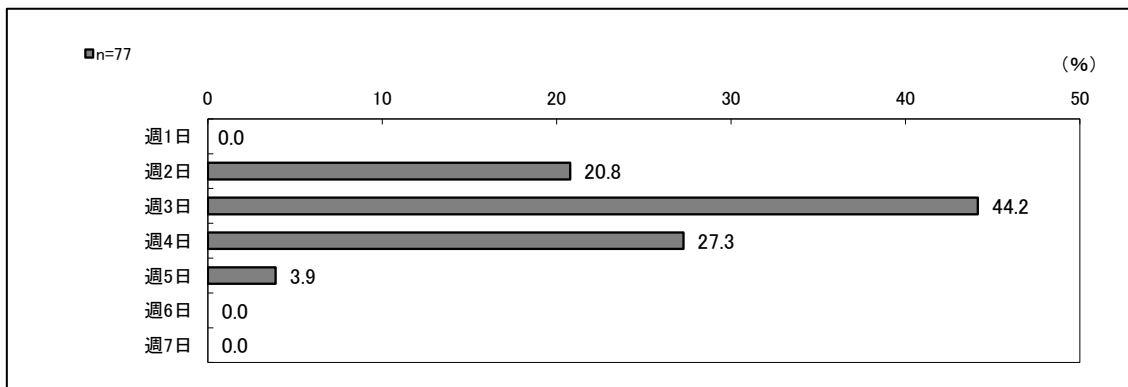
(3) 希望就労形態

希望就労形態は、「パートタイム・アルバイト等」(76.2%)、「フルタイム」(8.9%)となっています。



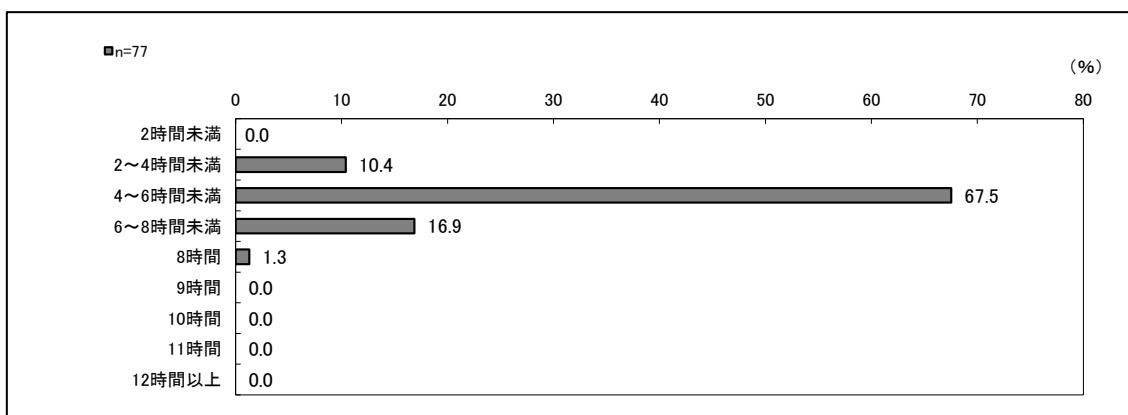
(4) アルバイト等希望就労日数

アルバイト等を希望する方の1週当たりの希望就労日数は、「週3日」(44.2%)、「週4日」(27.3%)、「週2日」(20.8%)、「週5日」(3.9%)となっています。



(5) アルバイト等希望就労時間/日

アルバイト等を希望する方の1日当たりの希望就労時間は、「4～6時間未満」(67.5%)、「6～8時間未満」(16.9%)、「2～4時間未満」(10.4%)、「8時間」(1.3%)となっています。



② 父親

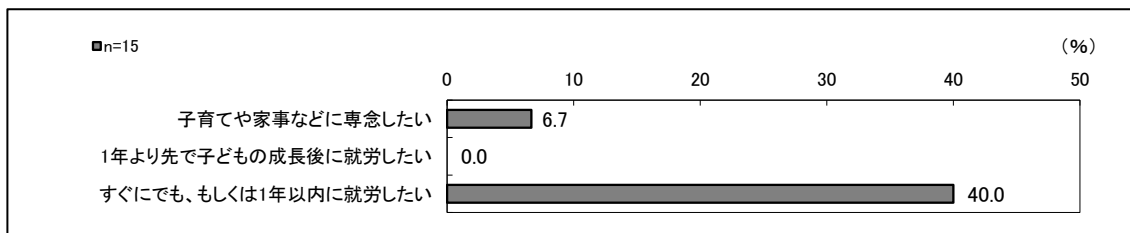
問 14 問 11 の (1) または (2) で「1. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「2. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

(2) 父親

(1) 就労希望

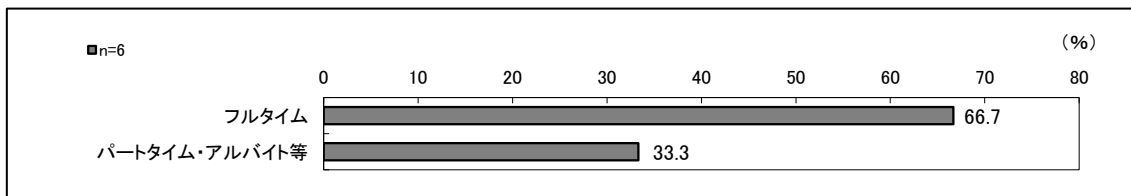
就労していない父親の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(40.0%)、「子育てや家事などに専念したい」(6.7%)となっています。



※父親は、「1年より先で子どもの成長後に就労したい」という回答は0でした。

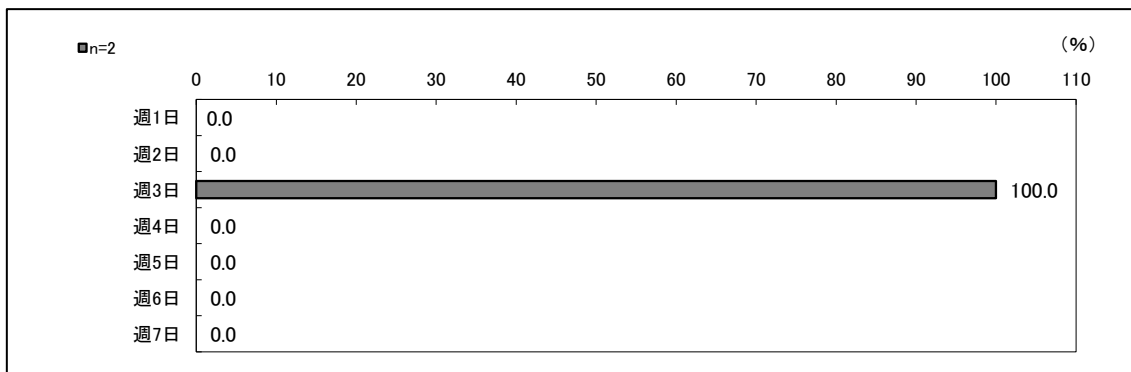
(2) 希望就労形態

希望就労形態については、「フルタイム」(66.7%)、「パートタイム・アルバイト等」(33.3%)となっています。



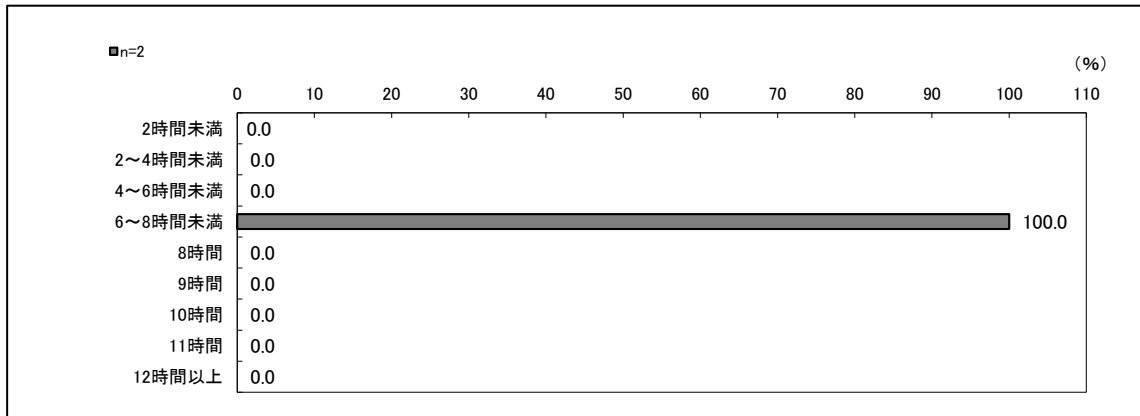
(3) アルバイト等希望就労日数

アルバイト等を希望する方の1週当たりの希望就労日数は、「週3日」(100.0%)となっています。



(4) アルバイト等希望就労時間/日

アルバイト等を希望する方の1日当たりの希望就労時間は、「6～8時間未満」(100.0%)となっています。



5 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 各施設やサービスの認知状況・利用経験・今後の利用意向

① 認知状況

問 15 次の施設やサービス等を知っていますか、または、これまでに利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。ア～サの各々について、A～Cの各々当てはまる番号1つに○をつけてください。

A 認知状況

各施設やサービスの認知状況について、「1. はい」（知っている）の率の高い順にみると、「ユーフォー」（93.9%）、「学童クラブ」（93.2%）、「児童館の各種事業・イベント」（92.0%）、「子ども家庭支援センター「すこやか」（89.1%）、「元気に育て！！調布っ子」（80.5%）、「ファミリー・サポート・センター」（77.4%）、「子ども発達センター相談事業」（59.3%）、「教育相談所の教育相談」（59.0%）、「市の家庭相談・ひとり親相談」（58.8%）、「子育てカフェ aona」（54.9%）、「調布子育て応援サイト「コサイト」（42.4%）となっています。

	(%)	はい	いいえ	無回答	n
ア. 児童館の各種事業・イベント	92.0	92.0	3.7	4.3	1206
イ. ユーフォー	93.9	93.9	1.5	4.6	1206
ウ. 学童クラブ	93.2	93.2	3.2	3.6	1206
エ. 子ども家庭支援センター「すこやか」	89.1	89.1	7.4	3.6	1206
オ. ファミリー・サポート・センター	77.4	77.4	20.2	2.3	1206
カ. 市の家庭相談・ひとり親相談	58.8	58.8	39.1	2.1	1206
キ. 教育相談所の教育相談	59.0	59.0	38.7	2.3	1206
ク. 「元気に育て！！ 調布っ子」	80.5	80.5	17.1	2.4	1206
ケ. 調布子育て応援サイト「コサイト」	42.4	42.4	55.3	2.3	1206
コ. 子育てカフェ aona	54.9	54.9	42.0	3.1	1206
サ. 子ども発達センター相談事業	59.3	59.3	38.1	2.6	1206

② 利用経験

問 15 次の施設やサービス等を知っていますか、または、これまでに利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。ア～サの各々について、A～Cの各々当てはまる番号1つに○をつけてください。

B 利用経験

これまでに利用したことがある施設やサービスについて、「1. はい」(利用したことがある)の率が高い順にみると、「ユーフォー」(81.3%)、「児童館の各種事業・イベント」(73.0%)、「子ども家庭支援センター「すこやか」」(66.0%)、「元気に育て!! 調布っ子」(46.8%)、「学童クラブ」(36.2%)、「子育てカフェ aona」(28.7%)、「調布子育て応援サイト「コサイト」」(21.4%)、「子ども発達センター相談事業」(14.4%)、「教育相談所の教育相談」(12.7%)、「ファミリー・サポート・センター」(12.6%)、「市の家庭相談・ひとり親相談」(3.3%)となっています。

	(%)			n
	はい	いいえ	無回答	
ア. 児童館の各種事業・イベント	73.0	23.4	3.6	1206
イ. ユーフォー	81.3	16.5	2.2	1206
ウ. 学童クラブ	36.2	58.6	5.2	1206
エ. 子ども家庭支援センター「すこやか」	66.0	30.8	3.2	1206
オ. ファミリー・サポート・センター	12.6	81.8	5.6	1206
カ. 市の家庭相談・ひとり親相談	90.2	6.5	3.3	1206
キ. 教育相談所の教育相談	12.7	81.3	6.1	1206
ク. 「元気に育て!! 調布っ子」	46.8	47.8	5.5	1206
ケ. 調布子育て応援サイト「コサイト」	21.4	71.8	6.8	1206
コ. 子育てカフェ aona	28.7	65.8	5.6	1206
サ. 子ども発達センター相談事業	14.4	79.1	6.5	1206

③ 利用希望

問 15 次の施設やサービス等を知っていますか、または、これまでに利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。ア～サの各々について、A～Cの各々当てはまる番号1つに○をつけてください。

C 利用希望

今後の利用希望について、「1. はい」(今後利用したい)の率が高い順にみると、「ユーフォー」(62.6%)、「児童館の各種事業・イベント」(60.9%)、「元気に育て!!調布っ子」(42.0%)、「子育てカフェ aona」(34.3%)、「調布子育て応援サイト「コサイト」」(32.9%)、「教育相談所の教育相談」(25.3%)、「学童クラブ」(24.5%)、「子ども家庭支援センター「すこやか」」(20.9%)、「ファミリー・サポート・センター」(15.8%)、「子ども発達センター相談事業」(15.5%)、「市の家庭相談・ひとり親相談」(8.2%)となっています。

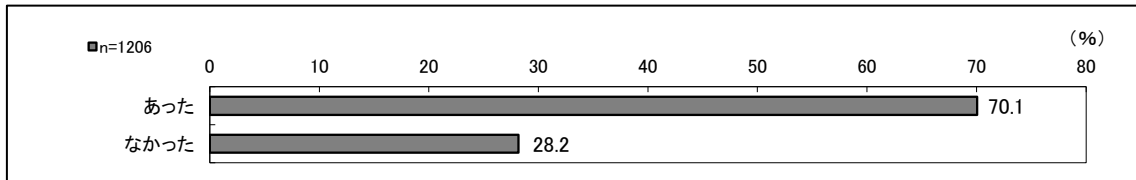
(%)	はい	いいえ	無回答	n
ア. 児童館の各種事業・イベント	60.9	30.8	8.3	1206
イ. ユーフォー	62.6	29.9	7.5	1206
ウ. 学童クラブ	24.5	66.3	9.3	1206
エ. 子ども家庭支援センター「すこやか」	20.9	70.6	8.5	1206
オ. ファミリー・サポート・センター	15.8	75.7	8.5	1206
カ. 市の家庭相談・ひとり親相談	8.2	83.1	8.7	1206
キ. 教育相談所の教育相談	25.3	65.8	8.9	1206
ク. 「元気に育て!! 調布っ子」	42.0	48.9	9.1	1206
ケ. 調布子育て応援サイト「コサイト」	32.9	57.1	10.0	1206
コ. 子育てカフェ aona	34.3	56.9	8.8	1206
サ. 子ども発達センター相談事業	15.5	75.1	9.4	1206

6 子どもの病気の際の対応について

(1) 病気やケガで学校を休まなければならなかったこと

問 16 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

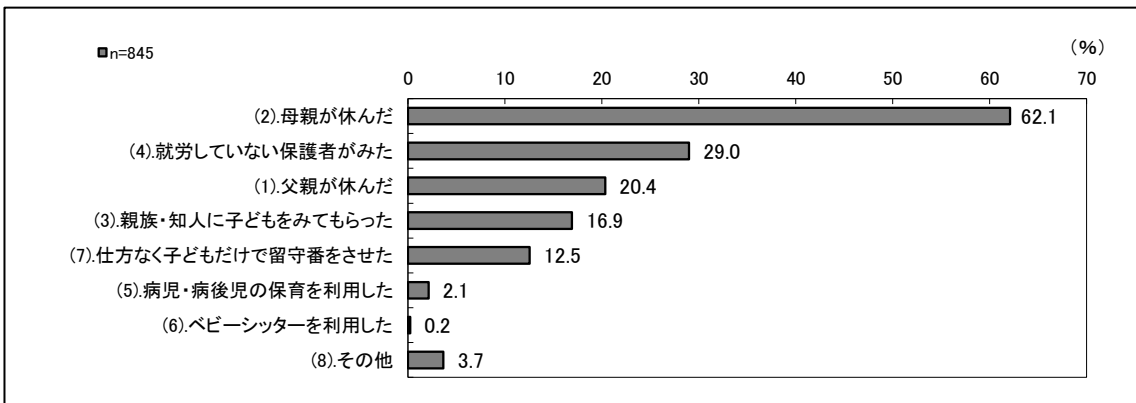
病気やケガで学校を休まなければならなかったことについては、「あった」(70.1%)、「なかった」(28.2%)となっています。



(2) この1年間の対処方法

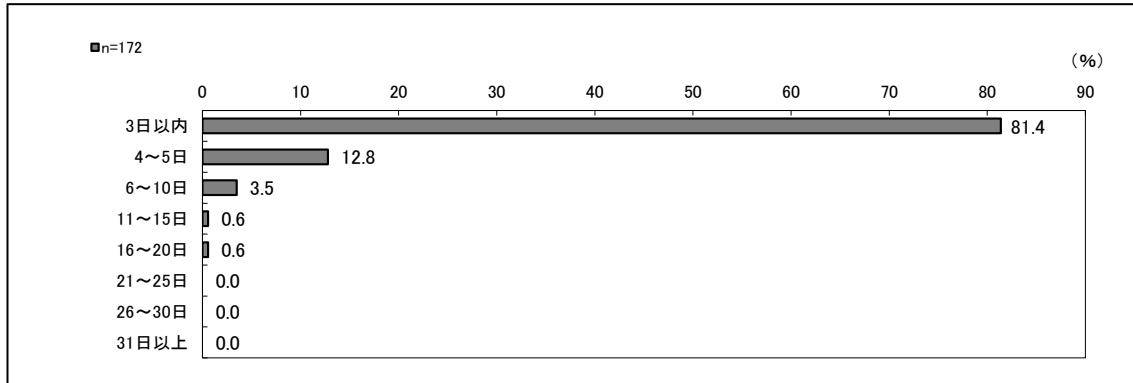
問 16-1 宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。【複数回答】

この1年間の対処法については、「母親が休んだ」(62.1%)、「就労していない保護者がみた」(29.0%)、「父親が休んだ」(20.4%)、「親族・知人に子どもをみてもらった」(16.9%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(12.5%)、「病児・病後児の保育を利用した」(2.1%)、「ベビーシッターを利用した」(0.2%)の順となっています。



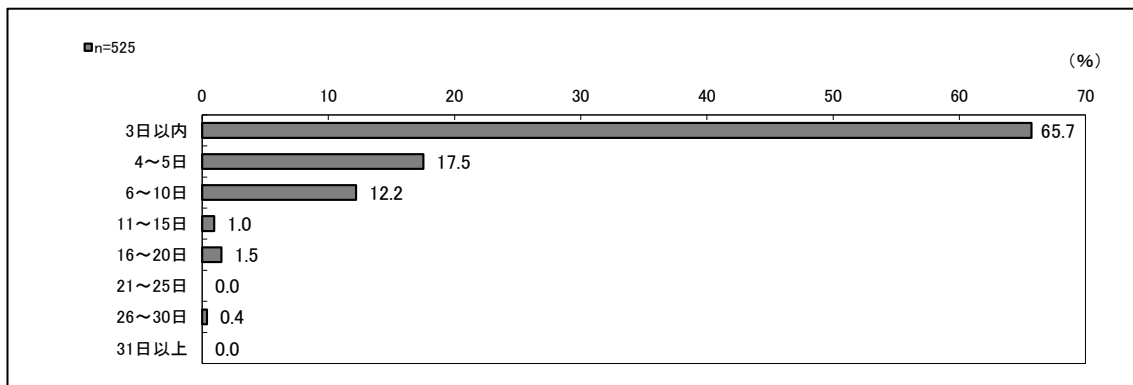
日数：父親が休んだ

父親が休んだ日数は、「3日以内」(81.4%)、「4～5日」(12.8%)、「6～10日」(3.5%)
となっています。



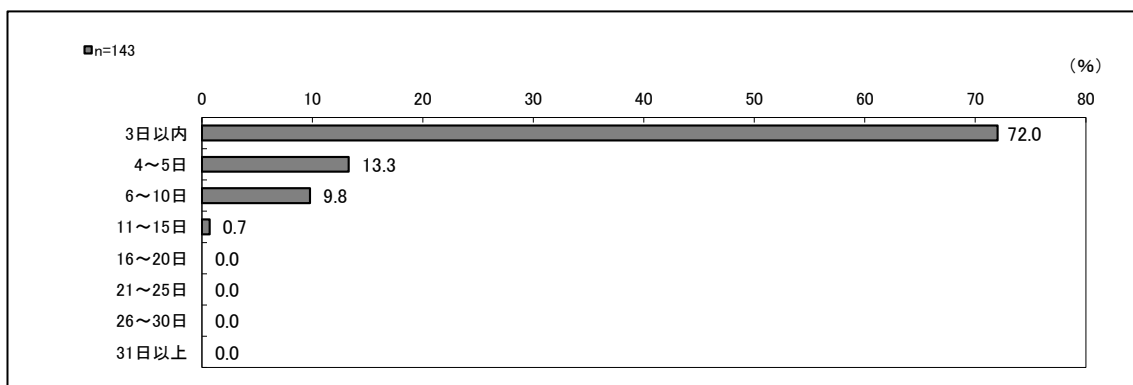
日数：母親が休んだ

母親が休んだ日数は、「3日以内」(65.7%)、「4～5日」(17.5%)、「6～10日」(12.2%)、
「16～20日」(1.5%)、「11～15日」(1.0%)、「26～30日」(0.4%) となっています。



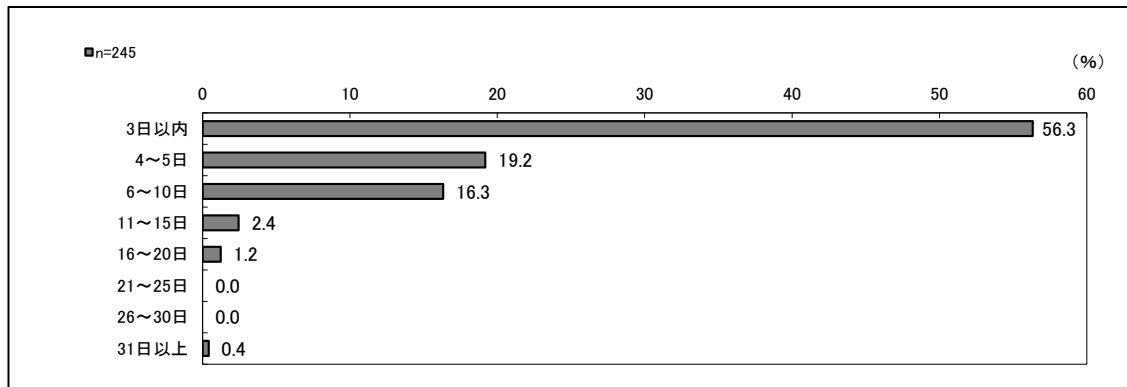
日数：親族・知人に子どもをみてもらった

親族・知人に子どもをみてもらった日数は、「3日以内」(72.0%)、「4～5日」(13.3%)、
「6～10日」(9.8%)、「11～15日」(0.7%) となっています。



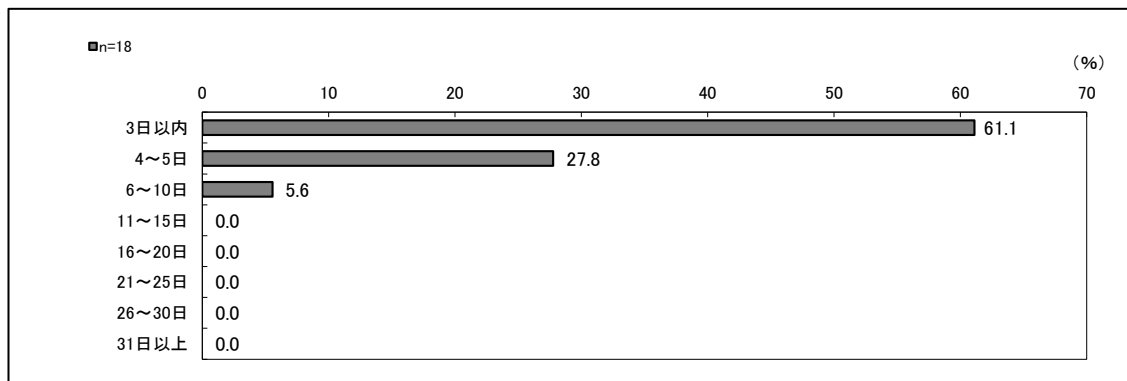
日数：就労していない保護者がみた

就労していない保護者がみた日数は、「3日以内」(56.3%)、「4～5日」(19.2%)、「6～10日」(16.3%)、「11～15日」(2.4%)、「16～20日」(1.2%)、「31日以上」(0.4%)となっています。



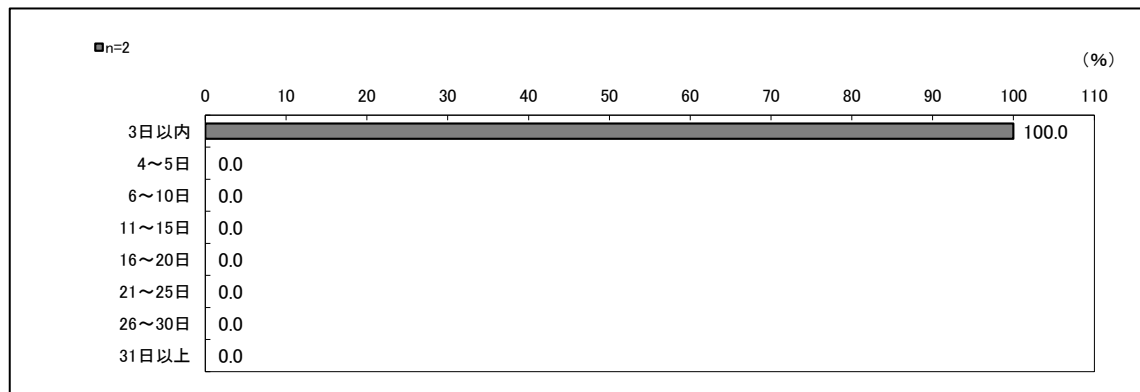
日数：病児・病後児の保育を利用した

病児・病後児の保育を利用した日数は、「3日以内」(61.1%)、「4～5日」(27.8%)、「6～10日」(5.6%)となっています。



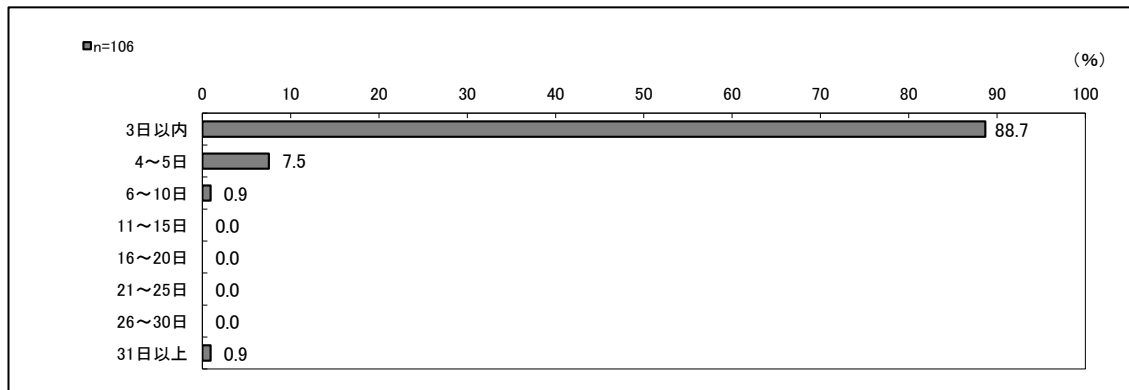
日数：ベビーシッターを利用した

ベビーシッターを利用した日数は、「3日以内」(100.0%)となっています。



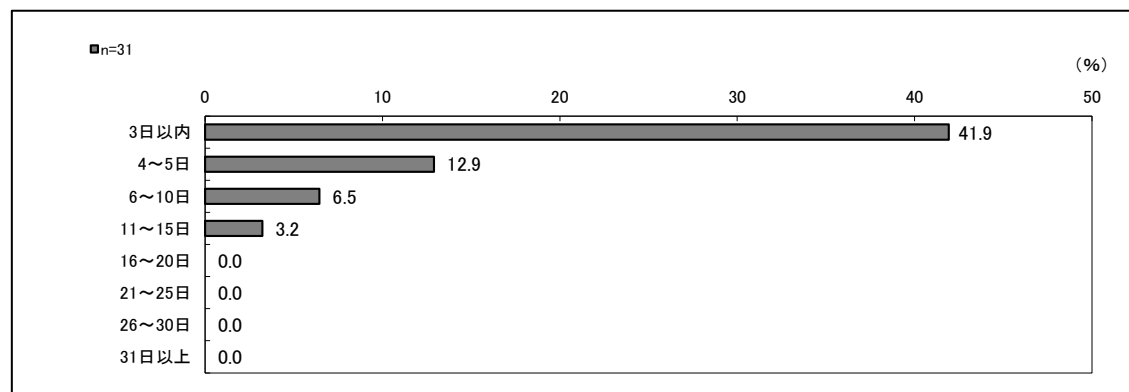
日数：仕方なく子どもだけで留守番をさせた

仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数は、「3日以内」(88.7%)、「4～5日」(7.5%)、「6～10日」・「31日以上」(同率0.9%)となっています。



日数：その他

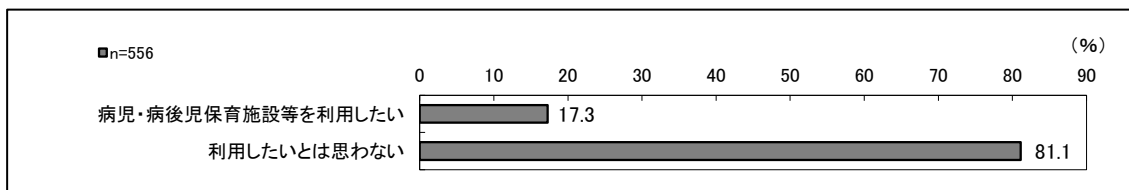
その他の日数は、「3日以内」(41.9%)、「4～5日」(12.9%)、「6～10日」(6.5%)、「11～15日」(3.2%)となっています。



(3) 病児・病後児保育施設等を利用したかったか

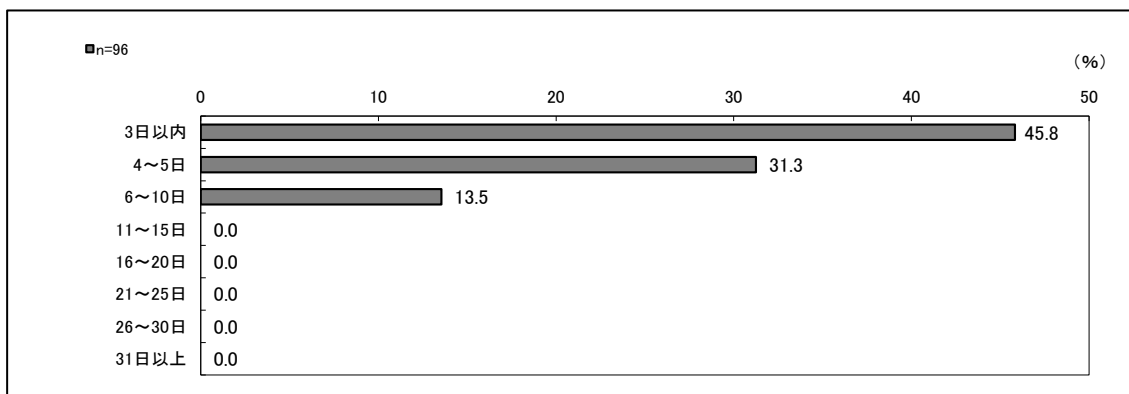
問 16-2 問 16-1 で(1)、(2)のいずれかに回答した方にかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料(2,500円/日)がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

病児・病後児保育施設等の利用については、「利用したいとは思わない」(81.1%)、「病児・病後児保育施設等を利用したい」(17.3%)となっています。



① 利用したかった日数/年

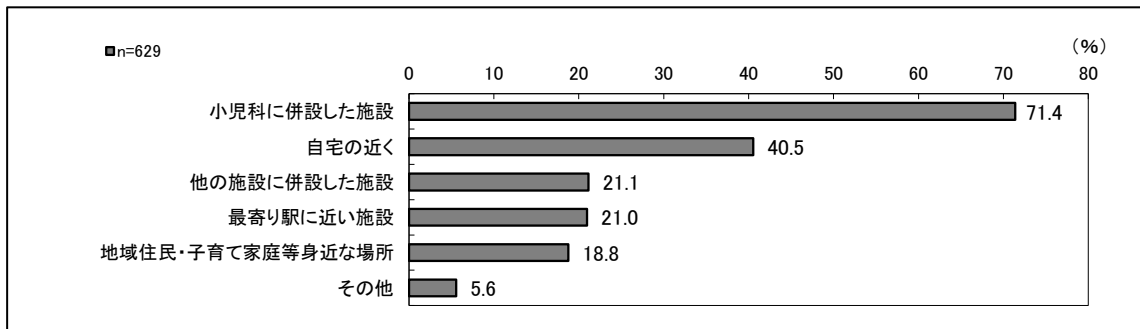
利用したかった日数は、「3日以内」(45.8%)、「4～5日」(31.3%)、「6～10日」(13.5%)となっています。



(4) 望ましい病児・病後児保育施設等の事業形態

問 16-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

望ましい病児・病後児保育施設等の事業形態については、「小児科に併設した施設」(71.4%)、「自宅の近く」(40.5%)、「他の施設に併設した施設」(21.1%)、「最寄り駅に近い施設」(21.0%)、「地域住民・子育て家庭等身近な場所」(18.8%)となっています。

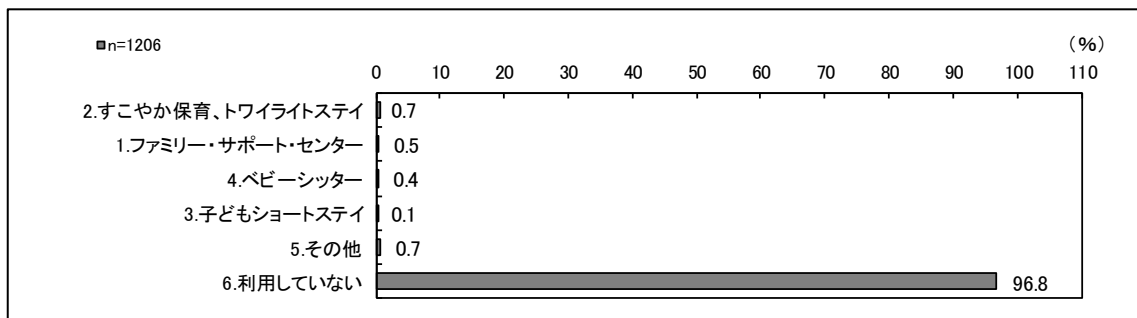


7 不定期な一時預かり等の利用について

(1) 不定期に利用している事業

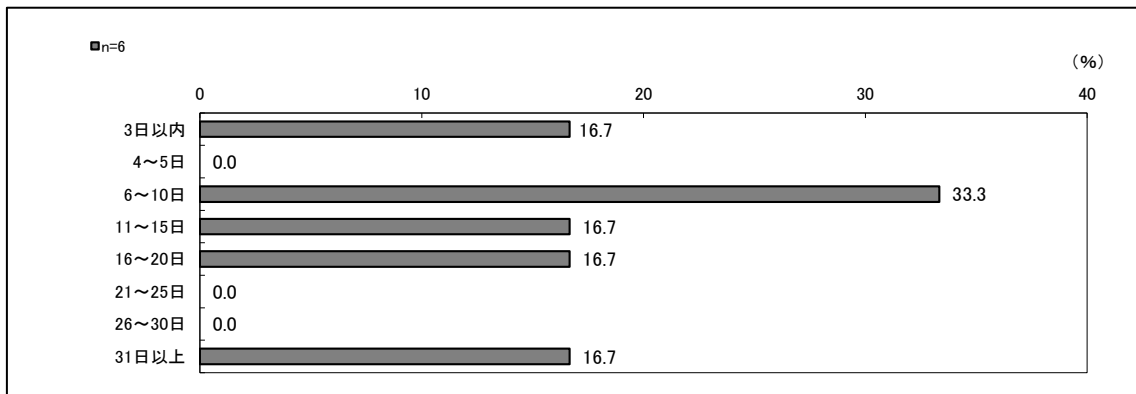
問 17 宛名のお子さんについて、日中の定期的以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で定期的に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。【複数回答】

不定期に利用している事業については、「すこやか保育、トワイライトステイ」(0.7%)、「ファミリー・サポート・センター」(0.5%)、「ベビーシッター」(0.4%)、「子どもショートステイ」(0.1%)となっています。なお、「利用していない」は96.8%となっています。



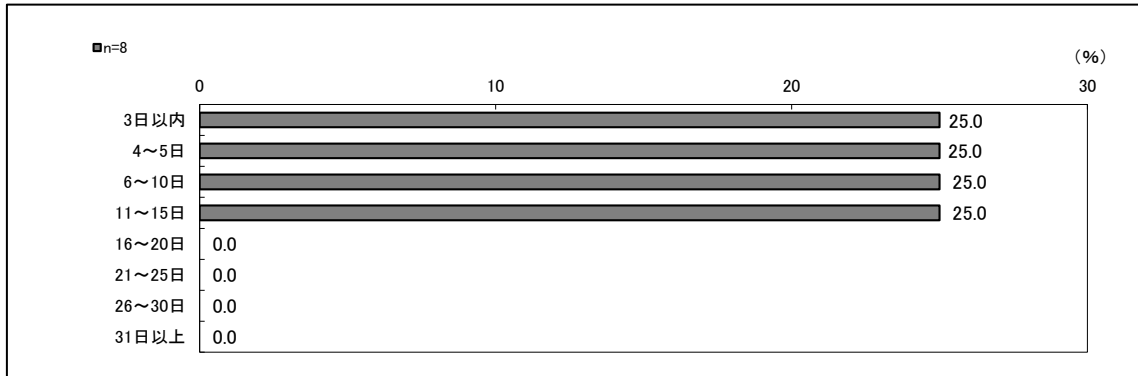
日数：ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターを利用した日数は、「6～10日」(33.3%)、「3日以内」・「11～15日」・「16～20日」・「31日以上」(同率16.7%)となっています。



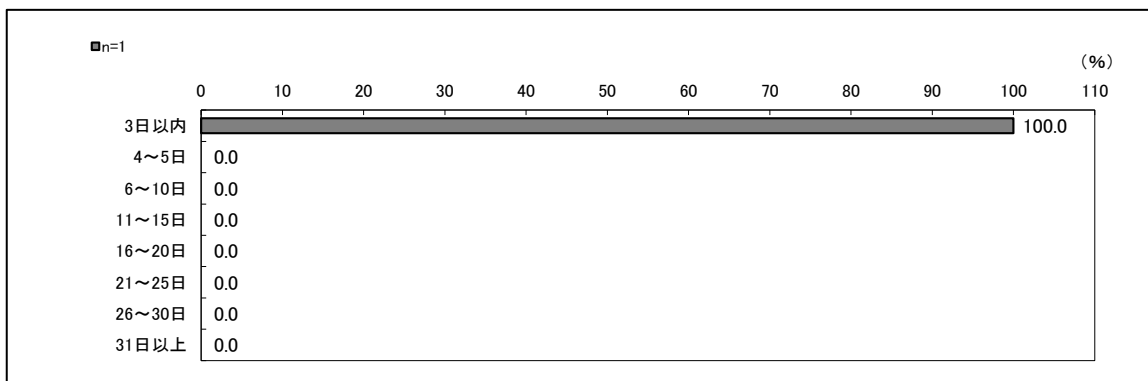
日数：すこやか保育、トワイライトステイ

すこやか保育、トワイライトステイを利用した日数は、「3日以内」・「4～5日」・「6～10日」・「11～15日」（同率25.0%）となっています。



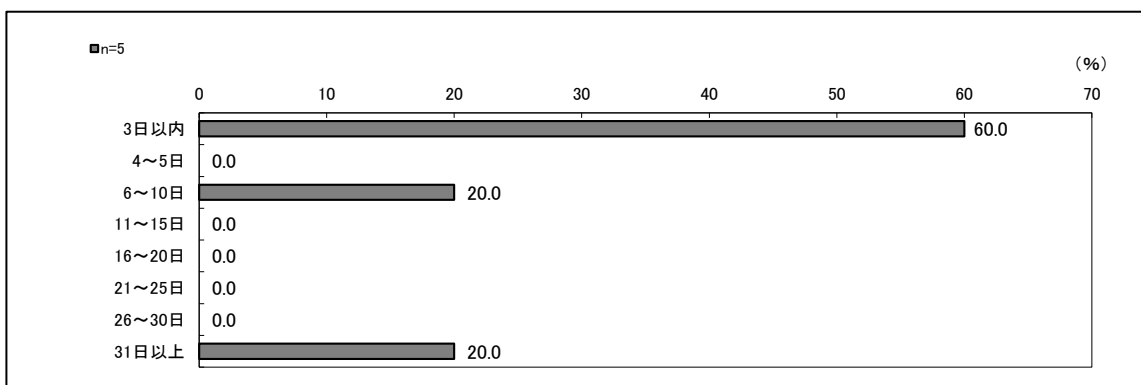
日数：子どもショートステイ

子どもショートステイを利用した日数は、「3日以内」（100.0%）となっています。



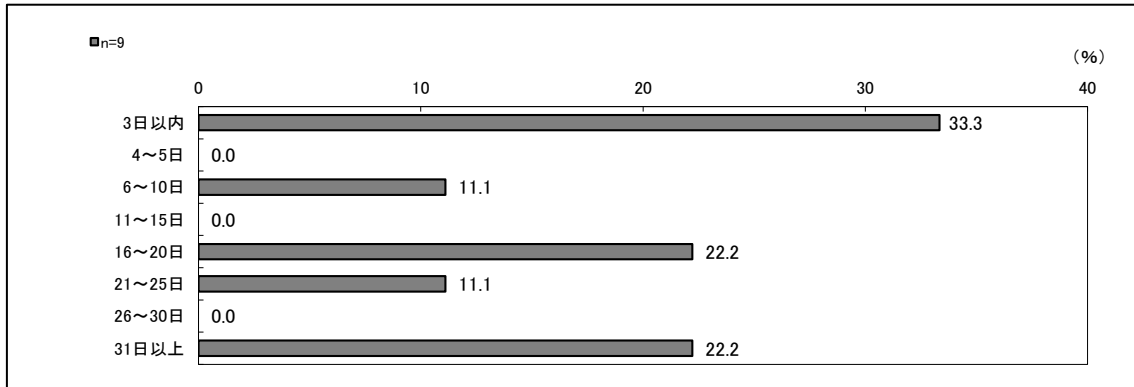
日数：ベビーシッター

ベビーシッターを利用した日数は、「3日以内」（60.0%）、「6～10日」・「31日以上」（同率20.0%）となっています。



日数：その他

その他の日数は、「3日以内」(33.3%)、「16～20日」・「31日以上」(同率 22.2%)、「6～10日」・「21～25日」(同率 11.1%) となっています。



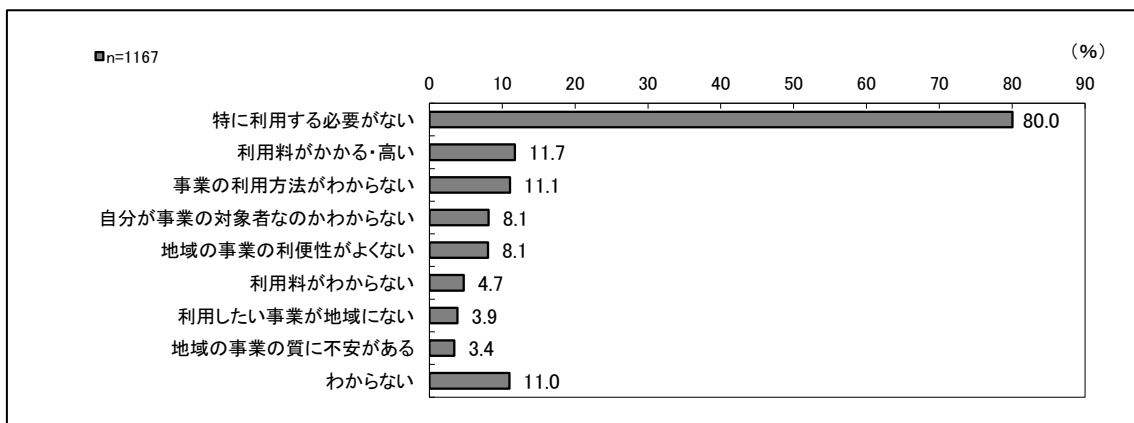
(2) 利用していない理由

問 17 で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 17-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【複数回答】

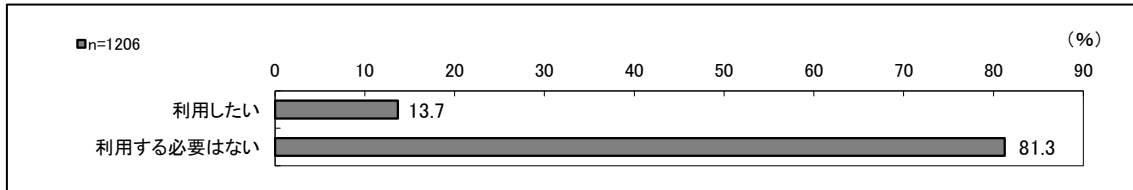
利用していない理由については、「特に利用する必要がない」(80.0%)、「利用料がかかる・高い」(11.7%)、「事業の利用方法がわからない」(11.1%)、「自分が事業の対象者なのかわからない」・「地域の事業の利便性がよくない」(同率 8.1%)、「利用料がわからない」(4.7%)、「利用したい事業が地域にない」(3.9%)、「地域の事業の質に不安がある」(3.4%) の順となっています。



(3) 不定期の事業を利用する必要性

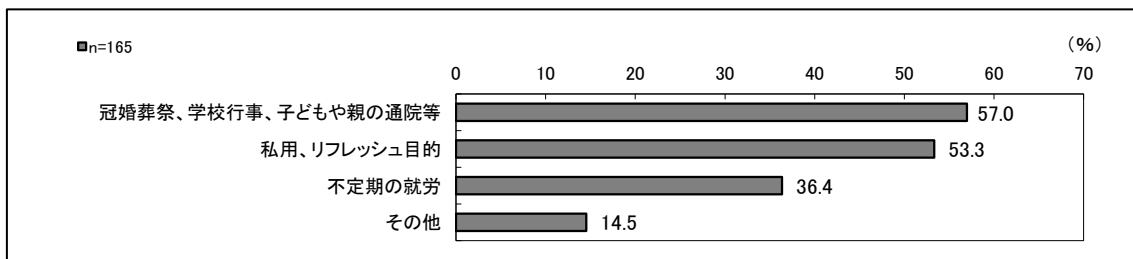
問 18 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を数字でご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。)なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。【複数回答】

不定期の事業を利用する必要性については、「利用する必要はない」(81.3%)、「利用したい」(13.7%)となっています。



① 利用したい理由

不定期の事業を利用したい理由は、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」(57.0%)、「私用、リフレッシュ目的」(53.3%)、「不定期の就労」(36.4%)の順となっています。

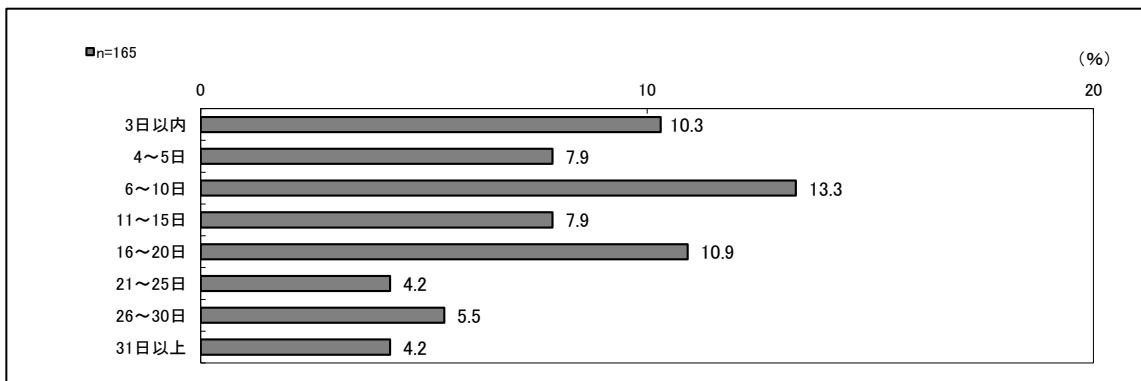


○「その他」の記載内容例

- ・親の介護。
- ・就労の残業、出張。
- ・親の体調不良。

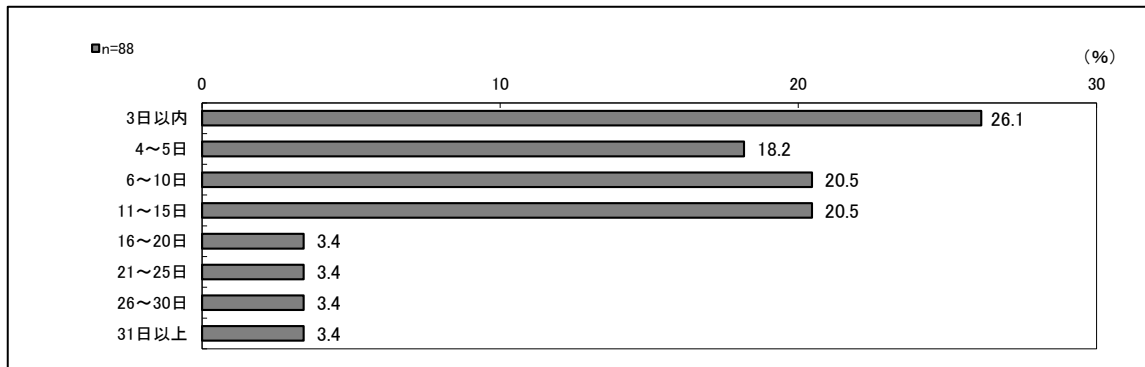
利用したい合計日数

利用したい日数の合計は、「6～10日」(13.3%)、「16～20日」(10.9%)、「3日以内」(10.3%)、「4～5日」・「11～15日」(同率7.9%)、「26～30日」(5.5%)、「21～25日」・「31日以上」(同率4.2%)となっています。



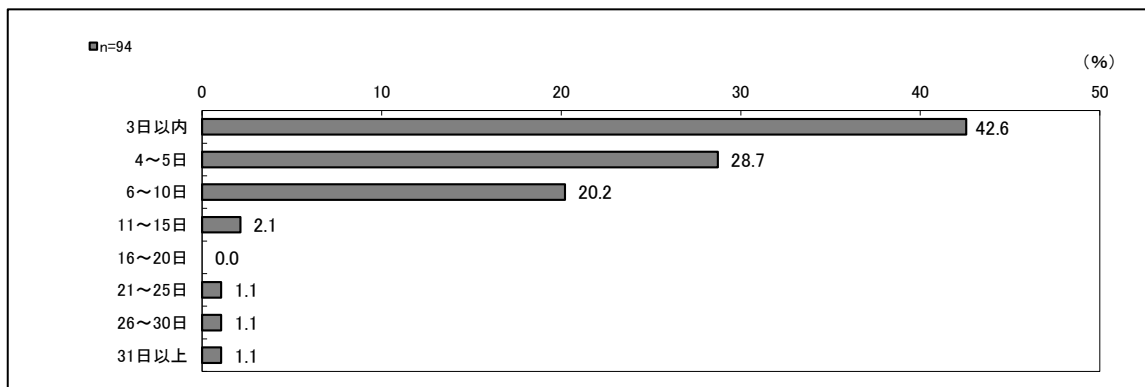
利用したい日数:私用、リフレッシュ目的

私用、リフレッシュ目的で利用したい日数は、「3日以内」(26.1%)、「4～5日」(18.2%)、「6～10日」・「11～15日」(同率20.5%)、「16～20日」・「21～25日」・「26～30日」・「31日以上」(同率3.4%)となっています。



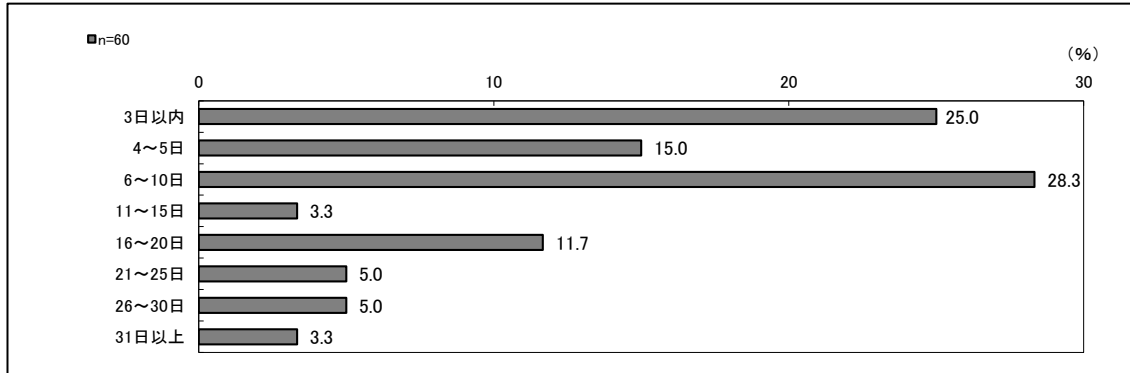
利用したい日数:冠婚葬祭、学校行事、通院等

冠婚葬祭、学校行事、通院等で利用したい日数は、「3日以内」(42.6%)、「4～5日」(28.7%)、「6～10日」(20.2%)、「11～15日」(2.1%)、「21～25日」・「26～30日」・「31日以上」(同率1.1%)となっています。



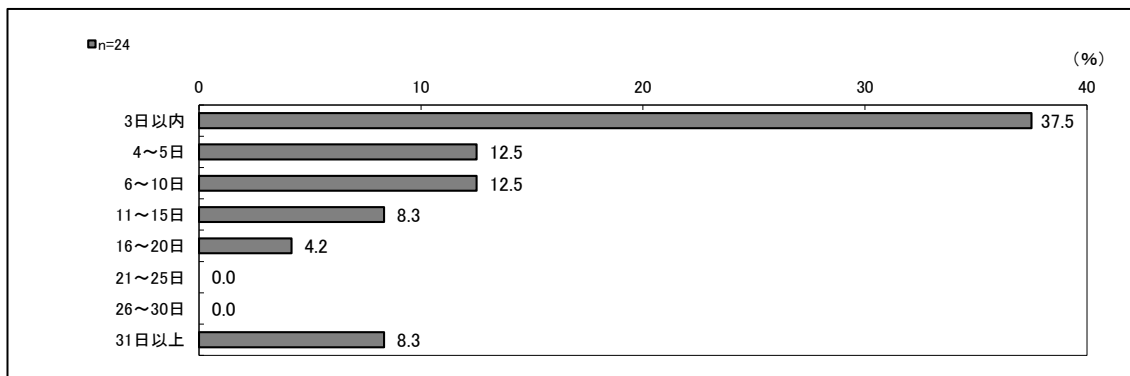
利用したい日数:不定期の就労

不定期の就労で利用したい日数は、「6～10日」(28.3%)、「3日以内」(25.0%)、「4～5日」(15.0%)、「16～20日」(11.7%)、「21～25日」・「26～30日」(同率 5.0%)、「11～15日」・「31日以上」(同率 3.3%) となっています。



利用したい日数:その他

その他の理由で利用したい日数は、「3日以内」(37.5%)、「4～5日」・「6～10日」(同率 12.5%)、「11～15日」・「31日以上」(同率 8.3%)、「16～20日」(4.2%) となっています。

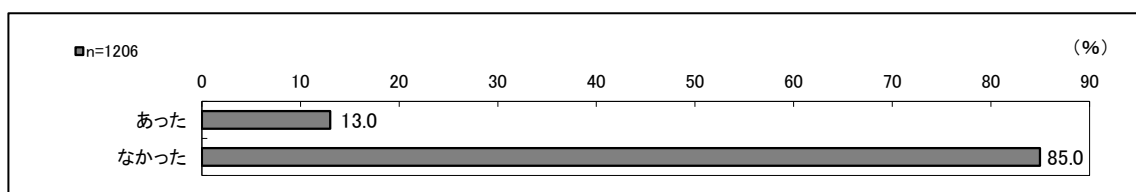


(4) 宿泊を伴って預ける必要があったか

問 19 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。

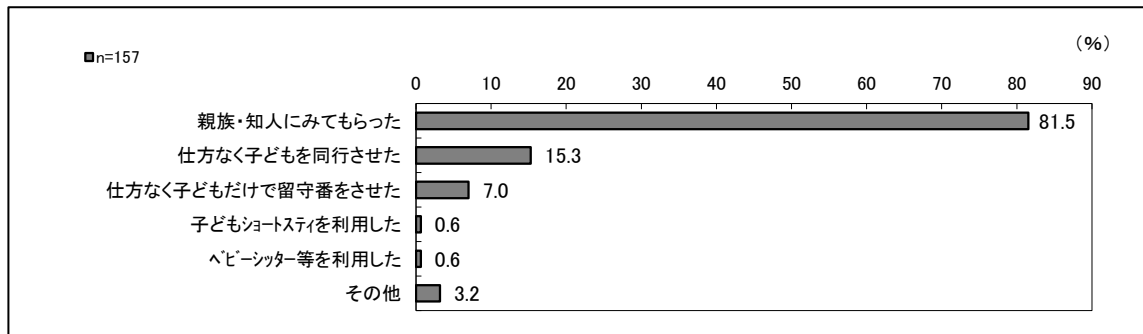
あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。【複数回答】

宿泊を伴って預ける必要があったかどうかについては、「なかった」(85.0%)、「あった」(13.0%) となっています。



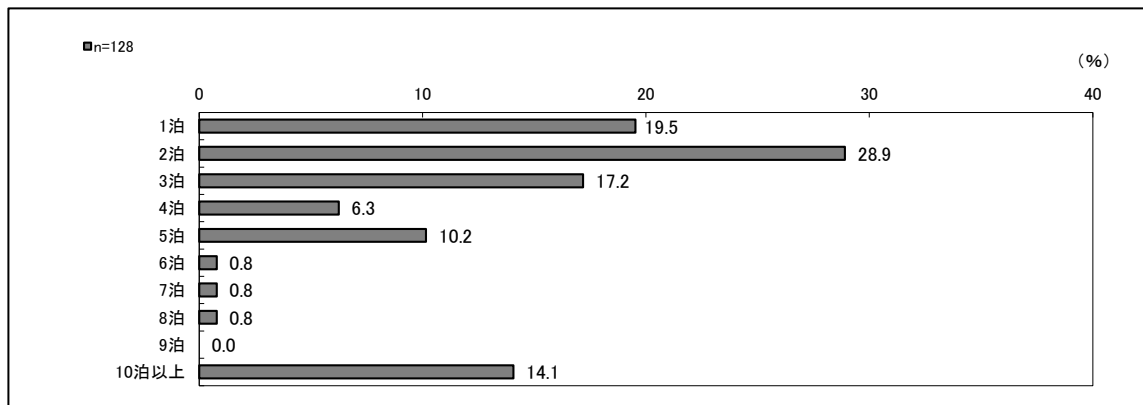
① この1年間の対処法

この1年間の対処法は、「親族・知人にみてもらった」(81.5%)、「仕方なく子どもを同行させた」(15.3%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(7.0%)、「子どもショートステイを利用した」・「ベビーシッター等を利用した」(同率 0.6%) の順となっています。



泊数: 親族・知人にみてもらった

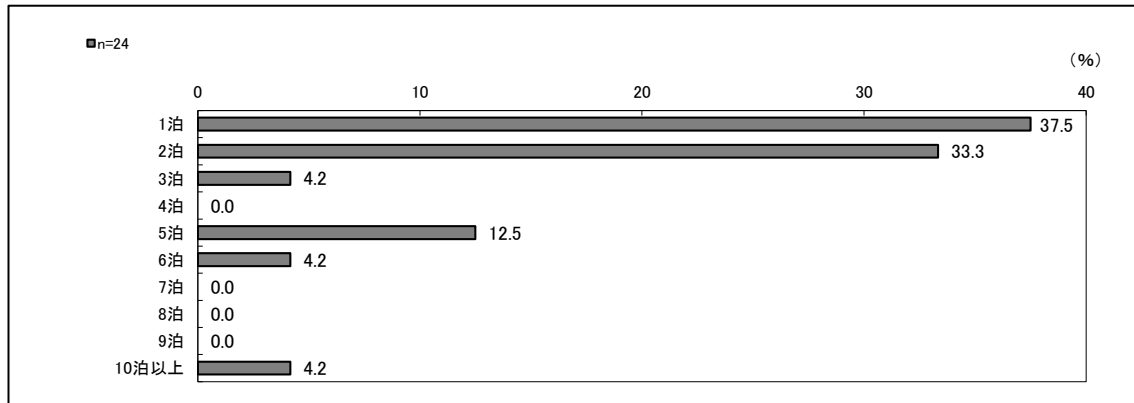
親族・知人にみてもらった泊数は、「2泊」(28.9%)、「1泊」(19.5%)、「3泊」(17.2%)、「10泊以上」(14.1%)、「5泊」(10.2%)、「4泊」(6.3%)、「6泊」・「7泊」・「8泊」(同率 0.8%) となっています。



※「子どもショートステイを利用した」、「ベビーシッター等を利用した」という回答は0でした。

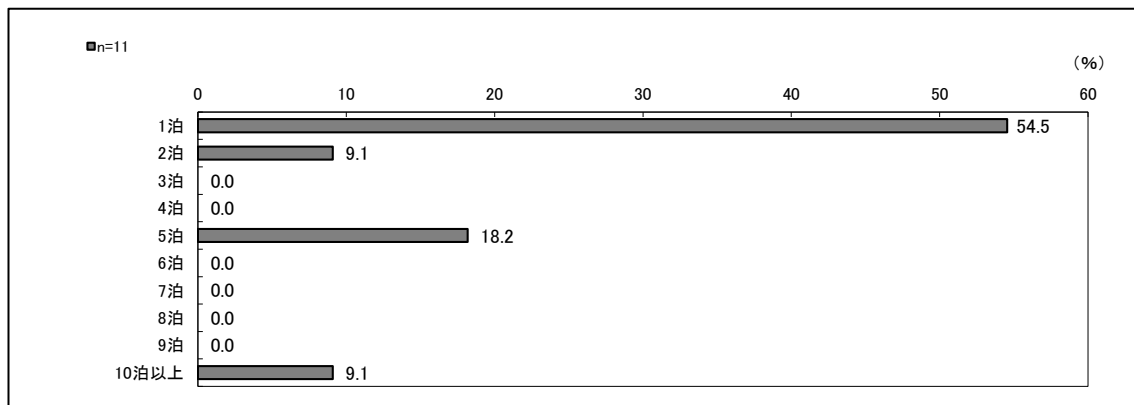
泊数:仕方なく子どもを同行させた

仕方なく子どもを同行させた泊数は、「1泊」(37.5%)、「2泊」(33.3%)、「5泊」(12.5%)、「3泊」・「6泊」・「10泊以上」(同率4.2%)となっています。



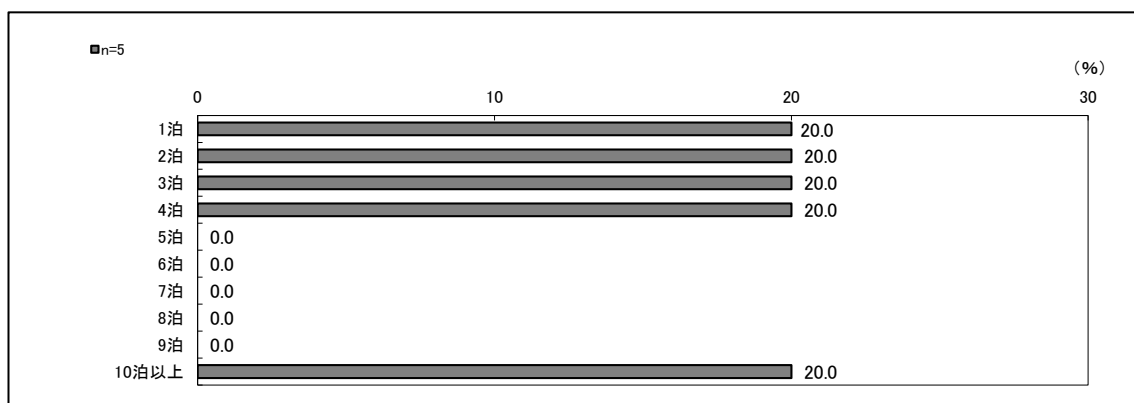
泊数:仕方なく子どもだけで留守番をさせた

仕方なく子どもだけで留守番をさせた泊数は、「1泊」(54.5%)、「5泊」(18.2%)、「2泊」・「10泊以上」(同率9.1%)となっています。



泊数:その他

その他の方法で対処した泊数は、「1泊」・「2泊」・「3泊」・「4泊」・「10泊以上」(同率20.0%)となっています。



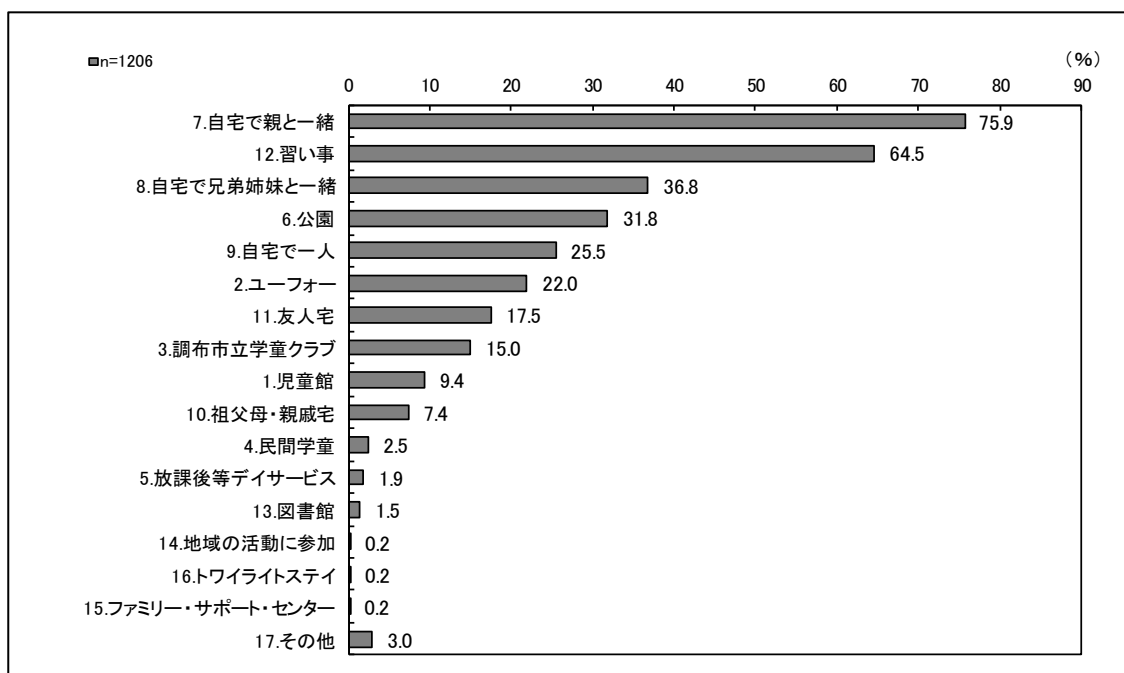
8 放課後の過ごし方について

(1) 放課後に過ごしている場所

① 全体

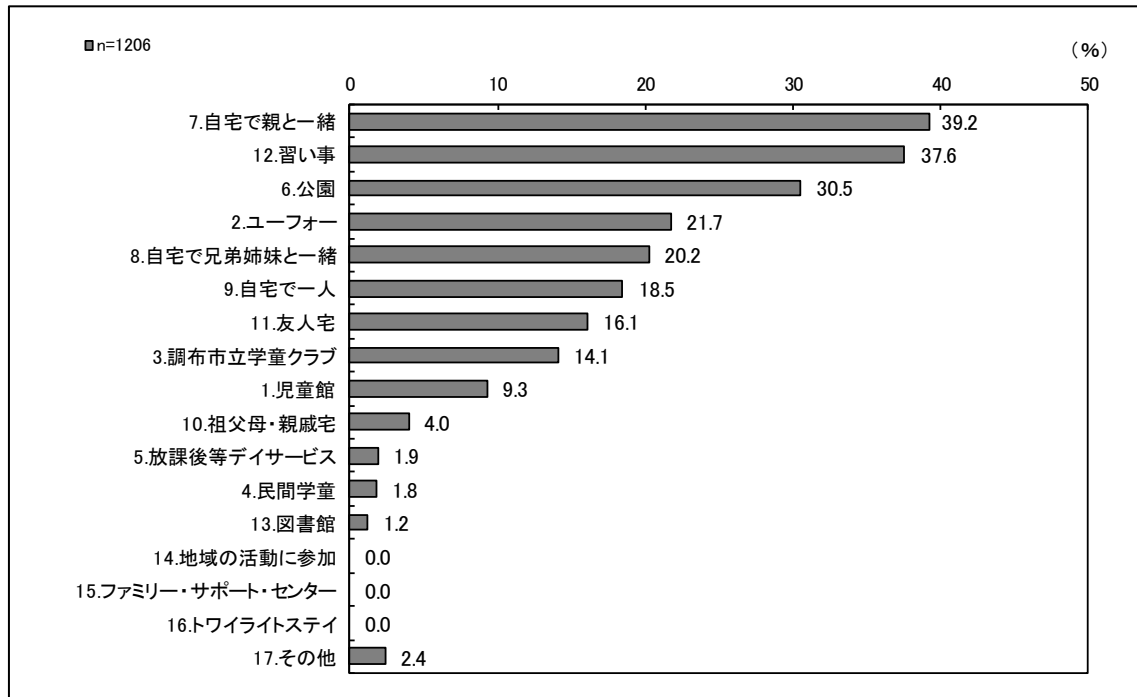
問 20 現状を伺います。宛名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。下記（1）～（3）の時間帯ごとに、当てはまる番号3つまでに○をつけてください。【複数回答】

子どもが現在、放課後に過ごしている場所は、「自宅で親と一緒に」（75.9%）、「習い事」（64.5%）、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」（36.8%）、「公園」（31.8%）、「自宅で一人」（25.5%）、「ユーフォー」（22.0%）、「友人宅」（17.5%）、「調布市立学童クラブ」（15.0%）、「児童館」（9.4%）、「祖父母・親戚宅」（7.4%）、「民間学童」（2.5%）、「放課後等デイサービス」（1.9%）、「図書館」（1.5%）、「地域の活動に参加」・「トワイライトステイ」・「ファミリー・サポート・センター」（同率0.2%）の順となっています。



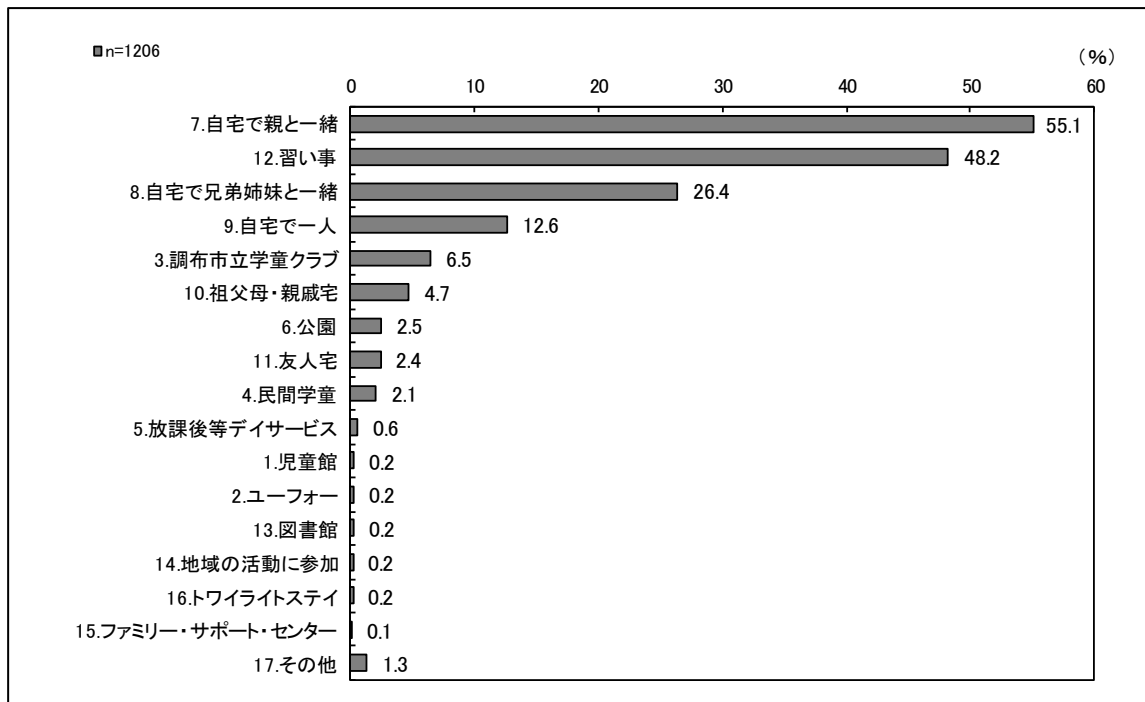
② ~17:00

授業終了後から17時まで過ごしている場所は、「自宅で親と一緒に」(39.2%)、「習い事」(37.6%)、「公園」(30.5%)、「ユーフォー」(21.7%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(20.2%)、「自宅で一人」(18.5%)、「友人宅」(16.1%)、「調布市立学童クラブ」(14.1%)、「児童館」(9.3%)、「祖父母・親戚宅」(4.0%)、「放課後等デイサービス」(1.9%)、「民間学童」(1.8%)、「図書館」(1.2%)の順となっています。



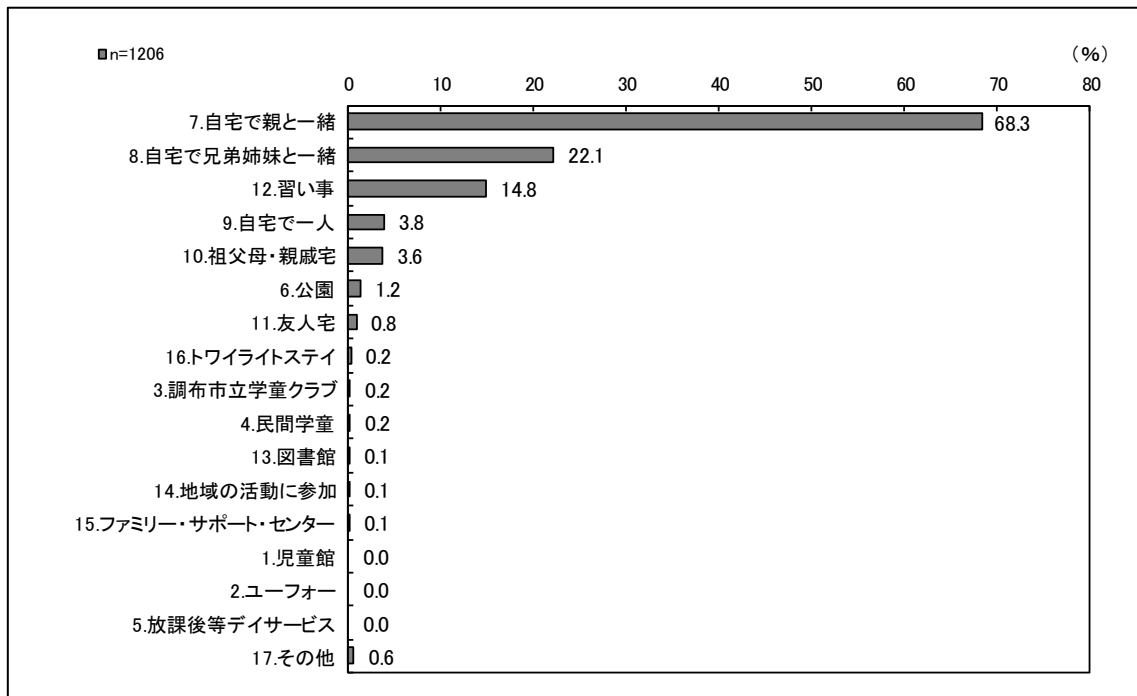
③ 17:00～19:00

17時から19時まで過ごしている場所は、「自宅で親と一緒に」(55.1%)、「習い事」(48.2%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(26.4%)、「自宅で一人」(12.6%)、「調布市立学童クラブ」(6.5%)、「祖父母・親戚宅」(4.7%)、「公園」(2.5%)、「友人宅」(2.4%)、「民間学童」(2.1%)、「放課後等デイサービス」(0.6%)、「児童館」・「ユーフォー」・「図書館」・「地域の活動に参加」・「トワイライトステイ」(同率 0.2%)、「ファミリー・サポート・センター」(0.1%)の順となっています。



④ 19 : 00～

19 時以降の時間を過ごしている場所は、「自宅で親と一緒に」(68.3%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(22.1%)、「習い事」(14.8%)、「自宅で一人」(3.8%)、「祖父母・親戚宅」(3.6%)、「公園」(1.2%)、「友人宅」(0.8%)、「トワイライトステイ」・「調布市立学童クラブ」・「民間学童」(同率 0.2%)、「図書館」・「地域の活動に参加」・「ファミリー・サポート・センター」(同率 0.1%) の順となっています。

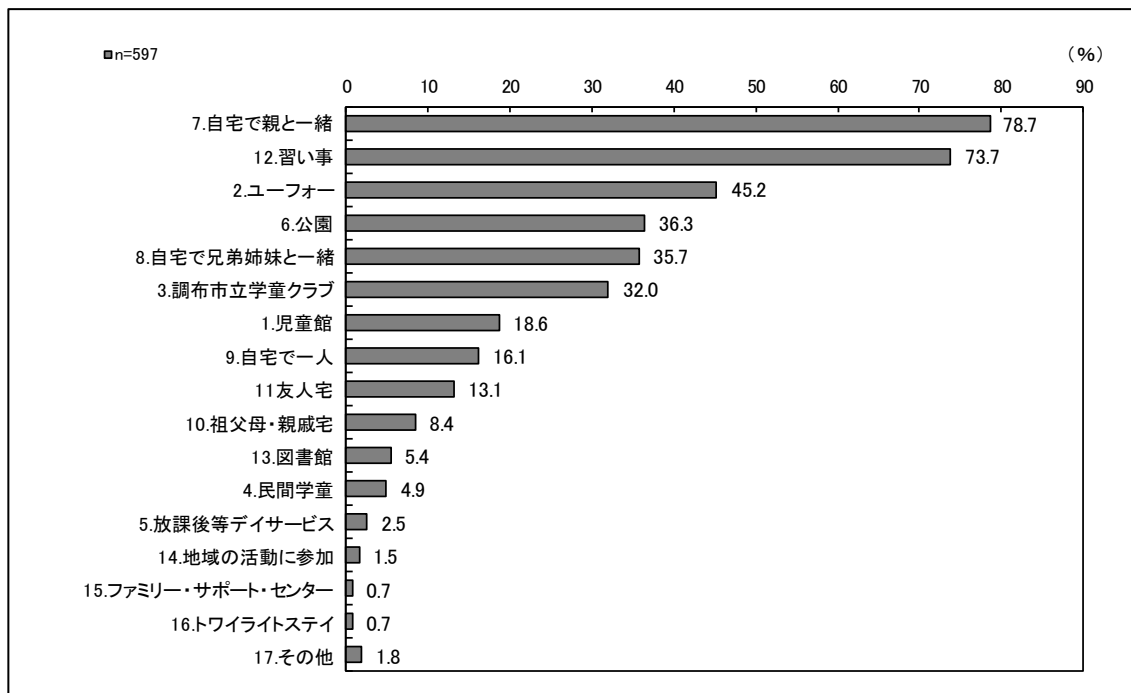


(2) 放課後に過ごさせたい場所（低学年）

① 全体

問 21 宛名のお子さんが小学校1年生～3年生の方にかがいます。放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年（1～3年生）の場合と小学校高学年（4～6年生）になった場合について、下記（1）～（3）の時間帯ごとに、当てはまる番号3つまでに○をつけてください。高学年については、先のことになりますが、現在お持ちの考えでお答えください。【複数回答】

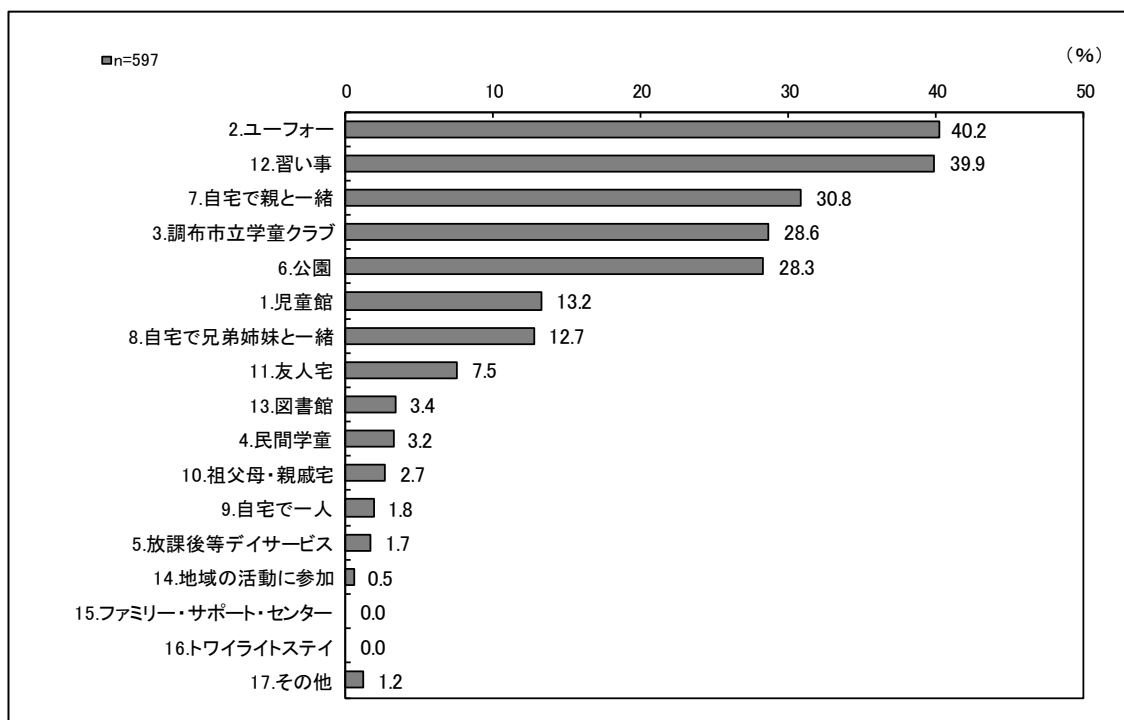
現在子どもが低学年の人が、放課後の時間を過ごさせたい場所は、「自宅で親と一緒に」（78.7%）、「習い事」（73.7%）、「ユーフォー」（45.2%）、「公園」（36.3%）、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」（35.7%）、「調布市立学童クラブ」（32.0%）、「児童館」（18.6%）、「自宅で一人」（16.1%）、「友人宅」（13.1%）、「祖父母・親戚宅」（8.4%）、「図書館」（5.4%）、「民間学童」（4.9%）、「放課後等デイサービス」（2.5%）、「地域の活動に参加」（1.5%）、「ファミリー・サポート・センター」（0.7%）、「トワイライトステイ」（同率 0.7%）の順となっています。



② 低学年での過ごし方

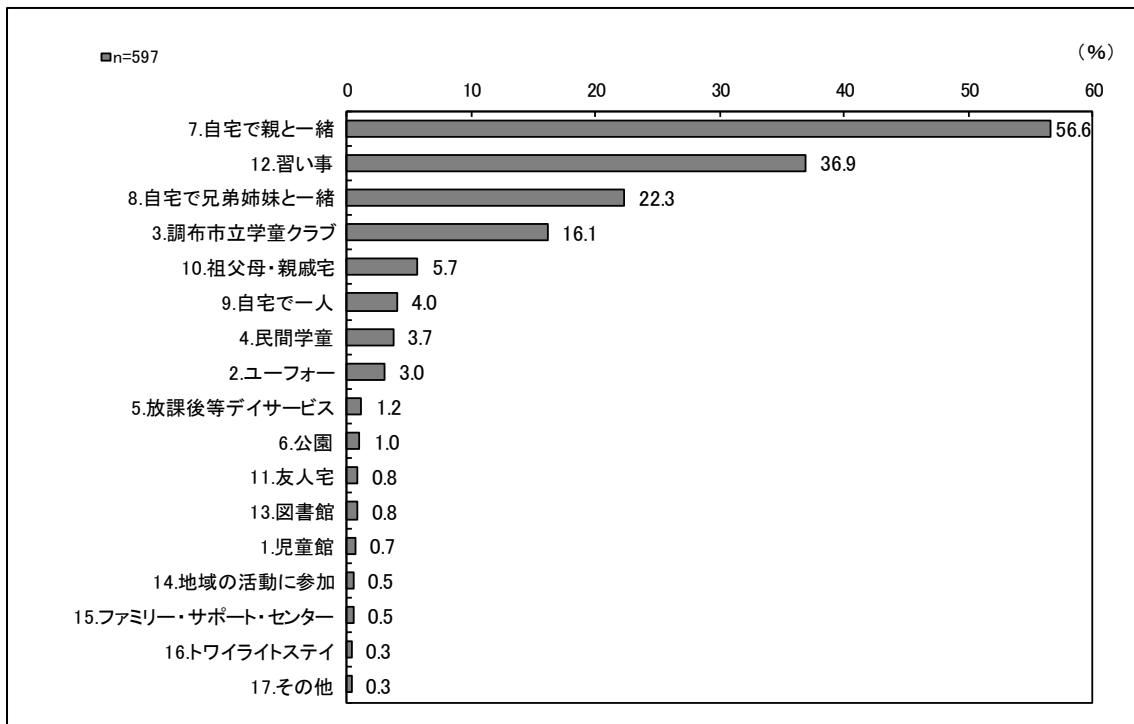
(1) ～17:00

低学年の間、授業終了後から17時までを過ごさせたい場所は、「ユーフォー」(40.2%)、「習い事」(39.9%)、「自宅で親と一緒に」(30.8%)、「調布市立学童クラブ」(28.6%)、「公園」(28.3%)、「児童館」(13.2%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(12.7%)、「友人宅」(7.5%)、「図書館」(3.4%)、「民間学童」(3.2%)、「祖父母・親戚宅」(2.7%)、「自宅で」(1.8%)、「放課後等デイサービス」(1.7%)、「地域の活動に参加」(0.5%)の順となっています。



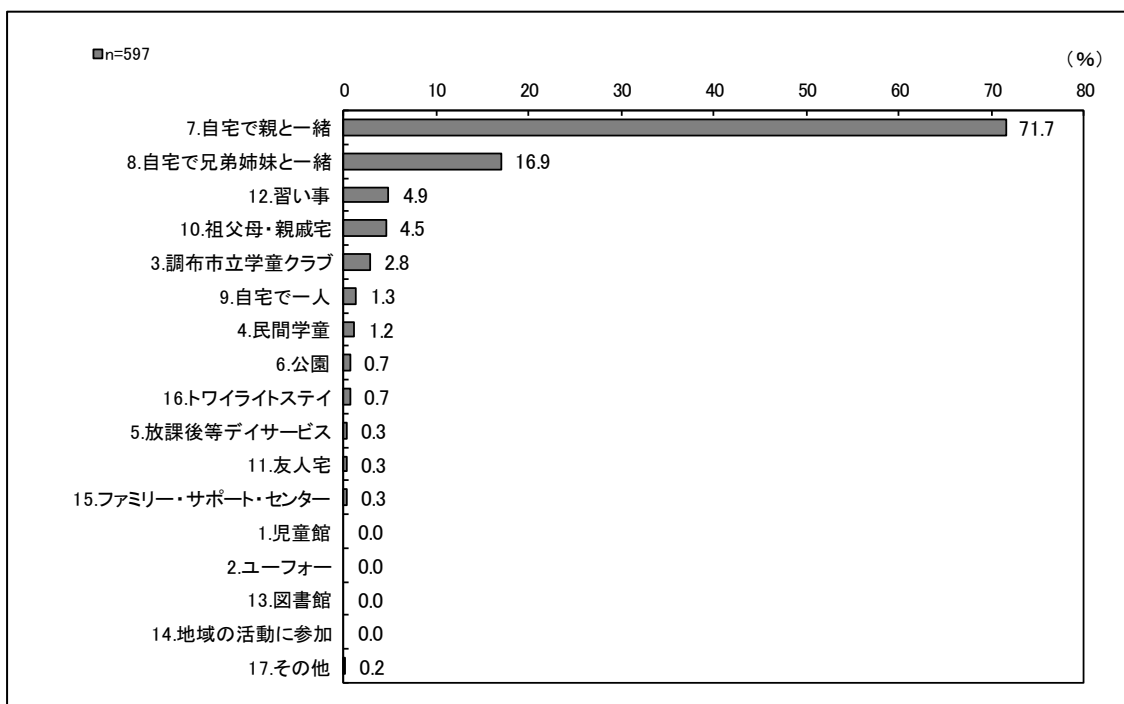
(2) 17:00~19:00

低学年の間、17時から19時までを過ごさせたい場所は、「自宅で親と一緒に」(56.6%)、「習い事」(36.9%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(22.3%)、「調布市立学童クラブ」(16.1%)、「祖父母・親戚宅」(5.7%)、「自宅で一人」(4.0%)、「民間学童」(3.7%)、「ユーフォー」(3.0%)、「放課後等デイサービス」(1.2%)、「公園」(1.0%)、「友人宅」・「図書館」(同率0.8%)、「児童館」(0.7%)、「地域の活動に参加」・「ファミリー・サポート・センター」(同率0.5%)、「トワイライトステイ」(0.3%)の順となっています。



(3) 19:00～

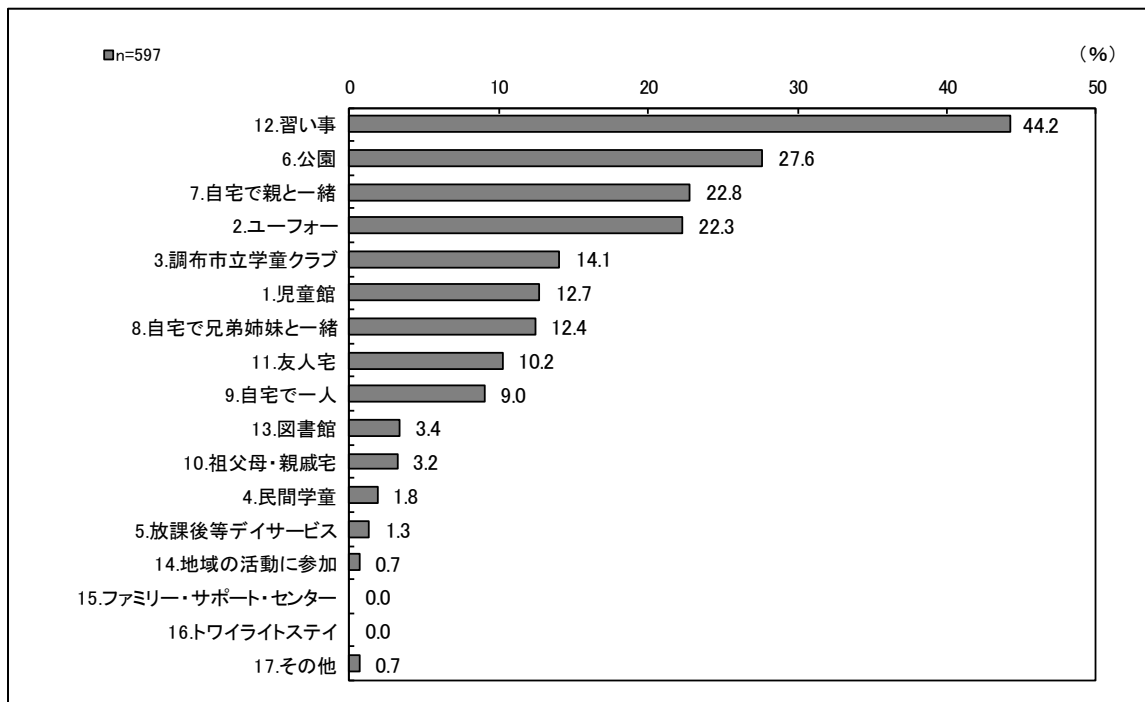
低学年の間、19時以降の時間を過ごさせたい場所は、「自宅で親と一緒に」(71.7%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(16.9%)、「習い事」(4.9%)、「祖父母・親戚宅」(4.5%)、「調布市立学童クラブ」(2.8%)、「自宅で一人」(1.3%)、「民間学童」(1.2%)、「公園」・「トワイライトステイ」(同率 0.7%)、「放課後等デイサービス」・「友人宅」・「ファミリー・サポート・センター」(同率 0.3%)の順となっています。



③ 高学年での過ごし方

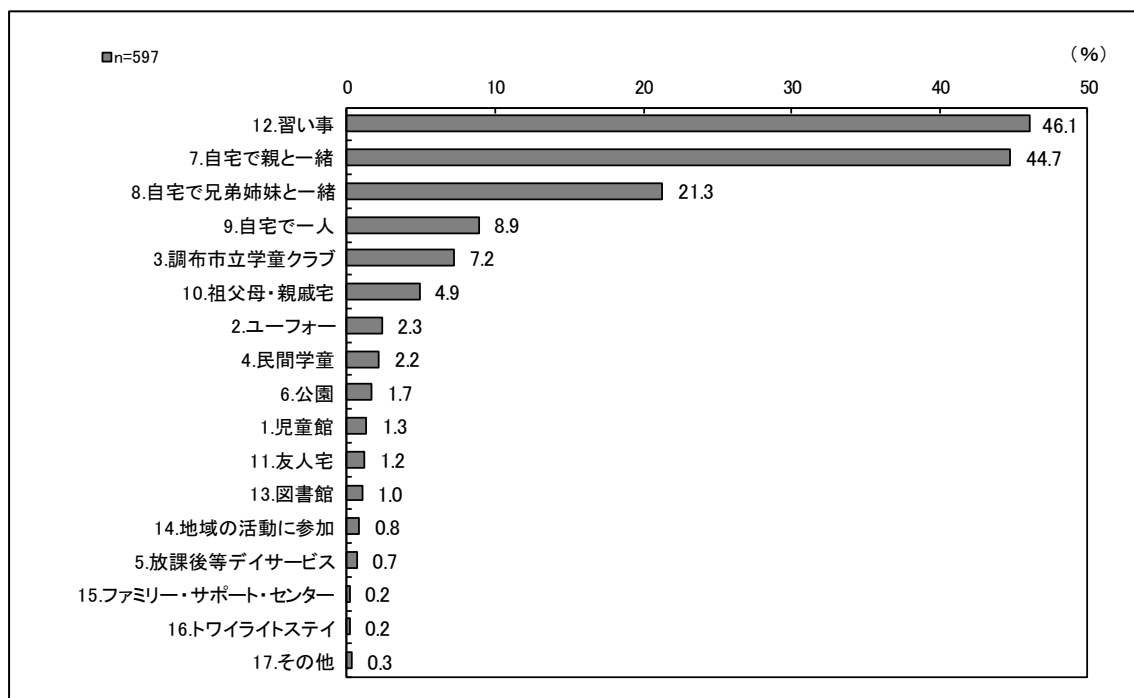
(1) ～17:00

高学年になってから、授業終了後から 17 時までを過ごさせたい場所は、「習い事」(44.2%)、「公園」(27.6%)、「自宅で親と一緒に」(22.8%)、「ユーフォー」(22.3%)、「調布市立学童クラブ」(14.1%)、「児童館」(12.7%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(12.4%)、「友人宅」(10.2%)、「自宅で一人」(9.0%)、「図書館」(3.4%)、「祖父母・親戚宅」(3.2%)、「民間学童」(1.8%)、「放課後等デイサービス」(1.3%)、「地域の活動に参加」(0.7%) の順となっています。



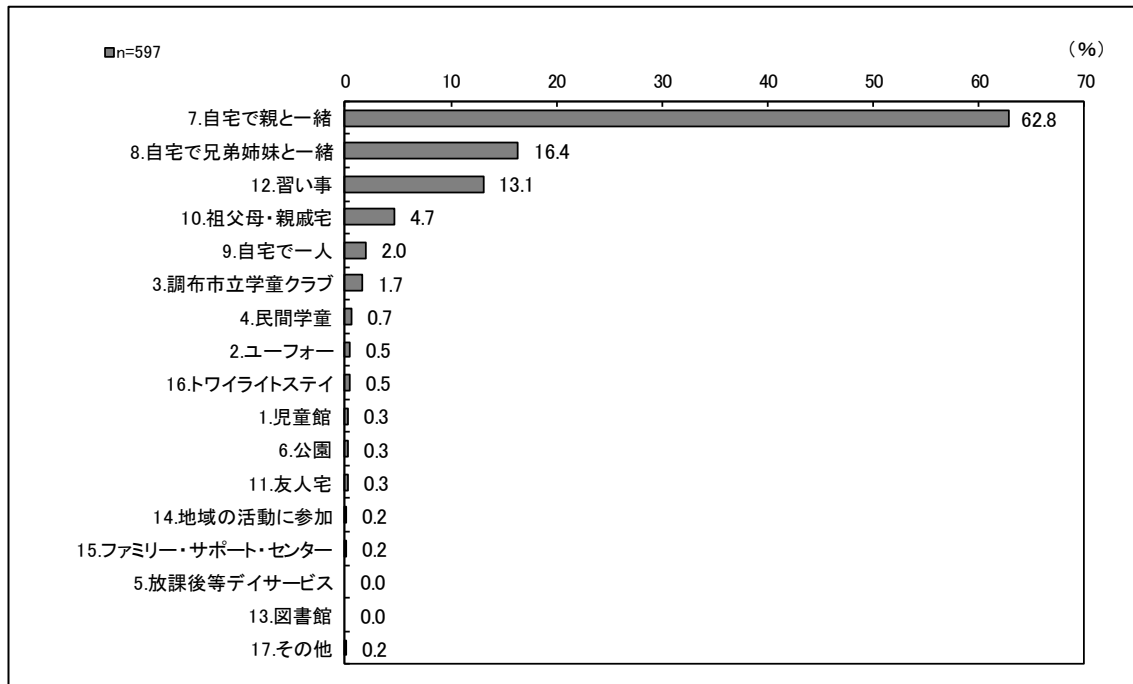
(2) 17:00~19:00

高学年になってから、17時から19時までを過ごさせたい場所は、「習い事」(46.1%)、「自宅で親と一緒に」(44.7%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(21.3%)、「自宅で一人」(8.9%)、「調布市立学童クラブ」(7.2%)、「祖父母・親戚宅」(4.9%)、「ユーフォー」(2.3%)、「民間学童」(2.2%)、「公園」(1.7%)、「児童館」(1.3%)、「友人宅」(1.2%)、「図書館」(1.0%)、「地域の活動に参加」(0.8%)、「放課後等デイサービス」(0.7%)、「ファミリー・サポート・センター」・「トワイライトステイ」(同率 0.2%)の順となっています。



(3) 19 : 00～

高学年になってから、19時以降の時間を過ごさせたい場所は、「自宅で親と一緒に」(62.8%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(16.4%)、「習い事」(13.1%)、「祖父母・親戚宅」(4.7%)、「自宅で一人」(2.0%)、「調布市立学童クラブ」(1.7%)、「民間学童」(0.7%)、「ユーフォー」・「トワイライトステイ」(同率0.5%)、「児童館」・「公園」・「友人宅」(同率0.3%)、「地域の活動に参加」・「ファミリー・サポート・センター」(同率0.2%)の順となっています。

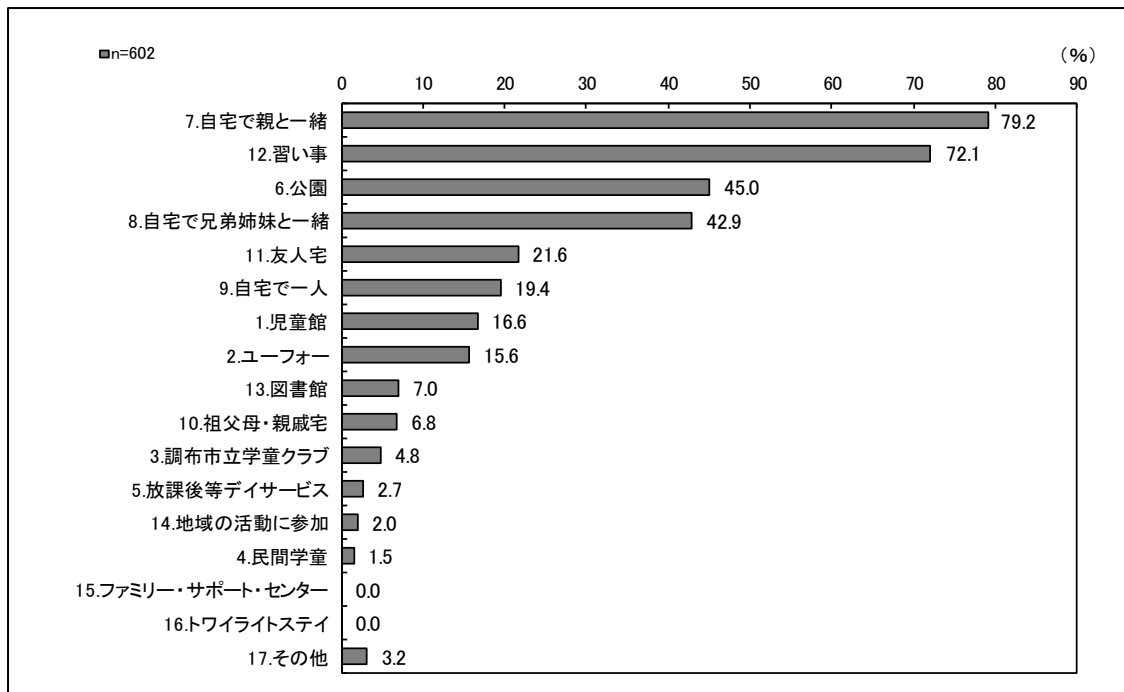


(3) 放課後に過ごさせたい場所（高学年）

① 全体

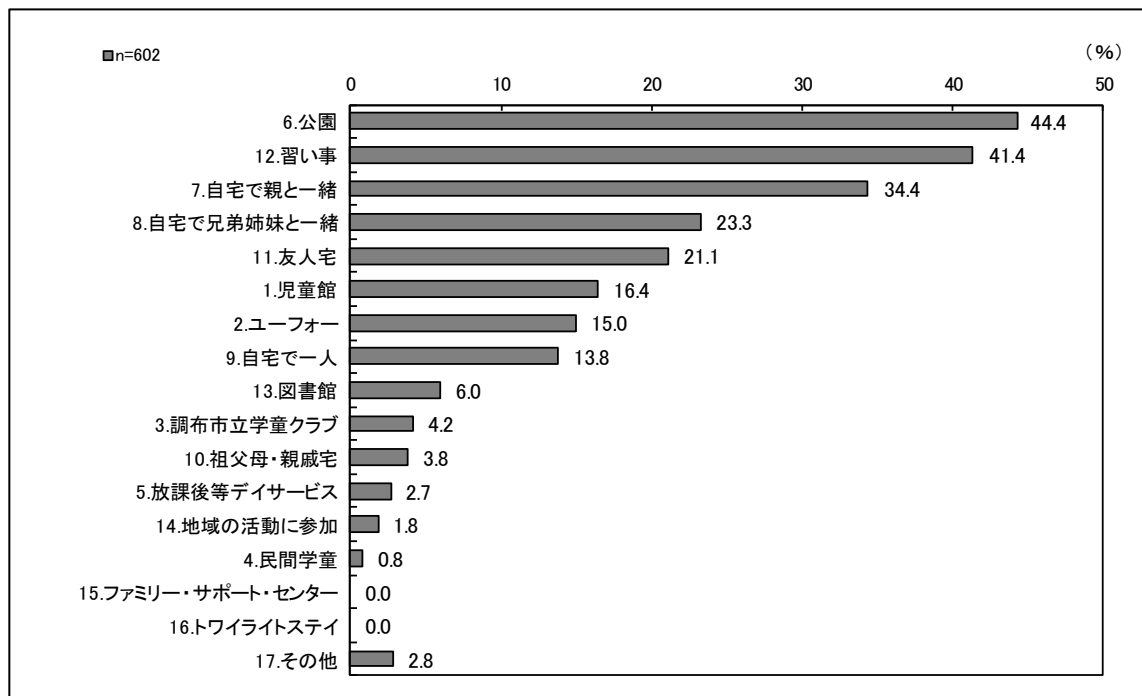
問 22 宛名のお子さんが小学校4年生～6年生の方に伺います。小学校高学年（4～6年生）の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。下記（1）～（3）の時間帯ごとに、当てはまる番号3つまでに○をつけてください。【複数回答】

現在子どもが高学年の人が、放課後の時間を過ごさせたい場所は、「自宅で親と一緒に」（79.2%）、「習い事」（72.1%）、「公園」（45.0%）、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」（42.9%）、「友人宅」（21.6%）、「自宅で一人」（19.4%）、「児童館」（16.6%）、「ユーフォー」（15.6%）、「図書館」（7.0%）、「祖父母・親戚宅」（6.8%）、「調布市立学童クラブ」（4.8%）、「放課後等デイサービス」（2.7%）、「地域の活動に参加」（2.0%）、「民間学童」（1.5%）の順となっています。



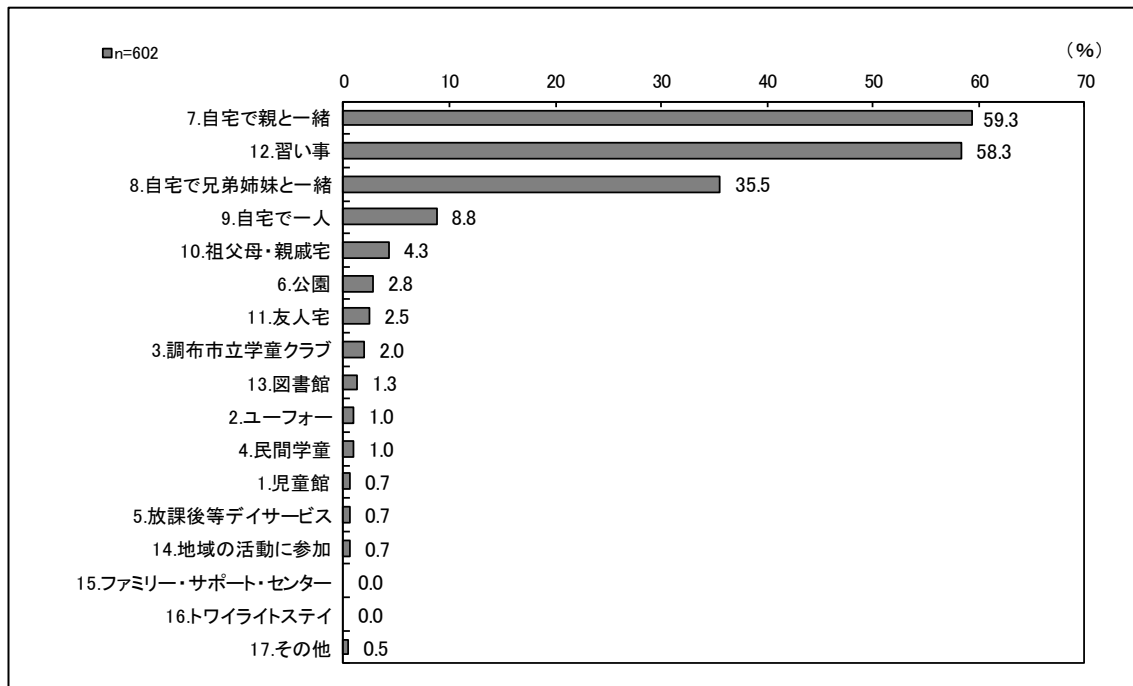
② ～17:00

子どもが高学年の方が、授業終了後から17時までを過ごさせたい場所は、「公園」(44.4%)、「習い事」(41.4%)、「自宅で親と一緒に」(34.4%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(23.3%)、「友人宅」(21.1%)、「児童館」(16.4%)、「ユーフォー」(15.0%)、「自宅で一人」(13.8%)、「図書館」(6.0%)、「調布市立学童クラブ」(4.2%)、「祖父母・親戚宅」(3.8%)、「放課後等デイサービス」(2.7%)、「地域の活動に参加」(1.8%)、「民間学童」(0.8%)の順となっています。



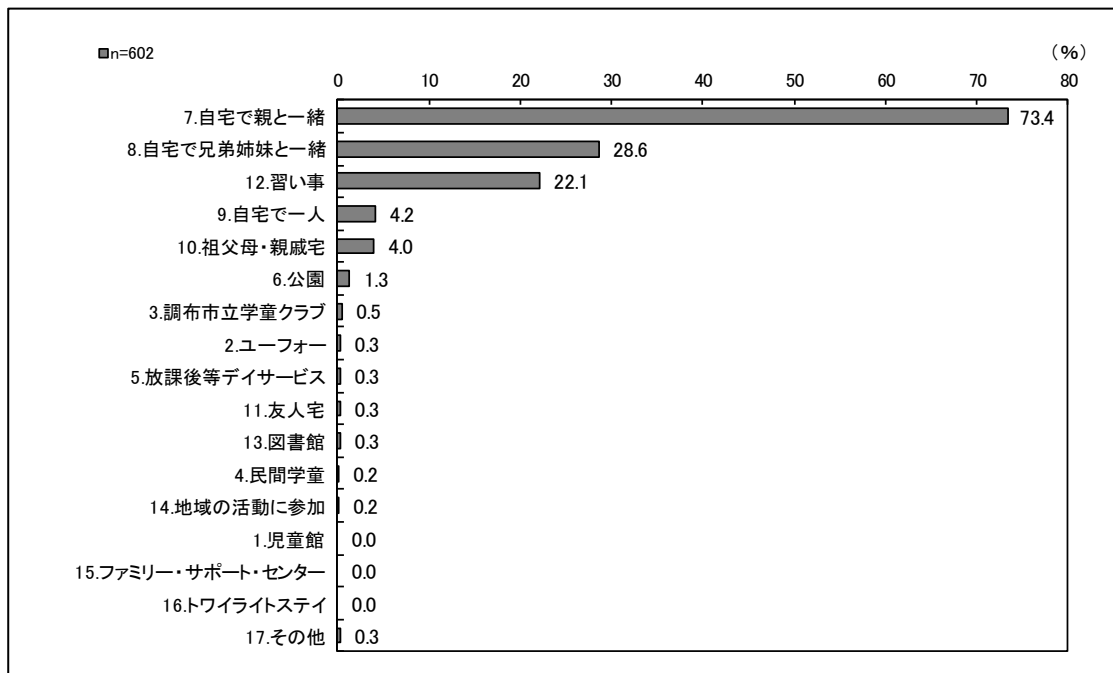
③ 17:00～19:00

子どもが高学年の方が、17時から19時までを過ごさせたい場所は「自宅で親と一緒に」(59.3%)、「習い事」(58.3%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(35.5%)、「自宅で一人」(8.8%)、「祖父母・親戚宅」(4.3%)、「公園」(2.8%)、「友人宅」(2.5%)、「調布市立学童クラブ」(2.0%)、「図書館」(1.3%)、「ユーフォー」・「民間学童」(同率1.0%)、「児童館」・「放課後等デイサービス」・「地域の活動に参加」(同率0.7%)の順となっています。



④ 19 : 00～

子どもが高学年の方が、19時以降の時間を過ごさせたい場所は、「自宅で親と一緒に」(73.4%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(28.6%)、「習い事」(22.1%)、「自宅で一人」(4.2%)、「祖父母・親戚宅」(4.0%)、「公園」(1.3%)、「調布市立学童クラブ」(0.5%)、「ユーフォー」・「放課後等デイサービス」・「友人宅」・「図書館」(同率0.3%)、「民間学童」・「地域の活動に参加」(同率0.2%)の順となっています。

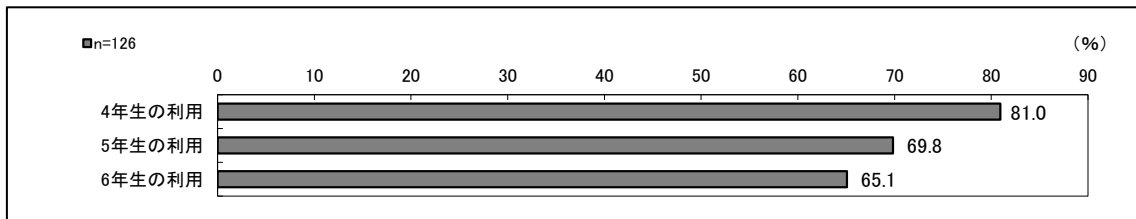


(4) 高学年での学童クラブの利用希望学年と利用希望時期

問 23 問 21 または問 22 で小学校高学年（4～6年生）時に、「3. 調布市立学童クラブ」に○をつけた方にかがいます。(1)何年生まで学童クラブの利用希望がありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、(1)で利用希望学年に○をつけた方は、学年ごとに(2)利用希望時期について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

① 利用希望学年

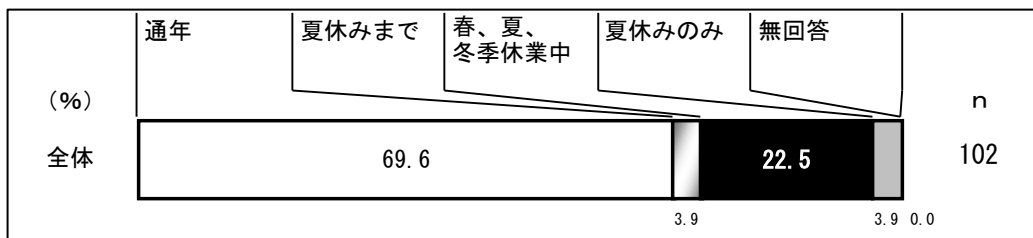
高学年での学童クラブの利用希望学年は、「4年生の利用」(81.0%)、「5年生の利用」(69.8%)、「6年生の利用」(65.1%)となっています。



② 利用希望時期

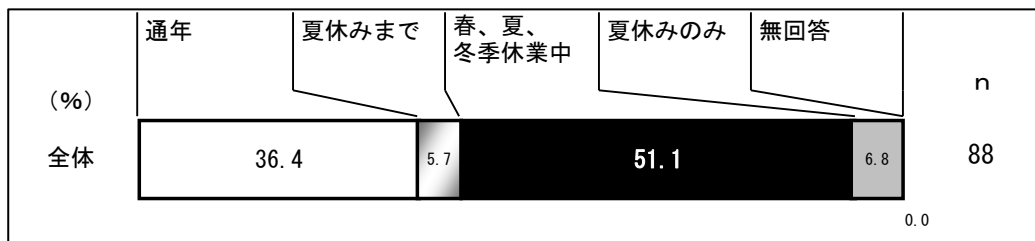
(1) 4年生

4年生まで利用を希望する人の、利用希望時期は、「通年」(69.6%)、「春、夏、冬季休業中」(22.5%)、「夏休みまで」・「夏休みのみ」(同率3.9%)となっています。



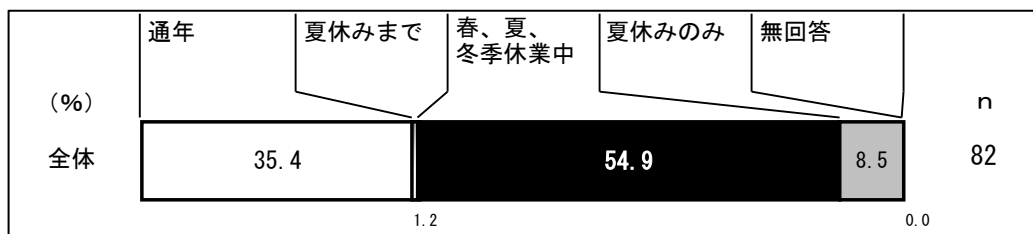
(2) 5年生

5年生まで利用を希望する人の、利用希望時期は、「春、夏、冬季休業中」(51.1%)、「通年」(36.4%)、「夏休みのみ」(6.8%)、「夏休みまで」(5.7%)となっています。



(3) 6年生の利用

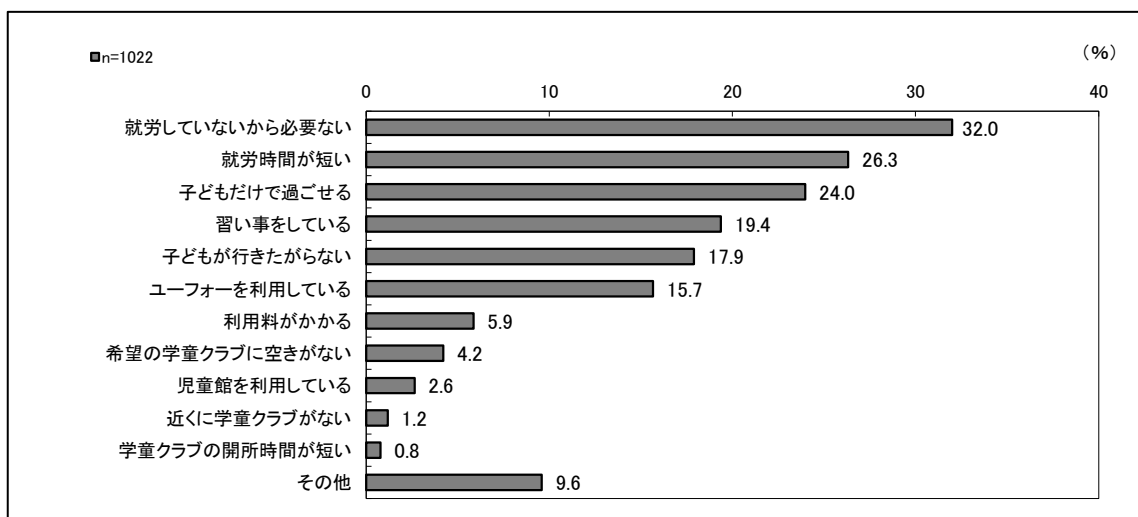
6年生まで利用を希望する人の、利用希望時期は、「春、夏、冬季休業中」(54.9%)、「通年」(35.4%)、「夏休みのみ」(8.5%)、「夏休みまで」(1.2%)となっています。



(5) 学童クラブを利用していない理由

問 24 問 20 で「3. 調布市立学童クラブ」を選択していない方にうかがいます。現在、宛名のお子さんが学童クラブを利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

学童クラブを利用していない理由については、「就労していないから必要ない」(32.0%)、「就労時間が短い」(26.3%)、「子どもだけで過ごせる」(24.0%)、「習い事をしている」(19.4%)、「子どもが行きたがらない」(17.9%)、「ユーフォーを利用している」(15.7%)、「利用料がかかる」(5.9%)、「希望の学童クラブに空きがない」(4.2%)、「児童館を利用している」(2.6%)、「近くに学童クラブがない」(1.2%)、「学童クラブの開所時間が短い」(0.8%)の順となっています。



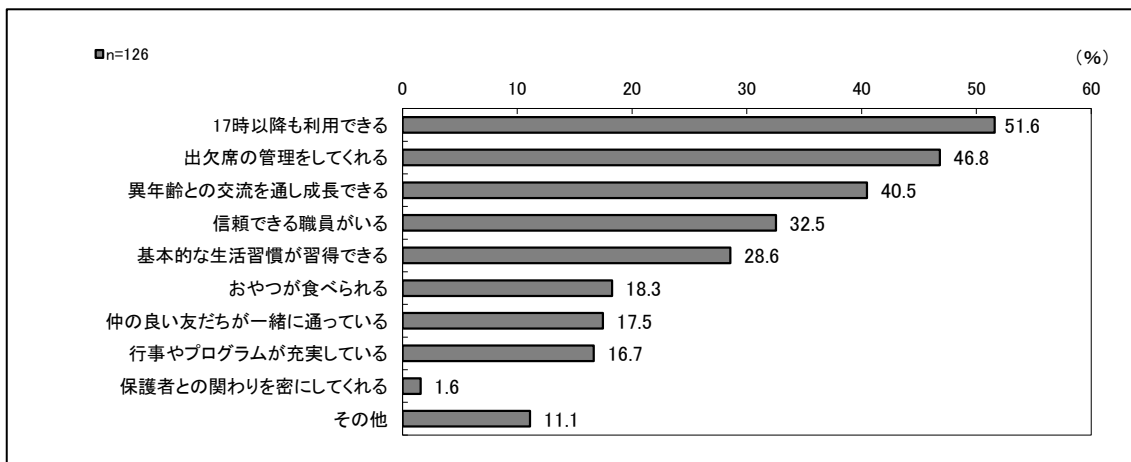
○「その他」の記載内容例

- ・私立の小学校へ通っているため、行きづらい。
- ・遊べる友達がない場合は行きたがらない。
- ・医療ケアがあり利用できない。
- ・3年生までは利用していたが4年生以降は本人が行きたがらない。

(6) 学童クラブを利用したい理由

問 25 問 21 または問 22 で「3. 調布市立学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。利用したい理由について、当てはまる番号 3 つまでに○をつけてください。【複数回答】

学童クラブを利用したい理由については、「17 時以降も利用できる」(51.6%)、「出欠席の管理をしてくれる」(46.8%)、「異年齢との交流を通し成長できる」(40.5%)、「信頼できる職員がいる」(32.5%)、「基本的な生活習慣が習得できる」(28.6%)、「おやつが食べられる」(18.3%)、「仲の良い友だちと一緒に通っている」(17.5%)、「行事やプログラムが充実している」(16.7%)、「保護者との関わりを密にしてくれる」(1.6%) の順となっています。



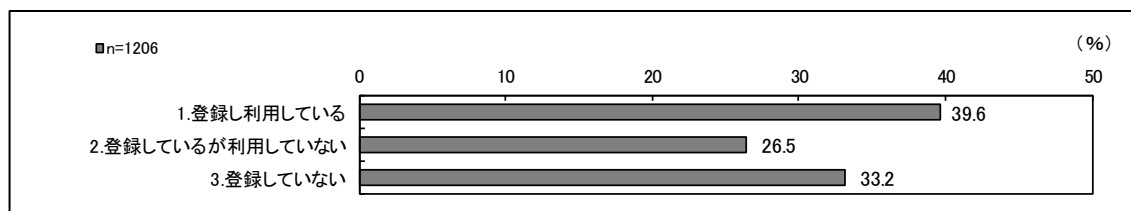
○「その他」の記載内容例

- ・春夏冬休みに預けられる。
- ・1人で自宅にすることが出来ない。
- ・安心・安全が守られるので、就労できる。
- ・大人の目があり、安心。

(7) ユーフォーの登録・利用状況

すべての方にうかがいます。※以下の設問は、お子さんと話し合いながら回答してください。
問 26 現在、宛名のお子さんはユーフォーに登録し、利用していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

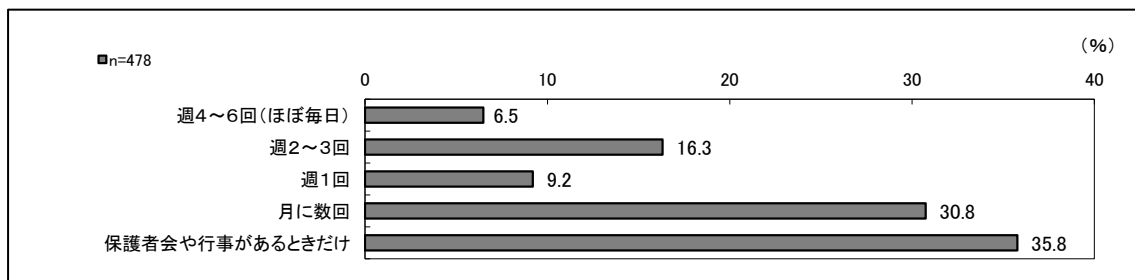
ユーフォーの登録・利用状況については、「登録し利用している」(39.6%)、「登録していない」(33.2%)、「登録しているが利用していない」(26.5%) となっています。



(8) ユーフォーの利用頻度

問 26-1 問 26 で「1. 登録し、利用している」に○をした方にうかがいます。ユーフォーに週何回ぐらい行きますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

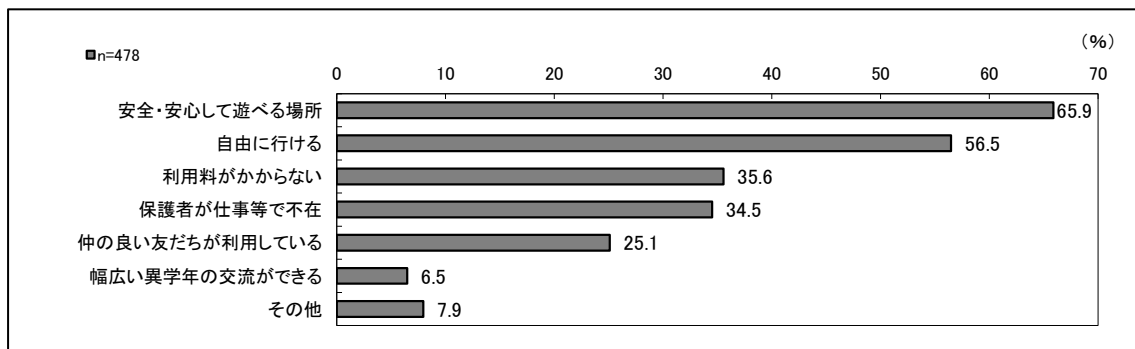
ユーフォーの利用頻度については、「保護者会や行事があるときだけ」(35.8%)、「月に数回」(30.8%)、「週2～3回」(16.3%)、「週1回」(9.2%)、「週4～6回(ほぼ毎日)」(6.5%)となっています。



(9) ユーフォーを利用している理由

問 26-2 問 26 で「1. 登録し、利用している」に○をした方にうかがいます。ユーフォーを利用している理由は何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。
【複数回答】

ユーフォーを利用している理由については、「安全・安心して遊べる場所」(65.9%)、「自由に行ける」(56.5%)、「利用料がかからない」(35.6%)、「保護者が仕事等で不在」(34.5%)、「仲の良い友だちが利用している」(25.1%)、「幅広い異学年の交流ができる」(6.5%)の順となっています。



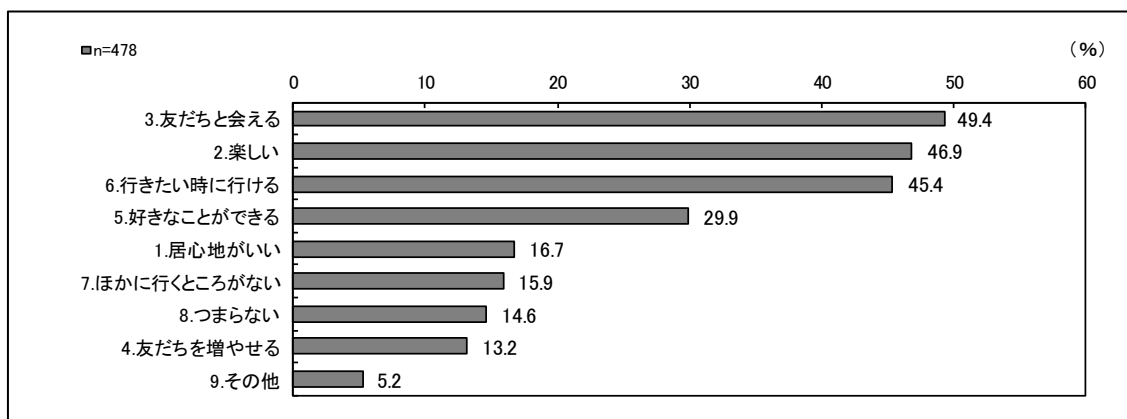
○「その他」の記載内容例

- ・学校内にあるので移動の心配がないから。
- ・民間学童のお迎えまでの時間として利用。
- ・親が用事などの時も、予約なく遊べるので。
- ・子どもが気に入っている。

(10) ユーフォーを利用した感想

問 26-3 問 26 で「1. 登録し、利用している」に○をした方にうかがいます。ユーフォーの時間をどんなふうに感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

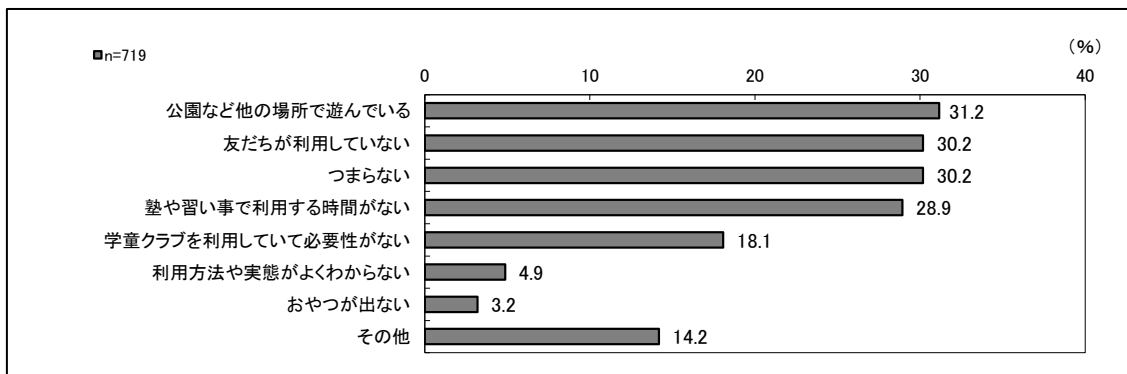
ユーフォーを利用した感想については、「友だちと会える」(49.4%)、「楽しい」(46.9%)、「行きたい時に行ける」(45.4%)、「好きなことができる」(29.9%)、「居心地がいい」(16.7%)、「ほかに行くところがない」(15.9%)、「つまらない」(14.6%)、「友だちを増やせる」(13.2%)の順となっています。



(11) ユーフォーに登録・利用していない理由

問 26-4 問 26 で「2. 登録しているが、利用していない」または「3. 登録していない」に○をした方にうかがいます。ユーフォーを利用・登録していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

ユーフォーに登録・利用していない理由については、「公園など他の場所で遊んでいる」(31.2%)、「友だちが利用していない」・「つまらない」(同率 30.2%)、「塾や習い事で利用する時間がない」(28.9%)、「学童クラブを利用して必要性がない」(18.1%)、「利用方法や実態がよくわからない」(4.9%)、「おやつが出ない」(3.2%)の順となっています。



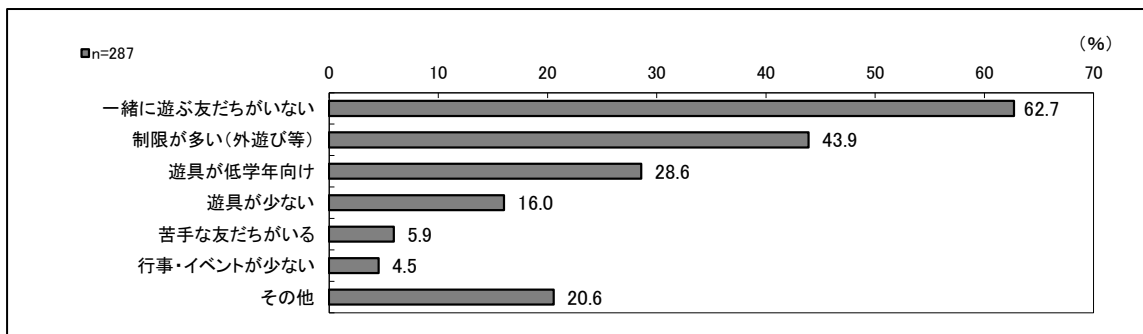
○「その他」の記載内容例

- ・本人が行きたがらない。
- ・私立の小学校へ通っていて、友人がいない。
- ・家で留守番出来る
- ・家で過ごしたい。

(12) つまらないと感じる理由

問 26-4-1 問 26-3 で「8. つまらない」または、問 26-4 で「6. つまらないから」に○をした方にうかがいます。ユーフォーはどのような理由でつまらなく感じますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。【複数回答】

つまらなく感じる理由については、「一緒に遊ぶ友だちがいない」(62.7%)、「制限が多い(外遊び等)」(43.9%)、「遊具が低学年向け」(28.6%)、「遊具が少ない」(16.0%)、「苦手な友だちがいる」(5.9%)、「行事・イベントが少ない」(4.5%)の順となっています。



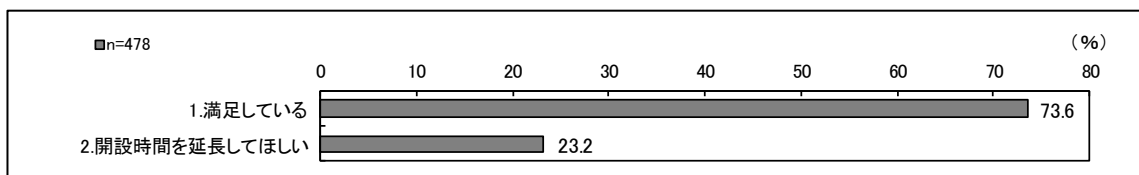
○「その他」の記載内容例

- ・低学年が多い。
- ・外遊びが少ない。
- ・せまいから。
- ・おやつがない。

(13) ユーフォーの開設時間帯について

問 26-5 問 26 で「1. 登録し、利用している」に○をした方にうかがいます。現状のユーフォーの開設時間帯をどう感じていますか。当てはまる番号どちらかに○をつけてください。

ユーフォーの開設時間帯については、「満足している」(73.6%)、「開設時間を延長してほしい」(23.2%)となっています。



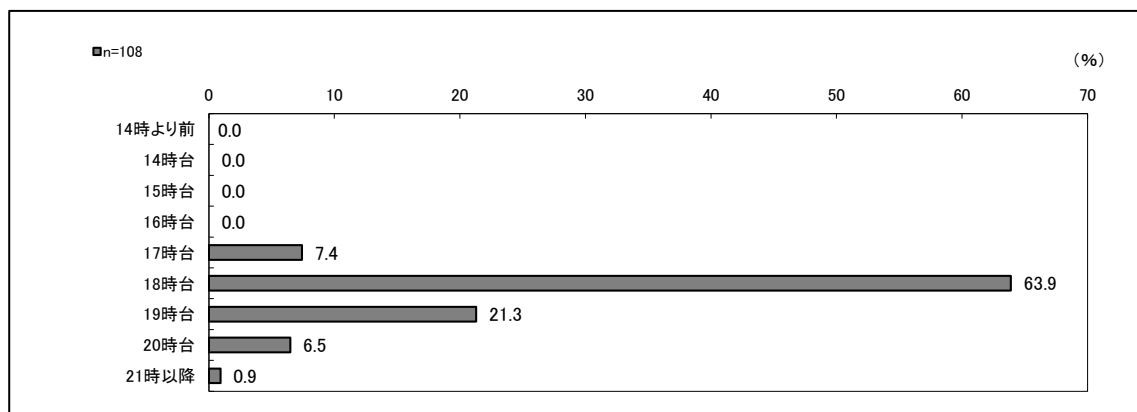
(14) 延長を希望する開設時間帯

問 26-5-1 問 26-5 で「2. 開設時間を延長してほしい」に○をつけた方にかがいます。
希望する開設時間について、□内に数字でご記入ください。(24時間制) ※現在は、
通年で午後5時まで、学校がお休みの日は午前8時から開設しています。

① 学校がある日

希望終了時刻

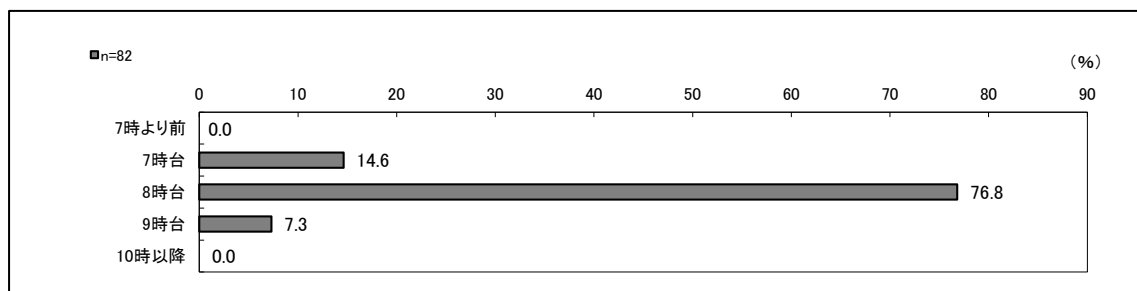
学校がある日の希望終了時刻は、「18時台」(63.9%)、「19時台」(21.3%)、「17時台」(7.4%)、「20時台」(6.5%)、「21時以降」(0.9%)となっています。



② 学校が休みの日

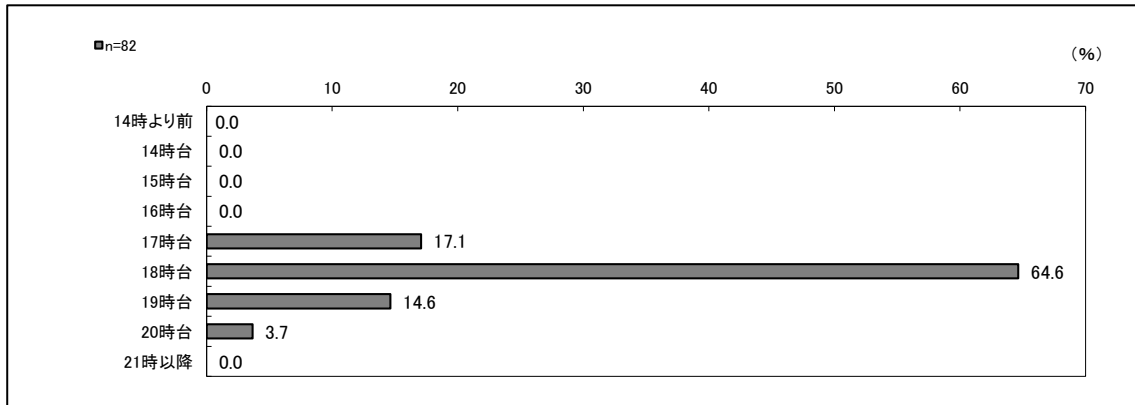
希望開始時刻

学校が休みの日の希望開始時刻は、「8時台」(76.8%)、「7時台」(14.6%)、「9時台」(7.3%)となっています。



希望終了時刻

学校が休み日の希望終了時刻は、「18 時台」(64.6%)、「17 時台」(17.1%)、「19 時台」(14.6%)、「20 時台」(3.7%)となっています。



9 児童虐待について

(1) 児童虐待について知っていること

問 27 児童虐待について次のことをご存知ですか。以下の(1)～(3)の各々について当てはまる番号1つに○をつけてください。

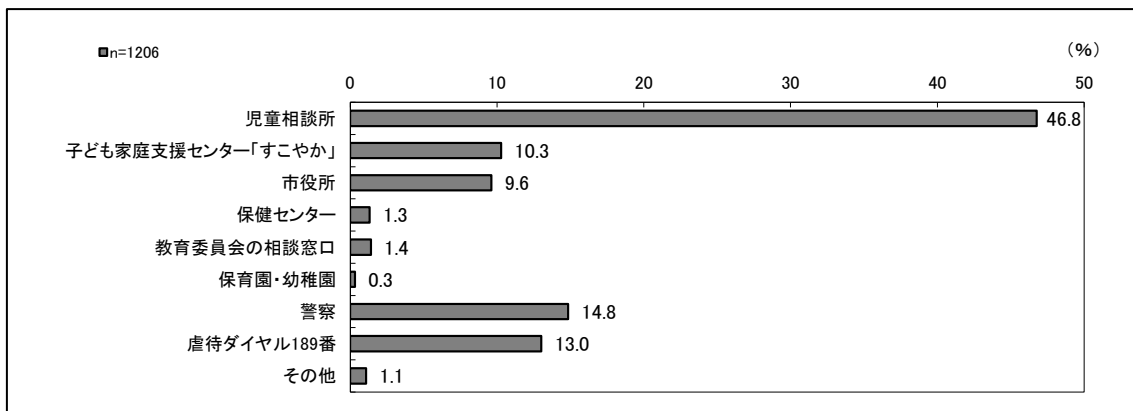
児童虐待について知っていることをたずねたところ、「はい」の多い順に、「児童虐待の防止等に関する法律」(65.7%)、「虐待の心配があったら相談できる機関」(46.6%)、「児童虐待を発見した場合の通報先」(43.0%)となっています。

	(%)	はい	いいえ	無回答	n
児童虐待防止法	65.7	33.6	0.7	1206	
児童虐待発見時の通報先	43.0	56.1	0.8	1206	
虐待に関する相談機関	46.6	52.6	0.8	1206	

(2) 虐待発見時に連絡しようと思う機関

問 27-1 児童虐待を発見した場合には、以下、選択欄のどちらでも通告や通報等ができます。その中でも、あなたは、どちらに連絡しようと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

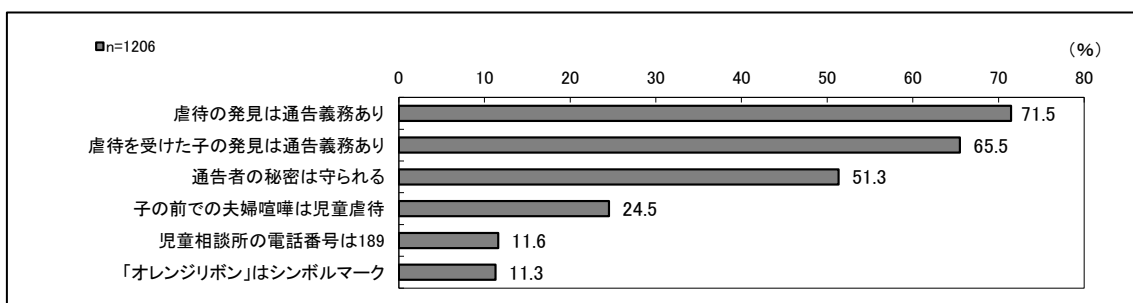
虐待発見時に連絡しようと思う機関は、「児童相談所」(46.8%)、「警察」(14.8%)、「虐待ダイヤル 189 番」(13.0%)、「子ども家庭支援センター「すこやか」」(10.3%)、「市役所」(9.6%)、「教育委員会の相談窓口」(1.4%)、「保健センター」(1.3%)、「保育園・幼稚園」(0.3%) の順となっています。



(3) 児童虐待の通告義務などについて

問 28 児童虐待について、あなたは以下のことをご存知ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

児童虐待の通告義務などについて知っていることは、「虐待の発見は通告義務あり」(71.5%)、「虐待を受けた子の発見は通告義務あり」(65.5%)、「通告者の秘密は守られる」(51.3%)、「子の前での夫婦喧嘩は児童虐待」(24.5%)、「児童相談所の電話番号は189」(11.6%)、「「オレンジリボン」はシンボルマーク」(11.3%) の順となっています。



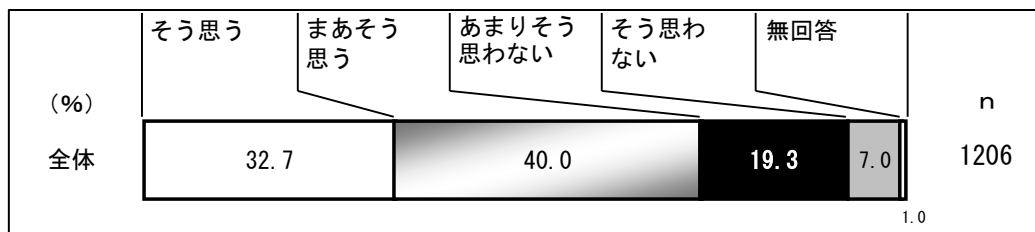
10 子どもをとりまく環境について

(1) 防犯、防災について

問 29 防犯、防災について、どのように感じていますか。それぞれ当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

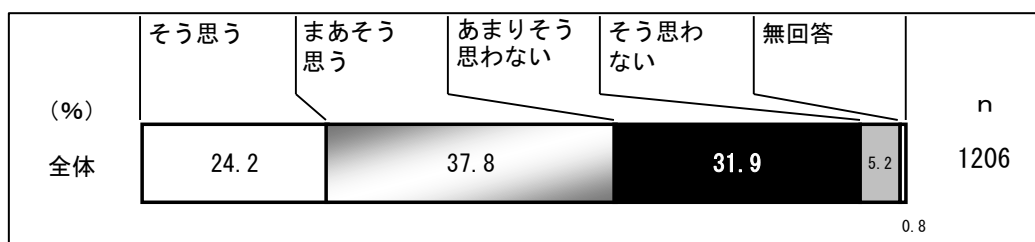
① 住んでいる地域では登下校時の見守り・パトロールなどの取り組みが行われている

「まあそう思う」(40.0%)、「そう思う」(32.7%)、「あまりそう思わない」(19.3%)、「そう思わない」(7.0%)となっています。



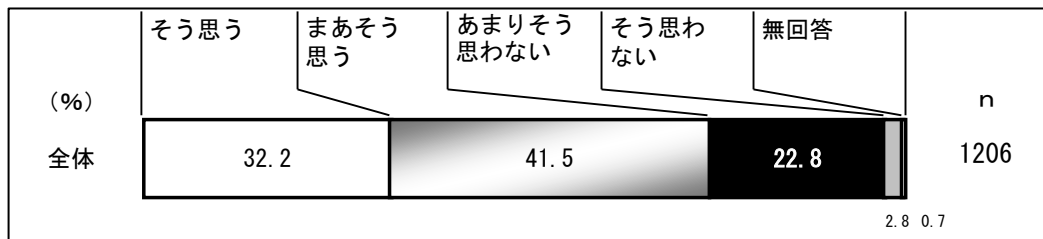
② 住んでいる地域は街灯が少なく夜道が暗い

「まあそう思う」(37.8%)、「あまりそう思わない」(31.9%)、「そう思う」(24.2%)、「そう思わない」(5.2%)となっています。



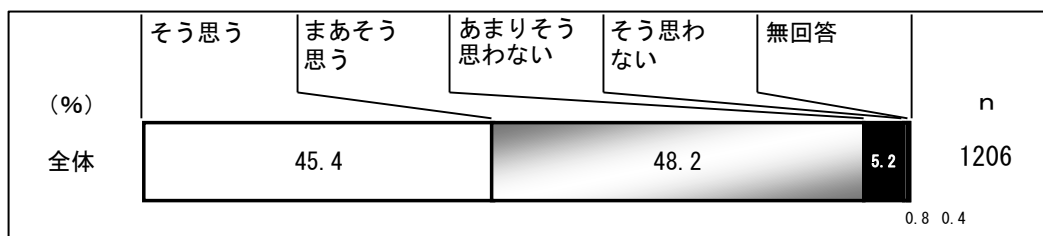
③ 住んでいる地域は人通りの少ない道や、死角の多い公園などがある

「まあそう思う」(41.5%)、「そう思う」(32.2%)、「あまりそう思わない」(22.8%)、「そう思わない」(2.8%)となっています。



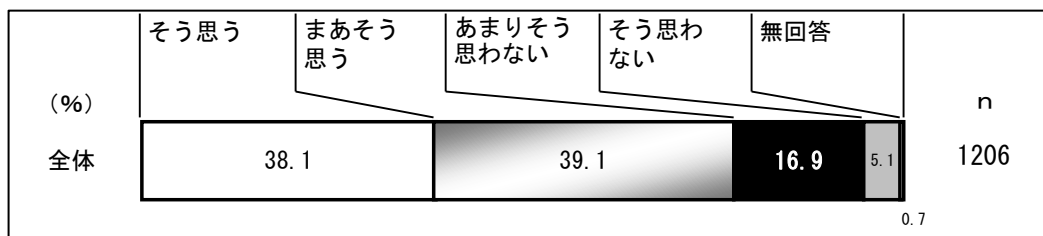
④ お子さんは「知らない人について行かない」などのルールを守れると思う

「まあそう思う」(48.2%)、「そう思う」(45.4%)、「あまりそう思わない」(5.2%)、「そう思わない」(0.8%)となっています。



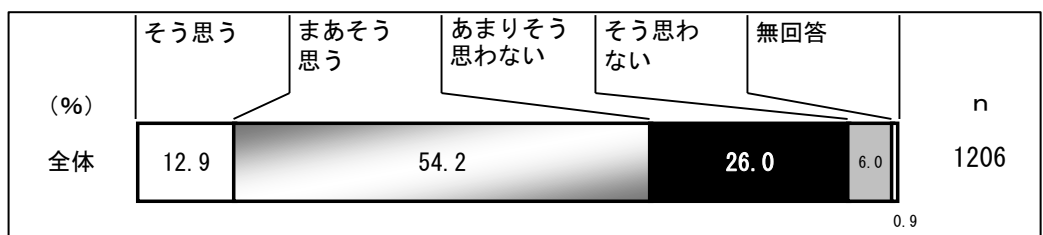
⑤ 住んでいる地域では定期的に防災訓練が行われている

「まあそう思う」(39.1%)、「そう思う」(38.1%)、「あまりそう思わない」(16.9%)、「そう思わない」(5.1%)となっています。



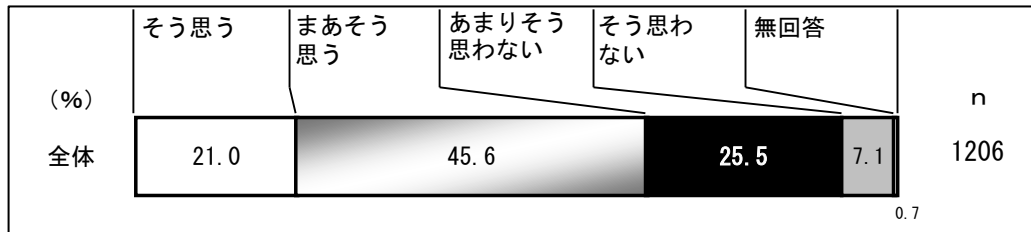
⑥ 住んでいる地域は災害に対して安全だと思う

「まあそう思う」(54.2%)、「あまりそう思わない」(26.0%)、「そう思う」(12.9%)、「そう思わない」(6.0%)となっています。



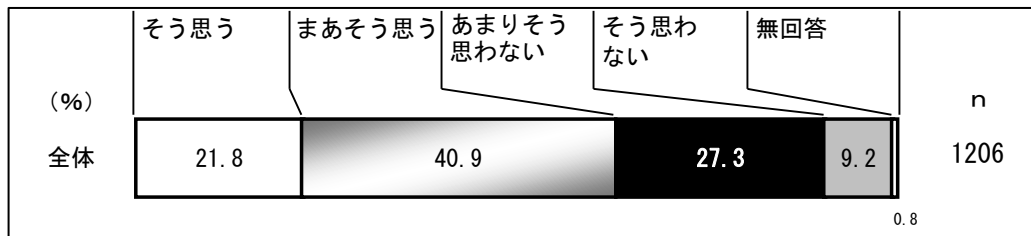
⑦ お子さんは緊急時や災害時での避難路・避難場所を知っている

「まあそう思う」(45.6%)、「あまりそう思わない」(25.5%)、「そう思う」(21.0%)、「そう思わない」(7.1%)となっています。



⑧ 災害時に家族が集まる場所やルールを決めており、お子さんも理解している

「まあそう思う」(40.9%)、「あまりそう思わない」(27.3%)、「そう思う」(21.8%)、「そう思わない」(9.2%)となっています。

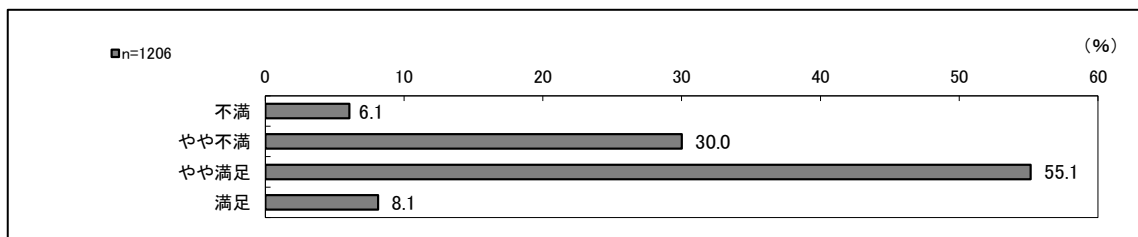


11 子育て環境や支援について

(1) 市における子育て環境や支援への満足度

問 30 調布市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

市における子育て環境や支援への満足度については、「やや満足」(55.1%)、「やや不満」(30.0%)、「満足」(8.1%)、「不満」(6.1%) となっています。



(2) 子育ての環境や支援、教育・保育環境の拡充などに関する自由意見

問 31 最後に、子育ての環境や支援、教育・保育環境の拡充などに関するご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

自由意見の記述内容は下記のとおりです。(一部抜粋)

【安全・安心に関すること】

自由記述 (課題)	自由記述 (改善・解決策)
通学路が住宅街の中のため人通りが少ない	防犯カメラ設置。(通学路)
障がい児に対する支援がまだまだ足りない。障害があり体力がないのに校区の学校には支援学級がなく、隣の街まで通わなければいけない。	各学校に支援学級を設置してほしい。
若葉小、4中は坂下のため水害時避難できない。どこに避難すれば良いのか。	入間町地域センターや仙川劇場2階スペースなどを避難場所として、災害時は開放してほしい
防犯カメラを増やしてほしい	車のボイスレコーダー取り付け補助など。(市でボイスレコーダーの車の多さをアピールする防犯)

【遊び場・公園に関すること】

自由記述（課題）	自由記述（改善・解決策）
公園が少ない、畑が全て住宅になる。	畑だった所を公園にするなどしてほしい。(子どもが自転車やキックボードする場所がないので遊び場をつくる)
球技ができるような公園を準備。	低学年限定での球技をできる公園。利用手段を分ける。(増設は厳しいと思うので)
第二小学校の校区には子どもが遊ぶ公園がなく、体力づくりにも課題があると思う。	公園の開設、学校の校庭開放。

【経済的支援に関すること】

自由記述（課題）	自由記述（改善・解決策）
小学校への支援(財政的な)で未就学児に比較して手薄。	保育料第3子無料を廃止(所得に応じた保育料なので考慮不要)し、その財源を私学助成や子どもの医療証の年齢引き上げ等に回してほしい
児童手当、医療費などの所得制限をなくしてほしい。他の自治体に比べて手薄だと感じる	子育て支援の予算を増やす。
医療費の負担が大きい。	23区や府中市のように中学まで、所得制限等の条件を見直してほしい。

【教育・保育サービスに関すること】

自由記述（課題）	自由記述（改善・解決策）
保育、学校において教員の数が少ない。	増やす。
発達障がいやLGBTなど人間の多様性について、色々な人がいても良いということをもっと教育に取り入れてほしい。	幼稚園や保育園などの集団生活が始まる頃に、全ての親や子が学ぶ機会を持つような仕組みにしてほしい。
発達障がいやいじめ、不登校など問題が生じたときに学校でのサポートが足りないように感じる。	教員数、サポートスタッフの増員。
私立幼稚園の費用が高い割に仕事をする親へのサポート力が低く、働きたくても働けない。	預かり保育を充実させる、長期休暇時のサポートを増やす。

<p>保育園から小学校に上がってからの連絡の差。急に物を必要としたり、宿題が多く、共働きの家庭では負担が大きくなる。</p>	<p>月間予定は出ているが年間でおおよその準備する物等を教えてほしい。宿題について、丸付けの例をつけてもらえるとスムーズにできる。</p>
--	---

【放課後の過ごし方に関すること】

自由記述（課題）	自由記述（改善・解決策）
<p>学校でやっている習い事(16時)までの後に学童に行けない。ユーフォーも17時までなので早上がりしないといけない。</p>	<p>せめてユーフォーの時間を18時までにしてほしい。または学校での習い事の場合は学童に戻れるようにしてほしい。</p>
<p>3年生になると学童に入れない子が多い。</p>	<p>両親が働いている家庭は3年生(できれば小学生のうち)までは待機児童にしない。</p>
<p>夏休みに学童に入れず、ユーフォーを利用した。同じ状況の友だちは学童なので行動が別になりひとりで通うことが多かった。</p>	<p>友人がいないと夏休み中は時間を持て余すことも多く、高学年になると人数も少ないため、希望者は夏休みのみ学童に入れるような対応をお願いしたい。一緒に活動できるとベスト。(ユーフォーはとてもお世話になっている)</p>
<p>ことばの教室などの支援教室が小学校のみで、中学に進学すると支援がなくなる。</p>	<p>学習障がいを持つ子ども同士、コミュニケーションをとれる場があると良いと思う。(放課後に集まれる場所など)</p>
<p>放課後に地域の年配の方が集う所で、将棋をしたり手芸をしたり子どもたちと交流してもらい、放課後1人になる子どもを減らす。</p>	<p>無料で福祉センターを使えるようにし、地域の人達に開放する。</p>

3 子ども・若者意識調査

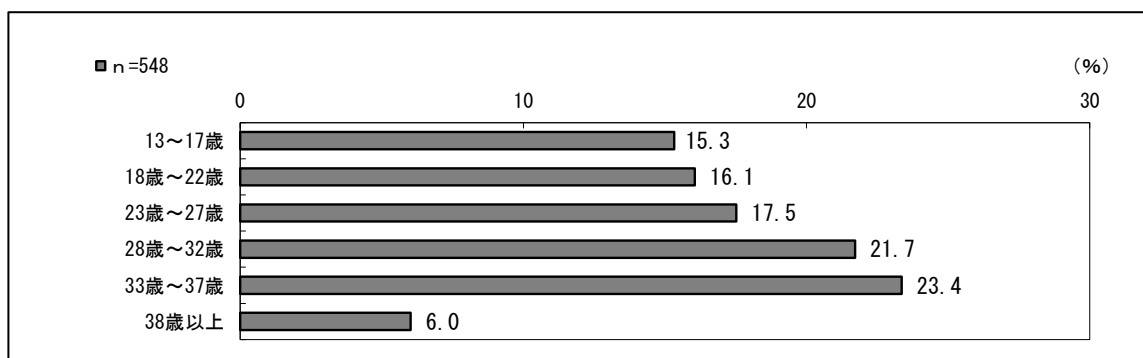
1 回答者の属性

(1) 居住地区

No.	カテゴリー名	n	%
1	東つつじヶ丘1～2丁目 西つつじヶ丘1～3丁目 仙川町全域 若葉町1丁目 緑ヶ丘全域	70	12.7
2	東つつじヶ丘3丁目 入間町全域 若葉町2～3丁目 菊野台全域 西つつじヶ丘4丁目	60	10.9
3	佐須町1～2丁目、4～5丁目 柴崎全域 深大寺東町3～4丁目 深大寺南町1～3丁目 調布ヶ丘3丁目	64	11.6
4	深大寺北町全域 深大寺東町1～2丁目、5～8丁目 深大寺元町2～5丁目 深大寺南町4～5丁目	33	6.0
5	布田2～3丁目 国領町1～5丁目、8丁目 佐須町3丁目 調布ヶ丘2丁目 八雲台全域	72	13.0
6	国領町6～7丁目 染地全域 布田5～6丁目 多摩川6～7丁目	61	11.1
7	小島町全域 布田1丁目、4丁目 調布ヶ丘1丁目、4丁目 深大寺元町1丁目 下石原1丁目 多摩川1～5丁目	87	15.8
8	上石原全域 下石原2～3丁目 野水全域 西町全域 富士見町全域 飛田給全域	82	14.9
	無回答	23	4.2
	全体	552	100.0

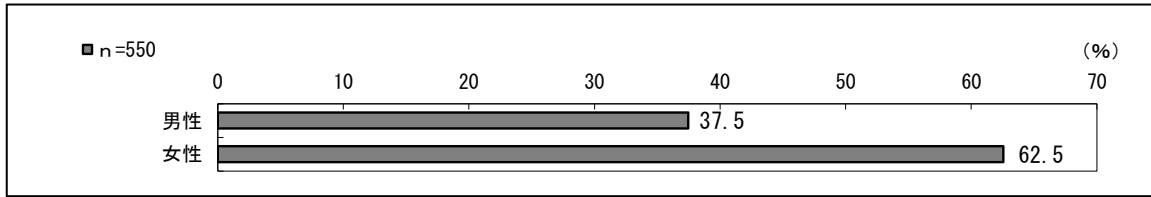
(2) 年齢

年齢については、「33歳～37歳」(23.4%)、「28歳～32歳」(21.7%)、「23歳～27歳」(17.5%)、「18歳～22歳」(16.1%)、「13～17歳」(15.3%)、「38歳以上」(6.0%)となっています。



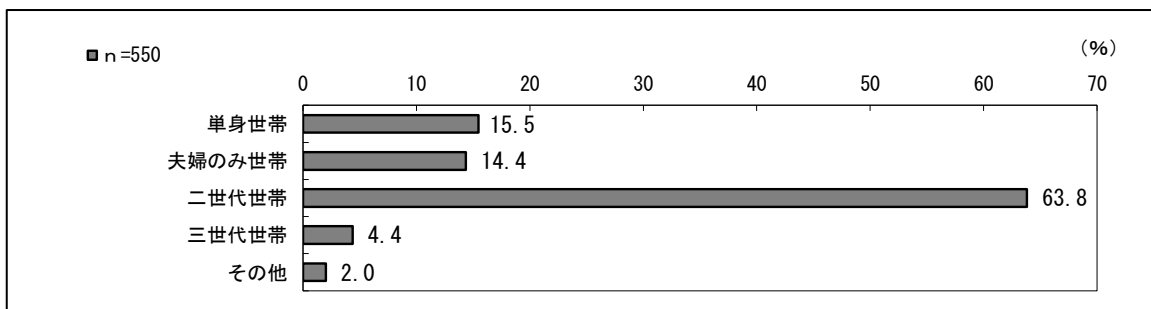
(3) 性別

性別については、「男性」(37.5%)、「女性」(62.5%)となっています。



(4) 世帯構成

世帯構成については、「二世帯世帯」(63.8%)、「単身世帯」(15.5%)、「夫婦のみ世帯」(14.4%)、「三世帯世帯」(4.4%)となっています。

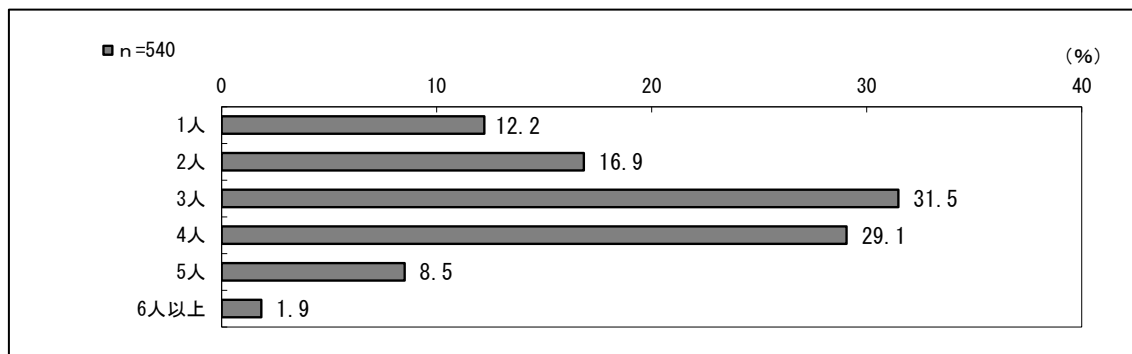


2 家族の状況について

(1) 同居家族の人数

問5 あなたを含めて、同居の家族は何人ですか。□内に数字でご記入ください。

同居家族の人数は、「3人」(31.5%)、「4人」(29.1%)、「2人」(16.9%)、「1人」(12.2%)、「5人」(8.5%)、「6人以上」(1.9%)となっています。

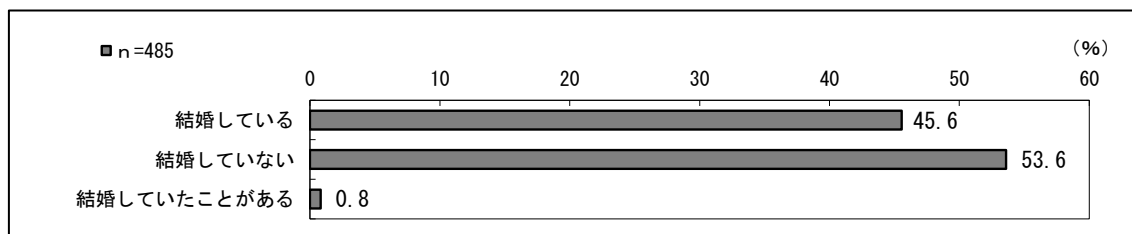


(2) 婚姻歴

問6、問7は、結婚ができる年齢（男性は18歳、女性は16歳）以上の方のみお答えください。中学生の方は問8へおすすみください。

問6 あなたは、現在、結婚していますか。

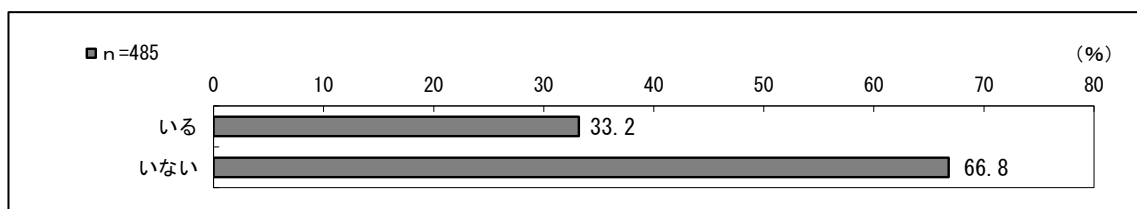
婚姻歴は、「結婚していない」(53.6%)、「結婚している」(45.6%)、「結婚していたことがある」(0.8%)となっています。



(3) 子どもの有無

問7 あなたは、現在、子どもがいますか。

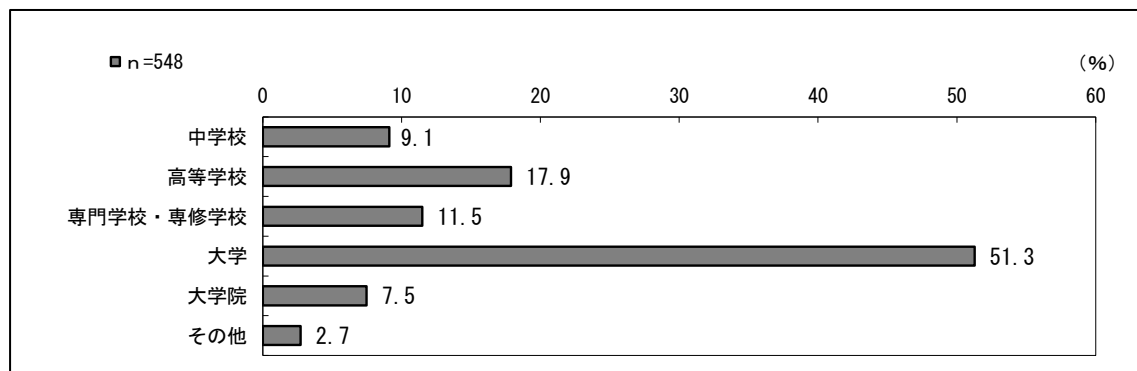
子どもの有無については、「いない」(66.8%)、「いる」(33.2%)となっています。



(4) 最終学歴

問8 あなたの最後に卒業した学校を教えてください。学生の場合、現在在学している学校の種類を教えてください。

最終学歴については、「大学」(51.3%)が最も多く、次いで、「高等学校」(17.9%)、「専門学校・専修学校」(11.5%)、「中学校」(9.1%)、「大学院」(7.5%)の順となっています。

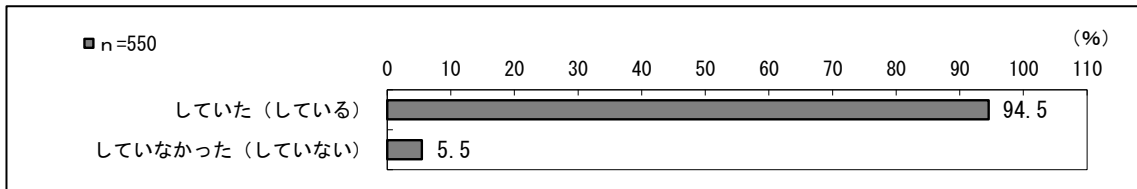


3 これまでの経験や日常生活の状況等

(1) 中学・高校でのクラブ活動参加歴

問9 あなたは、中学・高校生の頃（中学生・高校生の方は現在）、学校のクラブ活動に参加していましたか（いますか）。

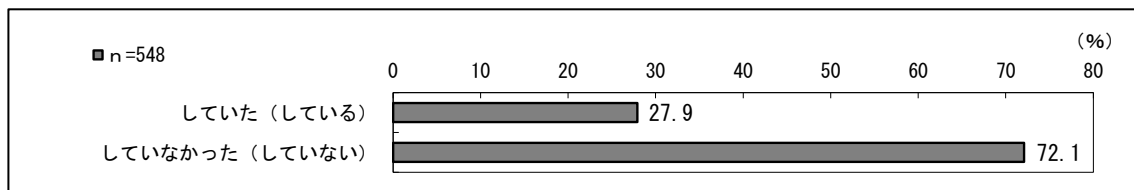
中学・高校でのクラブ活動参加歴については「していた（している）」（94.5%）、「していなかった（していない）」（5.5%）となっています。



(2) 中学・高校の頃の学校以外でのクラブ活動参加歴

問10 あなたは、中学・高校生の頃（中学生・高校生の方は現在）、学校以外でのクラブ活動に参加（スポーツクラブに通うなど）していましたか（いますか）。

中学・高校の頃の学校以外でのクラブ活動参加歴については、「していた（している）」（27.9%）、「していなかった（していない）」（72.1%）となっています。



(3) 学校で経験したこと

問 11 あなたは、小学校や中学校の頃（現在中学生の方はこれまでの経験）に、学校で①から⑨のようなことを経験したことがありますか。（それぞれ当てはまる番号に○）

学校で経験したことについて、「1. はい」の率が高いものをみると、「友人とよく話した」（95.8%）、「親友がいた」（86.5%）などとなっています。

	はい (%)	いいえ (%)	n
①友人とよく話した	95.8	4.2	551
②親友がいた	86.5	13.5	550
③友人といるより一人で遊んでいる方が楽しかった	22.0	78.0	549
④友人との関係がうまくいかなかった	26.6	73.4	549
⑤先輩・後輩との関係がうまくいかなかった	15.1	84.9	548
⑥学校の先生との関係がうまくいかなかった	16.1	83.9	548
⑦悩みや困りごとをひとりで抱えていた	30.7	69.3	548
⑧我慢をすることが多かった	44.8	55.2	549
⑨学校の勉強についていけなかった	18.0	82.0	549

(4) 家庭で経験したこと

問 12 あなたは小学校や中学校の頃（現在中学生の方はこれまでの経験）、家庭で①から⑪のようなことを経験したことがありますか。（それぞれ当てはまる番号に○）

家庭で経験したことについて、「1. はい」の率が高いものをみると、「小さい頃から習い事やスポーツ活動に参加していた」（85.5%）、「悩み相談など親とは何でも話すことができた」（48.5%）などとなっています。

(%)	はい	いいえ	n
①悩み相談など親とは何でも話すことができた	48.5	51.5	548
②親は教育に熱心で、しつけも厳しかった	35.6	64.4	547
③親が過保護あるいは過干渉だった	24.9	75.1	546
④家族に相談してもあまり役に立たなかった	24.0	76.0	546
⑤小さい頃から習い事やスポーツ活動に参加していた	85.5	14.5	550
⑥親と自分との関係がよくなかった	13.5	86.5	548
⑦両親の関係がよくなかった・離婚した	19.3	80.7	548
⑧引越しや転校、親と死別など環境に変化があった	20.1	79.9	548
⑨手術や入院するなどの大きな病気をした	9.3	90.7	549
⑩我慢が多かった・経済的に苦しい生活を送った	14.4	85.6	548
⑪夜遅くまで子どもだけで過ごした	6.0	94.0	549

(5) 学校生活について

問 13 あなたの中学・高校生時代（中学生・高校生の方は現在の）学校生活についておたずねします。次の項目について、もっとも近いものに○をつけてください。（それぞれ当てはまる番号に○）

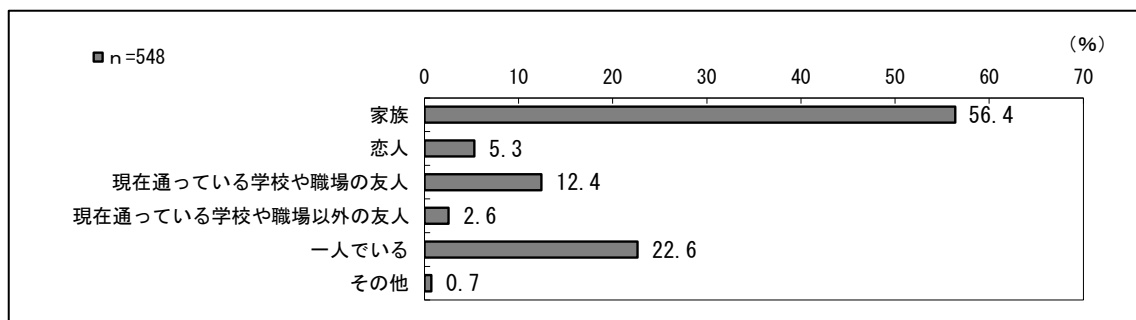
学校生活について、「1. とても楽しみだった」の率が高いものを見ると、「学校の友人に会うこと」（46.3%）、「学校の休み時間」（39.7%）などとなっています。

	とても楽しみ だった	楽しみだった	少し楽しみ だった	楽しみではな かった	n
学校の授業	7.5	24.5	36.9	31.1	550
学校の先生に会うこと	5.5	22.0	35.3	37.2	549
学校の友人に会うこと	46.3	37.7	11.5	4.6	549
学校のクラブ活動	30.0	33.7	20.1	16.1	546
学校の休み時間	39.7	37.3	16.0	6.9	549
学校の給食	32.2	38.9	19.8	9.1	550

(6) 平日の放課後や仕事の後に一緒に過ごす人

問 14 あなたは、平日の放課後、仕事の後など自由に過ごせる時間は誰と過ごしていますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。（1つに○）

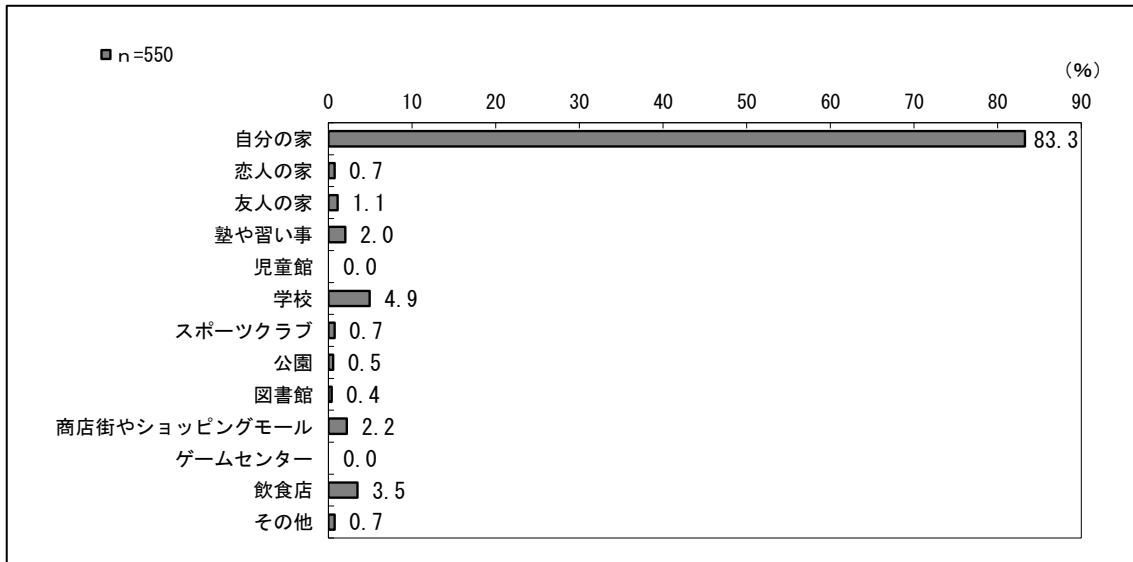
平日の放課後や仕事の後に一緒に過ごす人については、「家族」（56.4%）、「一人である」（22.6%）、「現在通っている学校や職場の友人」（12.4%）、「恋人」（5.3%）、「現在通っている学校や職場以外の友人」（2.6%）となっています。



(7) 平日の放課後や仕事の後で過ごす場所

問 15 あなたは、平日の放課後、仕事の後など自由に過ごせる時間はどこで過ごしていますか。一番多く過ごす場所に○をつけてください。(1つに○)

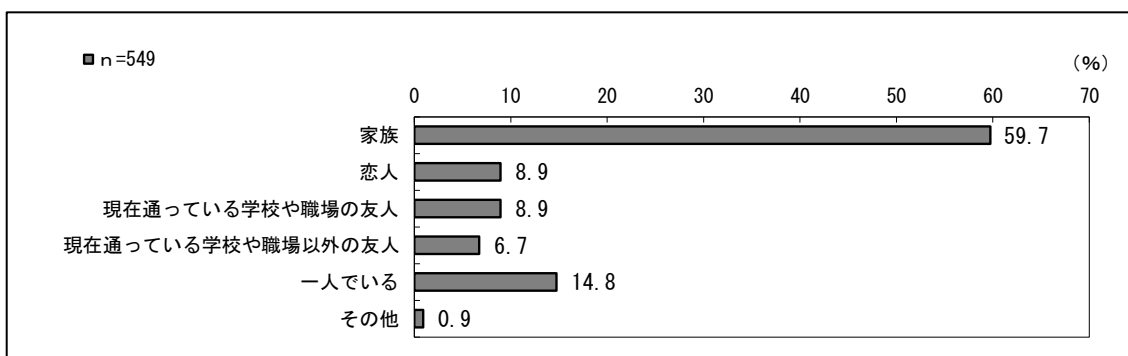
平日の放課後や仕事の後で過ごす場所については、「自分の家」(83.3%)が最も多く、次いで、「学校」(4.9%)、「飲食店」(3.5%)などの順となっています。



(8) 休日一緒に過ごす人

問 16 あなたは、休日は誰と過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。(1つに○)

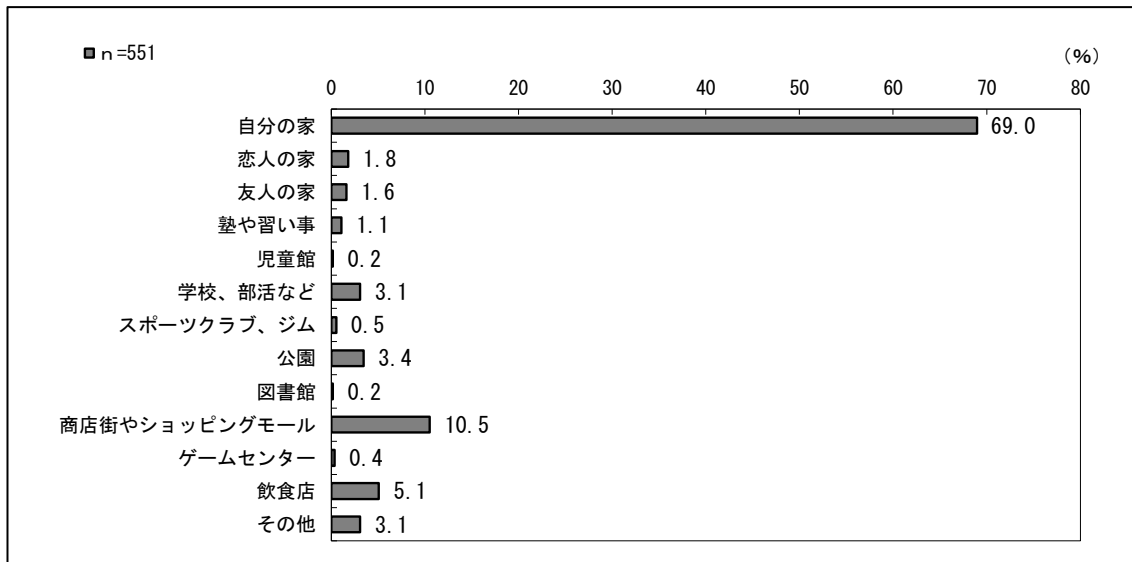
休日一緒に過ごす人については、「家族」(59.7%)、「一人である」(14.8%)、「恋人」(8.9%)、「現在通っている学校や職場の友人」(8.9%)、「現在通っている学校や職場以外の友人」(6.7%)となっています。



(9) 休日に過ごす場所

問 17 あなたは、休日はどこで過ごしますか。一番多く過ごす場所に○をつけてください。
(1つに○)

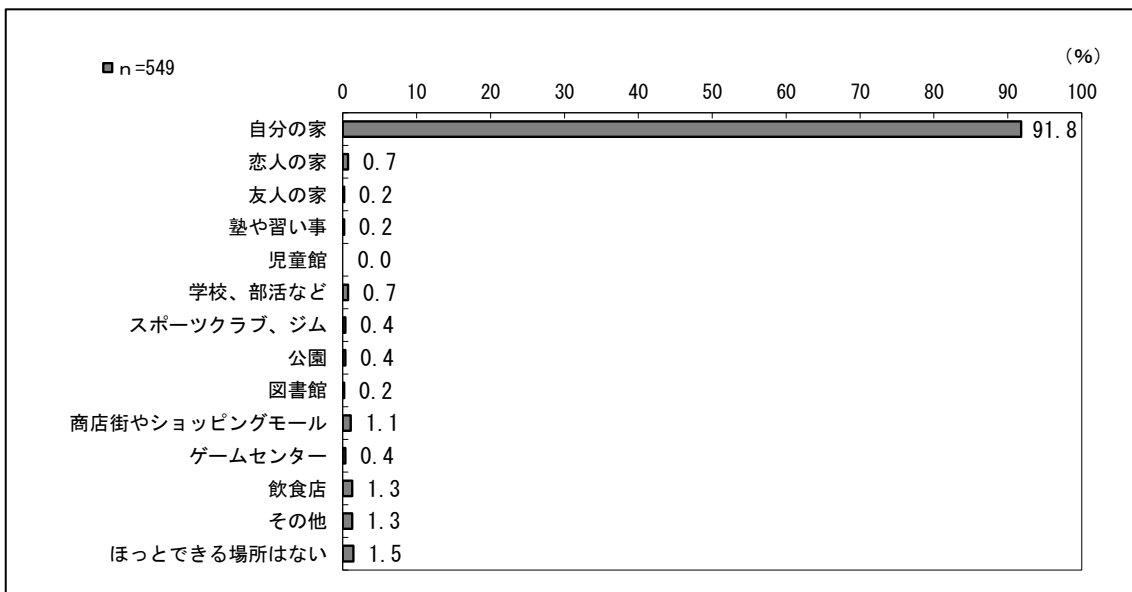
休日に過ごす場所については、「自分の家」(69.0%)が最も多く、次いで、「商店街やショッピングモール」(10.5%)、「飲食店」(5.1%)などの順となっています。



(10) 最もほっとできる場所

問 18 あなたが日頃過ごしている場所のうち、一番ほっとできる場所は以下のどれですか。
(1つに○)

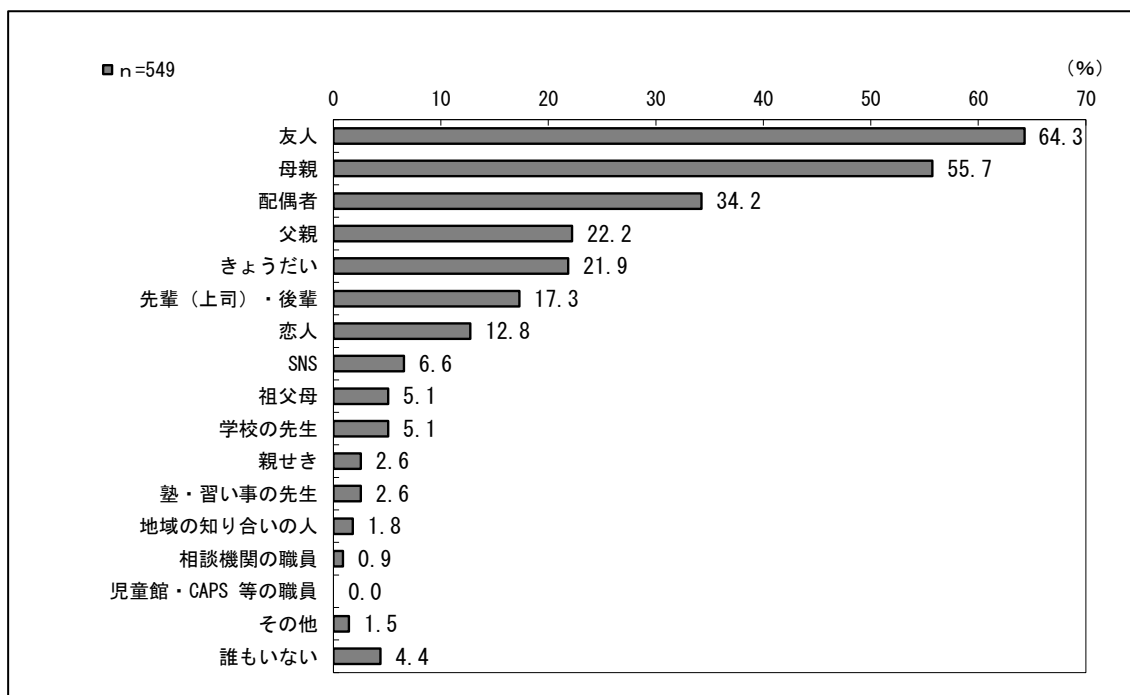
最もほっとできる場所については、「自分の家」(91.8%)が最も多く、次いで、「飲食店」(1.3%)、「商店街やショッピングモール」(1.1%)などの順となっています。



(11) 気軽に相談できる人

問 19 あなたは、何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる人がいますか。(当てはまるものすべてに○)【複数回答】

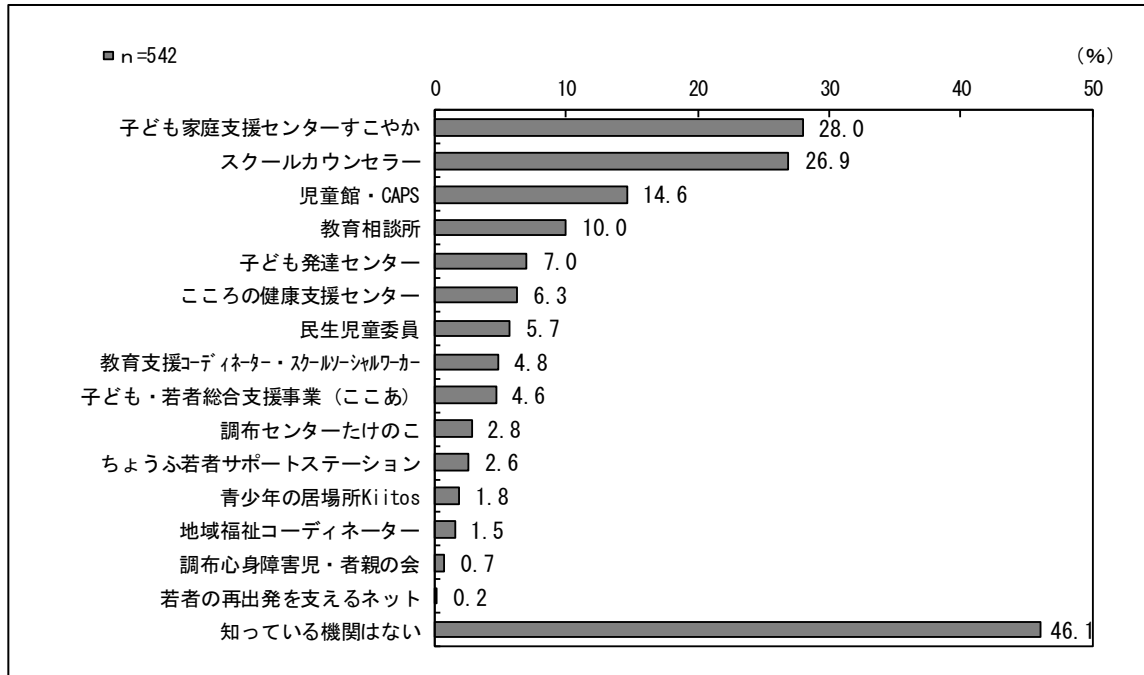
気軽に相談できる人については、「友人」(64.3%)が最も多く、次いで、「母親」(55.7%)、「配偶者」(34.2%)「父親」(22.2%)、「きょうだい」(21.9%)、「先輩(上司)・後輩」(17.3%)、「恋人」(12.8%)などの順となっています。



(12) 悩みごとの相談先として認知している機関

問 20 あなたは、悩みや聞いてほしいことがあったときに相談できる、次の機関等を知っていますか。(当てはまるものすべてに○)【複数回答】

悩みごとの相談先として認知している機関については、「子ども家庭支援センターすこやか」(28.0%)が最も多く、次いで、「スクールカウンセラー」(26.9%)、「児童館・CAPS」(14.6%)「教育相談所」(10.0%)、「子ども発達センター」(7.0%)、「こころの健康支援センター」(6.3%)、「民生児童委員」(5.7%)などの順となっています。



(13) 自分自身にどれくらいあてはまるか

問 21 次のことは、あなた自身にどれくらい当てはまりますか。(それぞれ1つに○)

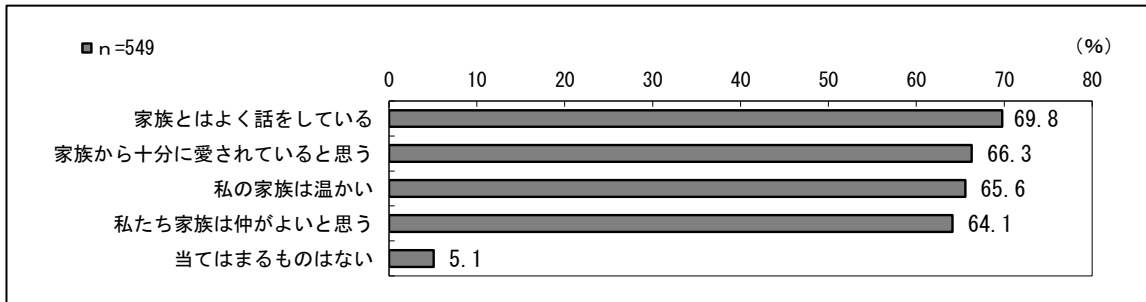
自分自身にどれくらいあてはまるかについて「1. はい」と「2. どちらかといえばはい」をあわせた“あてはまる”の率をみると、「朝決まった時間に起きられる」(81.7%)が最も多く、次いで、「自分の今の状態について考えることがよくある」(70.7%)、「メディアの政治や経済・社会報道によく目を通す」(67.0%)などとなっています。

	(%)				n
	はい	どちらかといえ ばはい	どちらかとい えはい	いいえ	
身の回りのことは家族にしてもらっている	20.2	27.0	14.2	38.6	549
食事や掃除は家族まかせである	22.6	23.1	12.6	41.7	549
朝決まった時間に起きられる	48.4	33.3	12.9	5.5	550
深夜まで起きてることが多い	28.2	28.1	22.6	21.1	549
昼夜逆転の生活をしている	5.5	13.3	78.0		549
パソコンやスマホ等がないと一時も落ち着かない	9.1	29.7	32.1	29.1	549
メディアの政治や経済・社会報道によく目を通す	22.4	44.6	22.6	10.4	549
自分の周辺には理不尽と思うことがたくさんある	16.9	31.1	33.2	18.8	549
誰とも口をきかずに過ごす日が多い	2.0	4.0	19.6	74.4	550
自分の今の状態について考えることがよくある	33.6	37.1	17.6	11.6	550

(14) 自身の家族について

問 22 次のうち、あなたの家族に当てはまるのはどれですか。(当てはまるものすべてに○)
【複数回答】

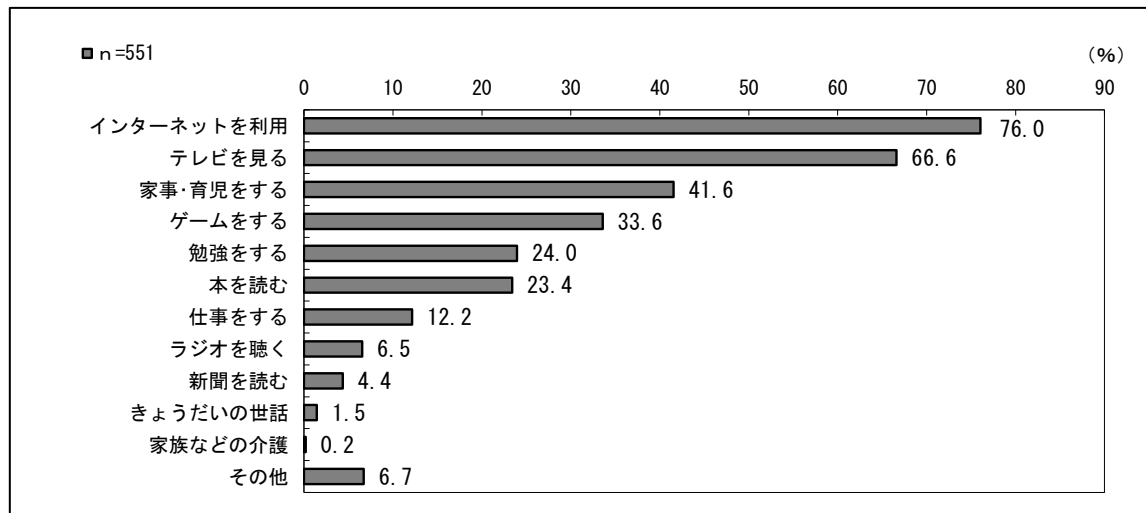
自身の家族については、「家族とはよく話をしている」(69.8%)、「家族から十分に愛されていると思う」(66.3%)、「私の家族は温かい」(65.6%)、「私たち家族は仲がよいと思う」(64.1%)となっています。なお、「当てはまるものはない」(5.1%)となっています。



(15) ふだん自宅でよくしていること

問 23 ふだん自宅にいるときに、よくしていることは何ですか。(当てはまるものすべてに○)【複数回答】

ふだん自宅でよくしていることについては、「インターネットを利用」(76.0%)が最も多く、次いで、「テレビを見る」(66.6%)、「家事・育児をする」(41.6%)、「ゲームをする」(33.6%)、「勉強をする」(24.0%)、「本を読む」(23.4%)などの順となっています。



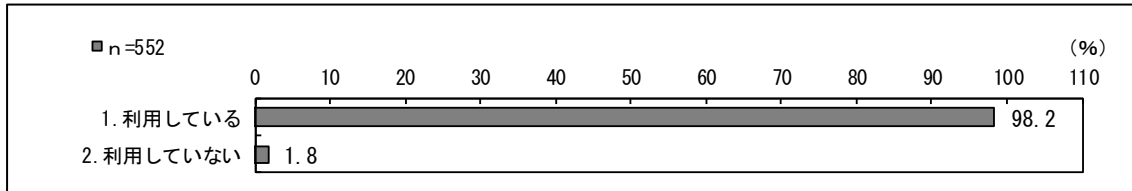
○「その他」の記載内容例

- ・家族との会話
- ・音楽を聴く
- ・絵を描く
- ・寝る

(16) ふだんのインターネット利用の有無

問 24 あなたは、ふだんインターネットを利用していますか。(1つに○)

ふだんのインターネット利用の有無については、「利用している」(98.2%)、「利用していない」(1.8%)となっています。

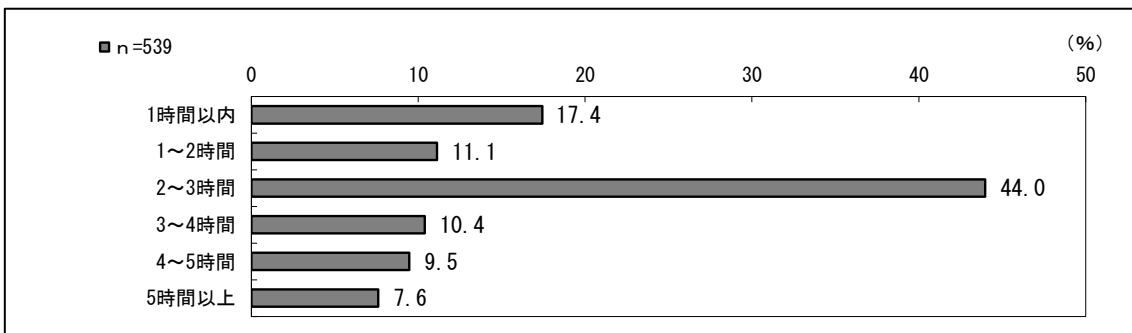


(17) 授業や仕事以外でインターネットの利用時間

問 24-1 問 24で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
あなたは、授業や仕事以外でインターネットをどれくらい利用していますか。平日・休日ごとに、当てはまる番号1つに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

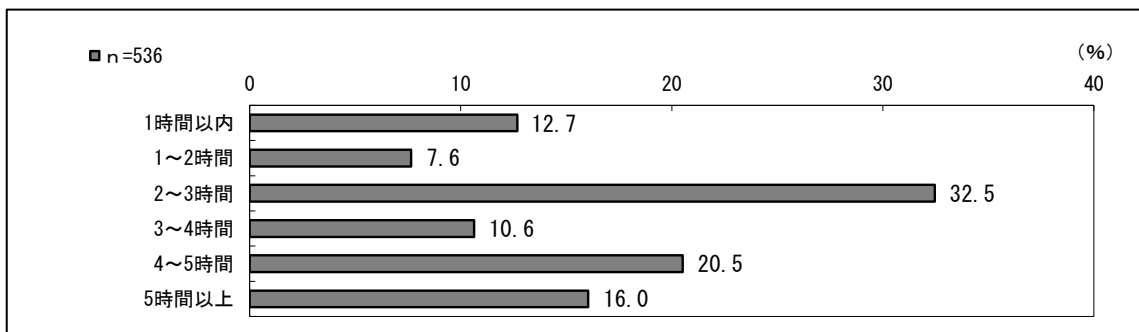
(1) 平日：インターネットの利用時間

平日のインターネットの利用時間については、「2～3時間」(44.0%)が最も多く、次いで「1時間以内」(17.4%)、「1～2時間」(11.1%)、「3～4時間」(10.4%)、「4～5時間」(9.5%)、「5時間以上」(7.6%)となっています。



(2) 休日：インターネットの利用時間

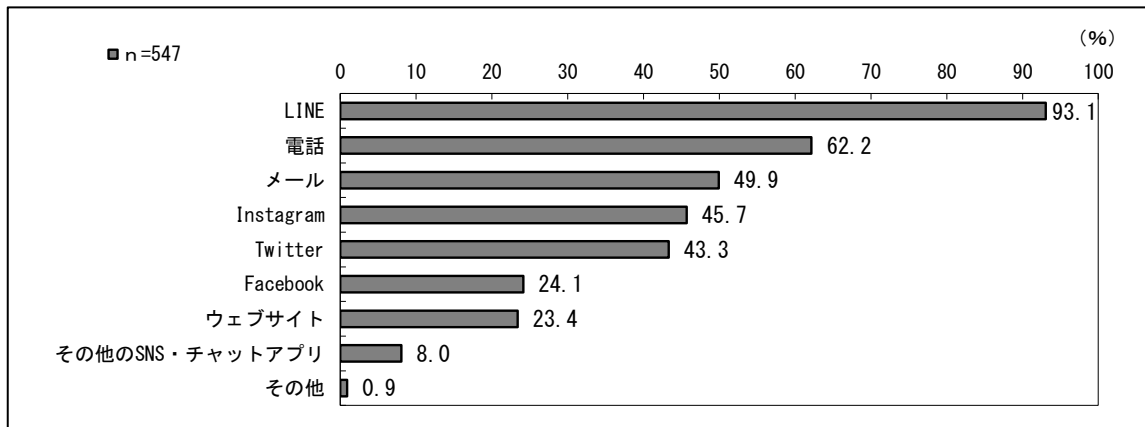
休日のインターネットの利用時間については、「2～3時間」(32.5%)が最も多く、次いで「4～5時間」(20.5%)、「5時間以上」(16.0%)、「1時間以内」(12.7%)、「3～4時間」(10.6%)、「1～2時間」(7.6%)となっています。



(18) ふだん利用するソーシャルメディア・通信手段

問 25 次のソーシャルメディア・通信手段などで、ふだん利用しているものは何ですか。(当てはまるものすべてに○)【複数回答】

ふだん利用するソーシャルメディア・通信手段については、「LINE」(93.1%)が最も多く、次いで、「電話」(62.2%)、「メール」(49.9%)、「Instagram」(45.7%)、「Twitter」(43.3%)、「Facebook」(24.1%)、「ウェブサイト」(23.4%)、「その他のSNS・チャットアプリ」(8.0%)となっています。

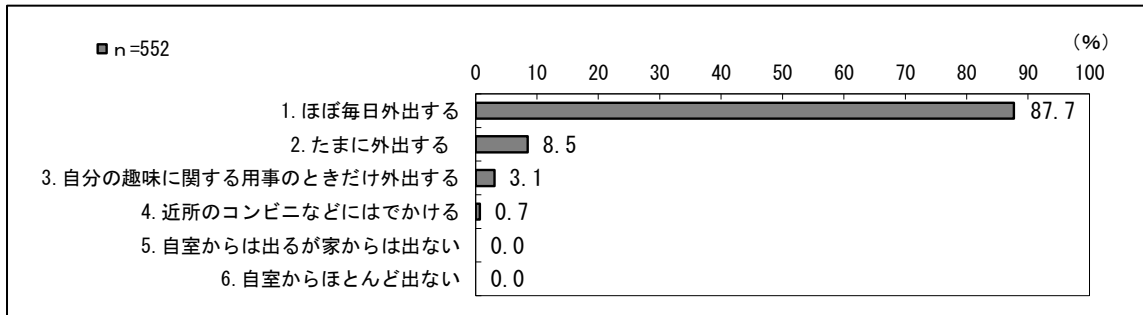


4 外出の状況について

(1) ふだんの外出状況

問 26 ふだんの外出状況であてはまるものはどれですか。(1つに○)

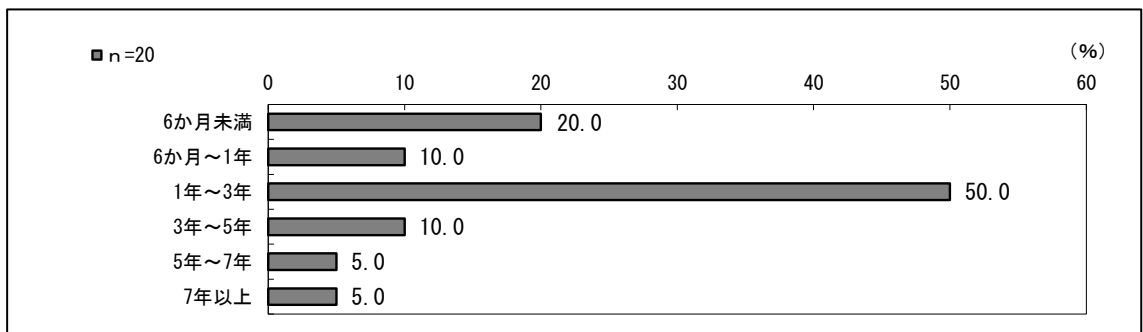
ふだんの外出状況については、「ほぼ毎日外出する」(87.7%)、「たまに外出する」(8.5%)、「自分の趣味に関する用事るときだけ外出する」(3.1%)、「近所のコンビニなどにはでかける」(0.7%) となっています。



(2) ほとんど家にいる状態が続いている期間

問 26-1 問 26 で「3.」～「6.」に○をつけた方にかがいます。
その状態はどれくらい続いていますか。(1つに○)

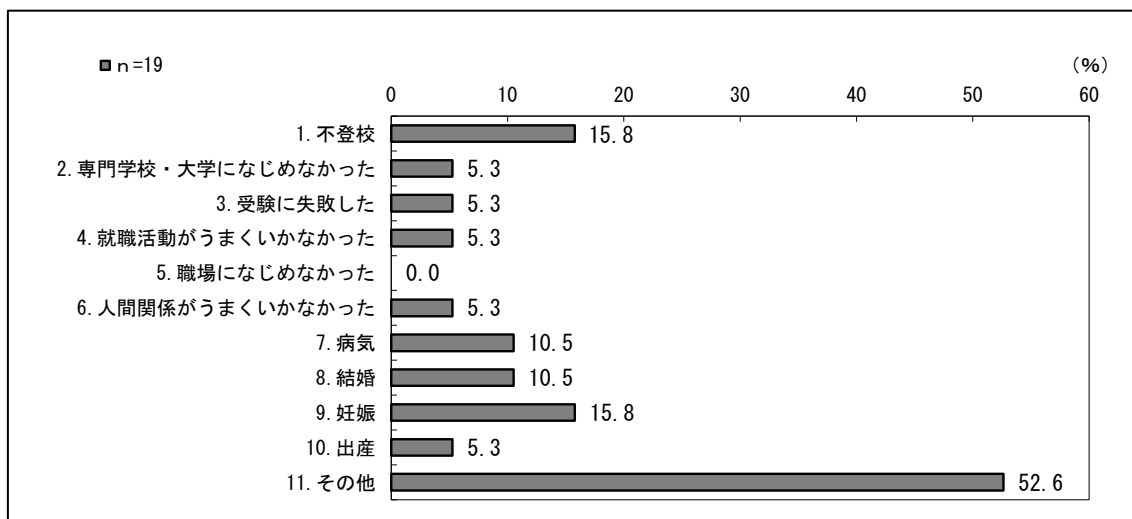
ほとんど家にいる状態が続いている期間については、「6か月未満」(20.0%)、「6か月～1年」(10.0%)、「1年～3年」(50.0%)、「3年～5年」(10.0%)、「5年～7年」(5.0%)、「7年以上」(5.0%) となっています。



(3) ほとんど家にいる状態になったきっかけ

問 26-2 問 26 で「3.」～「6.」に○をつけた方の方がいます。
 現在の状態になったきっかけは何ですか。(当てはまるものすべてに○)【複数回答】
 なお、「1. 不登校」「3. 受験に失敗した」「6. 人間関係がうまくいかなかった」
 のいずれかを選択した方は、さらに付問にお答えください。

ほとんど家にいる状態になったきっかけについては、「不登校」・「妊娠」(同率 15.8%)、「病気」・「結婚」(同率 10.5%)、「専門学校・大学になじめなかった」・「受験に失敗した」・「就職活動がうまくいかなかった」・「人間関係がうまくいかなかった」・「出産」(同率 5.3%) となっています。



- 「その他」の記載内容例
- ・通信制高校に通っている。
 - ・インターネットに夢中になりすぎたから。
 - ・育児のため。
 - ・家の中でゴロゴロするのが好きだから。

1. 不登校の始まった時期

不登校の始まった時期については、「中学校」(66.7%)、「小学校」(33.3%) となっています。

3. 受験に失敗した時期

受験に失敗した時期については、「高校」(100.0%) となっています。

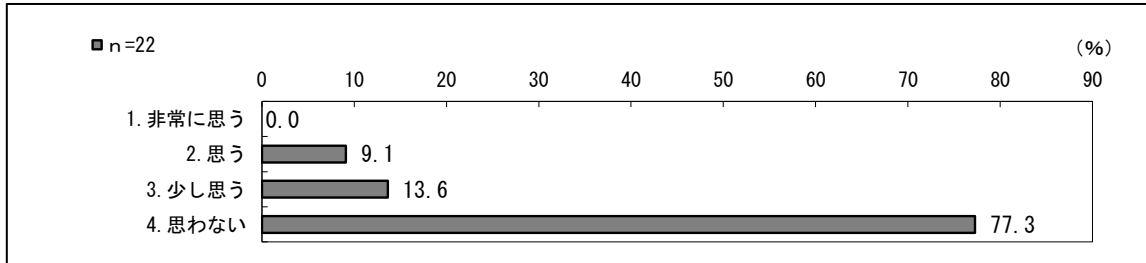
6. 人間関係がうまくいかなかった相手

人間関係がうまくいかなかった相手については、「友人」(100.0%) となっています。

(4) 現在の状態について誰かに相談したいと思うか

問 26-3 問 26 で「3.」～「6.」に○をつけた方うかがいます。
現在の状態について、誰かに相談したいと思いますか。(1つに○)

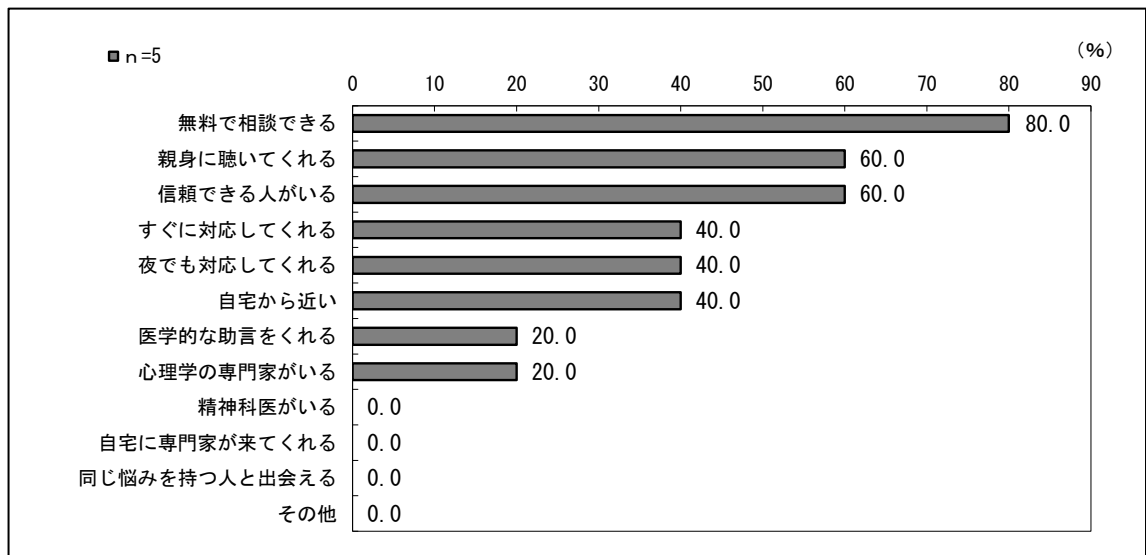
現在の状態について誰かに相談したいと思うかどうかについては、「思わない」(77.3%)、「少し思う」(13.6%)、「思う」(9.1%) となっています。



(5) 相談を希望する相手先の条件

問 26-4 問 26-3 で「1.」～「3.」に○をつけた方うかがいます。
現在の状態について、どのような人・機関なら、相談したいと思いますか。(当てはまるものすべてに○)【複数回答】

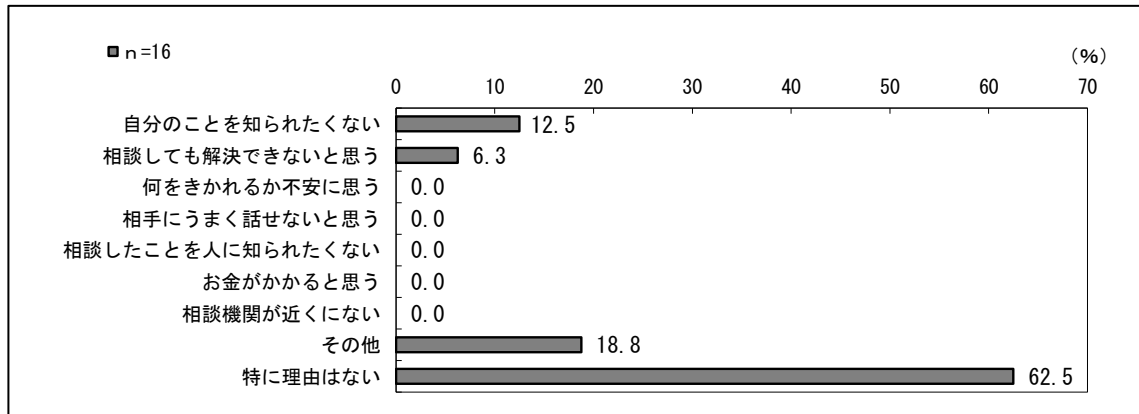
相談を希望する相手先の条件については、「無料で相談できる」(80.0%) が最も多く、次いで、「親身に聴いてくれる」・「信頼できる人がいる」(同率 60.0%)、「すぐに対応してくれる」・「夜でも対応してくれる」・「自宅から近い」(同率 40.0%)、「医学的な助言をくれる」・「心理学の専門家がいる」(同率 20.0%) などの順となっています。



(6) 相談したくないと思う理由

問 26-5 問 26-3 で「4. 思わない」に○をつけた方にかがいます。
 相談したくないと思う理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○) 【複数回答】

相談したくないと思う理由については、「自分のことを知られたくない」(12.5%)、「相談しても解決できないと思う」(6.3%) となっています。なお、「特に理由はない」は 62.5% となっています。



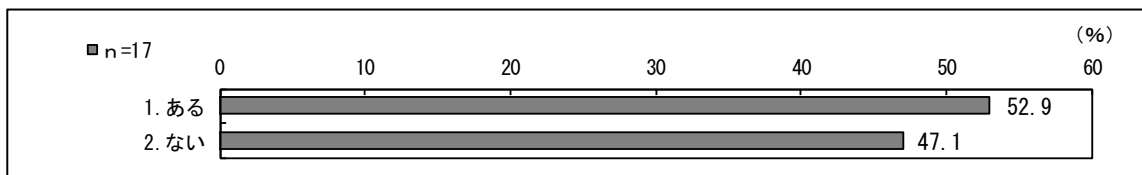
○「その他」の記載内容例

- ・悪い状況とっていない。
- ・困っていないので相談する必要がない。
- ・今は妊娠初期だし、しょうがない。

(7) 相談経験

問 26-6 問 26 で「3.」～「6.」に○をつけた方にかがいます。
 現在の状態について、誰かに相談したことはありますか。(1つに○)

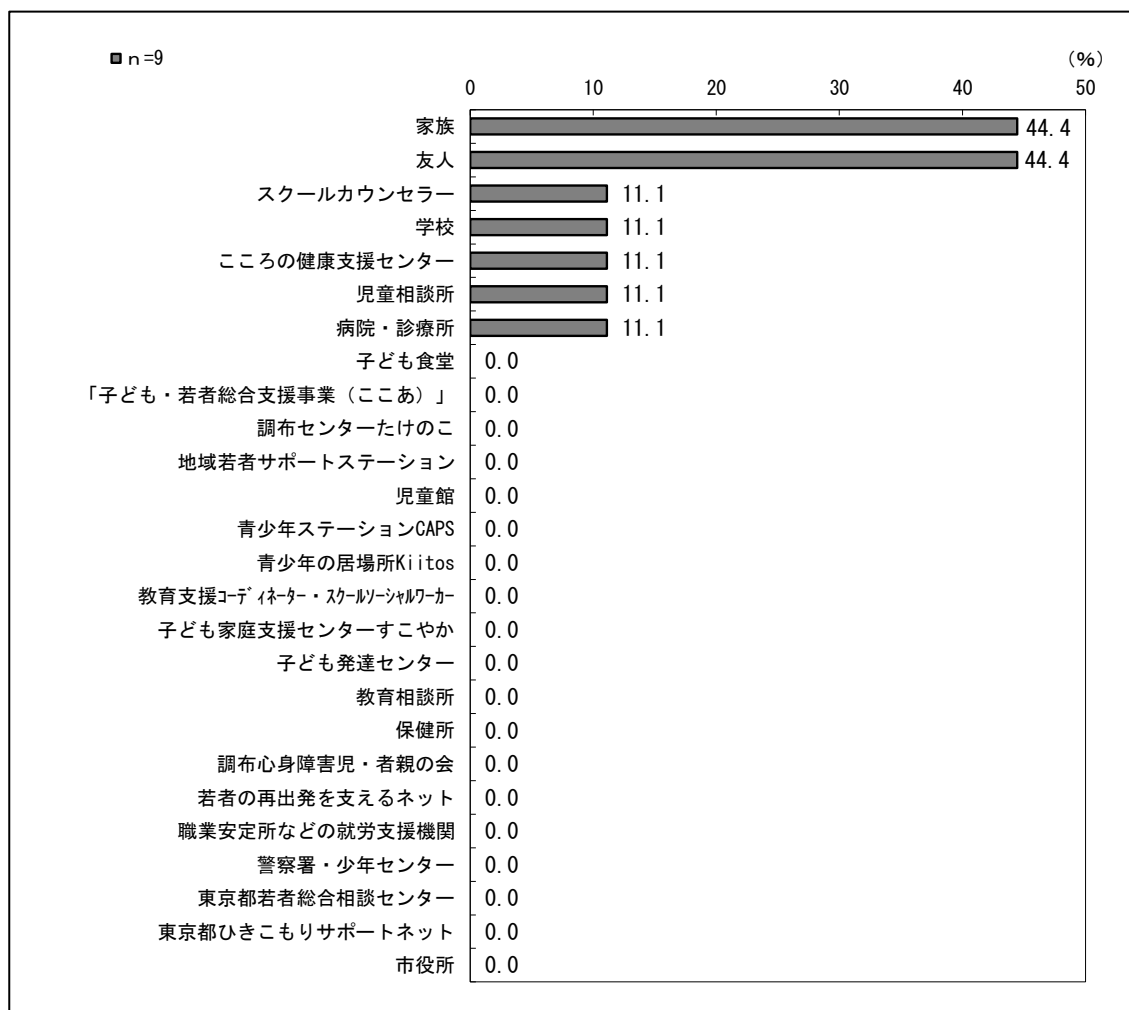
相談経験については、「ある」(52.9%)、「ない」(47.1%) となっています。



(8) 相談経験のある人・機関

問 26-7 問 26-6 で「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。
 誰に相談しましたか。相談したことがある人・機関すべてに○をつけてください。
 (当てはまるものすべてに○)【複数回答】

相談経験のある人・機関については、「家族」・「友人」(同率 44.4%)、「スクールカウンセラー」・「学校」・「こころの健康支援センター」・「児童相談所」・「病院・診療所」(同率 11.1%) となっています。



(9) 相談した結果について

問 26-8 問 26-6 で「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。
相談した結果について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

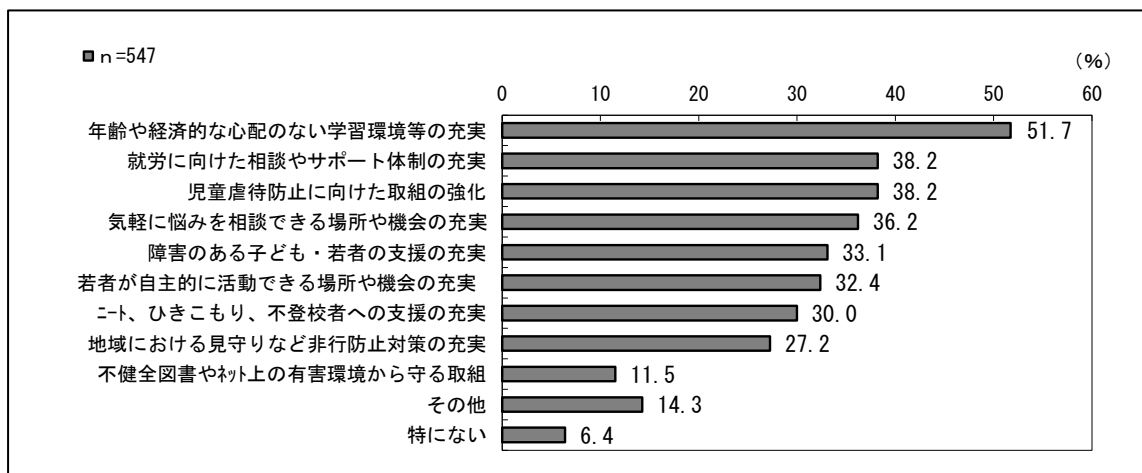
相談した結果についての意見は、下記のとおりとなっています。

- ・相談した直後はとてもスッキリしたが、すぐに思っている事がまとまらず、またもやもやしている。
- ・遠慮が少しある所があり、全ては話せていないと思う。
- ・気が楽になった。悩み過ぎもよくないと思った。
- ・自分のことを知らない人との電話の方がスクールカウンセラーより本心話しやすかった。
- ・今後どうするか、ある程度決めることができたのでよかった。

(10) 市が特に取り組むべきこと

問 27 子ども・若者が希望をもてる調布市となるために、調布市が特に取り組むべきことは何だと思えますか。(当てはまるものすべてに○)【複数回答】

市が特に取り組むべきことについては、「年齢や経済的な心配のない学習環境等の充実」(51.7%)、「就労に向けた相談やサポート体制の充実」・「児童虐待防止に向けた取組の強化」(同率 38.2%)、「気軽に悩みを相談できる場所や機会の充実」(36.2%)、「障害のある子ども・若者の支援の充実」(33.1%)、「若者が自主的に活動できる場所や機会の充実」(32.4%)、「ニート、ひきこもり、不登校者への支援の充実」(30.0%)、「地域における見守りなど非行防止対策の充実」(27.2%)、「不健全図書やネット上の有害環境から守る取組」(11.5%)の順となっています。なお、「特にない」は6.4%となっています。



○「その他」の記載内容例

- ・保育園の充実、待機児童の解消。
- ・子育て支援の充実。
- ・全ての公園にトイレの設置、公園での球技の許可。
- ・自習スペースを拡大してほしい。

登録番号
(刊行物番号)

2018-272

調布市子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果報告書

発行日 平成31年3月

発行 調布市

(担当) 子ども生活部子ども政策課

〒182-8511 調布市小島町 2-35-1

TEL 042-481-7757

編集 株式会社ぎょうせい

本書は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。